

平成29年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画 成果目標

平成30年3月9日

那覇市	1	嘉手納町	164
宜野湾市	34	北谷町	169
石垣市	42	北中城村	172
浦添市	54	中城村	181
名護市	65	西原町	187
糸満市	73	与那原町	193
沖縄市	80	南風原町	198
豊見城市	90	渡嘉敷村	206
うるま市	100	座間味村	211
宮古島市	108	粟国村	215
南城市	117	渡名喜村	218
国頭村	123	南大東村	219
大宜味村	127	北大東村	222
東村	130	伊平屋村	225
今帰仁村	132	伊是名村	232
本部町	136	久米島町	236
恩納村	141	八重瀬町	241
宜野座村	143	多良間村	247
金武町	147	竹富町	250
伊江村	154	与那国町	257
読谷村	159		

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1		歴史ある那覇のまち、観光客誘客促進・受入基盤強化事業	H24 ～ H33					
1	1	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24 ～ H33	個性的な本市工芸品を国内外にアピールし、本市工芸品の知名度向上を図るため、イベントや宣伝等を行う。	・伝統工芸品等のイベント 1回 ・特別展示室の企画展 1回	・イベント集客 800人以上 (H26:777人、H27:125人) ・企画展集客 1,800人以上 (H26:1,710人、H27:1,708人)	・本市伝統工芸品の企画展及び催事の継続、県外を対象とした宣伝広告の拡大。 ・本市伝統工芸品認知度普及啓発。 ・機能強化による来館数の拡大。	
1	2	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ H33	アンケート等によるニーズの把握を行いながら、外国人観光客への案内サービスや観光情報の提供を継続的に行う、那覇市観光協会による観光案内所事業を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内の実施に必要なスタッフ(常勤7名、パート4名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスの更なる充実に努める。	・外国人観光客の案内所の利用者:年間14,000人 (基準:平成27年度13,912人) ・利用者ニーズに対応した観光案内の実施	(今後の展開方針) 外国語対応スタッフの配置支援 H30年度:11人 H31年度:11人 H32年度:11人 H33年度:11人 利用者アンケートの実施	
1	3	交流オアシス整備事業	H24 ～ H32	観光客と市民との交流・憩いの場を創出するため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行う	交流スペースの設置:1箇所	・利用者の満足度調査(「良かった」との回答を8割以上)	(今後の展開方針) H30年度 設置工事:1箇所 H31年度 設置工事:2箇所 H32年度 設置工事:1箇所	
1	4	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ H33	幹線道路や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・幹線道路及び観光地周辺市道の除草:約19,000㎡ ・街路樹の剪定:約500本 ・天久安里線植栽工事:約1,500㎡ ・道路緑化アンケート調査の実施	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じる人の割合80%。	(今後の展開方針) ・幹線道路等の除草・街路樹の剪定 H30～H33 13路線程度/年 ・植栽工事 H30:泉崎牧志線 H31:久茂地前島線外1路線 H32:牧志中央線他11路線 H33:天久安里線	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	5	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ H33	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、観光振興に資する路線沿線を対象に、市民、自治体、学校関係、ボランティア団体へ草花苗の配布を行う。併せて、公共花壇にも年間を通して草花苗の植え付けなどを行い、潤いのある都市空間づくりを行う。	・対象路線沿線の市民、自治体、学校関係、ボランティア団体等へ草花苗の配布数：約14,000鉢 ・公共花壇の年間管理：5箇所	観光客に対し、本事業に対しての満足度調査を実施 ・満足度：70%	(今後の取組方針) H29年度 14,000鉢、5箇所 H30年度 14,000鉢、5箇所 H31年度 14,000鉢、5箇所 H32年度 14,000鉢、5箇所 H33年度 14,000鉢、5箇所 (事業実施後の効果) 都市緑化景観の満足度を向上させ、観光振興に資する。	
1	6	桜の名所づくり事業	H24 ～ H29	観光都市として日本一早い沖縄県の桜まつりが那覇市首里地区においても実現するよう寒川緑地を桜の名所として整備し観光客の誘客、まちの活性化を図る。	首里地区の桜の名所として、寒川緑地を整備する。 ・桜の植栽：14本	・桜植栽完了：14本 ・平成29年度末にて全体計画の進捗率 100%(累計187本植栽)	(今後の取組方針) 平成29年度 植栽率100% 植栽14本(累計187本) (事業実施後の効果) 首里地区の桜の名所として、寒川緑地を整備し観光資源の開発を図る。	
1	7	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ H33	観光資源である景観を保護するために、県花であるデイゴや琉球松への薬剤注入による害虫駆除及び予防対策を行う。	・リュウキュウマツ薬剤樹幹注入 620本	・平成29年度対象のリュウキュウマツにおいて、薬剤樹幹注入後における害虫被害での枯損木5本以下 (参考値：平成28年度デイゴ害虫被害枯損木5本)	H30 デイゴ薬剤注入(50本) H31 リュウキュウマツ薬剤注入(620本) H32 デイゴ薬剤注入 (50本) H33 リュウキュウマツ薬剤注入(620本) (事業実施後の効果) デイゴ・リュウキュウマツへの害虫による被害をなくし沖縄独特の景観を保護する	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	8	那覇爬龍船競漕振興事業	H24 ～ H33	本市の伝統文化行事である「那覇ハーリー」を充実強化し、観光誘客を促進するため、行事開催支援を行う。また、来場者がより安全に参加、見学できるよう会場警備を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇ハーリー」会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇ハーリー」における雑踏警備の実施	那覇ハーリー来場者数:210,000人 (基準値:平成28年180,000人)	(今後の展開方針) H30～33年度 ・那覇爬龍船振興会への支援の実施 ・ハーリー会場設営 ・雑踏警備の実施 ハーリー会場来場者目標 H33年度 210,000人 (事業実施後の効果) 那覇爬龍船振興会が継続して那覇ハーリーを実施するための経済的基盤の醸成	
1	9	那覇大綱挽振興事業	H24 ～ H33	本市の伝統行事であり、ギネス級のイベントである「那覇大綱挽」を本市の観光資源としてPRし、観光誘客を促進するため、「那覇大綱挽まつり」の開催支援を行う。また、来場者がより安全に参加、見学できるよう会場警備を行う。	・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「那覇大綱挽まつり」会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇大綱挽まつり」における雑踏警備の実施	「那覇大綱挽」来場者数:280,000人 (前年度比約1%増) (基準値:平成28年 275,000人)	(今後の展開方針) 平成30～33年度 ・那覇大綱挽保存会への支援の実施 ・大綱挽会場設営 ・雑踏警備の実施 大綱挽来場者目標 H30年 285,000人 (対前年約1%増) H31年 287,000人 (対前年約1%増) H32年 290,000人 (対前年約1%増) H33年 293,000人 (対前年約1%増) (事業実施後の効果) 那覇大綱挽保存会が継続して那覇大綱挽まつりを実施するための経済的基盤の醸成	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	10	琉球王朝祭り首里振興事業	H24 ～ H33	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」である首里城のある首里地域における文化資源であり観光資源である「琉球王朝祭り首里」を活用し観光誘客を促進するため、祭り開催支援を行う。また、来場者がより安全に参加、見学できるよう会場警備を行う。	・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備を実施	「琉球王朝祭り首里」来場者数:50,000人 (参考:平成28年度 48,000人)	(今後の展開方針) 平成30～33年度まで ・首里振興会への支援の実施 ・雑踏警備の実施 琉球王朝祭り首里来場者目標 H33年度 50,000人(現状維持) (事業実施後の効果) 首里振興会が継続して琉球王朝祭り首里を実施するための経済的基盤の醸成	
1	11	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ H33	「琉球王朝絵巻行列」において実施される国王王妃行列・冊封使行列・伝統芸能行列を観光資源として活用し、観光客誘客を図るため、行列開催の支援を行う。	・首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:37,000人 (参考:平成27年 35,000人、平成28年 42,000人)	(今後の展開方針) 平成30～33年度 首里城祭実行委員会へ事業実施への支援の実施 絵巻行列来場者目標 H30年度 38,000人 (対前年約3%増) H31年度 39,000人(対前年約3%増) H32年度 40,000人(対前年約3%増) H33年度 41,000人(対前年約3%増) (事業実施後の効果) 首里城祭実行委員会が継続して琉球王朝絵巻行列を実施するための経済的基盤の醸成	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	12	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ~ H33	スポーツコンベンション拠点地としての那覇市の観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備し、キャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。	読売巨人軍那覇キャンプの継続及びキャンプー日平均見学者数 8,000人/日(前々年度比14%増) (参考:平成28年度 6,461人/日)	(今後の展開方針) H30~H33: 読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化、公式戦の誘致活動 目標値(指標):一日平均見学者数:10,000人(H33) (事業実施後の効果) スポーツコンベンション拠点地としての知名度の向上を図る	
1	13	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ~ H33	スポーツコンベンション拠点地としての那覇市の観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備 ・キャンプ休養日警備。 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプー日平均見学者数 8,000人/日(前々年度比14%増) (参考:平成28年度 6,461人/日) ・来場者満足度80%以上の維持	(今後の展開方針) H30~H33:読売巨人軍春季キャンプ会場周辺のにぎわい創出 目標値(指標):一日平均見学者数:10,000人(H33) (事業実施後の効果) スポーツコンベンション拠点地としての知名度の向上を図る	
1	14	マチグラーのにぎわい事業	H24 ~ H33	観光客や地元客の誘客を図り、マチグラー地域を活性化するため、当該地域内にある「ひやみかちマチグラー館」を拠点としたイベントなどを開催する。	「ひやみかちマチグラー館を拠点としたイベントなどの実施(月4日以上開館)	集客目標(施設利用):約10,000人 基準:事業費 H27年 35,562,000円 施設利用者 H27年 年間 約50,000人	(今後の展開方針) H33まで:マチグラーを拠点にイベントを実施	
1	15	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ~ H33	観光客が多く訪れる国際通りの周遊性を高め、当地域の活性化を図るため、国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 (平成29年度実施回数目標数:35回)	歩行者通行量1日:H27年度比2%増 (毎年1%増)22,340人 (H28歩行者通行量目標:22,121人) 【参考:H27 21,902人】	(今後の取組方針) H33まで: トランジットモール実施支援 歩行者通行量目標 H33:1日23,216人 (H27年度比6年間で6%増 年1%増) (事業実施後の効果) 那覇市の観光地としての知名度アップ	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	16	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24～H33	観光客の誘客及び伝統文化の継承を図るため、国際通りにて開催される「一万人のエイサー踊り隊」を支援する。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援(8月上旬に開催 H29年度で23回目の実施)	来場者数目標:64,000人 (過去3か年の平均を上回る数値) 【参考 H28 32,000人(雨)、H27 65,000人(雨)、H26 94,000人】 雨天だった場合の目標:48,500人 (H28、H27が雨天により、その2か年の平均)	(今後の取組) 引き続き、イベント開催を支援 H33年度来場者目標数:100,000人 (10万人規模のイベントを維持する) (事業実施後の効果) 那覇市の観光地としての知名度アップ	
1	17	那覇まちまーい推進事業	H24～H33	那覇市内観光の魅力向上を図り、観光客の市内の周遊性を高めるため、那覇市観光協会が実施する市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」を自立化に向けて支援する。	「那覇まちまーい」の実施に係る費用の支援	・まちまーいの実施回数:2,700回 (H27年度実施回数:2,657回) ・まちまーいの参加者数:16,500人 (H27年度参加者数:16,054人)	(今後の展開方針) H30～H33年度 「那覇まちまーい」の実施支援 H33年度目標 実施回数:2,600回 参加者数:18,000人 (事業実施後の効果) 「那覇まちまーい」の実施体制の強化を図り、自立化を図る。 本市の新たな魅力の発信と、リピーターの獲得に繋がる。	
1	18	歴史博物館企画展事業	H24～H33	特色ある琉球・沖縄の歴史・文化の情報を発信し、市民や観光客に対し、歴史博物館の認知度を高め集客に結びつこう企画展を開催する。	・企画展の開催(年間6回) ・チラシ・ポスター作製(年間6回) ・企画展パネル作製(年間6回) ・資料梱包運搬業務(年間3回)	歴史博物館来館者数:17,000人 (基準値:平成27年度14,971人)	H29～33:那覇の歴史文化に関する企画展を開催。 目標値(指標):来館者数20,000人(H33)	
1	19	公衆無線LANサービス提供モデル事業	H24～H29	国際観光地としての観光基盤の強化に向けて、国際通りなど本市の主要観光スポットを訪れる外国人等観光客の情報収集の利便性向上を図るため、公衆無線LANサービスを提供する。	・市内115ヶ所のアクセスポイントの運用	・認証ベース月平均利用回数 18.4万回以上 (平成28年4～9月の月平均利用回数 179,850回) (179,850回×外国人客予想伸び率2%=183,447回) ・外国人客予想伸び率はOCVB公表値を使用 ・市内観光の強化に向けた外国人観光客の動向情報の把握	(今後の取組) H29 115箇所アクセスポイントの運用 H30年度以降の運用のあり方について検証 (事業実施後の効果) 観光交流都市としての情報通信基盤の強化を図る	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	20	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ H33	観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映 (毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年10回以上)	視聴者測定システムによる集計数 15,900人(月平均)		1月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
1	21	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24 ～ H33	那覇市民体育館の充実・強化を行い、各種スポーツの全国・九州大会等の大規模大会やバスケットボールリーグ戦等の誘致、開催を図る。	市民体育館のサブアリーナに、重荷重対応床面の整備工事を実施する。 公式バレーボール器具(ボール・ネット・防護カバー等)2セットの購入	サブアリーナ重荷重対応床面整備工事の完成 公式バレーボール器具(ボール・ネット・防護カバー等)2セットの納入	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・プロのバスケットやバレーボールリーグ公式戦、3×3バスケットボール大会の開催誘致 3件 * 3×3バスケットボールリーグ(3×3 exe) * Bリーグ(バスケットボール) * Vリーグ(バレーボールリーグ) ・全国・九州大会等の大規模大会開催誘致 8件 *九州スポーツ少年団バレーボール大会 *全九州市役所対抗親善バドミントン大会 *全九州高校新人卓球大会 *国体バレーボール大会 九州ブロック *九州中学校バレーボール競技大会 *九州大学フットサル大会 *全九州小学生バドミントン大会 *全国専門学校バスケットボール大会	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、活動目標変更)
1	22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ H33	外国人観光客(クルーズ乗船客含む)の受入体制の強化を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	・店舗へのサポート要員の派遣 ・語学講座の開催 ・クルーズ船受入に係る事業に対する支援	船会社への満足度調査の実施:満足度80%	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であると回答した割合80%以上	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	23	マチグラー総合案内所事業	H26～H33	中心商店街(マチグラー)の名所や魅力を効果的に情報発信し、観光客及び地元客の周遊の利便性向上を図るため、マチグラーの案内・広報紙の配布と案内人の配置を行う。	案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置 (開所時間9時～20時 年中無休) マチグラーの案内、広報紙の配布	案内所利用者数:H27年度比4%アップ(約20,000人) (H27年度実績 19,255人)	今後の取組 案内スタッフの配置:常時1名以上 マチグラーの案内・広報紙の配布 H33年度目標 案内所利用者数:約20,000人を維持 (H27年度より、4%の増加) 平日歩行者通行量目標 95,940人 (H27年度91,370人の5%増)	
1	24	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26～H33	那覇市の中心市街地においては、第一牧志公設市場を中心としたマチグラーが観光地として魅力を高める拠点となっている。同市場を再整備することにより、観光振興に寄与し、観光客の誘客を図る。	・業務推進コーディネート業務委託(平成29年度分)一式 ・施設本体基本設計業務委託一式 ・仮設店舗設計業務委託一式 ・補償額算定調査業務及び技術支援委託一式 ・商業支援業務(平成29年度分)一式	業務推進コーディネート業務(平成29年度分)の完了 施設本体の基本設計の完了 仮設店舗の設計の完了 補償額算定調査の完了 商業支援業務(平成29年度分)の完了	供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 ・年間来訪者数 256万人。 (整備スケジュール) 平成30年度 施設本体の実施設設計、仮設店舗建設 平成31年度 現市場の解体、仮設店舗での営業 平成32年度～33年度 新市場工事、仮設店舗での営業	12月変更 (計画変更に伴う事業内容変更) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
1	25	沖縄国際映画祭関連事業	H25～H33	多くの来場者が訪れる沖縄国際映画祭のメイン会場となっている那覇市の観光地としての知名度向上を図り、市内へ観光客を誘客するため、映画祭関連イベントを支援する	沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援	沖縄国際映画祭那覇市来場者数:81,000人 (基準値:H28年度:国際通りレッドカーペット6万人+うみそら公園レッドカーペット2万人)	(今後の展開方針) H30～H33:沖縄国際映画祭関連イベントへの支援 来場者目標 平成30年度 82,000人 平成31年度 83,000人 平成32年度 84,000人 平成33年度 85,000人 (事業実施後の効果) 那覇市の観光地としての知名度の向上を図る	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1	26	観光イベント等映像発信事業	H25 ～ H33	<p>移動式車載大型ビジョンを活用し、クルーズ船で訪れる観光客及び祭り・イベント会場の観光客向けに、本市観光情報を発信するとともに、平成27年6月に策定した那覇市観光基本計画の推進に資する事業やイベントを支援する。</p>	<p>移動式車載大型ビジョンによるイベント時の現場映像の放映および県外・国外観光客への観光案内・PR等:70回/年 ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:40回 ・沖縄国際映画祭:1回 ・那覇ハーリー:3回 ・那覇大綱挽まつり:2回 ・琉球王朝祭り首里:1回 ・那覇マラソン:2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ:キャンプ期間中随時 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント:10回</p>	<p>・クルーズ船に対する派遣稼働数:40回 (参考:平成27年度実績53回) ・クルーズ船による来客数:220,000人 (参考:平成27年度実績210,268人) ・読売巨人軍那覇キャンプ日平均見学者数:8,000人/日 (参考:平成28年度 6,461人/日)</p>	<p>(今後の方針) H30～H33:クルーズ客船セレモニー対応、イベント活用を行う。 中間目標値(H30): クルーズ船対応:70回 その他イベント:30回 最終目標値(H33): クルーズ船対応:70回 その他イベント:30回</p>	
1	27	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ～ H33	<p>観光客が快適に公園利用することで沖縄観光のサービス向上につながるよう、観光地周辺における公園の美化、トイレ等の整備を行う。</p>	<p>・便所整備工事の実施 (実施箇所:美栄橋公園) ・植栽剪定業務の実施 (実施箇所:与儀公園)</p>	<p>・便所等整備:66%完了 (予定箇所総数15箇所、H29年度までの整備累計10箇所) ・植栽剪定:63%完了 (予定箇所総数11箇所、H29年度までの整備累計7箇所)</p>	<p>(今後の取組) H30 改修工事 旭ヶ丘公園 剪定業務 首里崎山公園 H31 改修工事 漫湖公園 剪定業務 末吉公園 H32 改修工事 漫湖公園 剪定業務 新都心公園 H33 改修工事 旭ヶ丘公園、松山公園 剪定業務 漫湖公園 (事業実施後の効果) 公園内美観向上と快適に使用できる便所による観光サービスの向上</p>	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
								バ
1	28	観光入込統計調査事業	H28 ～ H33	那覇市における国内観光客の旅行動向の実態を把握し、その結果を活用するため、旅行行動、観光消費額等を調査し、基礎資料とする。	・那覇空港において年4回1,400人を対象としたアンケート調査を実施する。調査項目には、娯楽、観光案内、観光資源及び旅行全体に関する満足度を設け、観光施策全般に対する評価の把握・分析を行う。 ・県実施の各種調査の基礎データ(クルーズ船、修学旅行、宿泊施設数等)を基に、那覇市分を調査し、県内全体の各種数値と本市との比較・検証を行う。	観光入込統計調査の完了	(平成30年度) 宿泊人数及び平均泊数について前年度との年平均伸び率を比較すること等により、事業のあり方について、検証する。 前年度との比較 ・宿泊人数の年平均伸び率 1.8%増 ・平均宿泊数の年平均 9.8%増	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針変更)
1	29	バリアフリー改装補助事業	H26 ～ H30	観光客の利便性の確保を図るため、観光客が利用する既存の民間商業施設等の改装工事を支援し、バリアフリー化を行う。	・店舗等のバリアフリー改装への支援 :3施設	バリアフリー化工事完了 3箇所	(平成30年度) バリアフリー改装補助事業を利用した観光客に、施設がバリアフリー化されたことにより利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針変更)
1	30	那覇市営奥武山野球場イメージアップ事業	H28 ～ H30	奥武山野球場のプロ野球キャンプ及び公式戦を継続実施し観光誘客を図るとともに、野球の全国・九州等大規模大会の開催を誘致するため、鉄骨大屋根部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装を行う。	・那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装工事(第1期) ・工事管理業務委託(第1期)	那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装工事(第1期)と工事監理業務委託(第1期)の完成	供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 96,200人 プロ野球公式戦 1試合入場者数:13,300人 全国・九州等大規模大会の開催誘致3大会 (今後のスケジュール) 平成30年度 工事の実施(第2期)	6月交付決定変更(計画変更に伴う各目標変更) 12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1	31	福州園再整備事業	H28 ～ H32	県内唯一の中国式庭園である福州園は、大型旅客船バースが近くにあり外国人観光客も多く訪れる施設として期待されている。観光客を含めた福州園利用者数増加を目的として、夜間の景観演出等、各種イベント会場として使用するための施設に付加価値を付けた機能強化を行う。	福州園再整備基本設計業務の着手	・福州園再整備の基本設計業務の完了	H30 実施設計 H31 整備工事 H32 整備工事 (今後の展開方針) 観光客を含めた福州園利用者数増加を目的として、施設再整備と夜間の景観演出等、各種イベント会場として使用するための機能強化を図る	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	32	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ H30	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請を行う。	・具体的手法の検討(月1回以上) ・是正要請活動の実施(月25日以上(通り会との連携による要請は随時)) ・広報活動の実施(市の広報誌やホームページを活用し随時)	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数 460件以内	(今後の展開方針) H30: 31年度からは地元の通り会等が単独で是正要請にあたるよう、要請に伴う問題点の整理及び道路管理者等との連携体制の確立を目指す。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
1	33	物語性のあるランドマーク創造事業	H29	クルーズ船寄港地である若狭地区から首里城に至る市街地には、歴史文化に裏付けされた観光資源が点在している。これらの観光資源に物語性を持たせることなどにより、本市観光の魅力向上を図る。	・文献・ヒアリング調査等の実施	・本市の観光魅力向上案の作成	(今後の展開方針) 観光魅力向上案の観光施策への活用検討	
1	34	那覇と周辺離島の連携による観光振興事業	H29 ～ H33	慶良間諸島など周辺離島航路の発着場として重要な役割を果たしている泊港旅客ターミナルにおいて、観光案内所を設置し、本市及び県全般の観光情報を提供することで、市内観光地への誘導、市内滞在時間の延長、市内消費機会の創出を目指す。	・泊港旅客ターミナル内に臨時観光案内所を設置(6～10月の間の3か月間、午前中を想定。) ・多言語対応を行う。	・観光案内所利用者数:1,000名。	(今後の取組) ・H33年度まで事業を継続実施する。 ・観光客のニーズ把握に基づく観光施策の企画・展開 (事業完了後の目標) ・離島観光終了後の、本市観光地への流れの定着化を図る。	
1	35	那覇市民泊施設実態調査事業	H29	民泊提供に必要な要件を満たすには、現状では相応の手間やコスト等を要することから、無許可の民泊が少なからず提供されている。住民・観光客の双方にとって安全・安心な観光地づくりを進める上での基礎資料を得るため、民泊実施施設数、許可・無許可の別や、サービス提供者及び利用者等の声などについての調査を実施する。	・民泊提供者・利用者双方の実態について、本市における観光施策等に活用可能な内容の調査を実施する。	・「那覇市民泊施設実態調査報告書(仮称)」の作成	(今後の展開方針) 観光施策への活用検討	
2		那覇市の水産・農業振興活性化推進事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ H33	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催を行う。	・PRイベント開催1回 ・連携実施4回 ・PRイベント開催支援:2件	・PRイベント来場者53,000人 (H28年度 延べ約46,800人) ・学生等若者向けの料理教室等マグロPR事業の参加者:70人 (基準値:平成28年67人) ・泊いゆまちの売上高14億円 (基準値:平成27年度13.5億円)	(今後の取組方針) H29～33年度 PRイベント開催:1回/年 PRイベント連携実施:4回/年 PRイベント支援:2件/年 (H33イベント来場者累計:150千人) (事業実施後の目標) ・泊いゆまちの売上高:18億円 ・市魚マグロの認知度:35%	
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ H33	漁業生産の効率化及び安定操業を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興に寄与する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	・漁業従事者数150名以上の維持 (H28年度159名)	(今後の展開方針) H29～33年度 近代化設備設置支援:10件/年 (事業実施後の目標) H33年度 漁業従事者数:150人	
2	3	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ～ H33	市内漁業協同組合等が行う外国人漁業研修生受入事業を支援する	外国人研修生受入:17名	マグロ漁の操業漁船の確保・維持:47隻	(今後の展開方針) H29～33年度 外国人漁業研修生受入事業を支援 (毎年 15名以上受入実施) (事業実施後の目標) マグロ操業船の維持確保 H33年度:50隻 (参考:H23年度50隻)	
3		沖縄の伝統工芸、地元産業の振興推進事業	H24 ～ H33					
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ H33	販路開拓の前段となる商談会への出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	・販路拡大支援:3件 (県外2件、海外1件)	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上		12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	2		那覇の物産展事業	H24 ～ H33	市内事業者が概ね2年以内に開発、販売した商品の中から、那覇市長賞商品を選定することで、新商品開発及び販売の意欲喚起を図る。また、「那覇の物産展」を企画・開催し、出展事業者の商品の認知度を高め、需要拡大及び販路開拓に貢献する。	・那覇市長賞商品の選定 ・那覇の物産展の企画・開催	新規開発商品数：6品 物産展来場者数：3%増 (H27年度：192,000人 H29年度：197,760人) 物産展売上高：3%増 (H27年度売上額：27,765千円 H29売上目標額：28,597千円)	(今後の展開方針) H29～33年度 那覇市長賞の選定 那覇市物産展の開催 (事業実施後の効果) H33年度目標 H33年度開発商品数累計30品 物産展来場者数：209,000人 物産展売上額：30,339千円	
3	4		企業誘致活動サポート事業	H24 ～ H33	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析に基づく企業誘致活動を実施するとともに、ビジネスマッチングの場の提供、市内の不動産の物件情報発信を行う。	意向調査：3,000社以上に実施 企業訪問：本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問 市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング：1回 市内不動産の情報のWEB発信：50件以上	誘致企業2社 ビジネスマッチング参加企業：30社 WEB閲覧件数(年間)：300回	(今後の展開) 様々な角度から誘致にむけたアプローチを継続的に実施。 毎年2社の誘致 H33年までに情報関連産業の企業立地数220社を目標 (沖縄21世紀ビジョンのH33年度目標数440社のうち50%)	
3	5		市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ H33	市内中小企業を対象に、海外市場へ販路拡大するためのノウハウを学ぶことができる講座を実施する。	県外・海外への販路拡大に向けた講座の開催：5回	・講座受講者：100人(20人/1講座)	(今後の展開方針) H29～33年度 講座の開催(年5回) (事業実施後の効果) 中小企業のH33年度海外輸出額(沖縄県)：805,890,000千円 (H26年度比で10倍 H26年度海外輸出額80,589,000千円)	
3	6		頑張るマチグラー支援事業	H25 ～ H33	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	商店街振興組合等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度)	中心商店街の平日歩行者通行量 107,000人		3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
								バ
3	7	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ H33	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象に経営相談、商工会議所等関連機関の情報収集・提供、教育研修セミナーの開催、事業マッチング等を実施する。	経営課題に対する各種相談及び指導:50回以上 企業ニーズや関連業界のトレンドに関する教育研修・セミナー:5回以上 事業マッチング支援:5件以上 地域の企業、学校、住民等、参加型のキャリア教育支援又はキャリアアップ支援に繋がるイベントの開催。	・入居期限の3年後の卒業に向けて課題を解決し、事業、販路、売上等の拡大を図る。 ・教育研修・セミナー参加者20名～50名 ・事業マッチングによる新規事業創出2件 ・キャリア教育等に繋がるイベント参加者100名	(今後の展開方針) 入居企業や創業期の企業を対象に、経営課題等に関する支援を継続し、2020年までに、卒業企業の市内立地数7～8社を目指す。 (60%) また育成した事業者が地域で定着することで、新たな雇用を創出し、周辺企業に波及効果をもたらすことで、地域の経済を活性化させる。	
3	8	なは産業支援センター機能強化事業(駐車場整備)	H28 ～ H30	なは産業支援センターにおいて、来訪者のための駐車スペースを確保・整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	・実施設計	実施設計書の作成完了	供用開始後1年目(H31年度)以降、駐車場が整備されたことにより利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 (今後のスケジュール) H29年度 実施設計 H30年度 建設工事・保安灯設置 H31年 4月供用開始	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標)
3	9	那覇市IT創造館基盤整備事業	H28 ～ H29	平成15年から供用開始されている那覇市IT創造館について、本市は沖縄振興特別措置法における情報通信産業振興計画で情報通信産業特別地区・情報通信産業振興地域として位置づけられていることから、さらなる企業立地促進、立地企業の高度化・多様化、人材の育成・確保を図り情報通信産業の振興に資する施設を整備する。	・空調設備工事 ・実施設計 ・修繕工事 ・工事監理 ・4階インキュベーター室増室工事 ・実施設計 ・増室工事 ・工事監理	那覇市IT創造館における空調設備及びインキュベーター室増室工事完了	「おきなわSmart Hub構想」における最終段階である第3次実施計画(アクションプラン)の期間末である平成33年度(2021年度)における情報通信関連企業の総生産額5,800億円、新規立地企業数440社、立地企業による新規雇用者42,000人の達成・実現に向け施策を展開する。	
3	10	企業立地促進事業	H28 ～ H33	雇用の創出及び企業の立地促進を図るため、市外から市内へ新規に事務所を設置した企業に助成を行う。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数:60名 ・新規企業立地社(申請者):7社	・誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやIT創造館との連携	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	11	なはし創業・就職スタートアップサロン(仮)運営事業	H24 ～ H33	創業者を支援し新たな地元産業の創出と振興と、また本市の長年の課題である雇用環境の改善を図るため、創業及び就職支援を行う相談窓口を設置する。これまで個別に実施してきた相談業務を一本化し、専門的なノウハウを持つ事業者に運営を委託し、包括的な相談体制を構築する。	・創業・就職相談実施 ・創業・就職セミナー開催	相談窓口利用者4800件 創業者15件 就職者100件	・他の創業支援相談機関との連携 ・他の就職支援機関と連携	
3	12	市内中小企業経営実態調査事業	H29	本市中小企業の実態(経営基盤、経営管理、人材・組織、経営課題等)を把握し、本市経済施策の構築、見直し等を行う。	・市内中小企業者向けアンケート調査(1万件) ・回答企業のうち、30社にヒアリング調査	・本市への事業提案 3件	アンケート調査とヒアリング調査結果の分析・まとめを行い、市内中小企業の経営実態を把握し、市内中小企業の経営基盤を強化し、経営管理や人材・組織の高度化、経営課題解決支援のために、本市が実施すべき取り組みの方向性に関して、具体的な施策や事業提案を受け、事業化を目指す。	
3	13	新商品開発支援事業	H29 ～ H33	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの製品化・事業化を図るため、新たな特産品・土産品、サービスの企画・開発を支援する。	・支援対象事業者 4社以上	新商品(またはサービス)開発数:4件以上	平成30年度の成果目標は、以下のとおりとする。 各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の件数が開発した商品等の全件数に占める割合80%以上	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
3	14	「なはし経済産業振興ニュース(仮)」発刊事業	H29 ～ H33	本市経済産業振興施策の広報強化のため、本市の経済産業行政分野の取り組みや、独自の目線・切り口で本市の経済産業の振興をPRに特化した折込記事の発刊事業を実施する。	「なはし経済産業振興ニュース(仮)」発刊 年4回	・本市経済産業施策事業の認知度向上 (本市経済産業施策事業への申請、または事業の利用者数の増(前年度比10%))	・本市経済産業振興分野全般の施策展開について、市民へ広く周知し、本市経済振興への意識付けや各施策を活用してもらうよう努める。	
3	15	国際通りトランジットモールビジョンづくり支援事業	H29	観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図り、中心商店街の賑わいを創出するため、今後のトランジットモールのあり方について、商店街や関係者によるビジョンづくりを支援する。	国際通りトランジットモールのビジョンづくりの策定支援の実施	国際通りトランジットモールのビジョン策定	策定したビジョンに基づく、改善に向けての具体的な取り組みスケジュールの実施支援。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	16	商店街アーケードビジョンづくり支援事業	H29	誰もが安全・安心・快適に買い物や散策が楽しめる魅力ある中心商店街の商環境整備のため、老朽化したアーケードのあり方について、商店街関係者によるビジョンづくりを支援する。	平和通り商店街アーケードのビジョン策定支援の実施	平和通り商店街アーケードのビジョン策定(商店街組織による基本方針の決定)	策定したビジョン・方針に基づく計画・事業の実施支援(アーケードの撤去・アーケードの建て替えなど)。	
3	17	まちなか商店街再生プロジェクト事業	H29 ~ H31	観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図り、中心商店街の賑わいを創出するため、中心商店街における課題を把握し、まちなか商店街再生のための具体的計画・事業の提案を行う。	まちなか商店街再生プロジェクトの提案	・中心商店街における現状・課題の整理 ・提案をうけたプロジェクトの実証実験	各通り毎の課題を把握し、プロジェクトの提案を継続的に実施することで、まちなか商店街の再生を図っていく。	
3	18	那覇市全域商店街基礎調査事業	H29	市内の商店街の振興を図るため、各商店街等の実態把握と課題整理を行う。	・商店街へのアンケート・ヒアリング(約50) ・店舗へのアンケート・ヒアリング(約50~100) ・関係機関へのアンケート・ヒアリング(約4か所)	調査報告書の作成完了	支援策実施後1年目(平成31年度)、設定した目標(指標)を達成した商店街の数 4件以上 (今後のスケジュール) 平成30年度 支援策の検討 平成31年度 支援策の実施	1月変更(事業追加)
4		海外と日本各地を結ぶアジアの国際物流拠点、港湾施設整備事業	H24 ~ H33					
4	1	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ~ H30	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター建築工事(物流棟躯体及び設備工事)の実施	物流棟本体主要構造部(柱・梁・床)の完成及び受変電施設の設置	【事業目標(完了予定H30)】 総合物流センターの整備(H30) 【整備後の活用見込み】 那覇港の取扱貨物量:2,840万トン(H33)	
4	2	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ~ H33	那覇港を活気に満ちロマンあふれる交流の場としての再生を目指し、観光誘客を促進するため、地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニー等を実施する。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	船会社への満足度調査の実施(満足度65%)	【今後の展開方針・事業完了後に見込まれる効果】 歓送迎セレモニーを実施し、観光客の満足度の向上を図る。	9月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
4	3	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ~ H33	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設する。(1航路)	2年目(H30) ・内買貨物の増加を図り、移出の促進を図る。 3年目(H31) ・那覇港総合物流センター供用開始等による取扱貨物量の増大、片荷輸送の改善を図る。 4年目(H32) ・更なる取扱貨物量の増大による、海上輸送コストの低減を図る。 5年目(H33) ・自立運営による定期航路の定着を図る。	9月変更(事業追加)
5		活き活き人材育成・雇用促進事業	H24 ~ H33					
5	1	活き活き人材育成支援施設整備事業	H26 ~ H31	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。	・不動産鑑定業務の実施 ・建設用地所得業務の実施 ・工作物(ブロック堀等)補償の実施	・不動産鑑定業務の完了 ・建設用地取得業務の完了 ・工作物(ブロック堀等)補償の完了	供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 人材育成のための講座参加者数 まちまーいガイド外国語習得講座等 5,200人以上 学習・交流等の活動 語学、方言、伝統芸能などのサークル団体学習活動、交流活動等 13,000人以上 (今後のスケジュール) H30年度 建設工事、磁気探査、工事監理 H31年度 建設工事、工事監理、備品整備 H32年度 供用開始	1月変更(計画変更に伴う事業内容変更)
6		なはが好き！子どもの笑顔が輝く教育のまち推進事業	H24 ~ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24～H33	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	・学習支援員の配置 (小学校全36校) 対象:小学校3年生算数を中心とした学習支援 ・学習支援ボランティアの配置 (小中学校) 対象:学校から申請のある教育活動へボランティアを派遣する。	沖縄県学力到達度調査の県との差 小学校算数(3年):1.6ポイント(H24～H28平均1.5ポイント) 中学校数学(2年):3.2ポイント(H24～H28平均3.1ポイント)	(事業実施後の効果) H33事業終了後: 全国学力・学習状況調査において小中学校の平均正答率が、全国平均以上に向上	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
6	2	英語指導員配置事業	H24～H33	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・英語指導員の配置 小学校(外国人18人、日本人20人) 中学校(外国人10人)	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 58.7%以上(前年度の実績以上)	英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合を向上させる。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
6	3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24～H33	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図り、学習環境全体を充実させ学力の向上を図る。	・特別支援教育ヘルパー配置数 小中学校:計87人 ・学校の要請により相談員の派遣: 教育相談・検査・面談等の実施	・特別支援教育ヘルパー要請に対する配置率:100% ・特別な支援を要する児童生徒の学校生活環境の充実 ・沖縄県学力到達度調査の県との差 小学校算数(3年):1.6ポイント(H24～H28平均1.5ポイント) 中学校数学(2年):3.2ポイント(H24～H28平均3.1ポイント)	(今後の展開方針) 対象となる児童生徒数や状況を見極め、適正なヘルパー配置をとおし、児童生徒の安全性の確保、教育の公平性を確保する。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
6	4	特別支援教育充実事業(幼稚園・認定こども園)	H24～H33	障がいのある幼児の自立などに向けた主体的な取り組みを支援することの視点に立ち、特別に支援を要する幼児に対し、特別支援教育ヘルパーを必要な園へ派遣し、臨床心理士による巡回相談等も活用しながら、支援体制の充実を図る。	支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する (配置目途数) 教育課程時間(午前中)47人 預かり保育時間(午後)18人 巡回指導員の派遣数: ・依頼に応じて派遣(派遣目途数) 26園×2回	・園児の安全性、教育の公平性を確保し、子どもの環境適応能力を高める。 ・配置基準の4割以上の配置ができるようにする (参考)配置基準 (1)特別児童扶養手当1級又は療育手帳Aレベル程度等:1人に対し1人配置 (2)特別児童扶養手当2級又は療育手帳Bレベル程度等:2人に対し1人配置 (3)その他支援を要する幼児 5人に対し1人配置	(今後の展開方針) 対象となる園児数や状況を見極め、適正なヘルパー配置をとおし、園児の安全性の確保、教育の公平性を確保する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
								バ
6	5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ H33	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、乳幼児健診後の発達相談、親子教室、育児教室等を開催し、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握・早期支援を行う。	・親子教室：24回実施 ・育児教室等の実施：12回 ・4～5歳児の発達相談の実施：28回 ・母子保健推進協議会 発達支援部会の開催：2回 ・庁内連携会議：1回	・保護者に対するアンケート調査にて「相談したいことが相談できた」「子どもへの対応について学ぶことができた」との回答を得られた割合をそれぞれ80%以上とする。	乳幼児健診後の精神発達面のフォローできる数の増加に向け、事業内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。	12月変更（計画変更に伴う事業内容、各目標変更）
6	6	幼稚園預かり保育推進事業	H25 ～ H30	公立幼稚園が、保育を必要とする園児の受け皿となっていることから、教育の時間終了後も預かり保育を行うことで、共働き世帯を支援するなど、幼児の安心安全の場の確保を図る。	預かり指導員配置数：26園 配置人数：臨時26人、非常勤50人	・預かり保育実施に対する保護者満足度を80%以上にする。	全幼稚園が認定こども園への移行を終了する平成30年度まで、全幼稚園で実施する。また、各園の指導員のうち1名ずつを臨時職員として午前から配置し、きめ細やかな保育を実施する。	12月変更（事業計画変更に伴う事業内容、成果目標変更）
6	7	不登校対策等支援事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒等にかかる教育相談全般（不登校、遊び・非行傾向、高校進学等）に対応し登校復帰や将来の社会的自立促進を図るため、学校外に臨床心理士や学習支援員等を配置し、個別又は少人数形式で学校内での対応が難しい児童生徒等の支援に取り組む。	臨床心理士等の配置数：9人 きら星学級支援員の配置数：9人 事務員の配置数：1人 学習支援員の配置数 ・上半期（4月～9月）：2人 ・下半期（10月～3月）：4人	不登校率の改善：小学生0.39%、中学生3.05%（H27年度実績：小学生0.41%、中学生3.35%） 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合の改善：25.0%（H27年度実績：32.4%） 高等学校進学率の向上：98.2%（H27年度実績：97.7%）	以下の通り全国平均にすることを平成33年度の目標とする。 不登校率：小学生（0.3%台後半）、中学生（2%台後半） 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合（約10%） 高校進学率（98%台後半） 沖縄県の小中学生の不登校率は全国平均より高く、遊び・非行傾向の割合は全国平均の約3倍、高校進学率は全国最下位となっている。	
6	8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興に向けて、不登校及び不登校傾向の児童生徒や保護者の相談・支援に取り組むため、学校内に教育相談支援員及び生徒サポーターを配置する。	教育相談支援員の配置率（数） ・小学校100%（36校：36人） ・中学校100%（17校：17人） 生徒サポーターの配置率（数） ・中学校100%（17校×2人）	不登校率の改善：小学生0.39%、中学生3.05%（H27年度実績：小学生0.41%、中学生3.35%） 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合の改善：25.0%（H27年度実績：32.4%）	以下の通り全国平均にすることを平成33年度の目標とする。 不登校率：小学生（0.3%台後半）、中学生（2%台後半） 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合（約10%） 沖縄県の小中学生の不登校率は全国平均より高く、遊び・非行傾向の割合は全国平均の約3倍となっている。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
H29事業内容					H29活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足説明等
6	9				青少年旗頭事業	H24 ～ H33			
6	10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ H33	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、青少年の溜まり場等の巡回指導を行う。また、全中学校区に青少年指導員を配置し、月2回の夜間街頭指導等を行う。	専任指導員の配置数:6人 青少年指導員の配置数:80人	青少年の深夜徘徊補導人数の減少:4,900人 (H27年実績:5,544人)	本市青少年の深夜徘徊補導人数は年間5,544人となっており、4,500人未満にすることを平成33年度の目標とする。 沖縄県の青少年の深夜徘徊補導人数(人口千人当たり)は全国最下位となっている。		
6	11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ H33	沖縄のスポーツ振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表する児童・生徒に対して支援を行う。	県外大会派遣児童生徒支援	申請者に対する支援の実施率100% (参考:大会等派遣児童生徒数見込(指導者含)357人/年)	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:3,600人		
6	12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ H33	学校教育における文化活動を含む部活動を通じた人材育成のため、教育活動の一環として行われる部活動等で、市・県を代表して派遣される児童・生徒に対して支援を行う。	・児童生徒の県外大会派遣支援	申請者に対する支援の実施率100% (参考:大会等派遣児童生徒数見込:400名/年)	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:5,000人		
6	13	自然体験学習事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、児童の豊かな社会性を育むため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数:小学校:28校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88.9%以上	(今後の展開方針) 自然体験活動実施児童数(累計) H33年度:31,000人	12月変更 (事業計画 変更に伴う 事業内容、 各目標変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
6	14	学校施設環境整備事業(冷房設置)	H24 ~ H29	児童・生徒の良好な学習環境を確保するため、学校施設に冷房機を設置する。今年度は、小学校9校で実施する。	小学校 9校、15教室(普通教室10室、特別教室5室)に冷房機を整備する。	前年度に事業を実施した児童・生徒や先生を対象としたアンケート調査を実施し、その結果「授業の学習環境が良好になった」と回答した者の割合80%以上 なお、本年度に実施する事業については、本年度は施設整備中であり、平成30年度に実施する。	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 児童・生徒や先生を対象としたアンケート調査を実施し、その結果「授業の学習環境が良好になった」と回答した者の割合が80%以上	12月変更(事業計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
6	15	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ~ H33	校舎外壁面の塩害を防止し、長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。今年度は、小学校1校での塗装等を実施する。	校舎等外壁の塗装:小学校1校 実施設計:小学校1校、中学校2校	・教育委員会による点検を実施する。 外壁等の剥離件数:0件 外壁の亀裂等件数:0件	平成30年度以降の目標は以下のとおりとする。 教育委員会による点検及び学校長による日常点検 外壁等の剥離件数:0件 外壁の亀裂等件数:0件 (今後のスケジュール) 平成30年度:小学校1校、中学校2校 平成31年度~33年度 :小学校各1校、中学校各1校	12月変更(事業内容変更に伴う事業内容、各目標変更)
6	16	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ~ H33	学力調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。	・全国での位置づけが判る学力調査の実施により、対象学年の学力や学習の実態・課題を把握 ・把握した実態・課題に基づき、指導法を例示した結果概要の作成	・結果概要の各校への配布完了 ・結果概要を活用し、各校において課題克服へ向けた取組に着手	平成30年度までに那覇市内36全小学校が全国平均を超えることを目指し、定着を確認するため平成33年度まで毎年実施予定。	
6	17	なほ若者人材育成支援事業	H27 ~ H33	市民協働のまちづくりの推進に向けて、地域と若者のつながりを強化し、連帯感・満足感・達成感をもたらすことを目的に、青少年育成団体及び地域自主開催の成人式実行委員会の活動を支援する。	・青少年団体の開催事業の支援:5回 ・地域自主開催の成人式実行委員会の支援。 ・説明会・シンポジウム・成人式アワードの開催:4回、参加述べ人数200人。	・成人式アワードに参加した者におけるアンケート評価で「満足した」「よかった」の回答の割合:7割 ・地域自主開催の成人式への功績等が認められる青少年の表彰:17団体	(今後の展開方針) 青少年育成団体事業の支援、成人式実行委員会の支援、成人式開催の功労者の表彰を毎年継続し、地域と若者の連帯感・満足感・達成感をもたらす。 (事業実施後の効果) ・地域と若者の結びつきやつながりを強め、若者らに地域愛着の心や感謝の気持ちを芽生えさせ、協働の街づくりへの意識を高める。 ・地域貢献の重要性と、社会の一員としての自覚を再認識させるとともに、後輩への手本や道しるべとし、将来の沖縄を担う青少年の人材育成につながる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	18		幼稚園情操教育充実事業	H28 ～ H30	公立幼稚園・認定こども園にシルバー世代の方を派遣し、幼稚園開園時間前を利用し園児と共同で美化活動等を行わせることで、園児の感性と情緒の発達を支援するとともに、共働き世代等の就労支援、高齢者の生きがい創出を図る。	市内の市立幼稚園等全園へ、情操教育支援員を派遣実施	・市内市立幼稚園等全園における早朝登園児の安全体制の確保 ・情操教育支援員との協働により、美化作業を通し園児の感性発達を促進	認定こども園移行完了(H30年度予定)まで継続する。	
6	19		電子黒板整備事業	H29	市立小学校第5学年全普通教室へ電子黒板を整備し、教員により効果的・効率的な板書や資料提示ができることにより、わかりやすい授業環境を整える。	・電子黒板の整備 小学校5学年普通教室 95台(32校)	5学年普通教室への電子黒板整備率を100%とする。	平成30年度以降の目標は以下のとおりとする。 児童へのアンケート実施 「授業がわかりやすくなった」と回答する割合 80%以上 教師へのアンケート実施 電子黒板を導入した学年の教師を対象としたアンケート「電子黒板の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができた」割合 80%以上	12月変更(事業追加)
7			伝統文化と新たな文化創造の発信都市へ！文化のまち推進事業	H24 ～ H33					
7	1		文化芸術ふれあい事業	H24 ～ H33	沖縄の伝統芸能文化や優れた芸術作品にふれる機会の確保を図るため、「地域文化芸能公演」や「那覇市収蔵品展」等を行う。	地域文化芸能公演を1回開催 那覇市収蔵品展示会を1回開催	地域文化芸能公演への来場者数 690人以上 収蔵品展示会への来場者数 570人以上		3月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
7	2		市民文化育成発信事業	H24 ～ H33	伝統文化の継承発展と市民文化活動の活性化を図るため、うちなーぐち講座を実施し、その成果を舞台公演で発表する事業と、市民参加・創造型のなは市民芸術展を開催する。	なは市民芸術展を1回開催 うちなーぐち講座・成果公演を1回開催	出展者、来場者双方に対し、作品鑑賞後アンケートを実施し、回答における平均満足度75%以上を目標とする。 講座受講生に対し、受講後アンケートを実施し、回答における平均満足度75%以上を目標とする。	平成29年度から平成33年度まで、アンケートによる平均満足度75%以上を維持する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	3		市民文化支援事業	H24 ～ H33	地域の伝統文化の保存・継承・普及に向けて担い手を育成するため、地域の伝統文化活動を支援する。	「伝統芸能文化の継承発展補助金」事業を実施し、継承活動支援のため公募及び審査により、6団体以上へ補助金を交付する。	本補助金交付団体に対しアンケートを実施し、継承活動における本補助金の平均満足度75%以上を目標とする。	平成29年度から平成33年度まで、アンケートによる平均満足度75%以上を維持する。	
7	4		伝統文化継承種まき事業	H24 ～ H33	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣して伝統文化の継承に取り組む。	公立保育所への伝統文化を学習及び体験のための講師派遣：7ヶ所（各市立保育所が存立する地域の伝統文化に精通する講師を保育所に派遣）	・学習および体験のための講座の実施：計168回 ・市内公立保育所における伝統文化に触れ合うことのできる環境の整備実施 (参考：伝統文化に触れ合う園児数見込：504人)	(今後の取り組み) H30～H33年度市内公立保育所7カ所へ専門講師を派遣 (事業実施後の効果) 市内保育所全てで幼児期から伝統文化に触れ合うことのできる環境の整備	
7	5		子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	・「子どもフェスタinなは」を開催し、子供達の活動発表の場を創出	子どもフェスタ参加児童生徒数：730人	(今後の取組) 参加児童生徒数730人規模の毎年度開催を維持しつつ、参加団体間の情報交換、連携の強化につながる、満足度の高いフェスタ運営を目指す。 (事業実施後の効果) ・児童生徒が伝統文化に触れることで、伝統芸能・文化等の継承・発展につながる。 ・児童生徒の活動発表の場を創出することで、達成感と自信を持てるようになる。	
7	6		郷土資料整備事業	H24 ～ H33	伝統文化の継承・発展に向けて、市民への郷土に関する情報を提供し、地元への関心を高めるため、郷土資料を購入する。	郷土関係資料の購入：685点	・H29年度の郷土関係資料の貸出：14,000点 ・H29年度の購入の実施による郷土関係資料の収集進捗率：7.2% (685点/9,500点) (参考値) H24～H27までの購入点数 4,915点 51.7% H28年度中の購入目標 6,015点 63.3% H33年度までに郷土関係資料を延べ9,500点購入	(今後の展開方針) 郷土関係資料の購入 H30年度 700点購入 H31年度 700点購入 H32年度 700点購入 H33年度 700点購入 (事業実施後の効果) 購入整備した資料を市民へ提供して地元への関心を高めることにより文化の継承・発展につなげる。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	7	鳥クトゥバ継承・普及小冊子製作事業	H24～H33	伝統文化の継承発展に向けて、鳥クトゥバを次世代へと繋げるため、鳥クトゥバ小冊子を製作、小中学校に配布して学校での積極的な活用を推進する。	・しまくとぅば普及小冊子配布数：約5,900冊 ・活用状況調査実施	小冊子活用状況調査における小学校活用率(日常的な活動を通して)：85%	(H33事業終了後)小冊子活用状況調査において、日常的な活動を通しての活用率が向上する。	
7	8	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24～H32	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。	管理運営実施計画策定業務委託 一式 用地補償物件調査算定業務 一式 施設本体実施設計業務委託 一式 校舎解体工事監理業務委託 一式 土質調査業務委託 一式 校舎解体工事 一式	・施設本体実施設計完了 ・校舎解体工事完了 ・施設開館に向けた管理運営実施計画策定完了 ・用地補償物件調査算定業務完了	供用開始後1年目(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 ・年間利用者数 延べ20万人 (整備スケジュール) 平成30年度～平成32年度 用地取得 整備工事実施：完了 平成33年度 供用開始	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
7	9	御細工所跡緊急発掘調査事業	H27～H30	王府時代の施設であった御細工所跡を歴史的観光資源として活用するため、発掘調査による遺跡の全容解明に向けた資料の分析・整理・記録化を行って、調査報告書や図録・モニュメントを作成する。またその間、周知に向けた展示会や報告会などを併せて開催する。本年度は主に出土遺物を分析、実測や写真図版や観察記録を作成。資料整理の成果の報告会ないしは展示会を実施する。	・出土遺物の数量や種類の把握および選抜による実測図化、写真データなどによる記録化の実施 ・概要報告書の作成 ・展示会(または報告会)の準備・開催	・調査報告書および図録の原稿【部分】作成をとあして遺跡の実態把握 ・概要報告書や展示会開催等による遺跡の周知	・H28年度から実施している資料整理での成果と併せて、遺跡の全容について詳述した調査報告書の案を作成する。 ・H30年度に調査報告書を刊行する。 ・現地にモニュメントを設置する。	
7	10	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	H24～H29	幅広い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動等の場を提供するため、パレット市民劇場において、施設整備と機能強化を図る。	・舞台照明設備デジタル化工事実施 ・舞台音響システム強化工事実施 ・監視カメラシステム強化工事実施	・舞台照明設備デジタル化工事完了 ・舞台音響システム強化工事完了 ・監視カメラシステム強化工事完了	供用開始後1年目(平成30年度)の目標として年間利用者数62,900人以上とする。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
7	11	なは青年祭事業	H29～H33	市民の青年団体活動に対する理解を深め、青年団体間の連携を促し青少年の健全育成を図るため、市内の青年団体が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」を開催する。	・「なは青年祭」を開催、青年団体の活動発表の場を創出	なは青年祭の出演団体数：13団体	(今後の展開方針) 「なは青年祭」を毎年度開催し、青年団体相互の交流を図る。 (事業実施後の効果) ・青年団体が継承・発展に努めている伝統芸能の素晴らしさを広く知ってもらい機会や環境づくりにつながる。 ・青年団体間での連携強化を図り、地域に貢献する若者の健全育成を図る。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		ちゅい助き助き沖縄のチムグクル福祉のまちづくり事業	H24 ～ H33					
8	1	認可外保育施設の環境整備事業	H24 ～ H33	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	改修施設数 3施設 衛生消毒及び防虫駆除実施施設数 約64施設	改修実施施設 3施設 保育環境の衛生管理の実施 64施設	(平成30年度)保育従事者や保護者等に対するアンケート調査を実施し、施設の改修等により保育環境が向上したか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	3月変更(計画変更に伴う事業内容及び各目標変更)
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ H33	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、公共施設以外の民間賃貸物件を賃借して活動している放課後児童クラブに対して、賃借料補助をおこなう。	民間賃貸物件を賃借して活動している放課後児童クラブに対し、賃借料補助を行う。 ・対象放課後児童クラブ数:45クラブ	対象45クラブ、受入児童数約2,000名(H28年度比70人増) 公的施設で活動している児童クラブとの格差は正により児童の受入を増加させることにより、保護者の負担軽減を図る。	共働き世帯が多く、出生率も高いことから、放課後児童クラブの利用ニーズが高いため、家賃負担が生じている放課後児童クラブへ賃借料補助を行うことで保護者負担を軽減し、子育て支援及び就労支援につなげる。	
8	3	ナノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ H29	市内の保育施設の効果的・効率的な利用に向けて、保育施設情報総合サイトによる情報発信を行うとともに、保育施設情報相談員を配置する。	・保育施設情報相談員(1名)を設置しての相談対応 ・保育施設情報総合サイト「ナノホイク」を活用した相談対応	・保育施設情報相談の実施(目標:年間700件)	H30年以降は、利用者支援機能と統合して運用することも検討したい。	
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ H33	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	研修実施 約80施設 配付絵本数 1施設あたり平均20冊	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 80%以上		3月変更(計画変更に伴う事業内容及び各目標変更)
8	5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ H33	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等さまざまな人を支援するため、総合相談窓口を設置する。	那覇市社会福祉協議会へ総合相談窓口設置に向けた支援の実施	相談者への支援へ繋げる体制の強化	今後とも困っている人が気軽に相談でき、早期に支援を受けられるよう、相談窓口の体制を維持していく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8	6	ボランティア振興事業	H27 ～ H33	高齢化社会に備え、ボランティアの活性化を図り、インフォーマルな支援の担い手を養成する。	那覇市社会福祉協議会へボランティア支援員配置	ボランティアのコーディネート件数:200件	ボランティアのコーディネート件数を年々増やし、小さな生活課題がボランティアで解決できるようなボランティア風土の醸成した社会を目指していく。	
8	7	発達障がい者サポート事業	H27 ～ H33	発達障がい者の円滑な社会生活の推進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係機関と連携し、発達障がい者本人及びその家族へ支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援:1250回実施 ペアトレーニング:85回実施 ティーチャーズトレーニング:25回実施 就労及び本人への支援活動:941人 発達障がいに対する啓発目的の研修:10回実施 保護者支援:120人 本人支援の居場所の提供:260回実施 	発達障がい者が適切な人間関係を構築し、円滑な社会参加を推進するために、発達障がい者・家族・支援者のストレスの軽減を目指す。 次の各支援方法において、当初と終了時にストレスに関する調査を実施し、その評価を考察 ・相談支援:利用者のストレスが減少 ・講座:利用者のストレスが減少 ・ティーチャーズトレーニング:参加者の合計点数が平均2のポイントの向上 ・ペアトレーニング:参加者の合計点数が平均2ポイントの向上	<ul style="list-style-type: none"> ペアトレーニング及びティ-チャーズトレーニングを継続実施し、ニーズに併せて内容を改善し、支援者のスキルアップを図る。 ティ-チャーズトレーニング参加者目標 H33年度 60人/年 参考 H28年度 42人/年 広く市民向けに発達障がいに関する啓発活動を実施し、発達障がいの理解や凸凹のある方の支援方法を共有していく。 	
9		万国津梁、世界に広がるウチナンチュネットワークの拡充事業	H24 ～ H33					
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ H33	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会から推薦された2世・3世らを研修生として受け入れ、民間企業等での研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 海外の那覇市民会から研修生の受入:2名 沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 研修生による報告書の作成及び本市での研修報告の実施 研修生による帰国後の研修報告の実施 	(今後の取組み) H33年度まで 計20名の研修生受入 (事業実施後の効果) 現地市民会・県人会活動において、中心的役割を担い、今後の交流関係の拡充に寄与する人材となる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9	2		那覇長崎平和交流事業	H25 ～ H33	平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣する。	「青少年ピースフォーラム」への平和学習派遣の実施:8名	「青少年ピースフォーラム」への参加を通して、平和に対する意識が高まった学生:8名	(今後の取組み) ・「青少年ピースフォーラム」への平和学習派遣生徒数(累計) H25～33年度:計72名 ・長崎市の中学生との平和学習参加生徒数(累計) H25年度、H28～33年度:計263名(事業実施後の効果) 沖縄戦の実相や平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材の育成を図る。	
10			未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ～ H33	那覇軍港返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、計画策定のための条件、課題等を整理するとともに、地権者等との合意形成を図る。	・那覇軍港跡地利用計画案(計画条件)の整理 ・次世代の会の活動実施:12回(会として発信する内容の検討、他組織との意見交換) ・次世代の会と他駐留軍用地地主会組織との意見交換会の実施:2回 ・情報誌の発行:2回(発行部数3000部)	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合80%以上	(計画策定スケジュール) H29 計画条件の整理 H30 中南部エリアにおける那覇エリアの位置づけ整理 H31 那覇軍港周辺エリアのまちづくり構想の検討 H32 那覇軍港跡地の開発計画の検討 H33 那覇軍港跡地の開発計画の検討	1月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
11			環境共生都市の構築推進事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11	1		水資源有効利用推進事業	H24 ～ H33	沖縄の豊かな自然環境を保全するとともに、都市化の進展に伴う雨水流出量による浸水被害の軽減・流量抑制のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置又は修繕などに対して支援を行う。	雨水施設等設置費補助件数:20件	水資源の有効利用による使用水量の軽減、都市域の浸水被害軽減や流量抑制への寄与	(今後の展開方針) H29～33年度 ・施設設置補助の実施:20件/年 ・関係機関、市広報誌における広報を行い、設置促進に向けた周知活動を実施 (事業実施後の効果) 水使用量の減により新規ダム建設の抑制が図られることによる北部地域の豊かな自然の保全や、都市化に伴う雨水流量抑制・浸水被害の軽減や地下水の涵養などの効果が期待される。	
11	2		ハブ・衛生害虫等対策事業	H27 ～ H33	ハブ咬症防止の啓発・ハブの捕獲・捕獲器の貸出し等のハブ対策及びネズミ・ゴキブリ・蚊など衛生動物、衛生害虫の防除並びに感染症に関する消毒業務を実施し、観光客をはじめ市民の安心、安全と衛生的な環境の確保を図る。	捕獲器の設置数:150基 ハブに関するパネル展等の開催:4回 衛生害虫重点薬剤散布箇所の調査・散布:27箇所、各箇所2回	ハブの捕獲数:70匹 パネル展来場者数:計1,600人 安全と衛生的な環境の確保に向けて市内の散布が必要な箇所への散布:27箇所、散布回数54回	(今後の取組) H29～H33 捕獲器の設置数:150基/年 ハブに関するパネル展等の開催:4回/年 衛生害虫重点薬剤散布箇所の調査・散布:27箇所、各箇所2回 (事業実施による効果) 観光客をはじめ市民の安心、安全と衛生的な環境の確保を図る。	
11	3		ハイブリッド塵芥収集車等導入事業	H28～ H29	低炭素・資源循環型社会への転換、環境共生都市を目指し、那覇市環境基本計画及び那覇市総合計画のエコカー導入の取組の推進を図るため、環境に配慮したハイブリッド車を導入することにより、温室効果ガス(CO2)の排出量を削減する。	・2t級パワーゲート付き深ダンプ車架装部分の製作 ・2t塵芥車(パッカー車)購入:2台	・ハイブリッド車導入によるCO2排出の削減 約64.7kg	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・ハイブリッド車導入によるCO2排出の削減 約402.2kg(3台合計) 低炭素・資源循環型社会への転換等を目指した取組を推進するとともに、環境意識の啓発を図る。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
12			安心安全な防災都市の構築推進事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
バ	細							
12	1	救命講座普及啓発推進事業	H24～H33	観光都市としての魅力向上に向けて、観光客の受け入れ体制の強化を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・定期救命講習会の実施:27回(普通救命講習/12回 普通救命講習/8回 上級救命講習/3回 普及員講習/4回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	・応急手当講習受講者数:6,000人以上を目指す。(H28年度実績6,134人) 各応急手当講習会の目標値は以下のとおり。 入門コース850人 普通救命講習 1,500人 普通救命講習 280人 上級救命講習100人 応急手当普及員講習120人 その他 3,150人	・(今後の取組)H29～33年度 ・定期救命講習会実施:27回/年 ・出前救命講習会実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	
12	2	災害時応急給水体制強化事業	H28～H30	沖縄県が島嶼県である地理的特殊性により、災害時における全国からの応急給水の支援体制が困難な状況においても、応急給水体制を強化することを目的に、地域防災計画において位置付けられた、市民への水道水の応急給水活動に必要な車輛積載型加圧式給水タンクを購入する。	・車輛積載型加圧式給水タンク(1,650ℓ)2基購入	災害発生時における応急給水の目標値の向上 ・車輛積載型加圧式給水タンク:[33,000ℓ/日] 1,650ℓ×2基×10回/日=33,000ℓ/日	(今後の取組み) H30に車輛積載型加圧式給水タンクを2基購入。 (事業実施後の効果) 災害時における市民への水道水の応急給水活動のため、本市の危機管理計画に基づき訓練を実施し、応急給水体制の強化を図る。	
12	3	那覇市体育施設AED整備事業	H29	不特定多数の利用者が訪れる体育施設にAEDを整備し、緊急時における利用者の即時応急体制を確保する。	AED整備:那覇市体育施設 3施設5台	・今回整備した3施設において、救急救命(AED)講習を実施する中で職員及び施設利用者にアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合80%以上	(今後の展開方針) 毎年度、職員及び施設利用者に対し救急救命(AED)講習を実施し、即時応急対応の確保を図る。	1月変更(事業追加)
13		いい暮らしより楽しい暮らし、更なる沖縄の飛躍促進事業	H24～H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
13	1	地下壕対策事業	H24 ～ H33	沖縄戦時に使用され、その後の長い米軍統治を経て、現在也未対策のまま放置されている地下壕に起因する陥没・落盤等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等の対策を行う。	・地下壕対策工事(1箇所)の着手 ・次年度以降地下壕対策予定箇所(2箇所)の実施設計の着手	・地下壕対策工事(1箇所)完了 ・次年度以降地下壕対策予定箇所(2箇所)の実施設計完了	(今後の展開方針) 危険な地下壕について順次、埋戻等を行っていく。 (今後のスケジュール) ・平成30～32年度 ・地下壕対策工事(前年度設計分) ・実施設計(次年度対策箇所分) ・平成33年度 ・地下壕対策工事(前年度設計分)	
13	2	戦略的交通まちづくり推進事業	H24 ～ H33	沖縄県は、大正初期に敷設された鉄道が戦災によって消失して以来、沖縄都市モノレールが開業するまでの間、鉄道・軌道システムによる公共交通がなく自動車に依存した社会を構築したため、慢性的な交通渋滞が発生している。平成15年に沖縄都市モノレールが開業し、乗客数も順調に増加しているものの、観光客の増加によるレンタカーの増大や市民の自動車保有率の増加など、自動車に依存した社会から脱却できず、周辺市町村から交通が集中する本市においては、ピーク時の平均旅行速度が全国最下位となるなど、重大な社会問題となっている。このような沖縄特有の歴史的背景・要因を踏まえ、観光都市に相応しい安心安全な市内交通環境ネットワーク再構築に向けたLRT導入可能性調査を行う。	・LRT導入可能性検討業務の委託発注	・前年度整理したLRT等の新たな公共交通の導入可能性が高い公共交通軸について、個別の課題等について検討を行い、対策等について整理を行う。	(今後の展開方針) LRTの導入に向けて、可能性を評価する。	
13	3	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ～ H30	長期未着手の都市計画道路について、貴重な文化財等の歴史的的魅力等を踏まえつつ、戦後無秩序に市街化が進む中で基盤整備が遅れたことにより生じた都市防災上等の課題を改善することで、安心・安全な都市として整備を進め、観光客や地域住民の利便性および回遊性の向上に取り組んでいく。	まちづくり基礎調査業務の委託発注 大中町細部街路(19路線) 地域懇談会10回	都市計画道路の変更図書(案)の策定に向けた地域懇談会開催(大中町細部街路)	(今後のスケジュール) 平成29年度:地域との合意形成 平成30年度:都市計画決定に向けた予備設計を実施。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
13	4	アメリカ統治下議会議事録電子化事業	H25 ～ H29	祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録：議事録(1948年、1952年～1954年まで)を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。	議事録電子化の実施 対象議事録：8,000ページ	電子化した議事録をホームページで公開する。 ホームページ(電子書籍ページ)の閲覧者数 年間：500人	(今後の展開方針) 平成29年度にて事業完了 (事業実施後の効果) 本土とは異なる政治形態下における議会の記録の提供	
13	5	亜熱帯庭園都市形成推進調査事業(市街地再生)	H29 ～ H30	沖縄の抱える様々な特殊事情(戦災復興されず生じたまちづくりの課題)のために、都市機能の更新が進まない中心市街地及びその周辺区域について、中心市街地の活性化に資する、地域に即したまちづくりを進めるための調査・検討を行う。	久茂地地区周辺の基礎調査、住民等のまちづくり意向調査	・地区住民のまちづくりに対する意向を把握する ・地区の課題を把握する	(今後の展開方針) 本基礎調査結果をもとに、新たなまちづくりと連動させた地区の整備を推進することにより、土地利用の増進及び建物の更新を促し、防災性の向上に寄与する。	
14		元気いきいき「ちゃーがんじゅう」長寿沖縄の健康づくり事業	H25 ～ H33					

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
14	1	職場が主体的に取り組む健康づくり実践支援事業	H25 ～ H30	働き盛り世代の「早世予防」に向けて、職場における健康づくりの取り組みを推進するため、事業所の主体的取り組みに対し助成金を交付し支援を行う。支援事業所の取り組みの結果について、他の事業所(支援対象外の事業所)へも職場における健康づくりのモデルとなるよう支援した取り組みの評価・検証を行う。	・公募、審査の実施 ・支援件数:10事業所 ・支援事業所への進捗状況確認 ・相談支援:10事業所×4回/年 ・補助事業所の健康状況を評価・検証 ・報告会の開催1回	・事業所からの健康づくりの企画・応募:10団体 ・実践支援事業所の健康づくり評価指標の向上 ・支援した事業所の健診結果の改善(有所見率、BMI、等)	・H30年度:補助事業所10事業所の支援。 事業総括、取り組み事例を整理し、成功モデルとして、他の事業所の参考となるよう紹介していく。	
14	2	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ H33	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5回	健康ウォーキング大会 参加者 5,000人 満足度 90%(参加者アンケート) ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合80% (受講者アンケート)	(今後の取組) 平成30年度～33年度 健康ウォーキング大会の開催 「健康フェア」の同時開催 開催数:1回/年 大会参加者:45,000人 (H26～33年度累計) ウォーキング講座の開催 開催数:5講座(20回)/年 講座参加者:5,000人 (H26～33年度累計) (事業実施後の効果) 当該事業を通して、日頃から歩くことを習慣化することで、市民一人ひとりの健康意識が高まり、生涯スポーツのまちづくりの推進に繋がる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
14	3	生活習慣病重症化予防モデル事業	H26～H30	長寿県沖縄復活に向けて、心疾患や糖尿病等の合併症・重症化を防ぐため、要医療者や治療コントロール不良等の者へかかりつけ医等と連携した保健指導を実施する。	対象者への保健指導率80% (3,000人中2,400人) H28年度に実施した保健指導実施の有無別医療費削減効果等の分析結果を市広報誌等で市民に公表し、保健指導の活用を促す	未治療者の受療率40%(383人中153人) 人工透析新規導入者が前年度より増えない(62人以下)(国保加入者の新規透析導入者データH24年69人、H25年89人、H26年80人、H27年62人) 要医療者の翌年改善率50%(439人中220人) 定期健診受診者リピーター率63%	<今後の取組> 高血圧・高血糖等の者への保健指導 :2,400人 (H26～H30年度累計:延12,000人) <事業実施後の効果> 糖尿病性腎症等の栄養指導及び保健指導を更に強化して、新規透析導入者を抑制:国保新規導入者数62人以下 (国保新規透析導入者数H25年89人、H26年80人、H27年62人)	
14	4	歯とお口の健康普及啓発推進事業	H27～H33	歯科保健に対する正しい知識やむし歯や歯周病が全身に及ぼす影響、口腔機能の低下によりもたらす誤嚥性肺炎の防止等を市民に対して普及啓発と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図るため、デンタルフェアの開催を支援する。	・デンタルフェア開催支援 5会場で開催 (本庁、首里、小禄、真和志南、真和志北)	・来場者数前年度比5%増 (平成28年度2,500人、平成29年度2,625人)	(今後の取組) H29～H33年度 デンタルフェアの開催支援 (事業実施後の効果) 市民に向けて、歯科保健に係る知識や歯科疾患の身体に及ぼす影響等についての普及啓発を図る	
14	5	健康長寿いまーるモデル事業	H28～H30	早世予防と平均寿命(健康寿命)の延伸に向けて、生活習慣病のリスクの高い青壮年期の健康意識の向上と行動変容へつなげるため、職場、各種学校、地域と連携した市民総がかりによる健康づくりに取り組む。	・「健康づくり市民会議」に参加する職場・地域・大学・専門学校が取り組む健康づくり実践への支援事業実施 ・健康づくり市民会議の開催:2回 ・ホームページ等を活用した広報の実施 ・健康づくりポイント制度実施検討	・「健康づくり市民会議」参加団体(地域・大学・専門学校を含む)について、毎年2団体以上の増加を目指す。 ・健康づくりに取り組む中小事業所(各職場):20箇所 ・健康づくりのホームページの充実・強化 ・市民向けのキャッチコピーを活用した生活習慣改善に向けた行動変容を促す啓発活動の実施 ・「健康づくり市民会議」及び参加団体における啓発・活動内容に係る報告書作成 ・健康づくりポイント制度の実施	(今後の展開方針) H29～H30年度 ・健康づくりの気運が参加団体の口コミにより市民へ拡大 (H29年度市民会議参加団体:35団体、H30年度:37団体へ増加) ・SNS・ツイッター・YouTubeを活用した健康づくりの広報の実施 (事業実施後の効果) 市民の健康に対する意識の啓発に向けた、健康づくりを実践しやすい環境づくりの推進	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
H29事業内容					H29活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足 説明等
1	道路景観整備事業				H24 ～ H30	はごろも祭りやプロ野球キャンプ、コンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立野球場や屋外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として整備することで、宜野湾市の観光振興に寄与する。			
	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	はごろも祭り・カチャーシー大会への支援	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:145,000人 (基準値:H27年度 140,000人)	(今後の展開方針等) 同大会を継続して開催することにより、市民意識の高揚と親睦を深め、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。 はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 目標値(H30年):148,000人			
	企画展開催事業	H24～ H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展を開催:2本	企画展1回あたりの平均入館者数1,850人以上	(今後の展開方針等) 年間2本開催			
	宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ H33	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりへの支援	宜野湾市産業まつり来場者数 H29年 26,000人 (参考H27 26,000人 H28年 18,000人)	(今後の展開方針等) 来場者数の増加に向け、まつりの開催時期、内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。			

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ H33	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財等の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置件数:1件 文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板:1件 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財標識・説明板設置完了:1件 地域文化財案内板設置完了:1件	(今後の展開方針等) 地域・市民の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められることにより、文化財を活かした「地域学習」や「地域づくり」に反映され、地域に愛着と誇りを育む「地域アイデンティティ創出の糸口」となる。 H30 文化財標識・説明板設置...2基 地域文化財案内板...1基 H31 文化財標識・説明板設置...3基 地域文化財案内板...2基 H32 文化財標識・説明板設置...2基 地域文化財案内板...1基 H33 文化財標識・説明板設置...12基	9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
	琉球海炎祭支援事業	H25 ～ H33	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大会であり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭への支援	琉球海炎祭有料エリア来場客数:11,500人 有料観覧エリア県外客数:4,500人 (基準値:H27年度: 琉球海炎祭有料エリア来場客数:11,386人 有料観覧エリア県外客数:4,081人)	(今後の展開方針等) イベント開催を支援することにより、観光・コンベンション機能の充実を図り、認知度向上のため、PRを継続して行う。 琉球海炎祭有料エリア来場客数 目標値(平成30年)12,000人	
	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ H33	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	植樹する花の苗 (10,000鉢)	プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H29年度):25,500人 基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針等) キャンプ見学者数増加に向け、当該イベントを継続して開催し、情報発信強化を図る。 プロ野球キャンプ見学者数 目標 H33年度 27,000人	
	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ H33	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	イベント来場者数:ビーチ内7,000人 (基準値:H28年度6,511人)	(今後の展開方針等) 当該イベント来場者数増加に向け、企画内容を充実させ、西海岸地域における新たな観光スポットとして定着を図る。 イベント来場者数 目標値(H30年):7,500人	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
H29事業内容					H29活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足 説明等
2	スクールソーシャルワーカー活用事業				H24 ～ H33	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。			
	適応指導教室事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室在籍児童生徒数:4名	適応指導教室への通級日数 目標:出席すべき日数の80%以上	(今後の展開方針等) 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。			
	児童生徒相談事業	H24 ～ H33	市内の幼児、児童生徒(18歳未満)及び保護者等の悩みや教育上の問題について、青少年教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	青少年教育相談指導員配置:3名(第二相談室) 臨床心理士配置:2名(第二相談室)	学校復帰人数6人	(今後の展開方針等) 心因性による不登校児童生徒の相談支援、登校支援を行うなかで登校に向けての自立心の養成を促す。			
	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ H33	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して青少年の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	深夜はいかいかいする児童・生徒の指導 件数:400件	公園・遊戯施設の他に学校及び周辺の巡回強化を図る。	(今後の展開方針等) 夜間のはいかい箇所集約に努め巡回箇所の見直しを図り、児童生徒の犯罪や事故等の未然防止と抑止に繋げる。			
	学習支援員活用事業	H24 ～ H33	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員の配置:13校13人 小学校9人・中学校4人	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語: +2.2ポイント以上 算数: +3.0ポイント以上 ・中学校 数学: -1.5ポイント以上	(今後の展開方針) 児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上につなげる。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)		
	派遣費補助金交付事業	H24 ～ H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を支援する。	県外派遣された団体への支援を実施 支援団体数:15団体 (文化活動団体数:5団体、スポーツ活動団体数:10団体)	児童生徒の文化活動およびスポーツ活動において、県外派遣補助金を交付することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	(今後の展開方針等) H30～H33の支援団体見込数は、概ね60団体 各年度:15団体			

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
H29事業内容					H29活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足 説明等
			スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を支援する。	県外派遣された団体への支援を実施する。	県外派遣補助金を交付することによって、保護者の経済的負担軽減、児童生徒の健全育成を図る。	(今後の展開方針等) スポーツ活動による児童生徒の健全育成を図り、H33年度まで支援を継続する。	
			特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ H33	宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園・15人、小学校45人、中学校20人)	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 引き続き特別支援教育支援員を派遣し、対象となる幼児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
3			文化財保存整備事業	H24 ～ H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	指定文化財 大謝名メヌカー 土質調査・地山・擁壁安定性調査・実施設計の実施 野嵩クシヌカー 測量・基本設計の実施	大謝名メヌカー 土質調査・地山・擁壁安定性調査・実施設計の完了 野嵩クシヌカー 測量・基本設計の完了	(今後の展開方針) 野嵩クシヌカーについては、H29年度の基本設計を踏まえ、H30年度に、実施設計を行う。 市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、観光振興・文化教育につなげる。 H30 野嵩クシヌカー保存整備実施設計、小祿墓 石彫香炉、石獅子の復元、3D計測及び複製の製作 H31 大謝名メヌカー保存整備監理・工事 本部御殿墓保存整備基本設計 H32 野嵩クシヌカー保存整備監理・工事 本部御殿墓保存整備実施設計 H33 本部御殿墓保存整備監理・工事 小祿墓墓室内調査	9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
H29事業内容					H29活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足 説明等
			歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の整理、保存及び、検索システムへの登録を行う。	・歴史的価値を有する公文書等の整理:250冊	・歴史的価値を有する公文書等の整理完了:250冊	30年度中の公開にむけ、整理と活用の併用。	
4			平和市民啓発事業	H24 ～ H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名(中学生)を派遣する。 沖縄戦から70年余が経過する中で、平和祈念事業を実施し、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	・長崎への平和学習へ市内中学生8名を派遣 ・「ピースフォーラムぎのわん」市内中学校」と市民向けに平和祈念事業を実施	平和学習派遣生徒数:8人 平和祈念事業対象者数:1,200人	(今後の展開方針) H24～H33年度 平和学習派遣各年度8人 累計80人 次代を担う若い世代への啓発を重視し、市内4中学校(250人×4校)の生徒と市民向けに平和啓発事業を実施。合計1,200人	
			小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ H33	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	・小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 81%以上 ・小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.6ポイント以上	(今後の展開方針) 引き続きALT及びJTEを派遣し、児童の学力(英語)の向上を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
			外国人教師招致事業	H24 ～ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1人配置)	中学校英語検定受験率 3級以上の受験率を60% 5級合格率86%	(今後の展開方針) H24～H32年度 3級以上の受験率を60% 5級合格率90%	
			学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ H33	ICTを活用した視覚にうったえる分かりやすい授業の展開や児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ICT活用支援員を派遣し、ICT(教育用PC、電子黒板及びプロジェクター、デジタル教材など)を授業で活用できるよう支援を行う。	IT活用主任囑託員1名、補助員1名配置 情報夏期講習会 8回 情報教育研究会検証授業 13回	教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる率を80%以上を目標とする。 ・ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた生徒の割合を80%以上を目標とする。	(今後の展開方針等) 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる率を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			市民防災事業	H27 ～ H33	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧及び飲料水の備蓄や自主防災組織の強化、観光客等向けの津波避難誘導表示板の設置を行い、適切な被災者支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧(5,500食)、保存水(552L)を備蓄する。 ・津波避難誘導表示板設置基礎調査業務委託行う。 ・市が認定した自主防災組織への資機材整備の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存食及び保存水の備蓄 ・H29年度備蓄食糧 備蓄率58% ・H29年度保存水 備蓄率17% <p>津波避難誘導表示板設置に係る基礎調査の完了</p> <p>H29年度自主防災組織活動カバー率 約35%(自主防災組織の活動範囲世帯/全世帯)</p>	<p>設置後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 津波避難訓練等で観光客や外国人等が津波避難誘導表示板を確認して避難場所を認識できたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>(今後のスケジュール) H30年度:設置工事</p> <p>(今後の展開方針等) ・平成33年度までに目標の約2.7万食の備蓄を行ったあとは、保存期限が過ぎた食糧分の備蓄を年次的にに行い、常に約2.7万食を備蓄し、大災害に備える。 ・目標の保存水(約2.7万L)を保存できる備蓄倉庫を整備し、目標数の達成を目指す。 ・自主防災組織の結成を支援し、設立後は資機材整備に係る補助金を交付し、地域の自主防災力の向上を図る。 ・基礎調査業務を完了したあとは、観光客等に対して津波避難誘導表示板を設置し災害時に備える。</p>	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
			防災情報システム整備事業	H29 ～ H31	大規模災害時において、避難所間の情報収集、共有を的確に行い、適切な被災者支援を図るため、高速無線LANネットワークの構築や沿岸監視カメラの設置等、総合的な防災情報システムの整備を行う。	防災情報システム基本計画策定	防災情報システム基本計画策定完了	<p>整備後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 整備した防災情報システムを活用した避難訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>(今後のスケジュール) 平成30年度 実施設計完了 平成31年度 整備工事実施・完了</p> <p>(今後の展開方針等) 防災情報システム構築に係る基本計画を策定し、平成30年度に実施設計を実施し、平成31年度にシステムを構築する。</p>	12月変更(計画変更に伴う今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ~ H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、宜野湾市特定駐留軍用地内土地取得事業基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	普天間飛行場の土地を取得する。	普天間飛行場【特定事業の見通し】(115,000㎡)に対し(53,875㎡)を取得する。達成率:47%	(今後の展開方針等) 返還後の跡地利用の推進を図るべく、平成33年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。	
7			普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ~ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	若手の会、NBミーティングの定例会等の活動支援を行う。字毎の意見交換会やホームページ等を通じて、関係地権者や市民へ情報を発信する。	普天間飛行場の跡地利用について、若手の会、NBミーティング各会員の理解を深めると共に、跡地利用に関する情報や各会での検討内容を関係地権者や市民へ発信する。また、取り組みのとりまとめ報告書を作成する。	(今後の展開方針等) 普天間飛行場の返還後、速やかに跡地利用推進に繋がれるよう、返還前から地権者の意向把握を継続し、また関係地権者や市民を中心とした合意形成並びに参画するしくみづくりに取り組む。	
			普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ~ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信	跡地利用計画(素案)に反映させる配置方針図の更新の検討	計画(素案)策定後(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 (計画(素案)策定スケジュール) H24~H28: 県民・市民・地権者等に対する情報発信、「全体計画の中間とりまとめ」の作成、配置方針図の作成 H29~H30: 配置方針図の更新の検討、県民・市民・地権者等に対する情報発信 H31:配置方針図の更新 H32:跡地利用計画(素案)策定	1月変更 (計画変更に伴う成果目標、今後の展開方針等変更)
8			被覆資材等導入推進補助事業	H27 ~ H33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	H29年度申請件数:19件 (基準:H27年度申請件数:18件)	被覆資材等導入面積の増加を図る。 H29年度目標:36,500㎡ (参考 H27年度実績:36,144.9㎡)	(今後の展開方針等) 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
9	多様な働き方就労支援事業	H28 ～ H30	子育てや介護など家庭の事情等で従来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	新規就業者20名に対し、就職に優れたスキルを取得させる。	支援者のうち新規就労に繋がった割合 25.5%以上	(今後の展開方針) 引き続き支援を実施し、就労機会の創出を目指す。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
10	宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ～ H31	支援が必要なひとり親世帯の中でも自立に向けた意欲のある世帯に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	・生活支援コーディネーター生活全般の相談・同行支援及び母子・父子自立支援員による就労支援 ・支援対象者 8世帯	支援対象者にうち自立につながった割合 60%以上	(今後の展開方針) 引き続き支援を実施し、支援が必要なひとり親世帯の自立を目指す。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
11	宜野湾市情報通信産業振興施設PFI基本構想・事業手法検討調査事業	H29	本市の既存インキュベーション施設と一体的に連携する新たな情報通信産業振興施設の整備について、官民連携も含めた複数の事業手法について可能性調査を行い、基本構想を策定する。	基本構想の作成 (ニーズ調査、PFI等官民連携事業手法検討調査)	基本構想の作成完了	新たな情報通信産業振興施設整備後(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 基本構想に基づき整備した情報通信産業振興施設における入居事業者数:3件 (事業スケジュール) H29年度:基本構想 H30～32年度: 基本構想に基づき、新たな情報通信産業施設整備に係る各種事業を実施 H33年度:供用開始	1月変更 (計画変更に伴う成果目標、今後の展開方針等変更)
12	基地関係映像等資料作成事業	H29	市の中心部に普天間飛行場を抱える本市の実情を、正確に分かりやすく対外的に発信するために、新たに映像等の資料を作成する。映像等で本市の実情を発信することにより、多くの人に普天間飛行場返還合意の原点と、返還の必要性への理解を深めてもらい、普天間飛行場の早期閉鎖・返還に繋げる。	・基地関連映像資料作成	映像等の視覚的に訴える資料を新たに作成することで、幅広い層に正確に、本市の現状と問題の原点、更には返還の必要性を浸透させ、普天間飛行場の早期閉鎖・返還への機運を高め、その実現に繋げる。	新たに作成した資料を用い、幅広い層に正確に、本市の現状と問題の原点、更には返還の必要性を浸透させ、普天間飛行場の早期閉鎖・返還への機運を高め、その実現に繋げる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	年間を通じた観光誘客のために、観光情報の発信及び観光プロモーションイベントなどに取り組む。	○ダイビング誘客PR業務 ○観光誘客PR業務	○入域観光客数前年度比 10%～10%を維持 ○誘客イベント等の実施 3件	観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。	
1			スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ H33	スポーツツーリズムを推進し離島振興に繋げるため、島内のスポーツイベント等の活性化及び国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等の誘致を目的に営業活動を実施する。また、受入環境整備及び受入・歓迎体制強化のため、選手等への快適な環境づくりと、歓迎装飾やキャンプとタイアップしたイベント等の賑わい創出により地域活性化へつなげる。	○スポーツツーリズムの推進 ○スポーツキャンプ、合宿、大会等の誘致活動 ○受入環境整備及び受入体制強化	○プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて3団体以上 ○警備員の配置、プレハブ等施設の設置撤去。 ○プロ野球キャンプ期間中を通して来場者数を対前年比3%増。 ○スポーツイベント等の開催数 5大会以上	・体育施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入を積極的に行う。 ・プロ野球キャンプの受入が継続できるように来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	
1			観光地受入基盤強化事業	H24 ～ H33	観光地としての満足度を向上させリピーター層を増やすために、満足度の向上や観光ブランドの構築等に取り組む。また、観光資源の知名度向上等を目的として、本市にゆかりのあるデザインの「ご当地ナンバープレート」を原付バイク等へ交付するため、金型を製作する。	○文化観光コンテンツ推進業務 ○石垣市観光プラットフォーム会議の推進 ○星空資源広報業務 ○南の島の星まつり、とぅばらーま、文化観光イベントの開催(各1回) ○ご当地ナンバープレートの金型製作の実施	星空学びの部屋の来場者数(4,100名) 観光プラットフォーム会議の開催(3回) 南の島の星まつり(1回)・とぅばらーま大会(1回)・文化観光イベント(1回)の開催 ○ご当地ナンバープレートの金型製作の完了	・『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策を本事業において取り組んでいきたい。 ・ナンバープレートについては本市にゆかりのあるデザインの周知広報を図り、さらなる観光振興を目指す。	9月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1			南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H30	本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象にした観光案内サービスを実施する。	○観光案内人の配置 3名	○観光瓦版の情報紙の発行 4回 ○研修会参加実施 案内対応件数(50,000件)	本市玄関口での観光案内人による接遇力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進したい。	
1			石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25 ～ H30	観光閑散期の底上げを目指した、新規客層の誘客及びリピーターファン獲得のため、音楽を魅力にして石垣島らしさをアピールする音楽イベントを開催する	○将来的な民間移管を視野に次回開催に向けての検証 ○次回開催の内容、広報、ツアー商品の造成実施	イベントフェイスブックのいいね数を3000件にする イベントオフィシャルツアー500名を造成する。 集客目標4,000人	今後はチケット収入、協賛等での民間移管を計画。そのための知名度向上を推進していく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ H33	市民が学べる機会を増やすと共に、観光資源としても活用するため、国指定重要文化財旧和宇慶家墓の近接地については私有地の買い上げ及びレーザー測量を、石垣市指定文化財元海底電線陸揚室についてはレーザー測量を、石垣市指定史跡である仲道の三番アコウについては樹木医の診断及び処方箋に基づく保護措置を実施する。	用地取得の実施(2筆) レーザー測量の実施(2地点) 三番アコウの診断及び保護措置の実施	用地取得の完了(2筆) レーザー測量の完了(2地点) 保護措置による観光客の安全性確保の完了	平成34年度の目標を以下のとおりとする。 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施(年12回程度開催) (今後のスケジュール) H30年度以降:国重要文化財指定の資料作成、駐車場整備	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ H33	博物館資料の保存・活用等を図るため、博物館所蔵資料のうち、虫食い等により状態の良くない古文書等の修復を行う。	○所蔵資料21件の修及び復済資料21件のデジタル化	○所蔵資料21件の修及び復済資料22件のデジタル化完了	所蔵資料のうち状態の良くない資料を年次的に修復し、デジタル化を図りながら活用にする。併せて、資料の保存管理を図る。	
1		花満開いしがきじま事業	H29 ～ H30	石垣市における都市公園等などの公共空間において、さくら等を植樹し、観光地としての新たな魅力の創出を図る。	さくら植樹の実施 観光中心地(730交差点付近)の樹木整備	さくら植樹の完了 観光中心地(730交差点付近)の樹木整備の完了	平成31年度の目標を以下のとおりとする。 魅力が創出されたか(80%以上)を含め、アンケートで検証する (今後のスケジュール) 平成30年度:植樹後の樹木の育成確認	9月変更(事業追加) 12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		闘牛場改修事業	H29	八重山の伝統文化である「闘牛」の発展を図るため、老朽化した闘牛場の改修支援を行う。	闘牛場改修工事費用の一部補助	闘牛場改修工事の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 闘牛大会開催の増(6回/年)	12月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			石垣市民会館設備機能強化事業	H25 ～ H33	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館の機能強化を行う。	石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化	石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化完了	音響設備及び照明設備等の機能強化工事が全て完了した平成34年度に、島外のイベント会社等が主催する公演数の増(平成27年度3件 5件) (今後のスケジュール) 平成30年度:非常用発電ガスタービン機能強化工事 平成31年度…音響設備機能強化工事 平成32年度…音響設備機能強化工事 平成33年度…照明設備機能強化工事	1月変更(事業追加)
2			旧空港跡地環境影響評価事業	H28 ～ H33	石垣市は旧石垣空港跡地への土地区画整理事業導入を進めており、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施し、円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図る。	○方法書手続、現況調査 ・方法書作成 ・住民説明会、公告・縦覧 ・住民、沖縄県、関係機関の意見聴取 ・県との調整 ・公表 ・現況調査	方法書手続の完了、現況調査(秋季、冬季)の完了	・H29年度～30年度 方法書手続・現況調査 108,000千円 ・H30年度 準備書手続き 44,700千円 ・H31年度 評価書手続 9,700千円	
2			石垣市中央運動公園リニューアル事業	H24 ～ H33	石垣市における運動施設の中核を担う石垣市中央運動公園において、八重山圏域唯一の運動公園としての存在価値を高めるために公園全体のリニューアル整備を行う。	○陸上競技場トラックの改修	○陸上競技場トラックの改修完了	・リニューアル後はプロ・アマチュア等のキャンプや合宿による利活用を進める。	
2			歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画策定事業	H29	歩行者空間と自転車空間のネットワークを形成するための計画を策定する。	整備計画策定	整備計画策定完了	計画で検討された整備方針に基づく道路等の整備を実施する。	
2			現庁舎跡地利用計画策定事業	H29 ～ H30	市役所本庁舎及び教育委員会庁舎は、老朽、狭隘化に伴い、平成27年度に移転することが決定したことから、移転後の庁舎跡地等の利用についての基本構想及び基本計画を策定する。	基本構想策定 基本計画策定	基本構想策定完了 基本計画策定完了	基本構想を基に、基本計画の策定を行う。その後、現庁舎跡地の整備を行い、中心市街地及び周辺地区の更なる賑わいを創出する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		美ら星ゲート構築事業	H28～H29	観光誘客を図るため、離島ターミナルに設置するプラネタリウムの実施設計及び建築工事を行う。	プラネタリウム建築に係る実施設計の実施 プラネタリウム建築工事の実施	プラネタリウム建築に係る実施設計の完了 プラネタリウム建築工事の完了	供用開始後1年目(平成30年度予定)の目標を以下のとおりとする。 年間入場者数45,000人	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
2		観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24～H33	観光客の利便性の確保を図るため、観光施設の整備を行う。	玉取崎展望台利便施設設計業務の実施 平久保崎灯台駐車場に係る基本設計業務の実施	玉取崎展望台利便施設設計業務の完了 平久保崎灯台駐車場に係る基本設計業務の完了	平成34年度の目標を以下のとおりとする。 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。 (今後のスケジュール) H30年度:玉取崎展望台トイレ整備 H31年度:底地ビーチ設計・工事 H32年度:米原キャンプ場設計 H33年度:米原キャンプ場工事	9月変更(事業追加) 12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
2		新港地区国際埠頭整備事業	H28～H29	石垣港新港地区に新たに建設する大型クルーズ船バースの供用に際し、外航クルーズ船寄港に対応するための施設整備を行う。	SOLAS施設整備工事の発注及び施工の実施	SOLAS施設整備工事の施工完了	・平成30年春の大型クルーズ船バース供用に向け、早期の整備を図る。 ・クルーズ船誘致のための環境基盤としてPRし、年間35万人程度のクルーズ船観光客誘客に努める。	9月変更(事業追加)
2		クルーズ船寄航誘致支援事業	H24～H30	大型クルーズ船寄港誘致のため、石垣港に寄港するクルーズ船の接岸の際に利用するトイレや屋根付きの導線を整備し、市内へ移動する乗船客を亜熱帯地方特有の強烈な日射と急な雨天から守ることで、快適で利便性の高い寄港地としてアピールする。	屋根付き歩道の実施設計の実施 トイレの実施設計の実施	屋根付き歩道の実施設計完了 トイレの実施設計完了	・平成30年春の大型クルーズ船バース供用に向け、早期の整備を図る。 ・クルーズ船誘致のための環境基盤としてPRし、年間35万人程度のクルーズ船観光客誘客に努める。	9月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考			
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ H33	石垣市の街区公園は、豊年祭や祭事を行う場として活用され、良好な緑地を有し、独特の景観を残している。また、地域文化の象徴でもあり、重要な観光資源の一つでもある。その街区公園の利活用を目的として、石垣市特有の街区公園整備を行う。	あんぐん公園の調査設計業務の実施	あんぐん公園の調査設計業務の完了	設計後は、平成30年度より公園整備工事を進めていく。 H30年度: あんぐん公園整備工事 H31年度: 宮島公園整備工事 H32年度: うぶ公園整備工事 H33年度: うぶ公園整備工事	9月変更 (事業追加)		
2			平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ H30	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、エコロードの整備を行う。今年度は用地購入等を行う。	用地取得、物件補償の実施	地権者からの用地購入および補償契約の締結	平成32年度の目標を以下のとおりとする。 エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人 (今後のスケジュール) 平成30年度: 整備工事	1月変更 (事業追加)		
3			石垣市資源循環アイランド推進事業	H25 ～ H30	『環境と共生したエコアイランド』の実現のため、廃棄物系バイオマス資源として利用し、島内循環システムづくりを行う。	○ほ場実証試験拡大(野菜・水稲など) ○実証試験設備(プラント性能調査) ○生成物分析(メタン発酵生成物分析) ○地域循環実証(農産物試用、生ごみ分別)	○資源の有効利用、環境保全効果、産業振興効果等を取りまとめた報告書の作成完了	策定されたバイオマス利活用計画に沿った取組を進めることにより、石垣市内外の産学連携を一層強化し、循環の島の構築と環境を調和した産業を確立する。 目標 H30 メタン発酵施設整備			
4			ものづくり、マーケティング総合支援事業	H27 ～ H29	製造業及び特産品の振興を図ることを目的に、特産品プロモーション(販路拡大を含む)、特産品開発支援、人材育成、原材料確保支援などを総合的かつ網羅的に展開し全体としての効果の発現を目指す。	国内外の特産品や伝統工芸品マーケットに向けたプロモーション活動(香港1～2回、台湾1回、県内1回、県外3回) パインアップル加工品販路拡大の実証実験 発酵技術を活用した石垣島産商品の開発推進と販路開拓支援 織物や窯業分野等の人材育成、原材料確保の取り組み	特産品の海外販売数目標: 500キロ 石垣島産パインアップル加工品等の取り引き売上額: 12,800,000円 発酵技術を活用したマーケティングPRによる販売開拓数: 2件 伝統的工芸品「八重山土布」人材育成講習の修了生の継続した技術等の提供数: 5名	・海外向けの物産貨物量の増加を図り、新石垣空港の税関空港指定を目指す。 ・パインアップル加工施設の独立化を図って取り組む。			

H29活動目標(指標): 平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標): 平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		商店街・中心市街地活性化ならびに商業振興事業	H27 ～ H29	本市の中心市街地及び商工施策基盤づくりを目的に、創業支援や販売機会の創出と販わい創出を図る「やいま石垣さんばしマーケット」を開催する。市内の商工、ものづくりに携わる人材の魅力発信、著名な講師の招聘で、まちづくりや地域振興を目指す体験型講座を市民や観光客向けに開催する。	○やいま石垣さんばしマーケットの実証運営の実施 ○(仮)石垣島777大学院の開講	○やいま石垣さんばしマーケットの実証完了 ○70名の講師による講座の実施完了	さんばしマーケットは実証結果の検証と参画事業者の掘り起しを実施する。	
4		社会復帰支援モデル実証事業	H27 ～ H29	失業や傷病等で長期間常用就職の機会から離れている生活困窮者に対し、一般企業での常用就職を目標として、就労の機会を提供し職業訓練を行う。同時に就職活動の支援を行い、生活困窮からの脱却を目指す。	○一時的な就労機会の提供 ○求職活動の支援実施	6名に最大6ヶ月(前期3ヶ月・後期3ヶ月)の支援を実施する。	(1)事業の周知 事業について広報し、支援につなげる。ハローワークとの連携で、支援対象者となりうる者への事業の案内を行う。 (2)支援体制の強化 様々な支援対象者に対応出来るよう、職業訓練の場となる受入先の開拓を行う。	
4		南の島移住・定住支援プロジェクト事業	H28 ～ H29	移住・定住を支援するプロモーション活動を効果的に実施し、移住者受入に係る連携体制の構築を図る。	○官民連携の協議会の実施 ○移住支援プロモーションの実施 ○マッチングイベントの実施	人口の社会増減 平成32年度以降 ±0以上 移住体験イベント(ツアー)の満足度80%以上 移住相談フェア等における相談件数30件以上 島外在住と島内在住者とのマッチング(婚活)イベントによるカップル成立数(10組以上)	移住定住支援協議会による受け皿の整備と、プロモーション企画の両輪を進行させ移住定住支援を図る。	
4		川平子育て支援施設整備促進事業	H29 ～ H31	川平保育所とわかば幼稚園を併合し、石垣島西部の子育て支援の拠点としての施設整備をするにあたり、基本構想、基本計画を策定する。	基本構想・基本計画の策定	基本構想・基本計画の策定完了	策定した計画をもとに幼保連携型認定こども園・地域子育て支援施設の整備を行う。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	離島保育士確保総合対策事業	H28 ~ H29	待機児童の解消に必要な保育士の増加を図るため、保育所等が実施する取り組みについて支援等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○島外保育士の渡航費・転居費等の支援 ○潜在保育士の再就職の支援 ○未就学児を持つ保育士の再就職の支援 ○石垣島内での保育士養成課程の実施に関する専門学校への支援の実施 ○合同就職説明会ツアーの実施 	本事業により増加した保育士による受入可能園児数:300人以上	(今後の展開方針) 今後も待機児童の解消に取り組む。	9月変更(計画変更に伴う活動目標変更) 3月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)	
5	"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ~ H33	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、空港、港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他害虫の駆除や石垣牛の宣伝及び増頭支援など、肉用牛生産を一体的に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル) 優良母牛導入補助の実施 高齢母牛淘汰補助の実施 石垣牛広告を電光掲示 殺虫剤購入費補助の実施 優良肥育素牛への補助実施 	<ul style="list-style-type: none"> 口蹄疫等の侵入リスク低減(発生がないこと)導入90頭 淘汰150頭 石垣牛ブランドの周知 12,500頭への殺虫剤塗布 島内保留優良肥育素牛270頭の育成 	全項目とも継続する必要がある 水際対策の徹底 目標:H33年度 500頭 、母牛更新・改良を推進するPRを行い、観光業にも寄与する肉用牛全頭への実施を検討 育成頭数を今後更に増頭		
5	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ~ H33	生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう、支援を行う。	生鮮水産物の輸送支援(沖縄本島)の実施	生鮮水産物の輸送量(沖縄本島):120,127kg	生鮮水産物流通条件不利性解消事業:H25~H33まで実施 漁協水揚量2,254t(H24)から2,304t(H33)までの向上に資する。		
5	農水産物プロモーション事業	H27 ~ H29	本市では、地理特性や豊かな自然環境を活かした品質の高い熱帯果樹や、牛肉、水産物等が生産される。しかし、首都圏等の市場から比較的遠隔地にあることや商品ロットが少ないことを理由として輸送経費が高い。また、多品目ながら生産量が少量であることや収穫時期が限定されることなどから、的確な販路先の開拓及び効率的なPRが必要である。よって、石垣島産のブランド構築へ向けたプロモーションを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○生産・マーケティング及び販売支援体制構築プロジェクト(仮称)の実施 ○石垣島12カ月ブランドプロジェクト(仮称)の実施 ○主要都市生産物販売キャラバン(仮称)の実施 ○島内販売(地消地産、直売)推進プロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○生産・マーケティング及び販売体制構築(人材確保及びプラットフォーム構築) ○石垣島12カ月ブランドプロジェクト等の実施効果として新たな販路先の開拓3ヶ所 	取り組みを通じて石垣市産農水産物のブランド価値のより一層の向上を目指す。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		石垣市スジアラ養殖産業創出事業	H29	石垣市は海洋都市いしがきを目指しており、様々な養殖漁業が盛んである。新たな石垣ブランドの開拓を図るため、沖縄県三大高級魚スジアラ陸上養殖整備に向けた基本設計を行う。	基本設計策定	基本設計策定完了	設計図を基に、有識者などによるワークショップを行い、施設整備に係る費用算出や、ブラッシュアップを行う。	
5		いしがき食と農のフェスティバル	H29	いしがきの新鮮で良質な農林水産物や加工品などを島内外に紹介・販売する。島産品の品評会をはじめ、各種コンテストや試飲食、即売会を開催する。花や食に触れることのできる体験コーナーのほか、6次産業化の内容や取り組み事例の紹介を行う。	いしがき食と農のフェスティバルの開催	コンテスト、体験コーナー、取組紹介ブースの来場者数500名	石垣島の農林水産物の更なる普及を図る。	9月変更(事業追加)
5		漁船用衛星船舶電話通信機器設置補助事業	H25 ~ H29	漁船への衛星電話を設置することにより、漁業者の安全の確保を図る。	漁船用衛星船舶電話通信機器設置支援の実施	衛星船舶電話通信機器設置の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 漁業者と連絡をとることが可能であることを定期的に検証することで、緊急時の通信手段の確保が図られているかを確認する。	9月変更(事業追加) 12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
5		島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業	H28 ~ H33	島由来の野菜やハーブの生産量を増やすため、振興プランを策定する。	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プラン策定業務委託の実施	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プランの策定完了	平成34年度の目標を以下のとおりとする。 野菜・ハーブの生産者戸数84戸 (今後のスケジュール) H30年度:ICTネットワークシステム構築 H31年度:共同加工所の検討ならびに基本設計 平成32年度:共同加工所の実施設計 平成33年度:建築工事	12月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			林業活性化促進事業	H25 ～ H29	島産材木の生産量の増加を図るため、木材乾燥機、在庫保管施設を導入する。	木材乾燥機の購入	木材乾燥機の設置完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 島産材木生産量28m ³	12月変更 (事業追加)
6			防災体制整備事業	H24 ～ H33	災害時における観光客や市民の安全を確保するため、避難ビル標識等を整備する。	防災行政無線整備 津波避難ビル標識整備 避難所開設備品の整備	防災行政無線整備の完了 津波避難ビル標識整備の完了 避難所開設備品の整備:33%	平成34年度の目標を以下のとおりとする。 防災行政無線等を活用した避難訓練の実施1回/年により、本事業のあり方を検証する (今後のスケジュール) < 防災行政無線 > 平成30年度:整備率88%(デジタル化対応) 平成31年度:整備率88%(デジタル化対応) 平成32年度:整備率100% < 避難所開設備品 > 平成30年度:整備率54% 平成31年度:整備率74% 平成32年度:整備率87% 平成33年度:整備率100%	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 1月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
7			児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ H33	市外・県外で開催される大会等(運動競技及び文化関係)及び選抜選手による合同練習へ児童生徒が参加する際にかかる派遣費用に対し補助金を支給することにより、島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	県内外大会等派遣派遣児童生徒支援	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	沖縄本島と離島の児童生徒には、派遣に係る保護者の費用負担にかなりの格差がある。 市が派遣費の一部を補助し格差を是正することで、保護者が子供を派遣に行かせやすい環境づくりを目指す。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
7			平和推進事業	H24 ～ H33	一般住民を巻き込んだ地上戦を経験した沖縄で、戦争の記憶を風化させないために、次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる。	○平和フォーラム等開催 ○広島・長崎への平和大使派遣 4人	○平和フォーラム等参加者 700人 ○平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100%	沖縄慰霊の日の「追悼式並びに平和祈念式」、『平和フォーラム』、『平和大使派遣』を継続実施する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		石垣市発達支援システム事業	H28 ～ H33	発達に支援が必要な「気になる子」について、乳幼児期から就労支援までライフステージに応じた一貫した支援をするため、臨床心理士による発達相談等を実施し、関連課等(保健・福祉・教育・就労)の連携を密にし、切れ目のない適切な支援を行なう。	○臨床心理士による心理相談・保育所巡回	○心理相談・発達検査 100件 ○保育所巡回 29ヵ所	・臨床心理士については、本事業において専門的立場からの支援効果を検証し、本務採用についても同時に検討する。	
7		気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ H33	特別に支援を要する乳幼児期から青年期に対して、専門的立場から支援するために臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、学校・家庭、関係機関の支援体制の充実を図る。	○臨床心理士の配置 2人 ○幼稚園への子育て相談員配置 5人	○教育相談・検査 100件 ○子育て相談件数 200件	・臨床心理士については、本事業において専門的立場からの支援効果を検証し、本務採用についても同時に検討する。	
7		「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ H33	児童生徒の個に応じたきめ細かな学習を支援するため、学校教育支援員を配置、外国語学習支援員(ALT)を派遣するとともに、小中学校教諭の指導力、授業力向上により児童生徒の学習環境向上を図るため、学力先進地域交流事業を行う。	○学校教育支援員配置数 33名 ○外国語学習支援員配置数 5名 学力先進地域交流研修会(派遣10名、招聘4名)	○児童・生徒の学習意欲向上 ・i-checkにおいて肯定的な評価をした児童:50%以上 ・i-checkにおいて肯定的な評価をした生徒:50%以上 ○英語授業における児童・生徒の学習意欲向上 ・肯定的な評価をしたALT勤務評価者:50%以上	・事業を継続し、児童生徒の個に応じたきめ細かな学習を支援する。 ・沖縄県内において高い学力水準を達成できるようにする。	9月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
7		石垣市学びの基礎力育成支援事業	H28 ～ H30	指定市立幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、幼児教育の充実と小学校への円滑な移行を図る。	○幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザー配置 1名 ○石垣市学びの育成支援事業推進協議会開催	○幼小連携実施達成率 100% ○保幼小連携実施達成率 90% ○接続期カリキュラム作成 アプローチカリキュラム作成 18園 スタートカリキュラム作成 16園	・市全体における幼小連携体制の構築を図り、接続期カリキュラム策成立を100%を達成・維持できるようにする。	
7		情報教育充実事業	H24 ～ H33	校内ネットワークや情報教育機器、デジタル教材等の情報教育環境整備のほか、その効果的な活用により、授業におけるICT活用の推進や情報活用能力の育成、「わかる授業」の実践、教育の質の向上等を図る。	○学校ICT支援員の配置 4名 ○デジタル教科書の整備(中学校英語) ○授業支援システムの導入	○ICT機器活用率 90% ○わかる授業の実践(児童生徒の評価) 50%(過半数)	・デジタル教材及びICT情報教育機器の追加整備を行う。 ・ICT利活用に関する研修会を効果的に実施し教員の指導力向上を目指す。	9月変更(計画変更に伴う成果目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			専門人材育成事業	H28 ～ H33	観光や教育に関し専門的な技術や知識を持った人材の育成を目的として各種講座を開催する。	○外国語講座の開催 ○教員採用試験に向けた各種講座実施	【外国語講座】 ○各言語(英・中)の授業実施 2時間10回 ○各言語(英・中)受講者25名以上 【教員採用試験対策講座】 前期 教員採用試験対策講座受講者数 小学校:30人、中・高・他:40人 教員採用試験合格者数 小学校:7人、中・高・他:7人 後期○教員採用試験対策講座受講者数 小学校:25人、中・高・他:35人	教員採用試験対策事業についてはH33年度まで事業を継続し、県平均合格率を上まわることが目標とする。	
7			子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H26 ～ H33	石垣市に居住する社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども若者の自立に向け、総合相談窓口を開設してワンストップ相談対応を行うほか、関係機関で構成する「石垣市子ども若者支援地域協議会」の円滑な運営及び支援機関の連携を図り、包括的、継続的な相談並びに支援等の体制を整備する。また、常に実態やニーズの把握に努め、適切な相談並びに支援体制の整備を図る。	○子ども若者相談員の配置 2名 ○代表者会議 年2回 ○実務者会議 年4回 ○個別相談会 年4回 ○スーパーバイズ 年6回 ○広報啓発 随時	○相談件数に占めるリファラーの割合 70% (H27年度実績68%)	特にひきこもり等の客観的にみて支援を要するが自発的な援助を求めることができない者等を支援の入り口である総合相談窓口へ誘導する等の早期発見、早期支援体制の整備を図る。また、対象者抱える課題を解決し、目的達成のために必要な具体的支援やサービスを提供する社会資源の掘り起しを図る。	
7			ユースアドバイザー事業	H24 ～ H33	不登校、引きこもり等の児童・生徒及び社会生活を営むうえで困難を有する若者の自立支援のため、ユースアドバイザーを配置し支援体制を整備する。	○ユースアドバイザーの配置 3名	○児童生徒の学校復帰 2名 ○若者の自立(就労等) 2名	児童生徒については、年度替わりの支援空白期間の解消を図る。若者支援については、子ども若者支援地域協議会と連携を密にし、支援の継続、連携を図る	
7			冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	H26 ～ H33	スポーツ少年団父母会、PTA有志、退職教員、将来教職を目指している高校生ボランティア等の協力を得て、学校の授業終了後から部活動が始まるまでの隙間時間及び長期休暇等を利用した学習支援活動を行い、授業に対する予習・復習や家庭学習の習慣化を促進し、本市児童の学力向上に資する。	○事業実施団体数 15団体	○アンケートを実施し、この事業が家庭学習の習慣化に寄与しているという回答 70%以上	・各地域の自治公民館における学習支援が実施できるよう、連携・協力を進めていきたい。	
7			石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ H33	国内をはじめ、アジアや、世界の人々との交流をすることにより、次代を担う国内外で活躍できる人材の発掘と、将来、本市の活性化の核となる人材の育成を図る。	○台湾蘇澳鎮との国際交流 ○岩手県北上市との交流	○台湾蘇澳鎮との国際交流 25名(引率含む) ○岩手県北上市との交流 25名(引率含む)	・市・県・学校に、現在行われている修学旅行の訪問先を、これらの交流先とするよう働きかけ更なる交流の輪を広げるよう取り組みたい。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ H33	姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣し、国際性豊かな人材育成を図る。また報告書等により、児童生徒を中心に国際交流や多文化共生の大切さについて考える機会を与える。	○中学生カウアイ郡派遣：3名、引率1名 ○派遣報告書作成	○派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者：100% ○報告書を見て、英語や外国に以前より興味を持った生徒の割合：70%	カウアイ郡派遣、報告書作成等を継続実施し、派遣者には市主催の多文化共生イベントに協力してもらい、国際化のすそ野を広げることにつなげる。	
7			いきいきスポーツ活動助成事業	H26 ～ H30	離島における競技スポーツのハンディを克服するため、トップアスリートとしての経験を有する優れた指導者を招聘し、高温多湿の独特の気候の中での効果的かつ効率的な練習法の確立と競技者の底辺拡大と指導者の人材育成を行う。また、県外市町村の青少年と民泊及びスポーツ交流を行う。	○スポーツ教室(2種目)各10回(1回2教室) ○友好都市スポーツ交流事業(団員13名、リーダー1名、指導者3名)	○スポーツ教室 競技者の底辺拡大(部員数20%増・指導者育成) ○友好都市スポーツ交流事業 他県青少年と生活を共にする中、80%以上が異文化に興味を持ち更に郷土の文化の素晴らしさを感じる交流とする。	バレーボール、駅伝共に県大会上位入賞を果たし、九州大会へ出場する。	
7			全国離島交流中学生野球大会事業	H29	全国の離島の中学生が一堂に会し、野球を通じて交流を行い、人間形成や地域振興への寄与を行う。	全国離島交流中学生野球大会への支援	全国離島交流中学生野球大会の開催 ○他の環境の生徒と交流することで、郷土愛、他の離島への興味関心を考える場となったとした参加生徒の割合100%	【得られる効果等】 参加市町村：少年少女の夢づくり・コミュニティー醸成・郷土愛醸成 離島自治体：離島のPR・情報発信 外部：離島への関心・離島訪問(観光)	
8			国際定期便誘致事業	H24 ～ H29	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾・香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、台湾及び香港以遠からの誘致を視野に入れたキャリアセールス及び誘客イベントを実施する。	○キャリアセールスの実施 ○石垣島誘客イベント等プロモーションの実施 ○アジアゲートウェイ交流事業の実施	台湾路線における就航回数の前年比増 香港路線における通年就航	南ぬ島石垣空港国際線施設の活性化を目指した、継続したプロモーション及びセールス活動の取り組みを沖縄県と連携して取り組む。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		浦添市来々来々推進事業	H24 ～ H33	市既存の観光資源の活用及び新たな観光資源を創出するため、課題抽出及び取組施策に向けた調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 屋富祖・オリオン通り周辺地区 <ul style="list-style-type: none"> 協議会開催(2回程度) 地域住民説明会実施 道路整備や事業手法、周辺土地利用のあり方を具体化させるための基本計画(整備計画)検討 シンボルロード沿線地区 <ul style="list-style-type: none"> 有効な沿道土地利用へ誘導、整備を行うための基本構想(案)検討 港川道路シリッカー周辺地区 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民ワークショップ開催(2回程度) まちづくり事業の導入に向けた基本構想検討 	<ul style="list-style-type: none"> 屋富祖・オリオン通り周辺地区土地利用基本計画の策定。 シンボルロード沿線地区沿道土地利用基本構想(案)の作成。 港川道路シリッカー周辺地区土地利用基本構想の策定。 	(今後の展開方針) 屋富祖・オリオン通り周辺地区・屋富祖通り地区土地利用基本構想をもとに、道路及び周辺における基本計画(整備計画)の策定。(H29年度) シンボルロード沿線地区・沿道土地利用についての基本構想の策定。(H29年度以降) 港川道路シリッカー周辺地区・まちづくり事業の導入に向けた基本構想の策定。(H29年度) (整備後の活用見込み) 新たな観光拠点の創出及び既存観光資源との関連を強化につながる環境整備に活用する。	
1		てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ H33	スポーツツーリズムを推進し、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げ、一人ひとりに合わせた「生きいき生涯健康づくり」を推進するため「てだこウォーク」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 「てだこウォーク～てだこの都市・浦添 あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク～」の開催 プロポーザル公募による大会プロモーション及びイベントの実施 市内小中学校参加の推進 歴史ガイドによる史跡紹介 	<ul style="list-style-type: none"> てだこウォーク参加人数 8,700人(H26～H28年度平均値てだこウォーク参加人数8,636人) 	(今後の展開方針) てだこウォーク参加人数目標：H30年以降8,700人以上	
1		ありんくりんクリーン事業	H24 ～ H33	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等を観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の清掃：1箇所 文化財の除草等環境整備：11箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財見学者数：2,600人 	H33年度(目標値) 文化財見学者3,000人をめざす 基準値=H23年度：2,204人	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	H29成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～H33	国指定史跡「浦添城跡」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、市内の歴史・文化ガイダンス施設において、受入体制の充実化および情報発信の強化を図る。	・市内ガイダンス施設へのガイド配置: 2名/312日 ・文化財案内ガイドブックの作成: 韓国語 2,000部	・ガイダンス施設入館者数:8,800名 参考:H26～H27年度平均値 ガイダンス施設年間入館者数:8,541名	観光客の受入体制の強化を実施すると共に、文化財案内の充実化および多言語化を推進し、更なる情報の発信強化を図る。 〔ガイダンス施設入館者数〕 基準値:H24年度(5,563人) 中間値:H30年度(9,000人) 目標値:H33年度(10,000人) (事業後の効果) 市内文化財の観光資源として活用され、観光振興に寄与する。		
2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～H33	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、地域景観資源の保全・再生、市民活動の支援、人材育成を行い、文化・観光を含む地域振興を図る。	風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討等(シンボルロード、都市モノ沿線地区、西海岸周辺地区)3地区 風景づくりに係る人材を育成するための風景学習対象小学校1校 風景づくり推進のためのまちなみ景観を修景するための支援2地区 地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援3団体	・シンボルロード沿線地区の景観的規制の検討及び都市モノ沿線の屋外広告物規制の検討 ・西海岸周辺地区の景観的規制の検討 小学校四年生3学級(約90名) ・修景件数6件 ・うらそい歴史ガイド 歴史探検ウォーク開催4回 ・里浜ネットワーク実行委員会 小学校六年生4学級(130名)のカヌー体験 ・仲間自治会 浦添大公園内のサクラ植樹30本	〔事業目標(完了予定H33)〕 ・景観地区指定数2地区 (基準値:平成24年0地区) 〔事業目標に向けた展開〕 H24～H33 ・地域景観の向上を図るための人材育成の実施。 ・地域景観資源を活用するための活動支援等の実施。 ・地域景観の向上を図るための景観修景のための支援を実施。		
2	地域資源復元推進事業	H24～H33	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光資源の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルートの整備を行う。	史跡クバサーヌ御嶽の復元整備工事: 156.27㎡	史跡クバサーヌ御嶽の復元整備工事完了	・歴史の道のルート上へ石畳舗装工事を実施(H29～H33) ・市内指定文化財の復元整備を実施(H32:1件・仲間火又神)		
2	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美化事業	H24～H30	浦添グスクの麓に位置する仲間地区の主要な道路について、通常舗装(黒舗装)から、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施し、城下まちにふさわしい道路景観の創出を図る。	仲間地区主要道路の美化工事 カラーアスファルト舗装:640m2	仲間地区におけるカラーアスファルト舗装工事了完了 全体計画 7,047m2 平成28年度末時点 6126m2整備済 平成29年度末時点 6766m2整備済予定	(今後の展開方針) 沖縄らしい風景づくりを推進するため、道路美化を継続的に実施していく。 H30:710m2		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		カーミーゼ地区景観整備実施計画策定事業	H28 ~ H29	良好なサンゴ礁群と砂浜が残る空寿崎(カーミーゼ)地区周辺において景観整備実施計画を策定し、魅力ある海岸空間の創出を図る。	・実施計画の検討 ・地域説明会(2回)	空寿崎(カーミーゼ)地区周辺の実施計画の策定完了	(今後の展開) 策定した実施計画を基に、景観に配慮した海岸空間の創出を図る。	
3		悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ~ H33	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介する浦添市美術館において、漆芸の企画展開催、常設展や体験企画の充実などを図り、戦略的観光振興を展開する。	・企画展の開催 ・広報宣伝事業 ・展示室環境改善事業実施(LEDスポット購入) ・体験企画の立案と製作 ・収蔵品充実事業(作品購入・修復等) ・講演会等の催事実施	常設展観覧者数:3,200人 参考:平成22~27年度平均値 常設展観覧者数 2,765.5人 平成27年度常設展観覧者数 3,122人	・インターネットでの発信と外国人観光客向けの発信に力を入れる。 ・美術館に出来ない体験の仕組みづくりを行う。 (事業実施後の効果) 魅力ある常設展や展覧会実施により、来館者を増やし観光振興を図る。	
4		島桑オジー&オバーで観光産業・街おこしプロジェクト	H24 ~ H33	沖縄の桑品種である「シマグワ」を利用した特産品の開発・普及を、年々増加する高齢者労働力を活用し推進することで地域の活性化を促進する。	・桑の栽培 ・商品製造 ・商品開発 ・販売促進	事業に要する桑園契約面積 9,800坪 乾燥桑葉原料 3,000kg 桑関連商品合計販売額 14,000千円 基準値: 事業に要する桑園契約面積(H24年度) 3836坪 乾燥桑葉原料(H25年度) 360kg 桑関連商品合計販売額(H24年度) 90千円	スケールアップした内容で事業化モデルの構築を目指す。 【H33年度(目標値)】 事業に要する桑園契約面積11000坪 乾燥桑葉原料7700kg 桑関連商品合計販売額35000千円	
4		浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ~ H33	県内農作物・特産品、浦添特産品である島桑を原料にした桑茶等の販売を行っている農協まつりを活用し、市民だけでなく観光客も楽しめるまつりを開催を支援することで、観光振興・産業振興を図る。	農協まつり開催支援(支援概要) 集客イベント開催 黒糖作りコーナー 会場整備の実施 広告活動	農協まつり来場者数:3,100人 (平成28年度:3,990人 平成27年:3,013人 平成26年度:3,178人 平成25年:2,609人 平均:3,197人 3,100人) JA売上高1,400,000円 (平成28年度:1,215,540円 平成27年度:1,303,460円 平成26年度:1,172,646円 平成25年度:984,162円 平均:1,168,952円) 参加事業者数:7 (平成28年度:7 平成27年度:6 平成26年度:6 平成25年度:5 平均:6)	今後まつり内容を改善し、来場者数、売上、参加事業者数を増やし市の観光振興・産業振興を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		浦添市観光振興計画策定事業	H28 ～ H29	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。	観光振興計画の策定	観光振興計画の策定完了	・策定した計画に沿って各施策を実施し、本市のさらなる観光振興を目指す。	
4		浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ～ H32	新に誕生する沖縄都市モノレール「浦添前田駅」周辺地区を本市の玄関口として利活用し、観光誘客を図るため、同地区周辺に賑わいのある観光拠点施設を整備する。	・浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業に係る基本計画の策定	・浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業に係る基本計画の策定完了	・策定された基本計画に沿った拠点整備を実施する。 【事業スケジュール】 H30 土地取得・基本設計・実施設計 H31 土地取得 H32 土地取得・建設工事・工事監理	
4		浦添観光振興事業	H29 ～ H33	観光情報の発信や各種PR・誘致活動、試合事業者への観光啓発活動を実施する。	1 浦添観光振興業務 (1)浦添PR業務(web) 200件、県外観光展実施 3件 (2)修学旅行フェア2回 (3)プロ野球春季キャンプファン誘客イベント2件、アプリ企画1件。 (4)市内事業者への観光セミナー2件 2 浦添観光パンフレット作製業務 (1)日本語版10,000部、英語・繁体語各2,000部	1 浦添観光振興業務 (1)ポータルサイト訪問者数 486,000人 ポータルサイトページビュー数 834,000PV (2)修学旅行誘致 3件 (3)プロ野球春季キャンプファン誘客 20,000名 アプリダウンロード 1,200件 (4)市内事業者への観光セミナー参加者数 100名 2 浦添観光パンフレット県内50箇所設置	継続した情報発信を行うとともに、市内事業者との魅力ある観光企画等の提案を行ってもらうことを目指し、観光事業啓発も継続的に行う。それによって、浦添市に来る観光客の増加及び満足度の向上につながる。	
5		創業者定着支援事業	H28 ～ H30	浦添市内における雇用の創出及び就労機会を創出するため、ビジネス情報の発信や、セミナー開催により、創業者等を支援する。また、創業・ビジネスコンテストで選定した事業者に対し、ITを活用した事業の継続・定着支援を行う。	・商品・サービス開発セミナー等の開催 6回 ・支援対象者の事業定着に向けた支援 (ITサポート、事業戦略策定、見直し、商品サービス開発、販路開拓マーケティング支援等)	・商品・サービス開発セミナー等への延べ参加人数 200人 ・事業成果報告会の開催 1回 ・事業計画の付加価値額、経常利益に対する達成率70%	【事業目標(完了予定H30)】 本事業で支援した事業者の5年後生存数、5件中3件を目指す。 市内空き店舗への入居件数 5件 (今後の展開方針) 支援対象として決定した業者をITを活用して2年間支援する。支援しながら得られた情報を分析後、市が保有し、活用することで、市内での創業、創業後の事業の定着を支援していく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	浦添市企業立地・雇用施策方針策定事業	H28 ～ H29	本市の雇用環境の状況を把握し、雇用施策の改善・充実を図るため、社会的に流動的な雇用情勢に対応した中期的計画となる「企業立地雇用施策方針」を策定する。	・検討委員会等外部組織の立ち上げ ・企業立地・雇用施策方針策定のための検討委員会の開催 3回	浦添市企業立地雇用施策方針の策定。	【事業目標(完了予定H29)】 策定した指針をもとに、本市独自の雇用環境改善に向けた取り組みを推進していく。		
6	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H30	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター建築工事(物流棟躯体及び設備工事)の実施。	物流棟本体主要構造部(柱・梁・床)の完成及び受変電施設の設置。	【事業目標(完了予定H30)】 総合物流センターの整備(H30) 【整備後の活用見込み】 那覇港の取扱貨物量:2,840万トン(H33)		
6	臨港道路浦添線無電柱化事業	H27 ～ H30	那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線において、観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりに向けて、無電柱化を行う。	入線工事の実施	臨港道路浦添線の供用に必要な施設(信号機・照明灯等)への入線工事(補償)の完了	【事業目標(完了予定H30)】 無電柱化に係る入線工事の整備 【整備後の活用見込み】 防災及び景観に配慮した大型商業施設等への電力供給		
6	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ H33	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	委託業務で船社支援の内容、公募条件等を検討し、公募により船社を対象とした実証実験の実施。	取扱貨物量の増加及び航路の拡大を図る。(1航路)	2年目(H30) ・内貨物の増加を図り、移出の促進を図る。 3年目(H31) ・那覇港総合物流センター供用開始等による取扱貨物量の増大、片荷輸送の改善を図る。 4年目(H32) ・更なる取扱貨物量の増大による、海上輸送コストの低減を図る。 5年目(H33) ・自立運営による定期航路の定着を図る。	9月変更(事業追加)	
6	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ H33	那覇港を活気に満ちロマンあふれる交流の場としての再生を目指し、観光誘客を促進するため、地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニー等を実施する。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	船会社への満足度調査の実施(満足度65%)	歓送迎セレモニーを実施し、観光客の満足度の向上を図る。	9月変更(事業追加)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ~ H33	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会等で活躍できる体制を強化するため、全国大会等(ブロック大会含む。)に参加する児童生徒(大会登録選手に限る)を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	・県外大会等派遣支援の実施	・支援を申請した補助対象となる児童生徒への支援率100% ・県外派遣の促進による児童生徒の健全育成の推進および保護者の経済的負担の軽減	(今後の展開方針等) 県外派遣機会の拡充や他県の児童生徒と交流し、技術向上や健全育成を図るとともに経済的負担軽減を図る。	
8			エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ~ H33	将来の浦添市、エコアイランド沖縄を支えていく人材の育成を図るため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習を行う。	農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習の実施 市内全11小学校の5年生1,420名対象	キャリアの視点での児童のプラス変容(各小学校実施報告書からの見取り) 事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施前・後(5月・12月)での肯定的な回答の増加	【今後の展開】H30~H33 体験活動内容の充実 【事業実施の効果】 職業に対する視野の拡大 自然環境についての興味、保全への意欲増大 キャリアの発達	
8			学力等底上げ推進支援事業	H24 ~ H33	各小中学校へ学校教育支援員や日本語教育支援員を配置し、児童生徒の学力の底上げを図る。	学校教育支援員 ・小学校 22名(各校2名 11校) ・中学校 10名(各校2名 5校) 日本語教育支援員 ・4名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県と浦添市の差±0ポイント以上を目指す ・中学校:県と浦添市の差±0ポイント以上を目指す	(今後の展開方針) 平成29年度~平成33年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の派遣 平成29年度から平成33年度まで、学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査における市と沖縄県の差が減少し、0ポイント以上になるように学力の底上げを図るとともに、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
			課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ~ H33	不登校児童生徒の登校復帰及び社会的自立を支援するため、各種相談員及び自立支援員を配置する。また、地域の人材を配置し、あそび・非行傾向生徒の居場所づくりを行う。	・臨床心理相談員1名 ・教育相談員6名 ・青少年相談員6名 ・自立支援員4名 ・教育相談支援員16名 ・生徒サポーター7名 ・青少年指導員35名	不登校児童生徒復帰率 小学生16.4%(H26、H27の平均14.9%の10%増) 中学生73.5%(H26、H27の平均66.8%の10%増) 中学生の不登校に占めるあそび・非行傾向の割合の改善:5%減(平成27年度72名)	H29~H33:各相談員配置 教育相談の充実とあそび・非行傾向生徒への支援を強化する。事業終期のH33年度において、中学校の不登校に占めるあそび・非行傾向生徒の割合が全国平均並みを目指す。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ H33	不登校児童生徒の学校復帰を支援するため、個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行う指導員を適応指導教室に配置する。	・適応指導教室に適応指導員2名配置 ・適応指導教室入級児童生徒数：5名以上 ・不登校児童生徒保護者交流会の年3回実施	・適応指導教室入級児童生徒の支援期間中の登校率47%以上 【支援登校率 = 支援登校日数 / 総支援日数】	H29～33: 適応指導員2人/年 (目標値) 支援期間中の登校率44%(H25) 50%(H33)	
8		ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ H33	わかる授業の構築(情報活用能力の向上)を図るため、教育用PC、電子黒板及び、実物投影機、情報端末などのICTを活用した授業を支援するIT指導員を学校に派遣する。	・IT指導員3名 ・各校(16校)に年間30日程度派遣	・ICTを活用した授業の割合 小学校39%(H27 38%) 中学校38%(H27 37%) ・教員のICT活用して授業を行った人数の割合 小学校で75%(H27 72%) 中学校で70%(H27 69%)	H29～33: IT指導員: 3人/年度 (目標値) ・小中学校の各学年におけるICTを活用した授業を総時数に対し、小学校40% 中学校40% ・ICTを活用して授業を行なった教員 68%(H26) 80%(H33)	
8		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ H30	浦添市の児童生徒がICT機器を活用して主体的に学習するための環境を整備し、児童生徒の情報活用能力の向上に資する。	・市内3校へICT機器の整備 [小学校2校] 教育用タブレット端末42台 電子黒板+PC等: 普通学級+特別教室1～2台 [中学校1校] 教育用タブレット端末42台 電子黒板+PC等: 普通学級+特別教室3台 ・ICT支援員2人を3校に派遣(業務委託)	ICT機器整備校 について ・児童生徒の情報活用能力向上 タブレット端末で自分の意見を発表 児童生徒の65%以上(H27 2割程度)	H29: 機器整備、ICT支援員 H30: 機器整備、ICT支援員 (最終年度の目標) ・児童生徒の情報活用能力を向上させる。	

H29活動目標(指標): 平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標): 平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25～H33	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入:2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・企業訪問研修 ・県外視察 ・地域との交流	研修生を通じて浦添・沖縄または移住先国への理解を深めた人の割合 90% アンケート先 ・県内で交流した際の交流相手方 ・移住先国の浦添市人会員	・実施予定内容 【H29～H32】研修生2人 【H33】フォローアップ研修生6人 第7回世界のウチナーンチュ大会に合わせて研修生を招聘し、大会に参加する浦添出身者や県系人、地域や市民とのネットワークを広げる。 ・本事業の目標 帰国した研修生が移住先国において沖縄文化を受け継ぎ、市人会の発展に寄与。移住先国と浦添市の架け橋として活躍し、ネットワークの強化に貢献。また、市民との交流を通して、地域の国際化及び国際理解の高揚に資する。		
10	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24～H33	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童(学童)クラブに対し、公的施設移行までの間、支援を行う。	放課後児童(学童)クラブへの家賃補助:17か所	放課後児童(学童)クラブ運営及び規模の適正化に向けて、新規に開設した放課後児童(学童)クラブに対しても家賃を補助することで、利用料の抑制及び継続的な放課後児童(学童)クラブ運営の安定化を図る。	H30～33年度:17か所 (実施後の効果) 保護者の負担軽減及び放課後児童(学童)クラブの運営支援を行うことで、安定かつ継続した子ども達の居場所づくりや環境づくりを図ることができる。		
10	公立幼稚園給食導入事業	H28～H31	子育て支援のため、公立幼稚園において給食導入に向けた施設整備等を行い、子育て環境を整える。	・給食受室整備に係る工事の実施(浦城幼稚園・内間幼稚園・前田幼稚園・神森幼稚園・当山幼稚園・港川幼稚園の6園) ・給食導入に係る備品・消耗品整備(浦城幼稚園・内間幼稚園・前田幼稚園・神森幼稚園・当山幼稚園・港川幼稚園の6園分及び当山共同調理場)	・給食受室の工事の完了(浦城幼稚園・内間幼稚園・前田幼稚園・神森幼稚園・当山幼稚園・港川幼稚園の6園) ・給食導入に係る備品・消耗品整備の完了(浦城幼稚園・内間幼稚園・前田幼稚園・神森幼稚園・当山幼稚園・港川幼稚園の6園分及び当山共同調理場)	(今後の展開方針) ・平成31年度 受室実施設計(3園) 受室建築工事(3園) 備品・消耗品購入(3園分) ・給食導入の全園実施に向けて、子育て支援の環境整備を図る。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11		浦添市統合型防災情報システム構築事業	H27 ～ H30	災害時における住民等の被害を最小に留めるため、市内全域に防災情報等の伝達・収集が可能なシステムの構築を図る。	システム構築に係る工事の実施。 (市内全域へ無線LAN基盤の構築、画像情報に関する設備構築)	システムにかかる以下の設備構築の完了。 ・市内全域無線LAN基盤 ・画像情報に関する設備 市内全域に無線LANのネットワーク基盤が整備し、監視カメラシステムを構築することで、災害発生危険箇所の情報を常時確認することができ市民の安心安全に繋がる。	・事業スケジュール H27 システム構築に係る設計 H28 システム構築に係る工事 () H29 システム構築に係る工事 () H30 防災ポータル構築 ・整備状況 < H26年度 > 音声情報: 25% (市域の4分の1の区域) 文字情報: Eメール等の対応端末 画像情報: 0% < H29年度 > 音声情報: 100% (市内全域) 文字情報: メールアドレスを持つすべての端末 画像情報: 100% (災害危険箇所の情報把握) < 事業実施後に目指す効果 > 市内全域に災害情報の収集、防災情報等の伝達できる基盤整備により、大規模災害に向けた備えを充実させ、市民の安心安全を図る。	
12		浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ H33	平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、市立中学校から推薦を受けた中学生を対象に平和学習を実施する。	市立中学校5校より、中学生10人、平和ガイド1人を中学生平和交流団として平和学習を実施。 ・事前研修、事後研修(県内) ・本研修(3泊4日 長崎市) ・宮崎県日向市との平和交流 ・浦添市戦没者追悼式への参加	浦添市ピースメッセンジャーを通じて平和への理解を深めた人の割合 90% アンケート先 ・保護者 ・平和交流相手方 ・校内生徒	・実施予定内容 [H29～H33] 市立中学校5校より、中学生10人、平和ガイド1人を浦添市中学生平和交流団とし、県内及び長崎市で平和学習を実施する。 研修終了後は浦添市ピースメッセンジャーとして認定し、市が実施する平和に関する行事に積極的に参加し、平和のメッセージを未来に向けて多くの人に語り伝えていく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12		里道及び水路の境界確定復元事業	H24～H33	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記 平成29年度における里道の登記済延長 15km	・約120kmの里道及び水路の境界復元・確定 平成28年度までの登記済延長40kmで33%終了 平成29年度までの目標登記済延長率:46%目標	(今後の展開方針) 里道及び水路の表示登記済延長率 H30:59% H31:72% H32:85% H33:100% (事業実施後の効果) 里道の境界復元・確定を行い、公共用地を適正に管理する。	
12		牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24～H33	牧港補給地区の地権者等が自立し、跡地利用が円滑に進められるよう、地権者等が主体となったまちづくり活動を支援する。	・まちづくり活動支援(勉強会等4回) ・活動情報発信(1回)	・勉強会等への参加者満足度 80% ・勉強会等への参加者数 延べ38人(毎回過半数以上の出席) 地主会若手組織会員数19人	・跡地利用特措法や土地区画整理事業等に関する法令及び制度への理解を深めるための勉強会等の支援。 ・国が示す返還計画を見据え、土地利用の分野別検討。	
12		牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27～H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するにあたり、基金を造成する。	公園緑地としての土地先行取得に向けた基金積立。	・特定事業の用に供する土地取得目標 13,000㎡(達成率46%) 達成率:先行取得目標面積(102,000㎡)に対する累積取得面積の割合	(今後の展開方針) ・H30～H33 基金積立。 ・公園緑地として、H33年までに約10.2ha用地取得する。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
12		施設型共同墓整備事業	H27～H29	増加する市民の墓地需要に対応するとともに新たな墓地建設の抑制及び点在する既存墓地の集約化を図るため、納骨壇と合葬室を併せ持つ施設型共同墓を整備する。	施設型共同墓建設工事の実施 (納骨施設・管理棟の建築工事、外構整備、駐車場配置改修) 延床面積:477.7㎡ 構造:鉄筋コンクリート造1階建	施設型共同墓建設工事の完了	(今後の展開方針) ・平成30年7月 供用開始予定 ・利用申込者見込み 154件/年 ・供用開始後は、個人墓地禁止区域の拡大を図る。 (事業実施後の効果) 墓地需要の受け皿となる本施設の整備により、墓地散在化の解消が図られ、住環境や景観に配慮したまちづくりを展開していけることが期待できる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13		CKD(慢性腎臓病)重症化予防モデル事業	H28 ～ H30	県民(市民)の健康長寿を延伸させるため、生活習慣病により透析のリスクが高い方に対してCKD重症化予防プログラムを実施する。	CKD重症化予防プログラムの実施 20人 前年度参加者への事後フォロー 25人	プログラム参加者について ・腎機能を維持している人の割合 60%以上 ・生活習慣(食事・運動・服薬等)を改善した人の割合70%以上 前年度参加者について ・腎機能を維持している人の割合 60%以上	・重症化予防プログラムの実施 H29 20人 H30 20人 ・前年度参加者の事後フォロー H29 25人 H30 20人 ・H30年度 参加者等による患者会の立ち上げ ・糖尿病性腎症による新規透析者数の減少 H29年度以降 15人未満 参考 H27年度 15人	
14		浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ H32	効率性の悪い既存の防犯灯を高効率照明機器(LED)へ切り替えるため、防犯灯設置者の自治会に対して補助金を交付する。	未LEDの防犯灯675基をLEDへ切り替え(各自治会) 切り替えた自治会へ補助を行う	未LEDの防犯灯675基の切り替えにより二酸化炭素排出量を削減する	以降、H32年度までの4年間で既存の自治会所有防犯灯を高効率照明機器(LED)へ切り替える場合の補助金を交付する	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			名護市特色ある教育環境整備事業	H24 ～ H33					
			学習指導支援者配置事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力の向上を図るため、個々の学習指導を行う学習指導支援者を配置する。	学習指導支援員20人の配置	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 小学3年生 算数:-3ポイント以上 中学2年生 数学:-3ポイント以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、沖縄県平均正答率を上回る。	1月変更 (事業計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
			生徒指導支援者配置事業	H24 ～ H33	不登校の改善を図るため、不登校の児童生徒等の支援を行う生徒指導支援者を配置する。	生徒指導支援者8人を配置	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 24%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒数の減少を目指す。	1月変更 (事業計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更) 3月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
			小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	小中学校英語支援員10人を市立小・中学校にシフト配置	小学校5～6年生を対象とする英検Jr.(旧名称:児童英検)の平均正当率の向上 小5 ブロンズ:82% (参考 平成26年度:80.4%、H27年度:78.0%) 小6 シルバー:78% (参考 平成26年度:78%、H27年度:68%) 沖縄県学力到達度調査における県平均との差 中学2年生 英語:2ポイント以内 (参考 平成26年度 県48.7%、本市44.5%) (参考 平成27年度 県53.9%、本市50.4%)	平成33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(中学:英語)において、県平均を上回る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ H33	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、市立中学の生徒をハワイ州ハワイ郡ヒロへ短期間派遣する。	派遣生徒選考人数 12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合：80%以上	(今後の展開方針) 派遣予定人数 平成24年度～平成33年度：各年度12人 累計120人	1月変更 (事業計画 変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
		適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等を行い学校復帰を支援する。	適応指導教室に支援員4人を配置し、通級児童生徒に対するチャレンジ登校や登校復帰を目指す支援を行う。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率：30% ・適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校のできた児童生徒の率：45%	(今後の展開方針) 平成33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学校復帰率40%以上を目指す。	
		名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒の県外で開催される運動競技会又は文化関係大会への参加を支援する。	大会等派遣児童生徒支援	支援対象者(申請者)へ対する支援件数：100%	平成33年度まで支援を行う。 児童生徒がスポーツ及び文化活動において全国大会で活躍する機会を増やし、質の高い競技に触れさせることで、児童生徒自身の成長につなげる。	
		小中一貫教育推進事業	H26 ～ H33	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、より分かる授業を実践し学力向上を図るため、非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置人数：1人	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 小5理科：-2ポイント以上 中2数学：-7ポイント以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで事業を継続し、これまで研究してきた教育課程の実践的取組や特色ある教育課程の取組支援を行い、児童生徒の学力向上につなげる。	1月変更 (事業計画 変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更) 3月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			地域と子どもたちが音楽でつながる楽器整備事業	H29	吹奏楽部の楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況である。部員の音楽に対する意欲の向上を図るため、市内小・中学校に楽器を整備する。	楽器の購入	楽器の整備	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。	12月変更(事業追加)
2			名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24 ~ H33					
			ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ~ H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、人気球団である日本ハムファイターズと連携したイベント「沖縄へ行こう!! 名護デー」を札幌ドームで開催し、札幌より観光客誘客を図る。	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。(シャトルバスの運行/球場周辺の警備員・誘導員の配置) ・札幌ドームで「名護デー」開催(球場入口にて、名護市観光施設・宿泊施設の案内等の配布/観光と特産品のPRブースの設置/試合前セレモニー	・プロ野球キャンプ見学者数 平成29年度目標:17,000人 キャンプ期間が半月になる為 (平成28年度目標:17,000人) (平成27年度実績:15,852人) (平成26年度実績:28,228人) (平成25年度実績:17,125人) (平成24年度実績:17,799人) ・名護デー観覧者数 平成29年度目標:19,000人 (平成28年度実績:17,407人) (平成27年度実績:16,749人) (平成26年度実績:23,243人) (平成25年度実績:19,095人)	(今後の展開方針) 平成29年度~平成30年度:市営球場立替工事予定につき、一部選手(投手)のキャンプ受入を調整している。 平成28年度~平成29年度はキャンプ期間が半月になる予定。	プロ野球キャンプ見学者数 平成28年度目標:17,000人 平成29年度目標:17,000人 平成33年度目標:40,000人
			まちなか多言語案内サイン整備事業	H29	市内の観光スポットを記した案内板や誘導看板設置し、観光地及び市街地周辺へ観光客を誘導するとともに外国人観光客の移動の利便性を高める。	・多言語案内板設置 10基	・多言語案内板設置の完了(10基)	市内観光施設入込数の増加 平成27年度実績:4,740,000人 平成32年度目標:5,214,000人	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			轟の滝周辺整備事業	H24 ～ H29	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げるため、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けて整備する。	・用地取得10筆 ・委託業務 4件 (資材調査、工事監理業務、用地測量業務、用地鑑定業務) ・工事 5件 (土木3件、建築1件、機械設備1件)	・管理用道路に必要な用地取得 ・土木工事、建築工事の完了	(今後の展開方針) H30年度：供用開始予定 県文化財指定の名勝地を自然・景観を活かした貴重な地域資源として効果的に活用する。	9月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
			やがじ夢の懸け橋事業	H27 ～ H29	屋我地地域において、地域観光産業の振興による定住促進に向け、今後を見据えたツーリズムに関する地域振興計画を策定する。より実践的な計画とするため、民泊事業者とのモニターツアー、ワークショップ等も実施する。	・振興計画の着手 ・モニターツアーの実施(1回) ・ワークショップの実施(4回)	・振興計画の策定完了 ・モニターツアーの参加者 16名 ・ワークショップの参加者 60名	(今後の展開方針) エリアマネジメントを基に地域住民、民泊事業者等が連携して、観光産業の振興を図る。	9月変更 (事業追加)
			名護市特産品開発等支援事業	H29 ～ H31	地域事業者の商品開発の課題を解決すべく、特産品の開発支援を行い、新たな販路を拡大に向けた取組みを実施する。具体的には、地域事業者に対する商品開発のワークショップ研修、個別支援、テストマーケティング、商品モニター調査を支援する。	・ワークショップの開催 5回 ・外部評価のためのバイヤー招聘 2回 ・個別支援 3社	ワークショップの参加企業数：10社 外部評価(バイヤー等の意見)：7件	本事業で習得したノウハウおよび販売戦略等を基盤として、事業者自ら商品の改良・開発に繋げる。	
			観光地周辺環境整備事業	H29	市内観光地であり、国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」の環境整備として公衆トイレを整備し、観光客の利便性と満足度を高める。	公衆トイレ設置工事 (1棟)	公衆トイレ設置工事完了(1棟)	(今後の展開方針) 観光客の利便性と満足度を高めることにより、更なる観光客の増加が見込まれる。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ H31	修学旅行等の誘致を図るため、観光地周辺整備及び観光体験施設整備を行う。	・オランダ墓アクセス通路 実施設計 ・塩づくり体験施設 基本設計 ・出荷選別体験施設 実施設計 ・ビニールハウス整備	・オランダ墓アクセス通路 実施設計の完了 ・塩づくり体験施設 基本設計の完了 ・出荷選別体験施設 実施設計の完了 ・ビニールハウス整備の完了	平成32年度の目標を以下のとおりとする。 修学旅行受入数 100校 (整備スケジュール) 平成30年度 ・オランダ墓(通路整備、ウッドデッキ整備) ・塩づくり体験施設(土質調査、磁気探査、土木実施設計、施設実施設計) ・農業体験施設(磁気探査、出荷選別体験施設整備、備品購入) 平成31年度 ・塩づくり体験施設(造成工事、施設整備)	9月変更(事業追加) 3月変更(計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
			名護市21世紀の森ビーチ整備促進事業	H29	観光客や市民のハブクラゲによる被害の防止を図るため、21世紀の森ビーチのハブクラゲ侵入防止ネットを機能強化する。	ハブクラゲネットの購入	ハブクラゲ侵入防止ネットの機能強化	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 ハブクラゲによる被害者数 0人	12月変更(事業追加)
			スポーツ施設機能強化事業	H29 ～ H30	スポーツ合宿の実施増加に繋げるため、名護市陸上競技場の日本陸上競技連盟第3種公認の更新に必要な備品の設置を行う。	備品購入	備品購入の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 スポーツ合宿誘致件数 7件	1月変更(事業追加)
3			名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ～ H29	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車指導レーンの整備率:100%	平成29年度自転車指導レーン整備延長2,000mの整備完了	(今後の展開方針) 平成29年度整備率:100% 平成30年度全面供用開始 平成30年自転車利用増加率 平成24年度(264台)を基準として51%増	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			名護市金融・情報特区推進事業	H24 ～ H33					
			名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ H33	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	・金融・情報通信関連企業の経営者等を招致し、セミナーを開催 ・沖縄県開催企業誘致イベントへの参加：県外イベント1件 ・学生・市民向け金融・IT講座の開催：2回	招聘セミナー参加企業：10社/20名 県外イベント来場者数：120名 学生・一般市民の金融・IT基礎知識の習得：150名	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数 2件	1月変更 (事業計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
			豊原・久志地区光ケーブル地中化事業	H29	台風等の災害時において、光ケーブルの切断を防止するため、みらい3号館からみらい4号館の区間に、光ケーブルを地中化するための地下管路を整備する。	みらい3号館・みらい4号館の2施設を結ぶ地下管路の整備を実施 ・地下管路L=約860m ・新設マンホール5基	みらい3号館・みらい4号館の2施設を結ぶ地下管路の整備完了	平成31年度の目標を以下のとおりとする。 みらい3号館からみらい4号館の区間における台風等の災害時における光ケーブルの切断件数 0件 (整備スケジュール) 平成29年度 みらい3号館・みらい4号館の2施設を結ぶ地下管路の整備 平成30年度 通信事業者による地下管路への光ケーブル敷設	1月変更 (事業計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
			名護市超高速通信サービス整備事業	H28 ～ H29	超高速ブロードバンドサービスによる久辺地域の利便性の確保のため、超高速ブロードバンド環境の整備に対し補助を行う。	詳細設計の実施 整備工事の着手	詳細設計の完了 整備工事の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 久辺地域において、超高速ブロードバンドサービスにより利便性が確保されたかを含め(80%以上)、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。 (整備スケジュール) 平成28年度：基本設計の実施 平成29年度：詳細設計・整備工事	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ H31	名護市における畜産業振興のため、市内の肉用牛繁殖農家に対し優良繁殖雌牛の導入を支援することで、繁殖生産基盤の拡充、強化を図る。	優良母牛導入支援 20頭	優良母牛20頭を導入することで、やんばる和牛改良組合の子牛生産基盤の一部強化を図る。 導入目標頭数:20頭 今年度導入率:60%(全導入目標頭数:100頭)	(今後の展開方針) 平成27年度～平成31年度:毎年度20頭合計100頭の導入 老廃母牛更新及び母牛優良化促進により、子牛の生産基盤の強化、安定した農家経営を図る。		
6	名護市安全・安心のまちづくり事業	H24 ～ H33						
	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ H31	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際に、居合わせた方が適切な救命処置を行えるよう救急救命士等の資格を有する人材を配置し、応急手当の普及を強化する。	救命講習普及支援員配置数:3名 各種講習会回数 134回	講習会受講者数:2630人 小学校(6年生690人) 中学校(2年生640人) 事業所・一般受講者(1,300人) まちかど救急ステーション認定事業所(5事業所)	(今後の展開方針) 平成30年度～平成31年度: 支援員3名/年 各種講習会数 134回/年 平成31年度 市民の半数(約3万人)が救命講習を受講する。 まちかど救急ステーション認定事業者数23事業者		
	ハブ対策事業	H27 ～ H33	地域住民や観光客の咬傷被害防止を図るため、地域住民の生活圏や観光地にハブ捕獲器を設置し定期巡回を行う。	ハブ捕獲器160器設置 ハブ捕獲器(50器)・冷凍庫購入	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数 0件	(今後の展開方針) 平成27年度の事業実施以降、捕獲器設置箇所におけるハブによる咬傷被害0件であることから、引き続きハブによる咬傷被害0件を目指す。 また、捕獲器を新たに購入することにより平成30年度以降は、捕獲器の設置箇所を増やすことによりワンハブの発生件数及びハブによる咬傷被害件数0件を目指す。	1月変更 (事業計画 変更に伴う 事業内容、 各目標、 今後の 展開方針 等変更) 3月変更 (計画変更 に伴う成 果目標変 更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		水難救助車等整備事業	H28 ～ H29	近年増加するリゾートホテルや海上レジャー等における市民や観光客等の水難事故等に迅速に対応するため、水上バイク、牽引車、トレーラーを整備し、初動対応の体制を強化する。	水難救助車両の購入 1台	・消防署への水難救助車両の配備完了 1台	(今後の展開方針) 名護市における水難救助体制並びに機能強化	
		名護市普通河川整備事業	H29 ～ H31	集中豪雨により浸水している箇所や、河口域から入ってくる波が越波し被害を及ぼしている箇所、河口閉塞を起こしている河川の災害防止を図る。また、治水と自然を共存させた整備を行うことで環境の保全、再生を図り豊かな自然環境と共生するまちづくりを推進する。	・河川整備基本計画の策定(課題の整理、基本方針の決定)	・本市の現状、課題の把握 ・11河川中、5河川の基本計画の完了	・策定された整備基本計画に沿って各河川ごとの個別の設計を実施し、各河川の特徴を活かした整備を目指す。	
7		名護市地域公共交通基礎調査事業	H29	公共交通機関の利用低下や沖縄県が行う鉄道を含めた新たな公共交通システムに対応し、地域内滞在者の利便性向上及び産業の振興を図るため、本市における公共交通の現状把握及び課題の整理を行う。	調査報告書の作成	・本市の現状、課題の把握 ・調査報告書の完了	・作成された調査報告書をもとに本市の今後の交通政策の方向性を明確化する。 ・交通政策の方向性の明確化を図り、有効な政策を実施することで公共交通利用者及び入域観光客数の増加を目指す。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の歴史、民俗地図等資料を作成する。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・旧喜屋武村での歴史民俗調査及び地図原稿作成 ・市史講座の開催(2回)	・市史講座の参加者数 50人	・H30年度:旧真壁村民俗地図/現況図発行・市史講座 ・H31年度:旧摩文仁村民俗調査・地図原稿作成・市史講座 ・H32年度:旧喜屋武村民俗地図/現況図発行・市史講座 ・H33年度:旧摩文仁村民俗地図/現況図発行・市史講座	
1		沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ H32	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・糸満重点地区まちなみミュージアム計画策定 ・米須重点地区まちなみミュージアム計画策定 ・山巔毛公園整備に向けた事業用地取得(1筆) ・ジョーグラー重点地区整備工事(2工区) ・重点地区景観形成への支援((都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金))	・糸満重点地区まちなみミュージアム計画策定完了 ・米須重点地区まちなみミュージアム計画策定完了 ・山巔毛公園整備に向けた事業用地取得(1筆) ・ジョーグラー重点地区整備工事完了 ・助成金による景観形成整備の完了	風景づくり計画に基づく事業の実施後(平成32年度)の成果目標を以下の通りとする。 ・事業の実施後の観光満足度調査において、糸満地区と米須集落地区における風景に対する評価「満足」90%以上 (今後のスケジュール) 糸満重点地区スケジュール 平成30年度 施設実施設計、施設整備工事 平成31年度 行動計画策定、施設整備工事 平成32年度以降 施設実施設計・工事 米須重点地区スケジュール 平成30年度 施設実施設計 平成31年度 施設整備工事 平成32年度以降 施設整備工事 (今後の展開方針) ・糸満重点地区及び米須重点地区における風景・まちなみ創生の整備実現	12月変更(計画変更)に伴う各目標、今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			糸満のくらし体感施設整備事業	H27 ～ H30	本市を訪れる観光客や市民が、旧市街地の町並みや、「海人(うみんちゅ)のまち」に根付いてきた売り手と買い手同士の取引である相対売りなどの漁労文化、また沖縄の伝統文化を体験できる施設を整備する。	・糸満のくらし体感施設実施設計の実施 ・糸満のくらし体感施設駐車場用地取得100㎡	・糸満のくらし体感施設実施設計の完了 ・糸満のくらし体感施設駐車場用地取得の完了	供用開始後1年目(平成31年度予定)の目標を以下のとおりとする。 年間利用者数 11万人 (市民9万人、観光客2万人) (今後のスケジュール) 平成29年度 実施設計、用地取得 平成30年度 整備工事 平成31年度 供用開始	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1			喜屋武海岸・荒崎海岸環境整備事業	H29	喜屋武海岸及び荒崎海岸は、戦後、近隣に米軍施設が存在し十分な地籍測量がされず現況と地籍が異なっていることから、地籍更正及び地図訂正し、観光資源としての活用を図る。	・現地測量及び用地測量(129,728.58㎡:登記簿記載面積)	・地籍更正及び地図訂正	平成29年度:地籍更正及び地図訂正 平成30～31年度:保存活用計画策定 平成32年度～:整備事業	
1			大度園地・周辺海岸総合整備事業	H29	国際人として活躍した先人ジョン万次郎の上陸の地に記念碑を建立することで、国際的な人材育成に向けた環境整備及び啓発をしつつ、大度園地・周辺海岸特有の歴史や自然環境の観光資源化を図る。	・ジョン万次郎上陸之地記念碑建立実施設計の実施 ・ジョン万次郎上陸之地記念碑建立工事の実施	・ジョン万次郎上陸之地記念碑建立実施設計の完了 ・ジョン万次郎上陸之地記念碑建立工事の完了	・市内小中学校の総合的学習等での活用、観光マップ等への掲載、市HPや広報紙等での周知活動	
2			省エネ設備化推進事業	H24 ～ H29	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設の照明に省エネ対応器具を導入する。	・西崎運動公園大型照明施設省エネ化実施設計の実施 ・西崎運動公園大型照明省エネ化工事の実施	西崎運動公園大型照明省エネ化工事の完了	整備後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 西崎運動公園内のCO2を年間約180,000kg削減 (整備スケジュール) 平成29年度 実施設計、整備工事	1月変更 (計画変更に伴う各目標、今後の展開方針等変更)
2			燃料ごみ処理モデル事業	H24 ～ H29	廃棄物の減量化及び資源化を推進するため、可燃ごみの固形燃料化に係る取り組みを実施する。	・再資源化(RPF)量83トン	CO2を年間約28.22トン削減	(今後の展開方針) 引き続き、環境にやさしい取り組みを進める。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			観光地危険生物駆除事業	H25 ～ H33	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置 ・ハブ生息地の調査	・ハブ及びサキシマハブ捕獲率 (捕獲数/捕獲器設置数):103.75%以下	平成30～33年度 発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置により、ハブ咬傷被害0件を目標とする。	
3			観光地危機管理対策事業	H28 ～ H31	大型ホテルやマリレジャー施設、道の駅等の観光施設が立地する本市にあって、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊出し資器材等の整備を行う。	・指定避難所へ防災資機材を整備(3箇所)	・指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所)	H30年度 避難所整備 3箇所 H31年度 避難所整備 3箇所	
4			糸満イベント推進事業	H24 ～ H33	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。 また、市民の平和に対する意識の向上及び観光誘客を図るため、平和の光イベントへの支援を行う。	・糸満ふるさと祭りの開催 ・平和の光イベントの開催	糸満ふるさと祭り ・エイサー演舞者数 230人 ・来場者数 46,000人 平和の光 ・イベントに参加した市民ボランティアの数 310人 ・来場者数 92,000人	(今後の展開方針) イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら平成33年まで継続して補助する。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
4			滞在型観光推進事業	H24 ～ H33	潜在的な観光資源の認知拡大や地域人材の育成を図るため、体験メニューなどを活用した観光メニューを創出しマーケティングプロモーションを実施する。	・市場ニーズの把握(体験メニュー開発に係る観光需要者や供給者(事業者)の意向調査、体験イベントの実施に際した来場者からのアンケート調査などを行う) ・プロモーションを実施する中での商談に至る件数 5社 ・周遊型観光プログラムの実施 2件	・体験イベント来場者の体験観光メニューへの満足度:70%(アンケート対象:体験イベント来場者)	観光を市内全域で展開することにより観光によって生じる観光客と地域住民との交流機会や経済的な効果を地域活性化に繋げる。	9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
4			多言語観光案内サイン整備事業	H29 ～ H33	外国人を含む観光客の利便性向上・観光客の周遊促進を図るため、多言語対応の観光案内サイン整備を行う。	・多言語観光案内サインの設置(経路案内板9箇所、説明板10箇所)の実施	・多言語観光案内サイン設置の完了	観光のユニバーサルデザイン化の一環として、多言語対応の観光案内サインを充実させることにより、観光資源としての情報発信及び魅力の訴求に繋げる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		国道331号糸満バイパス桁下駐車場整備事業	H29 ～ H29	入域観光客数の増加に伴い本市の観光施設等の受入体制の充実が求められる中、本市の道の駅いとまん付近では週末や休日には多くの人で賑わっている。観光客の更なる誘客、物産品の販売促進を図る。	国道331号糸満バイパス桁下の駐車場整備。	駐車場の整備完了	事業スケジュール ・実施設計(交通量調査含む) ・駐車場整備工事 ・利用可能台数 約50台	9月変更(事業追加)
5		小規模農家支援事業	H24 ～ H29	混在栽培が行われている地域等へ農薬飛散防止ネットを整備し、他品目の圃場への農薬飛散の防止を図る。 また、簡易パイプハウスを整備し、害虫や鳥獣等による農作物被害の軽減を図る。	・簡易パイプハウスの整備 15箇所 ・農薬飛散防止ネットの整備 25箇所	・簡易パイプハウス施設の整備により、害虫や鳥獣等による農作物の被害が軽減されたと感じる農家の割合 80%以上 ・農薬飛散防止ネットを整備することにより、他の圃場への農薬飛散の防止が図られたと感じる農家の割合 80%以上	(今後の展開方針) 関係機関と連携し、整備したネット及びパイプハウスを上手に活用した栽培技術の向上を図り、農薬飛散をゼロにすること及び農作物被害の軽減を図る。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
5		糸満和牛群改良整備事業	H24 ～ H29	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛導入の実施:30頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合10.6%以上	(今後の展開方針) 引き続き優良母牛導入への支援を行い、子牛のブランド化の推進を図る。	1月変更(計画変更に伴う各目標、今後の展開方針等変更)
5		地場産品販路拡大事業	H24 ～ H29	市内事業者等の販路拡大を目的として、県内外の商社及び販売事業者に向けた物産展を県内及び姉妹都市・友好都市・大都市圏等において開催する。	・県内外の商社及び販売事業者に向けた物産展 県内:1箇所 ・県内外の商社及び販売事業者に向けた物産展・観光展 県外:姉妹都市・友好都市・大都市圏等 計5箇所 沖縄の産業祭りや大交易会の物産をPRできる大きな催し物に参加する費用の一部を助成 計2箇所	・県内外における独自物産展の開催 計5回 ・他主催物産展等への出展支援 計4回 ・物産展等への出展を通じた商談会の実施	出展を通じた商談会の実施による、企業間の取扱品目等の把握と定着に向けた支援等を行う。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			再生水等循環型に関する実証事業	H29 ～ H33	市の下水処理水の未利用資源に着目し、大半が東シナ海へ放流されている処理水を再生水として活用する水資源循環型を構築する。	・再生水等循環型に関する実証事業 再生水製造機器運転 水質・土壌分析調査等 検討委員会の開催(年2回) 市民(消費者・農家)啓発活動の実施(年2回)	・調査報告書の作成完了	H30年度:機器運転及び可能性調査等 H31年度:糸満市再生水事業基本構想(案)の作成 H32年度:糸満市再生水事業基本計画の策定 H33年度:糸満市再生水事業基本設計図書の作成	
6			平和ガイド育成事業	H24 ～ H33	平和教育・平和観光に役立てるため、体験者の証言の映像記録、「平和ガイド」の育成等を行う。	・平和ガイド育成:研修6回、実践1回	・平和ガイドの市関連事業参加率 80%	平和意識の高揚並びに世代に切れ目のない「沖縄戦の継承」を図る。	
6			戦争遺構保全・活用整備事業	H26 ～ H33	平和教育・平和観光に役立てるため、戦争遺構の整備等を行う。	・戦争遺構概要版看板設置	・概要版看板設置箇所:4か所	観光客や次世代の平和学習の活用を促進する。	
7			確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ H33	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不適應の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	市内小中学校への学習指導等支援員の配置 ・小学校10校 ・中学校6校	県学力到達度調査の県との差 小学校算数 - 3% 中学校数学 - 2.2%	(今後の展開方針) 引き続き学習指導等支援員の配置を行い、適切な支援を行う。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
7			英語指導事業	H24 ～ H33	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	市内小中学校への英語指導助手の配置 ・小学校:4人 ・中学校:3人	児童生徒の英語学習への興味・関心度:66% (アンケート対象:市内小中学校すべての児童生徒)	引き続き市内10小学校と6中学校へ英語指導助手を配置。月に2回程度の英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			適応指導教室設置事業	H25 ～ H33	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	適応指導教室への人員配置 ・主任担当者:1人 ・補助担当者:1人 ・教育相談員:2人	不登校児童生徒の平均登校日数 90日/200日（登校日数/出席すべき日数）	適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。	
7			障害児学習環境づくり事業	H24 ～ H33	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	市内幼稚園・小中学校への障害児支援ヘルパーの配置 ・幼稚園:8人 ・小学生:22人 ・中学生:3人 特別支援教育指導コーディネーターの配置:1人	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 引き続き特別支援員の配置を行い、適切な支援を行う。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う成果目標、今後の展開方針等変更)
7			情報教育環境づくり事業	H25 ～ H33	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、情報機器を導入する。また、情報教育の充実を図るため情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員の配置:1人 教育用コンピュータ整備 ・小学校 2校 74台 ・中学校 1校 41台 電子黒板等整備 ・小学校 5校 8,865,398円 ・中学校 2校 2,647,974円	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上	(今後の展開方針) 引き続き情報機器の導入や情報教育支援員の配置を行い、適切な支援を行う。	9月変更 (計画変更に伴う目標変更) 12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う成果目標、今後の展開方針等変更)
8			子育て応援NPO活動支援事業	H24 ～ H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。	・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会(回) 6回 ・支援者対象研修会(回) 10回	・支援目標達成率40%	H30～33年度 ・相談活動 80件/年 ・訪問活動 70件/年 ・親対象の学習会 7回/年 ・支援者対象研修 9回/年	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			母子生活支援モデル事業	H29 ～ H33	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	・拠点事務所の開設等支援体制の整備 ・ひとり親家庭の自立に向けた支援	支援したひとり親家庭世帯数 3世帯	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 支援対象者のうち自立につながった割合:60%以上 (事業スケジュール) H29年度:先進地視察、拠点事務所開設等、3世帯支援 H30年度以降:3世帯支援	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)
8			放課後児童クラブ巡回支援事業	H27 ～ H29	放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質の向上を図るため、専門員を巡回派遣し各クラブへ指導、助言を行う。	・巡回指導員の配置	・支援相談 200件/年 ・研修会(回) 6回/年 ・研修会参加者 100人/年	各クラブが抱える課題の解決に向けた取組みについて、クラブ毎に合った支援を行い資質の向上に繋げる。	
9			運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ H30	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎陸上競技場及び西崎球場の芝管理 ・西崎総合体育館(トレーニング室機能強化(150m2)、機器更新(34基)、多言語化・バリアフリー化サイン設置(12箇所)、アリーナ床機能強化実施設計、ウエイトトレーニング室新設実施設計) ・西崎陸上競技場(更衣室バリアフリー化(126m2)、多言語化・バリアフリー化サイン設置(12箇所)) ・西崎運動公園の多言語化・バリアフリー化サイン設置(30箇所) ・西崎研修センターバリアフリー化実施設計	・西崎陸上競技場及び西崎球場の合宿数増加 9団体(H27) 13団体(H29) ・西崎総合体育館 整備及び実施設計完了 ・西崎陸上競技場 整備完了 ・西崎運動公園の多言語化・バリアフリー化サイン設置完了 ・西崎研修センターバリアフリー化実施設計完了	H30:ウエイトリフティング用トレーニング室新設・ウエイトリフティング用トレーニング室機器購入	4月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
9			パークゴルフ場整備事業	H27 ～ H29	観光誘客及び市民の健康増進に資する施設としてパークゴルフ場を整備する。	・パークゴルフ場芝管理機械の購入 ・パークゴルフ場フェンスの設置工事	・平成29年度(11月～3月)利用者数8,125人	(今後の展開方針) 観光誘客及び利用者の健康増進を図る。	9月変更 (事業追加) 12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	kozaフィルムオフィス事業	H24～H33	伝統文化や景観など本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信するため、映画・ドラマ等の撮影誘致及び撮影サポートを支援する。	・誘致活動 1回 ・撮影支援の実施 ・ロケ地マップ等の製作	映画・ドラマ等撮影支援件数 90件 (H27年度実績:48件)	(今後の展開方針) H30～H33:撮影件数の増加に向け、誘致活動や撮影サポートの内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。		
1	音楽資源活用事業	H24～H33	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、収集した資料を活用した企画展の開催、展示室の運営、関係者への聞き取り調査などを行う。また、音楽によるまちづくりの更なる推進のため音楽資料の常設展示(音楽ミュージアム)に向け取り組む。	・音楽・芸能資源収集数:150点以上 ・企画展の開催:3回以上 ・展示室の運営	・企画展集客数:1,500人/回 (H27実績:平均812人/回) ・展示室入場者数:9,000人	(今後の展開方針) H30年度 企画展の開催 (集客数目標:1,500人/回) 展示室の運営 (入場者目標:9,000人)		
1	音楽観光誘客事業	H24～H33	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、沖縄市のアーティストやライブハウスなどの音楽情報を広く発信するとともに、ライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽および民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。	・ライブハウス活用イベントの開催 ・おきなわ音楽月間の開催 10月～12月	・ライブハウス活用イベント集客率:70% ・おきなわ音楽月間(ラジオ放送、主催イベント)集客率:70%	(今後の展開方針) H30～33年度 ライブハウス等活用事業 おきなわ音楽月間の開催 (野外音楽イベント含む)		
1	文化活動拠点施設機能強化事業	H24～H30	市民が琉球舞踊や島唄、組踊りなどの伝統文化に触れる機会や活動を行う場の確保を図るため、音響設備の機能強化を行う。	沖縄市民小劇場あしびなーの音響設備機能の強化を図る。 ・音響設備機器機能強化工事	・音響設備機器機能強化工事の完了	供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 ・年間利用者数35,000人 (整備スケジュール) H29年度 市民小劇場あしびなー音響設備機能強化(出力系) H30年度 市民小劇場あしびなー音響設備機能強化(入力系)	3月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)	
1	国際交流事業	H24～H33	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を目指し、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。	・コザインターナショナルプラザの運営 ・語学講座(英・中・スペイン) 週3回 ・多言語相談窓口(生活)(上記言語) 週3回 ・日本語交流会 週2回 ・異文化理解講座 月1回 ・情報発信(市広報誌、多言語情報広報誌)	・受講者等人数(人数・件数は述べ) ・語学講座(英・中・スペイン) 3,000名(H27実績2,699名) ・多言語相談窓口(生活)(上記言語) 180名(H27実績166名) ・日本語交流会 500名(H27実績430名) ・異文化理解講座 1,000名(H27実績3,485名) ・情報発信5,000件(フェイスブック閲覧件数) ・多言語情報広報誌の発行 1,500部	(今後の展開方針) H30～H33年度 語学講座(英・中・スペイン) 週3回 多言語相談窓口 週3回 日本語交流会 週2回 異文化理解講座 月1回 情報発信 3回		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
1		エイサーのまち推進事業	H24 ～ H33	<p>エイサーを活用した観光振興やPR活動を実施するとともに、拠点施設となる(仮称)青年エイサー会館を整備し、観光客の誘客の拡大を図る。</p>	<p>エイサーのまちPR事業 ・エイサーステッカー製作 ・エイサーリーフレット製作 ・街中へのエイサーバナー等設置 ・エイサーPRポスターチラシ制作</p> <p>エイサーのまち10周年記念事業 ・エイサー記念グッズ製作 ・エイサー記念イベント開催 ・エイサー記念企画写真展開催</p> <p>エイサー資源観光活用業務 ・エイサーパネル展示展 9回 ・広報活動(FMコザ、オキラジ) ・エイサー相談窓口対応</p> <p>沖縄全島エイサーまつり事業 ・シャトルバス運行 ・エイサーまつり空間演出業務</p> <p>(仮称)青年エイサー会館の改修整備を行う。今年度は改修工事等を行う。 (施設概要) 主要機能: エントランスホール、文化体験学習スペース、エイサー概要展示スペース等 構造: 鉄筋コンクリート造、 階数: 地下1階付2階建 床面積: 1,102㎡</p> <p>・エイサー会館コンテンツ制作(プロジェクトマッピング、エイサーアーカイブ)</p>	<p>エイサーイベント来場者数 380,500人 ・(仮称)青年エイサー会館改修工事等の完了</p>	<p>供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・(仮称)青年エイサー会館年間利用者数見込み: 25,000人</p> <p>(今後のスケジュール) 平成29年度 整備工事完了 平成30年度 供用開始</p> <p>(今後の展開方針) H30～H33: エイサーイベント参加者数の増加に向け、エイサーのまち沖縄市のPR活動を積極的に実施し、エイサーイベントの魅力・利便性の向上を図る。</p>	<p>4月変更 (計画変更に伴う各目標変更)</p> <p>12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)</p>

H29活動目標(指標): 平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標): 平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光宣伝事業	H25 ～ H33	観光PR活動等を実施することで、観光誘客の拡大を図る。	観光PRを実施し、観光客の誘客の拡大を図る。 ・観光情報誌の発刊(1種類) ・各種メディアやウェブを活用した観光広報活動業務 ・観光キャラバン隊を県外イベント等に派遣(6回) ・観光PR動画制作(1本)	・主要施設来場者数3,100,000人	(今後の展開方針) H30～H33:観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動および新たな観光資源の創出を図る。 観光体験による誘客拡大を図るため、誘致活動や新メニュー創出等の支援を継続する。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
1		文化芸能推進事業	H25 ～ H33	本市独自の魅力ある伝統芸能と観光を連携させ、沖縄市をPRしさらなる誘客を図るため、沖縄市伝統の文化芸能作品の公演を街中で実施する。	・フェスティバル実施 1回 ・ステージ数 28ステージ	・プレ公演入場者数 300人 ・本公演入場者数 15,000人	(今後の展開方針) H30～33年度 フェスティバルを継続実施し沖縄市の芸能と観光誘客を結びつけ定着させる。 公演 1公演 ステージ 28ステージ	
1		戦後文化資料等展示事業	H24 ～ H29	戦後の新聞や写真をデジタル化し、コンテンツの拡充を図るとともに、沖縄市戦後文化資料展示室の移転先の施設改修を実施することで、沖縄の戦後史を学ぶ場として、修学旅行生や観光客等の誘客を図る。	・戦後、沖縄市に関連する新聞記事(琉球新報・沖縄タイムス)の抽出及びデジタル化(1988年～1995年 8年分) ・総務課市史編集担当が保有する沖縄市戦後写真のデジタル化 ・沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリーの移転先の施設改修を行う。今年度は改修工事等を行う。	・ヒストリート入室者数19,900人(うち修学旅行生2,900人) ・新ヒストリート移転改修工事等の完了	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・新ヒストリート入室者数 延べ21,600人(うち修学旅行生3,200人) (今後のスケジュール) H29年度 実施設計完了、改修工事実施・完了 H30年度 供用開始	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
1		文化財整備事業	H24 ～ H33	貴重な文化資源の保存・活用による観光を創出するため、経年劣化による破損が著しい「奉安殿」と「忠魂碑」の修復等をおこなうとともに、見学通路など周辺環境整備を実施する。 また、各地域における文化財の周知等を図るため説明板等を設置する。	・「奉安殿・忠魂碑」の周辺環境整備工事 ・文化財説明板等設置調査設計業務4地域	・「奉安殿・忠魂碑」の周辺環境整備の完了 ・文化財説明板等設置調査設計業務の完了 4地域	(今後の展開方針) ・H30:文化財説明板等設置工事 4地域、説明板等設置調査設計業務 3地域 H33:予定地域の説明板等設置業務完了	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ H33	<p>スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。</p> <p>また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。</p>	<p>プロスポーツ団体等のPRをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験及びイベントの開催に取り組む。また、スポーツ合宿誘致に取り組むとともに、2020東京オリンピック開催前のさらなる合宿誘致に向けた調査・分析を行う。</p> <p>・合宿受入：プロスポーツ 3チーム ・誘致活動：2回 ・合宿誘致パンフレット制作、送付：多言語 ・プロスポーツ団体等活動支援 3団体 ・交流イベント開催：2回 ・動画制作：1種類 ・スポーツ合宿等調査業務</p>	<p>・スポーツ合宿延べ宿泊者数：16,795人</p> <p>・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 122,563人</p>	<p>(今後の展開方針) H30～H33：スポーツ合宿者の増加に向け、誘致活動の改善および2020年東京オリンピックに向けた合宿の誘致活動を強化する。</p>	<p>12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)</p>
2		モータースポーツ推進事業	H27 ～ H31	<p>本格的なモータースポーツの拠点となる(仮称)沖縄サーキットの整備実現に向け、モータースポーツの振興を図るイベントを実施し、モータースポーツに関する理解と機運を高める。</p>	<p>モータースポーツ振興イベントの実施</p>	<p>イベント来場者数：延べ33,000人 (H28実績：33,000人)</p>	<p>(今後の展開方針) モータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高め、将来的なモータースポーツの拠点となる(仮称)沖縄サーキット建設を実現する。</p>	
		スポーツ推進整備事業	H24 ～ H29	<p>スポーツ環境を活かした観光を推進するため、沖縄市総合運動公園内にある沖縄市総合運動場体育施設の機能強化に取り組み、プロスポーツや各種大会等、施設利用の促進を図る。</p>	<p>・沖縄市体育館照明設備等の工事 ・沖縄市投球練習場の整備</p>	<p>・コザ運動公園体育施設 利用者数 H29年度 739,300人(H27実績：661,261人)</p> <p>・スポーツ合宿者延べ数 H29年度 10,000人(H27実績：15,629人)</p> <p>・沖縄市体育館照明設備等の工事の完了 ・沖縄市投球練習場整備の完了 ・プロ野球キャンプ観覧者数 延べ人数 平成29年度 7,600人</p>	<p>(今後の展開方針) H29事業で完了。</p> <p>沖縄市総合運動場体育施設の整備や備品の導入等による機能強化を検討し施設利用の促進を図る。</p>	<p>9月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)</p>

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		道路景観形成推進事業	H24 ～ H33	<p>・道路照明のLED化による温室効果ガス(CO2)の削減を図る。</p> <p>・観光地周辺道路を植栽整備することにより、快適性の向上を図り、観光誘客の拡大を図る。</p>	<p>観光周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保並びに温室効果ガス(CO2)の排出抑制に向け、道路植栽等整備工事や環境負荷の少ないLED道路照明器具の整備等を行う。</p> <p>・照明灯LED化取替10基(山内小学校西側線6基、市営球場線3基、諸見会館桃原線1基)</p> <p>・道路植栽等整備工事1路線(安田中学校線)</p>	<p>・道路照明のLED化によるCO2排出量の削減 削減目標値:7,026kg-co2</p> <p>・主要施設来場者数3,100,000人</p>	<p>(今後のスケジュール) H30年度～H33年度 ・道路植栽等実施設計 ・道路植栽等整備工事 ・照明灯LED化取替</p>	<p>12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)</p>
4		こども科学力育成事業	H24 ～ H33	<p>こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや科学体験プログラムの実施、学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。</p>	<p>・科学普及イベント開催 3回</p> <p>・科学体験ワークショップ開催 30回</p> <p>・出前科学教室開催 100コマ</p>	<p>・科学力育成事業参加者総数:16,200人</p> <p>・科学体験ワークショップ参加者数:(40人/1回)×30回=1,200人</p> <p>・出前科学教室参加者数:(40人/1クラス)×100コマ=延べ4,000人</p>	<p>(今後の展開方針) H30～33年度 科学普及イベント・ワークショップ開催による意識啓発及び出前科学教室による学力向上を並行的に実施。</p>	
4		児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ H33	<p>児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援専門員、学習支援員、外国語指導助手、日本語指導員等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。</p>	<p>・日本語指導員4人を配置する(小中学校巡回)</p> <p>・外国語指導助手を25人配置する(小学校16校、中学校8校)</p> <p>・学習支援員を24人配置する(小学校16校)</p> <p>・学力向上や授業改善等に課題のある学校5校に学校支援専門員5人を配置する。</p> <p>学校支援専門員:課題のある学校へ配置し、授業支援や授業改善、少人数加配、個別支援等により学校を総合的に支援し、児童生徒の学力向上を図る。</p>	<p>・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差</p> <p>小学校:県との差-1ポイント以内を目指す。 中学校:県との差-3ポイント以内を目指す。</p>	<p>(今後の展開方針) H30～33年度 沖縄県学力到達度調査において、正答率の水準維持及び向上に取り組む。</p>	<p>12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)</p>

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
4		気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ H33	<p>特別な支援を要する障害がある園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。</p> <p>不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。</p>	<p>【幼稚園特別支援事業】 ・発達の遅れ等により支援を必要とする園児に対し、特別支援担当を配置(33人)し支援する。(園児:担当 4:1) ・発達の気になる子に対し、特別支援教育補助者(14人)を幼稚園各園に1人配置し支援する。</p> <p>【特別支援教育事業】 ・発達検査を実施する心理士2人を配置する。 ・児童生徒の健康診断や保健指導等に関する業務を行う保健師1人を配置する。 ・看護師3人を医療ケアの必要な児童3人に配置する。 ・特別支援教育補助者37人を特別な支援を必要とする児童生徒の在籍する小中学校に配置する。 ・就学支援委員会の円滑な運営を図る心身障がい児童生徒就学指導員1人を配置する。 ・特別支援教育補助者への指導・助言や研修等を行う特別教育コーディネーター1人を配置する。</p> <p>【児童生徒支援事業】 ・児童等のカウンセリングを行う市スクールカウンセラーを小学校16校に配置する。 ・生徒が悩み等を気軽に相談できる心の教室相談員を中学校8校に配置する。 ・問題を抱える児童生徒の課題解決を図る市スクールソーシャルワーカー1人を配置する。 ・不登校解消を図る学校支援教育補助者16人を中学校に配置する。</p> <p>【心因性不登校児童生徒適応指導事業】 教育相談員(2名) 内面的な悩みを抱える児童生徒及び保護者からの電話相談・来所相談・訪問相談などの相談活動を行う。</p>	<p>・保護者アンケートで発達の状況に応じた対応への満足度80%以上 ・対象となる園児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率14%以上</p>	<p>(今後の展開方針) H30～33年度 特別な支援が必要な児童生徒や不登校・学力不振の児童生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して行う。</p>	<p>12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)</p>

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
				<p>適応指導教室指導員(2名) 心理的・情緒的要因による不登校児童生徒について適応指導教室「すだち」にて指導・支援を行う。</p> <p>巡回支援指導員(4名) 教室に入れない児童生徒を校内の別室にて対応し学習指導や支援活動を行う。 指導員4名が市内小中学校を巡回する。</p>				
4		青少年等支援事業	H25～H29	<p>青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年教育相談指導員を配置し、電話・来所・訪問相談、登下校の巡回指導、各種体験活動等を行うとともに、青少年指導員による夜間の街頭指導を行う。 また、若者相談窓口担当相談員を配置し、困難を有する若者の自立や非行に関して悩みを抱えている家族や本人等に対し、情報提供や支援を行う。</p>	<p>・青少年教育相談指導員配置 嘱託職員8名 ・青少年指導員配置 126名 ・若者相談窓口担当相談員配置 嘱託職員 1名 ・青少年教育相談指導員への研修 年10回</p>	<p>・午前・午後の巡回指導 200回 ・夜間の街頭指導 250回 ・青少年教育相談指導員への研修 年10回</p>	<p>(今後の展開方針) H29年度 ・午前・午後の巡回指導 200回/年 ・夜間の街頭指導 250回/年</p>	
4		中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25～H29	<p>「国際文化観光都市」を宣言している沖縄市では、次代を担い、これからの国際化社会に活躍できる人材を育成することを目的として、市内中学校の生徒を対象に、夏休み期間中の海外ホームステイ活動を支援する。</p>	<p>生徒派遣人数 10名</p>	<p>・アンケートによる意識調査・派遣前と比較し語学力の向上を感じる生徒8割以上 ・イベント等における通訳ボランティア補助として活用</p>	<p>(今後の展開方針) H30～33年度 短期ホームステイ活動支援派遣人数 10名/年間</p>	
5		若年者就労等支援事業	H24～H33	<p>沖縄市の小中高校生の勤労観・職業観の育成を図るため、産学官、地域連携によるキャリア支援事業を実施する。</p>	<p>・進路未決定者(高校3年生向け)への職業人講和 1回 ・企業と教育現場のマッチング 3回 ・参加高校生全員によるビジネスプランコンテストへ出場 1回</p>	<p>・若年者就労等支援事業参加者数 200人 ・アンケートにおける就業意識の向上 ・事業実施後アンケートで70%以上の改善</p>	<p>(今後の展開方針) H30年度以降 ・講演会等での就業意識の向上を図る ・ビジネスプラン作成を通じて就業意識の向上を図る</p>	
		就労支援センター事業	H25～H33	<p>雇用の創出を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業斡旋などをおこなう。</p>	<p>・就労相談 約2,000人/年 ・就労支援講座の開催 11回 ・職場体験 35件 ・職業斡旋(想定件数)500件/年</p>	<p>就職決定者数 700人 (H27年度実績:846件)</p>	<p>(今後の展開方針) H30年度以降 ・就労相談約 2000人/年 ・就労支援講座の開催:11回 ・職場体験:35件 ・職業斡旋(想定件数500件/年) ・就職決定者 700人</p>	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業概要			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		中小企業人材育成支援事業	H25 ～ H30	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援を実施し、業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。	人材育成講座の開催 10回	人材育成講座受講者数 198人	(今後の展開方針) これまでの取り組みの成果等を検証し、改善を図り、実施する。また、今後の展開方針を定める。	
6		地域防災対策事業	H24 ～ H33	災害等に備え、情報伝達の確実性を確保するため防災行政無線の設備強化を図る。 また、地域防災力を強化するため、継続して自主防災組織の結成促進・育成を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線緊急親局整備 防災組織の結成 新規 5組織 防災組織資機材整備 5組織 防災倉庫整備 2箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線緊急親局設備整備 自主防災組織の結成率 56.09% H29新規結成目標数 5組織 (参考)H17～H29結成目標 23組織 自主防災組織資機材整備率 51.16% H29 新規結成に伴う整備目標 5組織 (参考)H17～H29整備目標 22組織 災害時備蓄倉庫整備率 34.61% (備蓄倉庫整備予定数 78箇所) (H24～H29 27箇所) 	(今後の展開方針) H30年度～H33年度 防災組織の結成:新規20組織 防災組織の資機材整備:新規20組織	
		災害時緊急避難通路整備事業	H24 ～ H32	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 里道を活用した災害時緊急避難通路を整備する。 比屋根地区1路線81mの整備工事 桃原地区1路線157mの整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 比屋根地区1路線81mの整備工事の完了 桃原地区1路線157mの整備工事の完了 	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・避難訓練の実施1回 (整備スケジュール) H29年度 整備工事 H30年度 整備工事 H31年度 用地測量・用地購入 H32年度 整備工事	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		学校安全対策強化事業	H24 ～ H33	安全教育(防災・交通・防犯)で、こどもたちの安全への意識を高めるために、土地の標高や避難場所、危険箇所等の情報を盛り込んだハザードマップを、こどもたちが普段から活用できる下敷き(各学校区ごとに作成)にしてこどもたちに配布する。	各学校区ごとの安全・防災下敷き作成・配布	年2回以上活用 (防災の日、授業、親子ふれあい下校等)	(今後の展開方針) H30～33年度 市内の幼稚園及び小学校に通う児童全員(約12,000人)に配布し、災害時の避難経路、学校周辺の危険箇所を身に付け、安全への意識を高める。	
7		里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ H33	戦後の米軍統治下による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	里道の境界確定測量実施 水路の境界確定測量実施	里道 7,029mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約29.41%) 水路 3,000mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約63.98%)	(今後の展開方針) H30～33年度 里道の測量 各年度 7,000m 水路の測量 約18,000m	
8		東部海浜地区開発事業	H25 ～ H33	東部海浜開発地区の魅力向上に向けて、東部海浜開発地区景観計画検討調査やスポーツ医学機能誘致に関する可能性調査に取り組むとともに、イベント等を活用したPR業務を行う。また、東部海浜開発事業を推進するため、東部地域と連携し、地域活性化を推進する事業を行う。	・東部海浜開発地区景観計画検討調査の実施 ・スポーツ医学機能誘致に関する可能性調査の実施 ・東部海浜開発事業PR業務の実施 ・東部海浜開発地域活性化推進業務の実施	・東部海浜開発地区景観計画(案)の作成 ・スポーツ医学機能誘致に関する方針(案)の作成に向けた基礎調査報告書の作成 ・事業PRブースへの来場者目標:7,000人 (H27実績値:5,850人) ・地域活性化推進業務広報HPへのアクセス数:13,000件(H28実績値:12,370件)	(今後の展開方針) H30～H33: 国・県の埋立事業の進捗に応じ、東部海浜開発地区の魅力向上に向けての調査などを実施。 また、引き続き、東部海浜開発事業の周知に関する取り組みを実施する。	
9		沖縄市優良母牛リース支援事業	H27 ～ H29	肉用牛の改良により市内畜産農家の経営基盤安定化を図るため、優良繁殖母牛の導入を支援する。	優良母牛のリース事業を行う団体に対して支援する。(40頭の導入支援)	優良母牛を各農家へ全体計画の100%を目標に導入することで、繁殖母牛の若齢化や肉用牛の改良等による経営基盤の安定化を図る。 (目標)導入率:100%、導入頭数累計100頭	(今後の展開方針) 計画的な種付け・分娩を実施し、産子(雌子牛)の自家保留をすすめ母牛の更新を行い経営基盤の安定化を促進する。	
10		郷土資料整備事業	H27 ～ H33	沖縄県・沖縄市に関する歴史や文化、産業に関する郷土資料を収集し、本市の伝統文化と異文化が融合した特徴的なコザ文化をはじめとする地域文化を学ぶ環境づくりに努める。	郷土資料の購入・収集の実施 600点	・郷土資料の購入・収集 600点 ・郷土資料の利用点数 延べ 1,025点	(今後の展開方針) H30～H33年度 各600点 郷土資料の購入・資料の閲覧、貸出	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
11		沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ H33	<p>市内外のこどもたちの豊かな感性や人間性をはぐくむ場及び県内唯一の本格的動物園として誘客を図る。</p> <p>本年度は、沖縄こどもの国の動物園の充実を図るため、施設整備基本計画に基づき、動物展示施設等の整備を行う。</p>	<p>施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物舎等の実施設計を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物舎等建築基本設計 新規動物舎建設工事 展示演出設計(ガイダンスパビリオン) 動物舎等建築実施設計(里山の迷宮エリア、爬虫類の滝エリア) 東エントランス周辺サイン等設計製作 <p>(施設概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設: 猛獣舎 主要機能: 猛獣舎、展示棟、展示場、観覧通路 構造: 鉄筋コンクリート造 階数: 猛獣舎1階+屋上 展示棟2階 床面積: 猛獣舎287.59m2 展示棟94.98m2 合計382.57m2 	<p>平成29年度目標入園者数46万人</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物舎等の基本設計(琉球弧拡張エリア)完了 新規動物舎建設工事完了 ガイダンスパビリオン展示演出設計の完了 動物舎等の実施設計(里山の迷宮エリア、爬虫類の滝エリア)完了 東エントランス周辺のサイン等設計製作設置完了 	<p>年間目標入園者数</p> <p>平成30年度: 48万人 平成31年度: 60万人 平成32年度: 72万人 平成33年度: 79万人</p> <p>(今後のスケジュール)</p> <p>H30年度: 創造の池エリア基本設計、ワンダーパークゾーン、琉球弧エリア拡張実施設計、里山の迷宮エリア整備工事</p> <p>H31年度: 草原の動物ゾーン基本設計、創造の池エリア実施設計、ワンダーパークゾーン、琉球弧エリア拡張整備工事</p> <p>H32年度: ゾウの舞台基本設計、草原の動物ゾーン実施設計、ガイダンスパビリオン、爬虫類の滝エリア整備工事</p> <p>H33年度: ジャングルゾーン、水辺の動物ゾーン基本設計、ゾウの舞台実施設計、創造の池エリア、南ゲート周辺整備工事</p> <p>(今後の展開方針)</p> <p>今後も施設整備基本計画に基づき、沖縄こどもの国の機能強化のため、施設の充実を図る。</p>	<p>6月変更 (計画変更に伴う各目標変更)</p> <p>9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)</p> <p>12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)</p>

H29活動目標(指標): 平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標): 平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			地域特性を活かした観光振興事業	H24 ～ H33					
1			文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地の取得(約10,000㎡)と物件補償 ・斜面緑地ゾーン落石防護対策整備 ・駐車場(西側・東側)施設等の実施設計 ・ガイダンス施設の規模や内容等の確定 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地全体の約80%確保 ・斜面緑地ゾーン対策工事完了 ・駐車場(西側・東側)実施設計完了 ・ガイダンス施設の基本設計完了 	供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 年間来場者数 延べ2万人 (今後のスケジュール) ・平成30年度 用地取得・補償、グスクゾーン実施設計、駐車場整備等 ・平成31～33年度 ガイダンス施設整備、グスク復元整備	12月変更(計画変更に伴う今後の展開方針等変更)
			とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」を実現していくことを目的とする。	とみぐすく祭りの開催	とみぐすく祭りの開催 とみぐすく祭りの来場者数:91,500人 県外観光客数:10%	来場者数及び県外観光客の増	
			観光振興等支援事業	H25 ～ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業を支援することにより、観光振興や地域振興に取り組み担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討するとともに、観光PR活動を行う。	豊見城市観光協会等の補助対象団体からの補助対象事業を公募し、選定委員会にて将来、豊見城市の観光振興に資する事業で自立が見込まれる内容を適切かつ公平に2～3団体選定、補助金交付。	観光地点等入込客数 約230万人(H23年度) 約464万人(H29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。 H29入域観光客数:464万人	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			観光力向上事業	H28～H30	豊見城市の各種計画を踏まえ、将来への展望、背景等を考慮した提案を幅広く受け、豊見城市の観光に資するための人材育成を行い、今後の観光客の受け入れ態勢の充実を図る。	観光に資する人材を育成するための事業実施	受講者(又は関係者)にアンケートを実施し[満足・やや満足・普通・やや不満足・不満足]の5つに分類し、不満足度が40%以下を目標値とする。	効果的なカリキュラムの実践及び市内観光関連事業所への定着を促す	
			観光情報発信事業	H29～H31	観光地としての魅力の向上に努めるため、県外で実施される観光イベント等においてプロモーション活動を行う。	県外で実施される観光イベントへの参加	市内主要観光地の入込客数 約483万人	(今後の展開方針)引き続き県外でのプロモーション活動を実施し、観光誘客を図る。	1月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
			観光振興地域環境美化強化事業	H25～H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植栽樹の管理(1387樹、3回除草清掃) プランターの植栽管理(464個)	植樹樹の除草清掃、プランターの植栽管理を行い、魅力ある観光地づくりに寄与する。	植栽樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。防風ネットの効果検証については平成28年度台風の襲来数が少なく(11月末時点一回)検証を平成29年度に行う。	
			豊見城市景観重点地区調査検討事業	H28～H29	市景観計画に基づき、本市の自然や歴史・文化資源などの地域資源をまもり、育て、豊見城らしい景観まちづくりを推進し、地域資源を活用した新たな観光資源の創出や地域の活性化を図るため、景観重点地区(モデル地区)の指定に向けた、調査・検討を行う。	地域資源、住民意向を把握し、重点地区指定に向けて、住民の合意形成を図り、景観重点地区(モデル地区)指定に向けた、計画素案の作成を行う。	景観重点地区指定に向けた課題の整理及び報告書を取りまとめる。	(今後の展開方針)H30年度:景観重点地区計画策定及び重点地区の指定	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ H32	観光客及び市民の利便性の確保を図るため、市内の新たな公共交通システムの導入に向け、市内一周バス再編のための計画策定を行う。	・市内一周バス再編に向けた検討 ・基幹公共交通システムの検討	・市内一周バス再編に伴う社会実証実験計画の作成	供用開始後1年目(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 市内一周バス再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。 (整備スケジュール) H30年度:市内一周バス社会実験準備(事前調査等) H31年度:市内一周バスルート変更 H32年度:市内一周バスルート見直し、ルート変更の評価、とりまとめ	3月変更(計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
		与根漁港複合施設整備事業	H27 ～ H30	複合施設を整備し、遊漁船の利用促進を図ること、漁業者の所得向上を図る。	実施設計の実施	実施設計の完了	供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 年間遊漁船利用者数4,900人以上 (整備スケジュール) H30年度:整備工事等及び備品購入 H31年度:供用開始	3月変更(計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
2		地域特性を活かした産業活性化事業	H24 ～ H33					
		とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業のPRを行い産業の振興を図る。 また、異業種間での情報交換や交流の場とすることで、産業界間の連携を生み出し新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業フェスタ開催に係る経費を負担する。	とみぐすく産業フェスタ来場者数:37,000人(対前年目標比 +1,000人)	負担金及び出展料の見直しを図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			県外販路拡大支援事業	H26～H31	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図るため県外において開催される展示会・見本市等への出展に対する支援を行う。	県外で開催される、展示会・見本市等へ出展する事業所に経費の助成を行う。	県外の展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築する。	市内事業所の出展等ニーズに沿った展開を行う。	
			豊見城産トマト・葉野菜販売促進事業	H27～H29	豊見城産トマト・葉野菜は施設整備が進み生産量も増加傾向にあるため、今後県内への出荷が集中することによる価格の下落が懸念されている。豊見城産トマトは、県の拠点産地に認定されており又、葉野菜は県内有数の産地となっていることもあり、豊見城産ブランドをPRし、県内外において新たな販路拡大のための販売促進活動を実施する。	豊見城産トマト・葉野菜販売促進活動6回	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量457t(3年目)	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H25:369t(基準) H27:391t(1年目 実績) H28:442t(2年目) H29:457t(3年目)	
			優良母牛導入支援事業	H27～H29	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(牝)112%、(去勢)108%以上	(今後の展開方針) 引き続き子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
			乳用牛改良支援事業	H29～H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける。	優良乳用牛の貸付頭数4頭/年	今年度導入頭数 H29年度:4頭	優良乳用牛導入頭数 H29:4頭(1年目導入率33%) H30:4頭(2年目導入率66%) H31:4頭(3年目導入率100%)	
3			次世代育成支援事業	H24～H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ H33	臨床心理士による幼稚園及び保育園への巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士への支援を行う。	臨床心理士配置数:2人	対象となる幼児の保護者・保育士へのアンケートで、臨床心理士への相談により負担感・不安感が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 引き続き臨床心理士による巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士の負担感・不安感の軽減を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
		心理相談事業	H26 ～ H33	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	臨床心理士の配置 ・乳幼児健診等事業 23回	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、臨床心理士への相談により育児不安が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 健診及び相談支援部門と保育部門の連携の確立	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
		預かり保育事業	H24 ～ H33	幼稚園終了後、希望する在園児を対象とした午後の預かり保育を実施する。	預かり保育担当職員配置:25名	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 預かり保育担当職員を継続配置し、保護者の負担軽減等を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
		幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	市内幼稚園に特別支援員を配置し、特別な支援を要する子に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の配置:幼稚園21人	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に配置を行い、適切な支援を行う。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
4		生きる力を育む人材育成事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	市内小中学校に特別支援員を配置し、特別な支援を要する子に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の配置:43人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談・指導助言・面談等の実施。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に配置を行い、適切な支援を行う。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更) 3月変更 (計画変更に伴う事業概要変更)
		学力向上サポート事業	H24 ～ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:+2.3ポイント 中学校:+2.2ポイント	(今後の展開方針) 引き続き学力向上推進補助員を配置し、支援を行う。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
		スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率 32%以上	(今後の展開方針) 引き続きスクールソーシャルワーカーを配置し、支援を行う。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
		不登校等対策支援事業	H24 ～ H33	不登校の児童生徒に対し支援員を配置し、生徒指導や教育相談等学校復帰に繋げる支援を行う。	学習支援補助員配置数:中学校3人、適応指導教室2人 登校支援員配置数:小学校4人(小学校2校につき1人) 自立支援教室指導員:中学校3人	不登校児童生徒復帰率 20%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に各種支援員の配置を行い、学校復帰に繋げる支援を行う。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			英語教育推進事業	H25 ～ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小中学校へ外国人英語講師を巡回配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	外国語英語教師(ALT)の配置数:4名 日本人英語指導講師(JTE)派遣校数 小学校:8校	児童生徒の英語学習への興味・関心度 70%	継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、県学力到達度テスト県平均±0を目指す。	
			情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H33	パソコンを使用する授業へICT教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートする。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合:65%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に情報教育補助員の配置を行い、ICTを活用した授業をサポートする。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更) 3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
			電子黒板整備事業	H25 ～ H29	わかりやすい授業を実施し学校教育の質の確保を図るため、電子黒板を整備する。	電子黒板の整備10台 (普通教室)4台 (特別支援教室)6台	・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:75%以上	(今後の展開方針) 整備した電子黒板を活用したわかりやすい授業を実施し、学校教育の質の確保を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
			パソコン教室整備事業	H25 ～ H29	情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上のため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	小学校1校のパソコン教室のパソコン整備(サーバー機1台、先生機1台、生徒機42台)	ICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合:65%以上	(今後の展開方針) 児童生徒の情報端末操作技術の向上を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
			児童生徒派遣費補助事業	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	県外派遣の児童生徒数:380名	(今後の展開方針) 33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			青少年国際交流事業	H25 ～ H33	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣 報告会の開催(1回)	国際的人材を育成するため国際交流や地域貢献活動に自ら積極的に取り組む意識を向上させる。 (参考: H28応募者数/派遣人数 44名応募/14名派遣)	・派遣予定数 H29年度～H33年度:各年度14名 合計70名	
5			文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H28					
			竈(饒波)修復事業	H27 ～ H31	豊見城市の葬制文化を伝える資料である「竈」を修復し、企画展等で活用することで、地域独自の民俗・祭祀・葬制等といった地域文化の伝承を図る。	修復計画の検討 基本設計図の作成	修復に係る基本設計図の完成	修復後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 「竈」本体の修復完了後の企画展示会の来場者数:600人以上 (事業スケジュール) H30年度:修復作業 H31年度:企画展示会等の開催	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
			空手習得事業	H27 ～ H33	沖縄の伝統文化である空手を習得し、演武できる児童生徒を輩出するため、市立小学校において、クラブ活動の時間に「空手」指導、中学校において、体育の授業を活用し、「空手」の指導を行う。	空手指導者の派遣 小学校8校、中学校3校	空手の演武をできるようになったと感じる児童生徒の割合 75%以上	(今後の展開方針) 平成33年まで継続的に講師を派遣し、空手の指導を行う。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
			フィルム資料収集事業	H28 ～ H31	豊見城市の近代を記録した歴史資料・郷土資料の充実に資するため、豊見城に関するフィルム資料を収集し、撮影位置を調査・記録さらに原本の保存および複写を行う。 収集した写真を基にトークイベントを開催し、市民への公開と更なる収集の呼びかけを行う。合わせて各機関が所蔵する豊見城市に関わるフィルム資料の収集を行う。	地域資料収集 トークイベントの開催 4回 他機関写真フィルム資料収集	収集写真枚数 500枚	(今後の展開方針) H30～H31 地域資料収集 H30 他機関事前調査 (主に映像資料) H31 他機関資料収集 (主に映像資料)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			組踊継承事業	H24 ～ H31	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。 地域に縁のある組踊の増補や上演を通して、技術の継承を図り、本市の文化振興の活性化に繋げる。	組踊「雪払」台本増補検討委員会(仮称)の設置および開催	組踊「雪払」台本増補 100部	(今後の展開方針) H30 組踊「雪払」上演 H31 上演台本制作	
			戦争体験等映像化事業	H29 ～ H30	沖縄戦終結から72年が経過し、体験者が自ら語り記憶を継承することが困難になってきている。そこで、沖縄戦を含めた「アジア・太平洋戦争」の体験者取材し、個々の証言等を基に映像資料を編集制作し、平和を伝える学習材を整備する。	戦争体験者等基礎調査 証言撮影20名分	映像化素材の収録 20名分	(今後の展開方針) H30 撮影、編集、DVD・小冊子作成	
6			公営墓地整備事業	H27 ～ H31					
			公営墓地整備事業	H27 ～ H33	個人墓地の散在化を防ぐことで、景観保全を図るため、公営墓地を整備する。	公営墓地基本設計の実施	公営墓地基本設計の完了	供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 年間契約数 100件 (整備スケジュール) H30年度:実施設計 H31年度:用地、物件補償 H32年度:用地、物件補償、工事 H33年度:工事 H34年度:供用開始	3月変更(計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
7			豊見城総合公園体躯施設機能強化事業	H28 ～ H31					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
		豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H30	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件を整理し計画的な整備を行い、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の実施	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の完了	(今後の展開方針) 合宿誘致:5回(H32) 利用者数等:30,000人(H32)	
8		持続可能な安全・安心なまちづくり事業						
8		低炭素社会構築事業(都市公園省エネ設備導入促進事業)		公園内の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス排出の抑制を図る。	豊見城市内都市公園の豊崎海浜公園及び豊見城総合公園に設置されている照明灯146基をLED照明へ取り替え工事を行う。	豊崎海浜公園及び豊見城総合公園内照明灯のLED照明への取り換え完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 豊崎海浜公園及び豊見城総合公園のCO2を年間約24,100kg削減	1月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ H33	当市への企業立地を効果的に促進するために、企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。	企業誘致訪問件数:年間120件	目標企業誘致件数:2社以上	H24年度 : 2社(実績) H25年度 : 6社(実績) H26年度 : 2社(実績) H27年度 : 7社(実績) H28年度～H33年度 各年2社以上の誘致を目標	
			コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ H33	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る。	人材育成 4研修実施 ・モールドエンジニア研修(ME) ・プロジェクトマネージャー研修(PM) ・コンカレントエンジニア研修(PM) ・短期研修	・技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	(今後のスケジュール) H29年度～H33年度まで各40人程度を目標に実施。 (今後の展開方針) 企業が人材を派遣しやすい環境を構築し、H29年度以降は年40人程度を目標に実施する。	12月変更(計画変更に伴う成果目標、今後の展開方針等変更)
			商品開発プロモーション事業	H25 ～ H33	市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、市産品や特産品、観光土産品の物産展やPR活動を行いながら、市産品の認知度向上に努め、販路拡大・開拓につながるよう事業を実施する。また、市の農水産物を活用した商品等の開発を支援し、売上の拡大等に繋がるようプロモーション活動を実施する。	・物産展出展回数 : 3回 ・商品開発講座にかかるワークショップ実施回数 : 5回 ・プロモーション関連活動数 : 2回	・物産展参加企業数 : 30社 ・物産展売上総額 : 750万円 ・商品開発講座参加事業者 : 8社以上 ・商談成立 : 2件	今後もうるま市の豊かな農水畜産物を使用した開発自体は事業者の自助努力で開発できるよう講座の開催及び助言を行う。事業者自身が知識を身に付け、売上効果が高くなるような仕組みを構築していく。	
			EV自動車コミュニティ構築事業	H25 ～ H33	中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV自動車及びコンパクトEV車を製造するなど、新たな成果を納めている。「うるま市EVコミュニティ構築事業委員会」を設立し、EV自動車を本地域で製造・普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。	・販売を見据えたEV製造経費低減の検証及び研究開発 ・EV試乗体験の実施	・EVに興味・関心を持った人の割合 60%(アンケート実施) ・EVに興味・関心を持った人の割合 60%(アンケート実施)	[今後の展開方針等] 本地域でEVの製造、普及を図り、経済波及効果の調査、地域でのEVのあり方を検討し、新たな産業としてEV普及、製造を促進する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	うるま市地域雇用人材育成事業	H24～H33	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む求職者に対して、民間企業との連携による人材育成(OJT等)を実施する。	人材育成(OFF-JT,OJT)を実施後、企業内において職場実習を実施する。	H29年度当該事業における新規雇用者数20人に対し継続就業者数:15人	<p>【新規雇用者数】</p> H24年度 : 106人(実績) H25年度 : 100人(実績) H26年度 : 94人(実績) H27年度 : 25名(実績) H28年度 : 23名(目標) H29年度 : 20人(目標) H29年度以降については、求職者の状況等を勘案し適宜目標人数や事業規模等を検討していく。		
	うるま市就労支援事業	H24～H33	求職者に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	求職者への総合的な就業支援の実施 ・街角コンタクトセンターの運営 ・小学生へのキャリア教育 ・ジョブシャドウイング事業 ・チャレンジジョブ ・中学生向けのキャリア教育 ・職場体験に向けたマナー学習、企業人講話を実施する。 ・高校生向けのキャリア教育 ・出前フォーラム	・新規雇用者 440人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた80%以上。	うるま市の提唱する一貫した就労支援の入口キャリア教育から出口となる就職支援までを兼ね備えた機能とする。	3月変更(計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)	
3	観光商品開発流通促進事業	H24～H33	地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、修学旅行等の教育旅行のニーズにも対応しうる体験型観光メニューを実施する。 本年度は、平成26～28年度に作成した体験型観光プログラムのブラッシュアップを継続的に行いながら、パイヤーマッチングを積極的に展開する。	体験型観光商品メニューのPR	観光商品販売数:800件	販売目標 [平成29年度] 800件 [平成30～33年度] 1,000件		
	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～H33	観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客の拡大を図る。雑誌やインターネットなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。	うるま市観光情報フェイスブックによる情報発信記事数:20本 ニュースリリースによる記事掲載:3本	うるま市観光情報到達者数:200万人	年次ごとに活用メディアの種類や活用方法について検討するとともに、コストパフォーマンスに優れた広報業務の仕組みを構築していく。 【フェイスブック登録者数】 H30年度 : 5,000人		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
			うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業	H25 ～ H29	冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンプルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸能イベント開催への支援を行う。	・市内芸能団体の実施するイベント開催にかかる経費の一部支援	イベント来場者数：4,000名 うるま市外来場者：2,000人 市内芸能団体出演数：5組	平成29年度の事業終了後も、継続的な冬季イベントとして、自立に向けた協力を行っていく。		
4			勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ H33	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。	・文化観光拠点実施設計の実施 ・文化観光拠点基本設計の実施 ・用地取得 ・物件移転補償（一般補償・公共補償）	・文化観光拠点(駐車場・入口広場)実施設計の完了 ・文化観光施設(建築・展示)基本設計の完了 ・用地取得の完了 ・物件移転補償（一般補償・公共補償）の完了	供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 ・年間入場者数約300千人 (整備スケジュール) H29～32年度：用地取得等 H29～33年度：実施設計、工事等 H34年度：全部供用開始予定	3月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)	
5			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、市内1地区について、景観地区等の指定に向けた基礎調査・検討の実施。景観地区について、良好な景観形成に推進を図るため、まちなみ景観助成事業を実施する。	住民向けかわら版の作成及び配布 伊計島景観資源調査の実施 住民説明会及び意識調査の実施 上記～の実施にかかる広報・周知 まちなみ景観助成の実施	住民向けかわら版の作成及び配布 150部 伊計島景観資源リストの作成 住民説明会及び意識調査の実施 各1回 市広報誌、ホームページの活用 各1回 まちなみ景観助成 3件	(景観地区等の指定) H29年度：浜比嘉地区の景観地区指定・伊計島地区の基礎調査 H30～H31年度：伊計島地区の景観地区指定に向けた取組の実施(視察、基準の検討等) H32年度：伊計島地区の景観地区の指定 (まちなみ景観助成事業) H29～H31年度：3件(景観地区2地区) H32～H33年度：5件(景観地区3地区)		

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			島アートプロジェクト事業	H24 ~ H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート(造形物、オブジェ、美術など)による島おこしを実施する。 本年度も伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島でアートイベントを開催するとともに、継続的な事業継続に向け入場料の徴収・ボランティアスタッフの更なる活用についても取り組んでいく。	アートイベント実施:1回 展示作品数:50点	来場者数:12,000人(16日開催/入場有料) イベント来場者の満足度:80% (アンケートにより)	島しょ地域産品の物販等、地域経済の発展に寄与するイベントとすることを常に念頭に置くとともに、地域住民との意見交換をとおし、住民参加型のイベントとして更なるブラッシュアップを図っていく。 持続可能な仕組みづくりとして、継続的な料金徴収やボランティアスタッフ活用も検討実施していく。	
7			農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24 ~ H29	農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備し、地産地消、地元食材の消費拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことで、生産者の所得向上を図る。	建築2期工事・外構2期工事着手・備品購入	・建築2期工事・外構2期工事の完了 ・備品購入の完了	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・出荷生産者全体の収入額:399百万円	12月変更 (計画変更に伴う各目標、今後の展開方針等変更)
			肉用牛生産拡大強化事業	H26 ~ H30	市内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入支援を行う。	年間90頭の優良母牛候補牛導入	全体計画(H26~H30)における優良母牛導入率:84%(490頭/580頭)	(今後の展開) 導入した優良繁殖雌牛より年1産を目標に、安定的肉用牛の生産に向けて支援する。 <予定導入頭数累計> H29年度 490頭 H30年度 580頭	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		小学校外国人英語助手派遣事業	H24 ～ H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数 10人	「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合：80%（児童へのアンケートによる）	(今後の展開方針) 平成29年度～平成33年度：英語指導助手配置数 10人 (市内小学校(18校)を10人で巡回指導を実施。) 英語助手の研修会を充実させ、指導法の統一を行い、児童に対しての授業の機会均等、異文化理解を図る。	
		中学校外国人英語助手派遣事業	H24 ～ H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数 5人	実用英語技能検定5級～準2級合格者400名以上 (H27年度 合格者数 271人)	(今後の展開方針) 平成29年度～平成33年度：英語指導助手配置数 5人 (市内中学校(10校)を5人で巡回指導を実施。) 生徒が自らの考えを表現する機会を提供するとともに、英語助手とのコミュニケーションが円滑に行われるような活動を奨励する。	
9		小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ H33	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	学習支援員配置数 34人	沖縄県学力向上到達度調査の平均正答率の県平均との差 3年 国語0、算数0 5年 国語0、算数0 (平成27年度：3年国語0、算数-2.5、5年国語1、算数 -0.2)	(今後の展開方針) 平成29年度～平成33年度：学習支援員配置数 34人 (市内全小学校へ各2名配置(彩橋小学校・津堅小学校は1名配置)) 児童の基礎基本の定着に効果のある取り組みの共有化を図る等、支援員の研修内容を工夫し、指導に活かすことで更なる学力向上を目指す。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H29事業内容					
			中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	学習支援員配置数 18人	沖縄県学力向上到達度調査の平均正答率の県平均との差 2年 数学 - 1 英語 - 3 (平成27年度 数学 - 1.7 英語 - 6.7)	(今後の展開方針) 平成29年度～平成33年度:学習支援員配置数 18人 (市内全中学校へ各2名配置(彩橋中学校・津堅中学校は1名配置。)) 生徒の基礎基本の定着に効果のある取り組みの共有化を図る等、支援員の研修内容を工夫し、指導に活かすことで更なる学力向上を目指す。		
			ICTを活用した学習支援・人材育成事業	H26 ～ H29	ICT機器(電子黒板等)を市内小中学校の全教室(403教室)へ設置することにより、ICT機器を活用した授業の頻度を高め、児童生徒の高度情報化社会に対応できる情報活用能力・コミュニケーション能力の育成を目指す。	ICT支援員配置数 2人	・電子黒板の一台あたり使用時間数: 小学校 600時間/年 中学校 169時間/年	(今後の展開方針) 平成29年度:ICT支援員配置数 2人 小中学校へのICT支援員の派遣により、ICT機器を活用した授業構築及び授業内でICT活用が円滑に行われるよう教師及び児童生徒の支援を行う。		
10			配慮を要する子巡回指導事業	H24 ～ H33	公立・法人・認可外保育施設における「配慮を要する子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、保育施設職員に対して、保育等に関する技術的助言・支援を行う。 また、各保育施設の保育の質の向上のため、巡回指導・園訪問と合わせて保育施設職員を対象に研修を企画・実施する。	・相談員配置数:2人 ・保育施設職員を対象とした研修会を 年4回開催。	・巡回指導実施施設数(延数) 40件 (平成25年～27年度平均値 39件) ・園訪問(延数) 80件 (平成25年～27年度平均値 86件) ・保育施設職員研修における理解度 90% (平成28年度92%)	H29～33年度 ・巡回指導実施施設数(延数) 各年度 40件 累計200件 ・園訪問(延数) 各年度 80件 累計 400件		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			放課後児童クラブ支援事業	H24 ～ H33	児童クラブの運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、児童クラブへの訪問指導などを実施することにより、放課後児童クラブ運営の適正化と指導員の資質向上を図る。	児童クラブ訪問指導員の配置 4人 児童クラブ訪問指導回数 200回	・児童クラブ:受入れ児童数 100人増 (新規開設クラブ 3クラブ×35人)	今後も訪問指導の充実を図り「安心して子育てができる環境整備」を図る。 ・訪問指導回数 毎年200回 ・上記事業により、児童クラブへの加入児童数の増加を図る。 平成27年度実績:1,419人 平成28年度実績:1,547人 平成29年度～平成31年度 約300人 増加	
			ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ H33	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童の学習支援等を実施し、自立に向けた支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	借り上げ居室部屋数(10部屋) 生活スキルアップ講座開催数(20回) 就労訓練講座への参加人数(2名) 入居者児童学習支援回数(150回)	支援全般に対する満足度(70%) 就労に繋がる資格等取得者数(4名) 学習支援の充実度(70%) (指標の説明) 満足度、充実度については、対象者へのアンケート調査により把握する。	事業を実施していく中で、入居世帯の個別のニーズにあった支援の拡充を図っていく。 県母連やハローワークとも連携し、早期自立へ向けた支援を行う。	9月変更 (計画変更に伴う事業名、事業内容変更)
11			中学校教育指導推進事業	H24 ～ H33	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉士等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	スク-ルソ-シャルワ-カ-配置数 4人	問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数 3,000件	(今後の展開方針) 平成29～33年度:スクールソーシャルワーカー 4人配置 関係者のSSWに対する認識を深め、連携を行い、生徒への効果的な支援を行う。	
			教育相談事業	H24 ～ H33	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援する。	・教育相談員配置数(7人)	・教育相談の目標の件数(2,000件) 基準値 H24-H27年度の平均値 2,198件	(今後の展開方針) ・各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		適応指導教室事業	H24 ～ H33	うるま市立小・中学校に在籍する心理的要因等による不登校児童生徒に対し、家庭以外で安心できる居場所の提供と個々の状態に応じた指導支援を行い、個別・集団活動を通して自立心・社会性を育み、学校復帰または、将来的な社会的自立に向けて、適応指導教室を開級する。	・適応指導教室指導員配置数(3人)	・チャレンジ登校の目標割合(60%) 基準値 H27年度実績値 88%(7/8人) ・中学3年生の卒業後の進路支援(進学・就職)や関係機関への引き継ぎの目標割合(100%) 基準値 H27年度 実績値83% 中学3年生6人中(進学5人 未定1人) ・入級満足度(80%) 通級生・保護者へのアンケートにて把握 基準値 H27年度 - 入級して - 通級生 とても良かった 87.5% 保護者 とても良かった 85.7%	(今後の展開方針) ・入級前の子や午前の通級が不安定な子等の居場所確保のために午後も対応できるように支援体制を整える。 (チャレンジ登校とは) 学校への登校復帰へ向けて、登校する時間、居場所、対応する教諭等、児童生徒の状況に配慮して段階的に行う支援	
12		うるま市自主防災組織育成事業	H25 ～ H33	自治会へ自主防災に関する説明会等を開催することで、自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。	・新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備補助実施(14団体) ・自治会や自主防災会へ防災説明会や訓練支援 防災説明会(5回)訓練支援(5回)	・自主防災会設置率 74.6% (47自主防災会/63自治会)	(今後の展開方針) 平成29年度以降、継続して自主防災組織の結成を推進し、各年度において、3団体程度の自主防災組織を結成し、防災資機材を整備する。 嘱託員を配置し、きめ細かい支援を行い、地域防災力の向上を図る。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光拠点強化事業	H24 ~ H33					
1		宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ~ H33	現在、6コース展開しているNEO歴史文化ロード「綾道(あやんつ)」を拠点とし、平成29年度は平良南・久松地区に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする散策コース等の整備を行い、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る新たな観光資源の一つとして広く活用する。	・新規コース「綾道～平良南・久松コース～」の策定/1コース ・宮古島市文化財WEB公開システム追加更新/1コース分 ・コースマップパンフレットデザイン及び印刷製本/12,000部 ・案内板・標柱等の設置/10箇所 ・毀損物件の復元等(1物件)	・新規コース「綾道～平良南・久松コース～」策定完了/1コース ・文化財WEB公開システム閲覧数(5,000アクセス/年) ・案内板・標柱等の設置完了 ・パンフレットの作成配布完了 ・毀損物件の復元完了/1物件	今後は平良南・久松、城辺、上野・野原、下地東、四島コースと策定していき、宮古島全域にある文化財を観光客に公開活用していく。毀損の文化財に関しては、史跡を中心に復元を行う。	
1		伊良部島・下地島間入江整備事業	H24 ~ H30	伊良部島・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺地域の水路作濬を行う。	水路作濬、施工管理、工事設計	水路作濬、施工管理、工事設計の完了	水路作濬により約3キロの入り江の水の流れを改善し、底質改善、水質浄化を図る。	
1		観光地受入環境整備事業	H28 ~ H30	年々増加する観光客(外国人観光客を含む)の利便性と満足度の向上を図るため、公衆wi-fiを整備するとともに、島内における各観光地の情報を発信できるツールを整備する。	公衆WI-FIの整備	公衆WI-FIの整備完了	年々増加する観光客の受入環境を整えることで、観光客の満足度を高め、観光地としての持続的な発展を目指す。	
1		ムイガー展望施設整備事業	H29 ~ H30	宮古島南部の断崖を一望できる景勝地のムイガー断崖について、観光資源として活用するため、展望施設の整備に向けた実施設計を行う。	・ムイガー展望施設整実施設計の実施 ・保安林解除の手続きの実施	・ムイガー展望施設整実施設計の完了 ・保安林解除の手続きの完了	ムイガー展望施設からは、宮古島南部の断崖が一望でき、また、環境省が沖縄の代表的な湧水として登録しているムイガー湧水もあるため、さらなる観光振興を図る。	
1		宮古島サイクルツーリズム推進事業	H29 ~ H31	本市の観光振興を図り、レンタカー以外の島内観光ツールである自転車を利用した観光であるサイクルツーリズムの推進の取り組みとして、その経済効果・観光産業に及ぼす影響、取組みの諸条件を整理するための調査を行う。	宮古島サイクルツーリズム可能性調査業務の実施	宮古島サイクルツーリズム可能性調査業務の完了	可能性調査を基に、さらなる観光振興を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		賑わいのまちづくり事業	H28 ～ H30	中心市街地の活性化を図るため、イベント等の開催の利用、まち歩き観光の休憩利用など、市民・観光客の交流拠点として賑わいの創出が可能となる広場の整備を行う。	公有財産購入(5筆):1,479m2	公有財産購入完了	事業完了後は、広場に隣接する商店街等と連携を図りながら、回遊及び賑わいの場として誘客の拠点づくりを行う。	6月変更 (事業追加)
1		与那覇湾環境総合整備事業	H24 ～ H33	ラムサールに登録された与那覇湾の利活用について基本計画に基づいた整備計画を策定し、自然環境の有効利用を図る。今年度は、遊歩道工事を実施する。	遊歩道工事の実施(590m)	遊歩道工事の完了 73.4%	・景観に配慮した遊歩道を整備し、市民や観光客の利用拡大を図る。	6月変更 (事業追加)
1		伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ H33	伊良部地区の観光地での駐車場やトイレ不足等の問題を解消するため、駐車場等の整備を行い、観光客の利便性の向上を図る。	土木測量・実施設計業務の実施 (通り池・駐車場、牧山公園・駐車場・遊歩道、渡口の浜・駐車場) 建築実施設計業務の実施 (通り池トイレ) 土木測量・基本設計の実施 (白鳥崎公園木製橋)	土木測量・実施設計業務の完了 (通り池・駐車場、牧山公園・駐車場・遊歩道、渡口の浜・駐車場) 建築実施設計業務の完了 (通り池トイレ) 土木測量・基本設計の完了 (白鳥崎公園木製橋)	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 施設に対する利便性(80%)を含め、アンケート調査により、当該施設等について検証する。 (整備スケジュール) H30年度 白鳥岬園路整備実施設計 H31年度 通り池駐車場・トイレ工事 牧山公園駐車場・遊歩道工事 白鳥岬公園園路工事 渡口の浜駐車場工事	9月変更 (事業追加) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業概要			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		多言語観光案内サイン整備事業	H29 ～ H33	外国人観光客の増加のため、多言語観光案内サインの整備を行い、観光客の利便性・安全性の確保を図る。	・安全確保サイン設置 3基 (砂山ビーチ・前浜ビーチ・渡口の浜) ・通り池サイン設置 2基	・安全確保サイン設置の完了 3基 (砂山ビーチ・前浜ビーチ・渡口の浜) ・通り池誘導サイン設置の完了 2基	<p>供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 外国人観光客多言語案内表記の満足度80%</p> <p>(整備のスケジュール) 平成29年度 安全確保サイン3基・誘導サイン1基 平成30年度 案内サイン3基・誘導サイン2基(新城海岸、吉野海岸、綾道城辺コース、牧山公園) 平成31年度 案内サイン4基・誘導サイン3基(カヤッファ、綾道伊良部コース、綾道上野コース、通り池、誘導サイン) 平成32年度 案内サイン4基・張替1基(佐和田の浜、白鳥崎、フナサギバナタ)</p>	12月変更(事業追加)
2		観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ H33	本市の観光振興に向けて、観光アクセス道路や公園等の緑化及び環境美化を推進するとともに、景観に配慮した取り組みを強化し、観光リゾート地としてふさわしい花と緑あふれる美しい島づくりを推進する。	観光地アクセス道路環境美化の実施	観光客受け入れ体制の整備 美化路線数:33路線	観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	
2		観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ H33	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	観光地公園環境美化の実施 美化公園数 12箇所	入域観光客数年間55万人	観光地公園環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	9月変更計画変更に伴う各目標変更
3		観光誘客促進事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		宮古島オリジナルMICE促進事業	H28 ～ H29	リゾート地等の地域資源を活かしたMICEの推進に向け、インセンティブ旅行(報奨・研修旅行)とイベント(文化音楽・産業・生涯スポーツイベント、展示会等)に特化したメニュー開発やイベントの誘致、MICE誘客の取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 宮古島オリジナルMICEメニュー開発委託業務の実施 宮古島オリジナルMICE PR映像リニューアル業務 宮古島オリジナルMICEウェブサイト作成 イベント誘致活動に向けた企業等訪問(10件) 宮古島オリジナルMICE誘客宣伝イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 宮古島オリジナルMICEメニュー開発委託業務の完了 宮古島オリジナルMICE PR映像リニューアル完了 宮古島オリジナルMICEウェブサイト完成 イベント誘致件数 5件 宮古島オリジナルMICE誘客宣伝イベントの完了 	将来は島全体をリゾートMICEと位置づけドームを含めた既存の施設や観光資源を活用した宮古島のオリジナルMICE事業を構築し、新たな交流人口拡大へ向けた取組みを展開する。	
3		宮古島フラダンス全国大会支援事業	H25 ～ H29	観光客の誘致拡大や、地域経済の活性化に寄与するため、フラダンスの全国大会の宮古島市での開催を支援する。	宮古島フラダンス全国大会の支援	来場者1,700人 (H28実績値:1,498人)	本大会の知名度を高めるとともに、フラダンス愛好家から人気のある大会にすることで、大会参加者増による観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を目指す。	
3		クルーズ船観光受入体制強化事業	H29 ～ H33	本市観光産業のさらなる活性化を図り、増加傾向にあるクルーズ船の寄港継続につなげるため、クルーズ船観光客に対する受入体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船観光受入体制強化業務委託の実施 観光案内所設置 歓迎・送迎セレモニーの企画・実施 通訳の確保 アンケート実施等 	クルーズ船観光客の満足度 65% (参考:H28満足度割合 60%)	島内事業者が一体となった取り組みによって、島内消費の増加促進、及び雇用の創出につながり、継続的なクルーズ船寄港の確立、及び観光産業の活性化を図る。	
3		誘客促進事業	H24 ～ H33	県内外での観光イベントで観光プロモーション等を実施し、観光客の誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRイベント等への参加 ウェブサイトやSNS等を活用したプロモーションの実施(コンテンツ等の整備) 閑散期対策(コンテンツの開発) 	・入域観光客数710,000人以上	プロモーション活動を継続的に実施し、平成29年度入域観光客数71万人以上を目指す。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	エコアイランド宮古島形成事業	H24～H31						
4	バイオエタノール製造・流通事業	H24～H31	サトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄型バイオエタノールの事業化に向け、付加価値の高いバイオエタノールの多用途開発、残渣液の液肥の効果検証など、量産化及び多用途による事業採算性向上に向けた実証事業を実施する。	・学校給食調理場へのバイオエタノール用ボイラー導入(3基) ・島内産土壌還元消毒剤の開発、製造試験の完了 ・液肥製造販売(20t) ・バイオエタノールの製造(100k/年) ・ボイラー代替燃料としてバイオエタノールを活用することによるCO2排出量削減見込量:300t/年	・学校給食調理場へのバイオエタノール用ボイラー導入完了(3基) ・島内産土壌還元消毒剤の開発、製造試験の完了 ・液肥製造販売(20t) ・バイオエタノールの製造(100k/年) ・ボイラー代替燃料としてバイオエタノールを活用することによるCO2排出量削減見込量:300t/年	(今後の展開方針) 製造するバイオエタノールの多様な活用、残渣液から作る農業用液肥販売によるトータルコスト改善にて事業化を進め、また、サトウキビの増産、液肥利用による農業振興を目指す。		
4	宮古島市天然ガス資源利活用推進事業	H28～H29	宮古島の地下資源である天然ガス及び付随水(温泉水)を利活用した事業化実現のため、マーケティング調査等を実施し、事業化基本設計の策定を行う。	・基本計画の策定	基本計画の策定完了		(今後の展開方針) 当事業の実施により、国の補助事業及び県による補助制度の創出、企業誘致等に繋げる。	
4	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	H28～H30	エコアイランド宮古島の知名度は高まりつつあるが、ブランド化による関連産業の高付加価値化を通じた地域経済への波及効果を高めるため、アクションプランを踏まえた施策を展開する。	・H28年度に策定した戦略に基づいた広告・宣伝 ・コーディネーターによる視察受入れ ・実証 ・島内関係者への支援制度構築及び効果検証	・視察受入れスキームの確立 ・支援制度の構築	(今後の展開方針) 策定したアクションプランに基づき、島内のブランド価値向上や島外向け情報発信・コミュニケーションツール開発等の施策を講じていく。		
4	電気自動車普及促進事業	H28～H30	低炭素社会構築や生活コストの低減化、生活の質(QOL)の向上を目的として、電気自動車の普及促進を図るため、充電インフラの整備やその管理システム等が必要となることから、基本計画に基づいた施策を実施する。	・充電インフラ整備における効果検証 ・電気自動車普及に係る啓蒙活動 ・V2Hの実証実験実施・効果検証 ・メンテナンス体制構築に向けた施策の検討	・充電インフラ整備による効果検証完了 ・実証実験実施によるメリット検証完了	(今後の展開方針) 策定した基本計画書に基づき、電気自動車の普及に必要な施策を講じていく。		
5	農林水産業活性化事業	H24～H33						

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25～H33	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、補助金を交付する。	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷:190トン (参考値 H26年度:184.2トン、H27年度:133.9トン)	沖縄本島への出荷量の増加 H33年度目標:200トン	
5		宮古島市海業センター整備事業	H24～H30	水産業の振興に向け、その拠点となる海業センターの 取水管設置工事を行い、安定的な種苗生産供給及び養殖業の生産量向上を図る。	取水管整備陸上工事の実施	・取水管整備陸上工事の完了	供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・種苗生産量 シラヒゲウニ稚ウニ 25,000個 タイワンガサミ稚蟹 140,000尾 ・養殖業モズク生産量1,173t / 年 (今後のスケジュール) H29 取水管整備工事(陸上施工) H30 取水管整備(海上施工) 取水施設機械設備工事 H31 研修施設建築工事 水槽施設整備工事 太陽光発電設置工事 H32 供用開始予定	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
6		救命処置普及強化支援事業	H28～H32					
6		救命処置普及強化支援事業	H28～H32	地域住民や増加傾向にある観光客の安心・安全の確保のため、各種救命講習会による救急救命措置などの普及強化を図る。また、24時間営業のコンビニエンスストアへAEDを設置する。	・少年期教育や各種救命講習会の開催 (応急手当普及員3名採用) ・コンビニエンスストアへのAED設置 新規1店舗への設置	各種救命講習会の受講者数:1,000人 / 年 ・コンビニエンスストアへのAED設置の完了	住民の救命力の向上、応急手当の普及、災害に対する意識の啓発を図るとともに、コンビニエンスストアにAEDを設置することで、安心安全で観光に強いまちを形成する。	9月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
6		水難救助体制強化整備事業	H29 ～ H30	入域観光客数の増加に伴い発生が懸念される水難事故等へ対応するため、水難救助資器材を導入する。	水難救助資器材10件の導入	水難救助資器材10件の導入完了	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・救助訓練の実施 33回(うち観光シーズンの実施 21回) (今後のスケジュール) H30年度:水難救助車導入、災害支援車導入	12月変更(事業追加)
7		人材育成強化事業	H24 ～ H33					
7		課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ H33	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	・スクールソーシャルワーカーの配置:6人 ・問題行動学習支援者の配置:3人	・不登校児童生徒復帰率50%以上(のべ復帰者/のべ不登校者)	(今後の展開方針) 継続的な取り組みにより、適切な学習環境の保全に資するほか、対象児童生徒の生活環境・家庭環境等の改善が見られているため、今後も継続して実施していく。	3月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
7		選手派遣支援事業	H24 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される際の、旅費の支援を行う。	地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ参加する児童生徒の派遣旅費の支援	派遣費支援による保護者負担の軽減 大会等派遣申請者への交付率100%	派遣費用の支援により、保護者の負担軽減と児童生徒の自ら学ぶ意欲と技術の向上が図られる。	
8		文化振興事業	H24 ～ H29					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	博物館収蔵品目録等作成事業	H24～H29	本市の博物館に収蔵されている資料の幅広い活用を図るため、収蔵資料の整理、データベース化、デジタル化及び図録等の作成を行う。	美術・工芸品の調査・資料整理 嘱託員2名	自然編、歴史編、民俗編、美術・工芸編の目録作成に向け、6カ年計画(H24～H29年度)の中で、年度ごとに目標整備率を設定。 美術・工芸品の調査、整理 H29年度整備率(美術・工芸品目録誌作成300冊)100% H28年度整備率(美術・工芸品目録誌作成)90% H27年度整備率(民俗編目録誌作成180冊)80% H26年度整備率(民俗編資料整理等)60% H25年度整備率(歴史編目録作成400冊)40% H24年度整備率(自然編資料作成500冊)20%	目録を作成し、公開することで宮古の歴史文化の振興を図っていく。		
8	博物館基本計画策定事業	H29	本市の歴史、自然、文化等を保存・収集・発信を行う総合博物館の機能強化、体制強化を図り、地域や観光客の声により応えることが出来る宮古島市総合博物館建設に向け、基本構想に基づいた基本計画を策定する。	博物館建設基本計画の策定	博物館建設基本計画の策定完了	博物館建設基本設計、実施設計を実施し、博物館建設工事に着手する。		
9	定住化促進事業	H28～H29						
9	「テレワーク@宮古島」推進事業	H28～H29	情報通信関連企業のサテライトオフィスを整備し、企業の誘致を行うことで新規就業者の創出を図る。	・サテライトオフィス化実施設計業務の実施	・サテライトオフィス化実施設計業務の完了	供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 ・新規就業者4人以上 (今後のスケジュール) H30年度:施設整備 H31年度:供用開始	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ H29	本市における高等教育機関の設置実現に向け、検討委員会の開催および設置意向を持つ学校法人への詳細調査を実施する。	・設置する分野の決定に向けた検討委員会の開催 ・設置意向を持つ学校法人への詳細調査の実施	・設置実現を図る分野の決定 ・学校法人が本市へ高等教育機関を設置する場合の条件の把握	(今後の方針) H29成果目標を踏まえ、高等教育機関の設置実現を図る。	6月変更 (事業追加)
10		地下水保全事業	H24 ～ H29					
10		地下水保全調査事業	H24 ～ H29	地下水を唯一の淡水資源とする本市では、水道水源の保全が社会の成立要件となっていることから、持続的な社会を構築するため、地下水保全に取り組むための調査を行う。	白川田湧水地付近の空洞調査 平良地下水流域の塩水進入状況等調査	白川田湧水地付近の空洞調査報告書の策定 平良地下水流域の塩水進入状況等調査報告書の策定	調査結果を基に、学識経験者の意見を参考にしながら保全の方法等について検討し、地下水保全の取り組みにつなげる。	9月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
11		平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ H32					
11		平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ H32	近年観光客の増加に伴い貨物量も増加しているため、総合物流センターを整備し、物流機能の円滑化、島内ストック機能の強化を行い、取扱貨物量の増加を図る。本年度は基本計画を策定する。	総合物流センター基本計画策定業務の実施	総合物流センター基本計画策定業務の完了	供用開始後1年目(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 ・取扱貨物量305千t (今後のスケジュール) H30年度:基本設計 H31年度:実施設計 H32年度:施設整備 (今後の展開方針) 取扱貨物量に応えられるよう、適切な維持管理を図る。	1月変更 (事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	スポーツツーリズム推進事業	H24～H30	天然芝の良質な状態を保持・適正に管理することにより、スポーツキャンプ等の受入を可能とし、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成に繋げていく。	良質な状態を維持し使用頻度に合わせ安定した芝生の適正管理	サッカーキャンプ等の受入(3チーム)	サッカー専用の芝生を確保することで、キャンプ誘致に繋げていく。キャンプ誘致による市内宿泊施設の利用者増を見込む。		
1	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26～H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校(各1回) ・「文化講演会」1回 2. 地域興しの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「尚巴志塾事業」ワークショップ4回 3. エコミュージアムの創造 <ul style="list-style-type: none"> ・「文化遺産巡りコンサート」 ・市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」 ・市内文化遺産所在地区公民館4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」 ・「大城城跡出土資料修復」 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童) ・「文化講演会」 ・目標客数:100名 2. 地域興しの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「尚巴志塾事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 <ul style="list-style-type: none"> ・「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数:200名 ・「地域孫会議事業」 ・参加者30名 ・「琉歌募集事業」 ・応募者数:140首 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度:尚巴志まつりの実施 2. 地域興しの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度:実践事業 3. エコミュージアムの創造 <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度:エコミュージアムトレイル作成 <p>H30年度事業完了時、「尚巴志」への認知度・愛着が高まり共通の知識を獲得、市民それぞれが情報を発信していくことで南城市の知名度がアップ、人気が高まり観光客増を見込む。</p>		
1	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27～H29	本市への入域観光客数の増加や市産商品の販路拡大を図るため、県外・国外で開催される物産展等への出展を行い、観光資源や市産商品の情報発信・広報活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・国内都市圏や国外での販路拡大活動支援(各1回以上) ・国内都市圏での観光PR活動(1回以上) ・南城市ノベルティグッズの制作(2種類以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・南城市や市産商品の認知度の向上 ・南城市の観光情報を発信させ観光誘客の促進 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く長く発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロサッカーキャンプ以外のスポーツ誘致の検討 ・既存市産商品のブラッシュアップ支援の検討 		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27～H31	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける休憩施設等の整備を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	斎場御嶽周辺休憩施設等の整備(東屋、遊歩道、ベンチ等)	観光客の安全・猛暑対策の充実 ・斎場御嶽周辺休憩施設等整備工事の完了	斎場御嶽を拠点とする市内周遊型観光の新たな体験交流事業の考案と地域活性化の取り組みにつなげる。		
1	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27～H30	プロ・サッカーキャンプ及び公式戦受入等の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、スポーツツーリズムを推進していく。	・建築工事(スタンド等) ・電気工事(屋内外の照明等) ・機械工事(地下貯水ポンプ等) ・外構工事(管理道路付け替え等)	南城市陸上競技場に関する建築、電気、機械、外構工事の完了	プロサッカーキャンプの受入体制を充実させながら、各種スポーツ合宿(大学等)の誘致に取り組み、本市の滞在型観光を推進し地域活性化を図ると共に、機能強化により市民の健康増進への意識向上に繋げる。		
1	南城市観光振興計画策定事業	H28～H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	基本調査、分析等を踏まえた計画書の策定	南城市観光振興計画策定の完了 概要版50部、報告書50部	計画に基づいて市の観光行政を運営していく。		
1	海外交流推進事業	H28～H31	アジアからインターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の魅力や課題を探り、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査すると共に、アジアの旅行社や関係機関へ本市をPRし修学旅行などのエデュケーショナルツーリズムに取り組み、観光振興に繋げていく。	・アジアからのインターンシップ受け入れの実施 ・アジアに向けた観光PR活動の実施	・学生のSNS等による南城市情報拡散記事数30件 ・PR活動実施の完了	各関係セクターと連携しながら、インターンシップカリキュラムをブラッシュアップし、積極的かつ効果的なPR活動を行っていく。		
1	南城市型エコミュージアム実施計画策定事業	H28～H31	観光コア施設を拠点として南城市の魅力を一元発信するため、特徴ある地域をサテライトとして位置づけることの決定やこれらをネットワーク化した全体的なマネジメントなどを明記した総論に基づき各論を策定していく。	南城市型エコミュージアム実施計画(各論その1)策定(9地域)	南城市型エコミュージアム実施計画書(各論その1)の発行【100部】	全27のサテライトにおける実施計画(各論)策定に向けて取り組む。		

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	芸術による地域活性化推進事業	H28～H29	地域のムラヤーを活用し、地域と沖縄県立芸術大学の学生が協働で、地域資源を生かした沖縄ならではの美術工芸体験メニューを構築し、観光振興に繋げていく。	・ワークショップ及び展覧会の実施 ・地域の伝承を元にした絵本の制作	・イベント実施による観光閑散期の集客増 ・展覧会への来場者数 100名 ・地域伝承の絵本制作 100部	体験メニューとしての位置づけを目指す。		
1	南城市海岸線景観魅力アップ推進事業	H28～H29	沖縄本島南部には、多くの様々な観光スポットが点在しており、観光客の多くは、東海岸の青い海を眺望しながら爽快にドライブし本市を訪れている。訪れた観光客がまた訪れたい魅力ある美しい景観(高台からの眺望、移動景観)の創出に取り組む。	玉城地区(L=4.8km)の雑木等伐開実施	玉城地区(L=4.8km)の雑木等伐開の完了	形成した景観を維持するため、道路管理者と連携を図り、管理に努める。		
1	南城市観光コア施設整備事業	H27～H33	本市の観光情報を発信し観光交流できる拠点(コア)施設を整備し、観光客の利便性を向上させ更なる観光振興に繋げていく。	基本構想に基づいて施設整備基本計画を策定	施設整備基本計画策定の完了	基本設計、実施設計を行い、施設建設に向けて取り組む。		
1	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29～H31	広域連携(南城市、伊江村、渡嘉敷村)により、東アジア諸国の中・高校生を対象に、県内各地で約3週間の研修や共通体験等を通じ相互理解を深めることで、グローバル化に対応した将来を担う若者の人材育成と人的ネットワークの形成を図る。	研修プログラムの実施(約3週間)	国際感覚豊かな人材の育成:50名 ・県内参加者12名(うち南城市4名) ・県外参加者12名 ・アジアからの参加者26名	実施期間で培った人材及びネットワークが活かされるよう展開していく。		
1	観光交流サイン整備事業	H25～H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	集落域文化遺産サイン設置工事	集落域文化遺産サイン設置工事完了	・経路の利便性を高めることで、誘客数を増やし、地域の文化遺産を周遊しながら歴史・文化を知ってもらい、地域住民との交流の場やリーダーの増加を促すことで、地域の活性化につなげていく。 ・地域が主体となり文化遺産の散策を推進するほか、近隣学校と連携し、地域の歴史・文化を学ぶ地域学習を総合学習の一環として実施できるよう検討する。	9月変更(事業追加)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		観光振興将来拠点地整備事業	H25～H30	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	・バス乗降場上屋の整備 ・一部擁壁の整備	・バス乗降場上屋の完成 ・一部擁壁の完成	<p>供用開始後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>(今後のスケジュール) 平成29年度:バス乗降場上屋、(一部)擁壁の工事 平成30年度:造成工事、面整備、擁壁工事、管理施設(外灯、安全柵等)工事 平成31年度:供用開始</p>	12月変更(事業追加)
2		耐候性野菜栽培施設整備事業	H27～H29	農家の生産性向上を図るため、気候条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウス(パイプハウス)の整備費用に対する補助を行う。	耐候性ハウスの整備を支援	耐候性ハウスの整備(5,000㎡ 約20棟)	<p>施設整備1年後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。</p> <p>耐候性ハウスを整備したことによる生産量の増加:27tの増加</p>	3月変更(事業内容及び今後の展開方針等変更)
2		優良繁殖牛導入支援事業	H26～H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化 ・基本登録時審査成績向上 	繁殖牛導入により、安定した繁殖、良質な肉造り及び農家の所得向上に向けた支援を引き続き展開していく。	
2		優良乳用牛リース支援事業	H27～H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭) 	優良乳用牛の導入によって、需給計画の達成に努め、搾乳牛の更新で年間乳量8,000kgを目指す。	
3		低炭素なまちづくり推進事業	H28～H33	低炭素社会を構築するため、市内の防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替えることにより温室効果ガスの排出削減を図る。	防犯灯及び公共施設をLED照明器具に切り替える	防犯灯及び公共施設が排出する温室効果ガス(Co2)を8,411kg削減	H33年度まで、年次的に自治会の防犯灯及び公共施設等の照明をLEDに切り替えていく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	学習支援員配置事業	H25～H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市立8小学校へ学習支援員8名配置 (支援児童数330名程度:支援員1名 当り週35時間授業支援を行う。1授業 当り4名程度の児童を支援する。) ・市立4中学校へ学習支援員4名配置 (支援児童数135名程度:支援員1名 当り週35時間授業支援を行う。1授業 当り4名程度の児童を支援する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県学力到達度調査における県平均正答率を目指す。 ・小学校:県平均以上を目指す ・中学校:県平均以上を目指す 	(今後の展開方針) 沖縄県学力到達度調査における正答率の水準維持及び向上に取り組む。	3月変更 (事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)	
4	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の通常学級への受け入れ機会が増加している。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員を配置し、担任教師と連携し、適切な特別支援教育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・6幼稚園:特別支援教育支援員10名(対象園児23名) ・8小学校:特別支援教育支援員37名(対象児童95名) ・4中学校:特別支援教育支援員6名(対象生徒13名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や学校生活におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境を構築 ・幼児、児童、生徒個々の特別支援教育支援員活用報告書の作成(年2回) 	障害のある幼児、児童、生徒の自立や社会参加を促し、「生きる力」を育成する。		
4	小・中学校電子黒板等整備事業	H28～H31	児童・生徒の学力向上の取り組みとして、ICTを活用し既存の学習活動と融合した効果的な授業展開を実施することを目的に、各小・中学校の普通教室や特別教室へ電子黒板等を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・8小学校(百名、玉城、船越、知念、佐敷、馬天、大里北、大里南)電子黒板整備(5年～6年普通教室・特別教室) ・7小学校(百名、玉城、船越、知念、佐敷、馬天、大里南)校内LAN整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力到達調査において無回答率の縮小 小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 H28年の無回答率 4.0ポイント H28県平均の無回答率 4.8ポイント 	H31年度まで順次整備することで、ICT教育へ対応した環境整備を図り、学力向上に寄与する。		
5	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～H33	本市は神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「御嶽」(会議、調査等:9回) ・「資料集 戦争」(会議、調査、資料収集:5回) ・「民俗」(検討会議:2回、会議、調査、資料収集:5回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「御嶽(仮称)」刊行 ・「資料集戦争」実地調査による資料収集と整理 ・「民俗」実地調査による資料収集と整理 	H30年度:「資料集戦争」刊行 H33年度まで:「民俗」調査、資料収集、整理		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
パ	細							
		文化センター機能強化事業	H25 ～ H29	来場者の満足度向上及び来場者数の増加を図るため、文化芸術発信の拠点である文化センター・シュガーホールの機能強化を実施する。	屋外ステージ常設屋根等の設置工事の実施	屋外ステージ常設屋根等設置工事の完了	施設整備1年後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・屋外ステージを活用した新規イベント等来場者へのアンケートで満足度(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。 ・来場者数2,290人以上	3月変更(事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		国頭らしい景観計画策定事業	H28 ~ H29	国頭村の自然豊かな地域を保全・活用するため、また、国立公園・世界自然遺産登録の動きに対応するため、風景を活かし景観像を明確にした「国頭らしい景観計画」の策定を実施する。	景観計画の作成 説明会又はパブリックコメントの実施 委員会の開催 景観行政コーディネーター県外研修参加	国頭村景観計画の策定	国頭村景観条例の制定 国頭村景観審議会の設置	
2		ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H26 ~ H30	「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」に展示飼育しているヤンバルクイナの適切な飼育環境の確保と展示個体を活用した希少動物の保護普及啓発のため、展示飼育体制の構築及び保護普及啓発員(ガイド)の飼育技術育成を図る。	飼育及び飼育技術指導員の配置(週2日) 保護普及啓発員(ガイド)の配置1名 飼育管理者(飼育技術指導員)の認定取得	専門知識を有する保護普及啓発員の人材育成 飼育管理者(飼育技術指導員)の認定取得	H30以降: 村内飼育管理者及び村内保護普及啓発員(ガイド)の自立による飼育及び保護普及啓発を図り安定した展示飼育体制の確立を図る。	
3		やんばるの森拠点施設活用推進事業	H29	やんばる国立公園指定に伴い、国頭村森林公園をやんばるの森の拠点施設として活用するため、公園のニーズ及び課題を調査し、管理運営の手法を検討する。	顧客ニーズの把握 施設の課題調査 施設の管理運営方法の提案 今後の施設整備の概略予算の算定	施設の現状、課題の把握 ニーズを把握し、施設の管理運営方針の策定	策定された管理運営方針に沿って施設の利活用を図る。 目標 H33 24,000人 (参考) H25~H27(3ヶ年平均) 19,826人/年	
4		国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ~ H29	農家の経営安定化に向けて、国頭村ブランド牛基盤づくりの為、優良母牛の導入に対する支援を行う。	優良母牛導入支援	優良母牛導入頭数16頭(8農家×2頭=16頭)	優良母牛導入による産地基盤整備を図る。(累計) H27:18頭(38頭) H28:15頭(53頭) H29:16頭(69頭)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		国頭村減災地域社会形成事業	H24 ～ H33	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、防災マップ等の改定や集落別減災計画の作成を行う。	「防災マップ」の改定 「防災マニュアル」の改定 集落別減災計画の作成(3集落)	「防災マップ」の改定完了 「防災マニュアル」の改定完了 「集落別減災計画」を作成した集落カバー率： 60%	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 整備した防災マップ等を活用した避難訓練(8回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 (今後のスケジュール) H29年度:3集落 H30年度以降:H29年度までの成果を踏まえ残り8集落の減災計画を作成 (今後の展開方針) 防災マップ等を整備し、また、全集落の(20集落)の減災計画を作成する。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
6		学習支援員配置事業	H25 ～ H29	児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行う。	学習支援員配置数 小学校2人	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 算数:-1.9ポイント以上 国語:-0.8ポイント以上 理科:-1.6ポイント以上	(今後の展開方針) 県と本村との平均正答率において、今後も差が開かないよう必要に応じて事業を継続していく。	9月変更 (活動目標及び成果目標) 3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
6		中学校英語指導員配置事業	H25 ～ H29	中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上、基礎学力の向上に繋げる。	英語指導員配置数:中学校1人	英語検定5級取得者:40人 英語検定4級取得者:27人 英語検定3級取得者:19人	29年度以後においても継続配置するとともに、英語検定合格者を同人数維持していく。	9月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		学習支援教室委託事業	H28 ～ H32	民間学習塾の少ない本村において、学校教育外での学習環境の整備を図るため、学習支援教室(村営塾)を設置し中学生の高等学校への進学を支援する。	対象:中学3年生 開室期間:9月～翌2月・週3回・1回2時間 科目:英語・国語・数学 業務形態:委託	中学3年生の内、高校進学を希望する生徒の高校合格率100%(平成27年度100%)	高校合格率100%を目指し、中学校と連携を図りながら、きめ細やかな指導を行う。	
6		小・中学校空調設備整備事業	H24 ～ H29	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期続く地域である。小中学生の健康維持や学習意欲の向上を促す必要があるため、空調設備を整備する。	空調設備設置工事の実施 学校数:2小学校(3室)・1中学校(2室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校 中学校 国頭中学校	空調設備設置工事の完了 学校数:2小学校(3室)・1中学校(2室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校 中学校 国頭中学校	H29年度:整備後供用開始	
7		環境保全・美化推進事業	H27 ～ H31	地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護のため、ハブ・野ネコ・野犬対策を行う。	賃金職員の配置(2人) 各対策保護捕獲器の設置 (ハブ:30基、犬:3基、猫:30基)	ハブ咬傷被害:0件 野ネコ・野イヌによるヤンバルクイナの被害:11件	(今後の展開方針) 保護捕獲器の効率的な運用を行い、咬傷被害等の未然防止と、野生生物の保護を継続する。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
8		多自然川づくり事業	H24 ～ H31	本村の地域資源を有効に活かし、中心市街地の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、治水と自然の営みを共存させた自然再生型事業として、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を図る。	河川工事の実施(L=30m)	河川工事 41%(360m/全体延長L=1,200m)	H29年度:河川工事 H30年以降:現場技術管理業務・河川工事 H32年度に全区間(1,200m)の提供多自然川づくりにより、河川が本来有している生物の生息環境や多様な河川風景が保全・再生され、治水安全度の向上や環境教育の場としての活用が図られる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
8		奥区地域づくり計画策定事業	H27 ～ H29	平成28年度に実施した社会実験の検証結果をふまえ、より具体的かつ年間を通じたツアープログラム事業として実践するため、具体的手法の確立及び実施体制の構築を図る。	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)事業の具体化に向けた取組3か年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)ツアープログラムメニューの開発	社会実験で得た効果検証をふまえ、村全体の地域づくりへと施策展開へ繋げる。 奥ヤンバル鯉のぼり祭り来場者数 目標 H29年度 18,000人 参考 H28年度 17,302人 奥ヤンバルの里宿泊者数 目標 H29年度 5,000人/年 参考 H27年度 4,925人/年	
9		幼保連携型総合施設整備事業	H26 ～ H29	子どもの成長支援・子育て支援の充実や環境整備を図るため、就学前の幼児教育・保育を一体的に行う機能を担う「幼保連携型総合施設」を整備する。	建築工事施工管理業務の実施 建築工事(施設本体を含む機械・電気設備等)実施 土木工事(外構)実施	建築工事施工管理業務の完了 建築工事(施設本体を含む機械・電気設備)の完了 土木工事(外構)の完了	H30: 供用開始 村内の0歳～5歳までの子どもを受入	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ H30	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつり及びPRイベントを開催し、交流人口の増加を促進する。	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援	・産業まつり参加者数 5,000名 (参考 H23年度 2,500名) ・PRイベント開催数 4都市	・産業まつり参加者数(累計) H24～H30年度 21,000名 ・PRイベント開催数(累計) H29～H30年度 8都市		
1	環境保全・美化推進事業	H28 ～ H32	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物(ヤンバルクイナ等の天然記念物)の保護を図るため、野良犬、野良猫、ハブ対策として環境保全作業員による捕獲器の設置・回収、犬・猫の適正飼育の周知等の強化を図る。	・賃金作業職員の配置(3人) ・各対策捕獲器の設置 (ハブ:30台、犬:3台、猫:10台) ・猫の避妊・去勢等に係る支援	・ハブ咬症被害 2件以内 ・飼い猫の適正飼育に伴う登録件数 40件	咬症被害等を未然に防止と野生生物の保護を継続する。		
1	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ H31	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化が図られる施策として、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に、大川川とその周辺整備を実施する。	・護岸整備工事の実施 ・用地購入	・護岸整備工事の完了(2期/4期) ・用地購入の完了(2期/2期)	(今後の展開方針) H30年度 工事(3期/4期) H31年度 工事(4期/4期)・台帳整備		
2	学習支援員配置事業	H25 ～ H33	児童生徒の学力の向上を図るため、村内小学校と中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 ・小学校 3名 ・中学校 2名	平成29年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 0ポイント以上 中学校 -1.5ポイント以上	(今後の展開方針) 小学校、中学校共に県平均正答率に達していないため、県平均以上を目指し、事業を継続していく。	1月変更 (計画変更に伴う事業概要、各目標、今後の展開方針等変更)	
2	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ H33	各社会教育団体の生涯学習活動及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、その活動を通して本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習活動事業を展開する。	・生涯学習講座 12回開催	・講座受講者数 H29年度 120名	講座受講者数(累計) H25～H33年度 900名		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ H33	県外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等に参加する児童生徒に対し航空運賃の補助を行う。	・児童生徒への県外派遣支援	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	(今後の展開方針) 村内各学校と派遣に関する情報共有に努め、H33年度まで支援を継続する。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
3		観光道路及び危険箇所減災対策事業	H27 ～ H29	観光客の交通障害の防止を図るため、交通障害を引き起こす恐れのある雑木や高木の枝の伐採を行う。	伐採工事(塩屋地区・津波地区)の実施	伐採工事(塩屋地区・津波地区)の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 伐採箇所における観光客の木による交通障害発生件数 0件	1月変更 (計画変更に伴う事業概要、各目標、今後の展開方針等変更)
3		防災監視カメラ整備事業	H28 ～ H30	災害時の住民や観光客の安全を確保するため、土砂災害等を監視する防災監視カメラを設置する。	・防災監視カメラ整備工事の実施	防災監視カメラを活用した避難訓練の実施(1回/年)により当該事業のあり方を検証する。	(今後の展開方針) 防災監視カメラで災害の予兆を確認し、初期避難・災害対策を迅速に行うことで、災害発生時の人的被害の減少を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
4		低炭素社会構築事業 (省エネ設備導入促進事業)	H28 ～ H30	環境保全のため、防犯灯に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	防犯灯整備工事の実施	二酸化炭素排出削減量 4.77t-CO2	(今後のスケジュール) H29年度:工事(1期/2期) H30年度:工事(2期/2期)	1月変更 (計画変更に伴う事業概要、各目標変更)
5		カラキ活用推進プロジェクト	H28 ～ H31	大宜味村内に多く存するカラキ(オキナワニッケイ)は、世界三大シナモンに並ぶ沖縄固有のシナモン種である。シナモンとしての価値に着眼し村内の地域資源であるカラキを活用し、苗木生産から一次加工、商品開発、ブランド構築までを一貫して行い、地域内連携を推進しながら農林業の振興、観光の振興、人材育成等の地域振興を図る。	・加工法の開発 ・試作品の開発 ・挿し木6,000本の実施	・加工法の開発完了 ・試作品の開発完了 ・挿し木6,000本の完了	H31年度(目標値) 苗木栽培技術者の養成 苗木の増殖	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
6		大宜味村幼保連携型総合施設整備事業	H28 ～ H31	子どもを産み育てやすい環境を整備する為、働く保護者等の子育て支援の充実を目的に、就学前の幼児教育・保育を一体的に提供することができる幼保連携型総合施設を整備する。	・基本設計業務の実施	平成32年度の施設開園に向けた事業の着実な実施(基本設計業務の完了)	<p>供用開始後1年目(H平成32年度予定)の目標を以下のとおりとする。 子育て支援が充実したか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。</p> <p>(事業スケジュール) H29年度 基本設計 H30年度 実施設計 H31年度 工事 H32年度 供用開始</p>	12月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	東村観光産業人材育成事業	H26 ～ H29	村内の観光関連事業所と連携のもと、観光入込客数の増加及び受入体制の強化、奄美・琉球世界自然遺産登録に向けインタープリター(自然ガイド)の育成に努める。	・自然体験活動研修 ・野外・災害救急法研修 ・視察研修	インタープリター(自然ガイド)育成	安心・安全・快適な観光案内ができるよう専門的なインタープリター等の人材育成を実施し質の向上に努める。	
	東村の魅力PR事業	H26 ～ H30	年間をとおして観光、特産品、移住、文化等に関する東村の魅力を大々的にPR活動を行い、本村への誘客及び人口増加に繋げる活動を展開する。	村外でのPRイベントの開催 1回 (2日間開催予定) 東村観光誘客施設企画展開催 1回 (2日間開催予定) バインフェアの開催 1回	村外でのPRイベント来場者数 5,000人 東村観光誘客施設来場者数 1,000人 バインフェア来客数 2,000人	・毎年度PRイベントの開催 (開催場所等の検討)	
	東村ダムツーリズム推進事業	H27 ～ H31	沖縄県最大の福地ダムの湖面等を活用したプログラムをさらに推進するため、ダムツーリズムプログラムの充実・強化を図る。ダムツーリズム実施に必要な施設整備の検討を行う。	・計画ツアーメニュー(基本計画案)の基本情報の整理・アンケート調査の実施 ・航路資源情報パンフレット等の作成 ・モニターツアーの企画・実施 ・施設整備の検討 ・導入施設の概略図と概算工事費算出	ツアーメニューの選定 モニターツアーの実施 基本設計業務の完了	・事業スケジュール H29年度 基本設計 H30年度 実施設計 H31年度 施設整備 ダムツーリズム入込客数目標:15,000人	
	東村つつじ祭り強化事業	H27 ～ H31	本村の一大イベントである東村つつじ祭りを充実させ、本村の魅力を来園者(観光客等)に周知し、観光産業の活性化を図る。	・園内ライトアップ等の実施 ・ステージイベントの充実	・来園者数 40,000人	来園者の増加に向け、まつりの開催時の内容を改善しながらH31年度まで継続する。	
	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H27 ～ H31	「東村村民の森基本計画」を元に、つつじ園内各施設の機能強化を図るための整備を行う。	東屋・事務所棟建築工事の実施	東屋・事務所棟工事の完了	H29年度 東屋・倉庫棟建築工事 H30年3月 供用開始	
	東村企業研修プログラム構築事業	H29 ～ H31	PA(プロジェクトアドベンチャー:冒険教育)を基本にして体験学習の手法を取り入れたものを活用した企業研修プログラムの構築・販売を行うことで、交流人口の拡大が期待される。各ツーリズム及び観光施設を組み合わせたプログラムの開発を行うことで相乗効果を図る。	ニーズ調査 ・現況調査 ・アンケート調査 ・ヒアリング調査 ・事例調査 ・方向性と課題の整理	ニーズ調査実施報告書作成完了	ニーズ調査実施報告書の結果を踏まえモデルプログラムの構築、キャンペーンツアーを行う。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		郷土の文化担い手育成・継承事業	H29	児童生徒に対応した教育プログラムを充実し、生涯学習機会の提供などの学べる環境づくりを図るため「私たちの東村」学習冊子を作成し、多くの村民が手軽に東村の歴史、文化等を学べる資料として活用する。さらに、民泊事業者へ資料を提供し、観光客誘致の一助として利用できるようにする。	「私たちの東村」学習冊子制作業務	「私たちの東村」学習冊子(1,000冊)を学校関係へ300冊、一般村民等へ700冊配布。	村内小学校での学習教材や地域での生涯学習、観光事業者のスキルアップとして活用。	
		教育用ICT機器導入事業	H29	進展する情報化社会へ対応出来る人材を育成するため、中学校へICT機器を導入し、知識や情報、技能習得や学力向上を図る。	教育用ICT機器の導入	ICT機器25台の導入完了 収納カート1台の導入完了	村内中学校生徒の情報教育の充実及び学力向上、情報化社会への対応の推進。	
		特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ H33	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。	小学校へ5名、中学校へ3名の特別支援教育特別支援員を配置する。	支援が必要な児童生徒の適切な学習環境の保持	H27～H33年度までの特別支援教育支援員配置人数(累計)44名	
3		地域活動拠点活性化事業	H27 ～ H29	地域活動拠点施設を整備し、本村が進めている体験滞在交流型観光の促進を行うことにより観光誘客を図る。	建築及び外構工事の実施	地域活動拠点施設の施設整備の完了	平成30年度の目標を以下の通りとする 観光客の施設利用者 1,650人以上	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
4		産業支援住宅整備事業	H29 ～ H31	本村地域産業の推進と後継者・担い手の人材確保を図る為、産業支援住宅を整備し、定住促進及び産業振興へ繋げる。	基本計画の作成	基本計画の策定完了	H30年度:実施設計 H31年度:建設工事 H32年度:供用開始	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	今帰仁村こども教育充実事業	H24 ~ H33						
1	人材育成事業	H24 ~ H33	小学生を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、子供達の視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	・派遣生徒数:36人	・酒田市鳥海小学校との交流会の実施 ・酒田市内での民泊の実施 ・スキー体験の実施 ・報告会の実施(1回)	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):360人 ・地域及び本村のジュニアリーグの団員として活動 ・北山ていーだの会団員として「現代版組踊北山の風」のメンバーとして活動		
1	教育環境充実事業	H25 ~ H33	児童生徒、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、各幼稚園、小中学校に支援員を配置する。	(支援員(預かり含む)の配置人数) 幼稚園(特)3人 小学校(学)3人(特)5人 中学校(学)1人(特)1人	・児童生徒の学力や学習意欲の向上 ・児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	(今後の展開方針) ・児童生徒の学力や学習意欲の向上を図り、児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。		
1	中高生海外語学留学支援事業	H25 ~ H33	英語を学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学生2人(ハワイ2週間)及び北山高等学校に在学する本村出身高校生4人(ジョージア州2週間)を対象に、夏季休学中に姉妹校等においてホームステイをする機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。	・留学生徒数 中学生:2人 高校生:4人	・報告会参加者や派遣者に対しアンケート調査を実施し、今後の活動に役立てる。 ・中学校、高等学校において、帰国後の海外短期留学報告会を全生徒、保護者、地域の方等の参加のもと開催し、留学の成果を広げ発信する。	(今後の展開方針) ・留学生徒数の増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。 ・留学生徒数累計(中学生:19人 高校生:47人)		
1	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ H33	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	・村内児童生徒等のスポーツ文化大会等への派遣費用を補助する。	派遣生徒数 ・県外少年団野球大会 20人 ・県外スポーツ大会 90人	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):995人 県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			今帰仁村観光客受入強化事業	H24 ～ H33					
2			環境保全美化推進事業	H24 ～ H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。 また、地域環境の保全、地域住民及び観光客の安全と誘客を図り景観を保全するため、不法投棄パトロール、投棄物処理、ハブ駆除対策、野犬捕獲等の対策を強化する。	村内の観光地の美化作業の実施。	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・観光ルートの美化(20路線) 累積整備率(121路線) 60%	(今後の展開方針) ・全体整備計画 H24～H33の10年間で村内201路線(村道104路線 農道97路線)を整備する。	
2			観光力基盤強化事業	H24 ～ H33	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、総合まつり、ハーリー、桜まつり、運天港いちゃり場まつりなどのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	・現代版組踊「北山の風」開催(8月・11月・2月) ・古宇利ハーフマラソン開催(4月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり開催(1月) ・今帰仁総合まつり開催(10月) ・今帰仁ハーリー開催(9月) ・三村交流事業開催(11月)	・現代版組踊「北山の風」来場者数:1,330人(H27実績:1,288人) ・古宇利ハーフマラソン参加者数:3,700人(H27実績:3,471人) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者:43,000人(H27実績:34,645人) ・今帰仁総合まつり来場者:11,200人(H28実績:11,000人) ・今帰仁ハーリー大会出場者数:730人(H28実績:430人) ・三村交流事業来場者:1,200人(H28実績:1,100人)	(今後の展開方針) ・村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	
2			観光地安全強化事業	H24 ～ H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	・交通整理員の配置:4人(12月～2月)(桜まつり期間中は12人増) ・今帰仁城跡来訪者安全対策の実施	・今帰仁城跡来訪者(約285,00名見込み)の安全の確保(12月～2月)	(今後の展開方針) ・イベント時の来訪者の安全対策を図るため、今帰仁城跡に交通整理員を継続して配置する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		H29成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2		今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ H33	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を図ることにより、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度を図るなど、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生は重要な施策である。今帰仁城跡を訪れる観光客又は海浜を訪れる観光客の安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。	・今泊港川(延長1120m)の下流左岸部分(78m)の工事	・今泊港川(延長1120m)の下流左岸部分(78m)の工事完了 累積整備率 34.4%	(今後の展開方針) ・H28～33年度:河川の整備 ・H34年度:供用開始 ・全体整備計画 1120m(H33)		
2		今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ H33	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料のガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	・案内に資する知識を得るために講演会(1回)及び研修会(2回)を開催する。	・ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ・ガイドによる来訪者の案内 11,900名	(今後の展開方針) ・来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。		
2		今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24 ～ H29	今帰仁村総合運動公園の施設機能強化を実施する。今年度は住民の福祉に資するために遊具等を設置する。	・園内動線外柵等改修工事及び遊具整備工事の実施	・園内動線外柵等改修工事及び遊具整備工事の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。 (今後の展開方針) ・全体整備計画 10,500㎡ ・年度毎に改修・整備した施設の利用を促進するために、ホームページ等を活用し広報活動を行う。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、今後の展開方針等変更)	
2		村営闘牛場機能強化整備事業	H28 ～ H29	沖縄の伝統興行である「闘牛」を後世へ継承していくために、闘牛大会を定期開催し、地元の闘牛ファンのみならず県外観光客を呼び込む観光資源として有効活用し、伝統興行の活性化を図るため、村営闘牛場の機能強化を行う。	・村営闘牛場機能強化事業における、設備工事、工事施工監理委託業務の実施	・村営闘牛場機能強化における、整備工事、工事施工監理業務の完了	(今後の展開方針) ・今後は、地元闘牛ファン及び県外観光客を呼び込む観光資源として有効利用を行い、伝統興行の活性化を図る。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	景観形成強化事業	H24 ～ H33	昔ながらの今帰仁村の景観が残る集落内の道路整備を行うことにより、観光客の集落内への受け入れ体制を強化する。 また、村が管理する道路の舗装や雑草防止対策を行い、また、新たな観光地域内に排水路等の未整備の箇所があり排水路、側溝敷設を整備することにより車輦の安全及び歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することから、集落の深部への観光客受け入れ体制を整える。	・観光客等が歩きやすい歩行空間の確保(道路の舗装、雑草防止、雑草防止)、安全に車輦が通行できる整備(排水路、側溝敷設)	・快適な観光アクセスルートの整備完了(1.8km、全体計画の37.5%) ・累積整備率(1.8km) 37.5%	(今後の展開方針) ・全体整備計画 ・H29～H33の5年間で観光アクセスルートを4.8kmを整備する。		
3	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ H33	安定した素牛生産地の確立のため今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛を導入する際に、導入牛の価格に対し支援を行う。	・繁殖牛を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	繁殖牛 15頭導入 ・全体計画のうち 導入率8.8%行う ・累積導入率(84頭) 49.4%	(今後の展開方針) ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 ・導入全体計画 170頭(H33)		
4	幼保連携一体化施設整備事業	H27 ～ H30	就学前の子ども持つ家庭の育児支援や連続性のある幼児教育、保育環境を創出し、保育サービスの拡充と地域の子育てニーズや新制度に対応したバランスのとれた総合的な子育て支援を行うため、就学前の幼児教育・保育を一体的に担う「幼保連携一体化施設」の整備を行う。	・幼保一体化施設の造成工事及び、施工監理の実施 ・既存建物の解体工事及び、施工監理の実施 ・浄化槽撤去工事及び、新設工事	・幼保一体化施設の造成工事及び、施工監理の完了 ・既存建物の解体工事及び、施工監理の完了 ・浄化槽撤去工事及び、新設工事の完了	(今後の展開方針) ・H30年度 建設工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、施工監理、遊具設置 ・H31年度 供用開始		
5	地域活動拠点活性化事業	H29	地域活動・地域行事・伝統文化等芸能の場や景観を利用した、都市及び観光客との交流拠点としての利用を図り、交流体験の場となる施設を整備する。	・地域活動拠点施設の建築工事の実施	・地域活動拠点施設の完成	(今後の展開方針) ・H30年度 供用開始 ・観光客との交流を図るため、伝統文化等芸能をはじめとする各種行事を開催する。	9月変更 (事業追加)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H29事業内容					
1			本部町観光拠点形成事業							
1			花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ H33	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター植付の実施 = 1191基	プランター植付の完了 = 1191基	(今後の展開方針) 町内プランターに花の植え付けを行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。		
1			ハブ咬傷防止事業	H25 ～ H33	タイワンハブ等捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約350カ所に設置	ハブ捕獲数年間:250匹	(今後の展開方針) タイワンハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的に行い、個体数及び生息域の抑制を図る。		
1			伝統興行観光化事業	H25 ～ H31	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備等を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	・伝統興行の実施:2回 ・闘牛待機小屋の整備	・伝統興行の実施による観客数:1,245人(過去3年間の実績の平均値) ・闘牛待機小屋の整備完了:1棟	(今後の展開方針) 組合による伝統興行の継続的实施		
1			八重岳観光拠点整備事業	H25 ～ H30	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。また、八重岳桜の森公園内に遊具を整備し、年間を通し、観光客が訪れる環境作りを行う。	遊具設置工事の実施 1式	遊具設置工事の完了 1式	(今後の展開方針) H26年度～H30年度:法面崩壊防止のための排水路整備及び新たな拠点(広場)づくり H29年度:遊具設置 H30年度:親水性護岸整備及び東屋等設置 多様な活用により観光客の入込数の増加につなげ地域の活性化を図る。		
1			観光漁業実証調査事業	H26 ～ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	観光プログラムの実証 ・体験型観光の実施及びデータ収集	町内水産資源を活かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。	(今後の展開方針) 観光協会及び漁業協同組合と連携し事業展開する。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		インバウンド観光客受入環境向上事業	H29 ~ H32	急激な増加を見せる訪日外国人旅行(インバウンド)に対応するため、観光及び商業関連事業者向けの外国語講座などの人材育成、多言語ガイドブックの製作等を行う。	・語学研修の実施 ・多言語観光ガイドブックの製作	・語学研修の実施完了(2カ国語) ・多言語観光ガイドブックの製作完了 【英語・韓国語・中国語(繁体字、簡体字)】	(今後の展開方針) ・訪日外国人旅行(インバウンド)に対応した着地型観光商品の開発 ・外国クルーズ船等の誘致及び来訪者へ観光案内ツールとしての活用	
1		本部町フクギ集落整備事業	H25 ~ H29	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギ集落の散策路を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	・フクギ集落の散策路の工事実施	・フクギ集落の散策路の工事の完了	(今後の展開方針) ・備瀬フクギ集落内の散策路等の整備 ・町や観光協会とフクギ集落地区のネットワーク強化 ・県内外旅行会社と連携したフクギ集落景観を活かした観光コースの検討	6月変更(事業追加)
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業						
2		園芸農業防災施設整備事業	H24 ~ H29	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:5件	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	(今後の展開方針) ・自然災害による農作物被害の低減 ・施設整備による産地形成	
2		もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ~ H29	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:45頭	(今後の展開方針) 平成26~29年度にかけて各年度目標導入頭数:45頭	
2		メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ~ H33	特産品生産者及び事業者の経営の安定化と産業の発展を図るため、販売支援員の配置、物産展等への出展など、本部町の地域の特性を活かした特産品の販路拡大を支援する。	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内物産展への出展支援(5回))	新規取引契約数10件/年 物産展等での販売目標 1回50万円×5回	メイドインもとぶ産品を県内外の流通経路にのせ、1次・2次産業の底上げを図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ~ H31	地場産業の育成・支援やもとぶ産商品の充実化を目的に、町内製造事業者のブランディング、製造環境の向上、町内事業者が連携した特産品開発の取組みに対して支援を行う。	・もとぶ産品製造事業所の支援(ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	もとぶ産特産品の開発・・・5件	(今後の展開方針) 平成29～31年度にかけて、もとぶ産品製造事業所の支援を実施 (中長期目標) H31に町内製造業の出荷金額をH26比で3%増加させる 工業統計調査:総出荷額 H22:5,590百万円 H26:5,715百万円(H22比+2%) H30:5,886百万円(目標年) 【支援対象事業所】 支援事業実施から4年後に売上総利益を4.5%以上増加させる	
3		モトブンチュ人材育成事業	H25 ~ H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	・伝統文化継承教室開催240回(三線、琉舞、沖縄民謡読み聞かせ、昔遊び、空手、やちむん絵付け、物作り) ・町内イベントでの体験型プレイショッブ開催3回	教室目標参加者数 2,600人 体験型プレイショッブ目標参加者数 800人	(今後の展開方針) H25～H29延利用者数15,000人	
4		本部町教育環境整備事業						
4		本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 2校へ配置	平成29年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.6ポイント以上 中学校 -2.5ポイント以上	(今後の展開方針) 成果目標の達成状況の分析及び支援方法の見直しを行いながら、平成31年度までに沖縄県学力到達度調査の県平均正答率との差を-2ポイント以内まで引上げを図る。	3月変更(計画変更に伴う成果目標、今後の展開方針等変更)
4		本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ~ H33	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(2週間)	事業実施後の英検合格率25%。	(今後の展開方針) 平成27年度から平成33年度まで毎年中高生を英語圏へ短期間派遣	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			学校ICT機器整備事業	H28 ～ H30	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力及び情報活用能力の向上を図るため、町内小中学校のICT環境整備(全教室及び職員室等の無線LAN整備、タブレットPC等の導入)及びICT活用支援員を配置し、ICT機器の活用によるICT教育の推進を通じ、児童生徒の学力及び情報活用能力の定着、向上を図る。	無線LANの環境整備 3校 タブレット等の購入設置 143台 大型モニタの購入設置 11台 ICT活用支援員 1名配置	本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上。	H30年度までに、全小中学校にて無線LANの環境整備及びタブレット等の購入設置を行う。整備後においては本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上を目標とする。	
4			特別支援教育環境充実事業	H28 ～ H33	教育の振興を図るため、特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切に必要な支援を行う。特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、担任教師・教諭との連携による特別支援教育環境の向上、充実に推進する。	特別支援教育支援員 21名配置 スクールソーシャルワーカー 1名配置	特別な支援を要する幼児児童生徒へ支援の充足率70%。	対前年比で充足率5%向上を目標とする。	
4			音楽による人材育成・地域振興事業	H27 ～ H29	町内小中学校の吹奏楽部に対し吹奏楽楽器を購入することで、イベント等活動の幅が広がり児童生徒の活動意欲を高めることができる。 学校行事だけではなく地域行事などにも積極的に参加し、「武本部」の精神を養う人材を育むと共に地域振興にも寄与する。	本部小学校 吹奏楽器32個購入	演奏の幅が広がり学校行事だけでなく地域行事等でも積極的に演奏し地域住民との繋がりがもて地域振興につなげる。また、児童生徒の意欲情操向上を図ることを目標とする。 楽器購入後イベント参加数:3回	(今後の展開方針) 楽器整備後は、町内の祭りや式典イベント等へ積極的に参加し、地域一体となって人材育成や観光振興の向上を図る。	
5			本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ H31	町内小中高校生の就業意識向上を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップを行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。また、企業プレゼン大会を開催し、企業側の町内人材活用への熱意や、魅力ある職場体験プログラムをPRすることで、より実践的なキャリア教育を実施する。	ジョブシャドウイング・職場体験・インターンシップの実施 教職員向けマナー研修の実施 企業プレゼン大会の実施	ジョブシャドウイング・職場体験・インターンシップを本部町内小中高校計9校で実施 教職員向けマナー研修の実施 4回 企業プレゼン大会の実施 1回	産学官の連携した協議会によるキャリア教育の継続的な実施。	
6			安心安全なまちづくり事業						

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				6				
6		防災施設機能強化整備事業	H29	<p>地震や津波などの自然災害に強い町づくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する大規模避難所に防災備蓄倉庫を整備し、防災資機材や備蓄食糧等の生活物資を保管することで、防災施設の機能強化を図る。 更に、大規模災害等で避難所等が停電した際に使用するための発電機を整備し、災害に強く、安心して暮らせる町づくりを推進する。</p>	防災備蓄倉庫整備、発電機購入	防災備蓄倉庫 4棟整備完了 発電機 2機購入完了	整備した施設の管理者とも連携し、施設の良い維持管理に努める。 平時から、整備した資材等を防災訓練等に活用する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地危険生物駆除事業 (ハブ駆除事業)	H24 ~ H33	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)の散策者への咬症事故が予測されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数:400箇所	・ハブ捕獲数:150匹 (参考:H27年度捕獲数114匹)	・ハブ生息地拡大を抑制するため、捕獲器設置エリア拡大 ・拡散防止の強化		
	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ H33	観光誘客の推進及び観光客の満足度向上を高めるため、本村の観光資源を活用した事業展開を推進する。観光誘客に関するPR活動やそれに伴う情報媒体の整備、また、イベント・プロモーション活動や観光案内人の配置・育成の展開等を推進する。	観光誘客プロモーションの実施 イベントの開催 情報媒体の整備・作成 観光案内人の配置	宿泊客数:256万人(参考:H27年 250万人) プロモーション活動の実施:2回 イベントの開催:2回 情報媒体の整備・作成:60,000部 観光情報案内人数:9,000人(参考:H27年度 8,697人)	観光誘客プロモーション・イベント活動をはじめ、地域資源を活用したPR活動を継続して行い、地域経済への波及効果に努める。それと共に、観光案内人の育成等サービスの向上(おもてなし)に努める。		
	恩納村観光危機管理推進事業	H29	本村には、年間250万人以上の観光客が訪れており、観光客の安心・安全を確保するという課題に対応するため、本村を訪れた観光客が災害時に安全に避難等が出来るよう計画を策定するとともに、関係機関と連携し、安心・安全な観光地の形成を図る。	・恩納村観光危機管理計画の策定 ・勉強会(3回)及び訓練(1回)の実施	・恩納村観光危機管理計画の策定完了 ・勉強会及び訓練への参加人数:160人	観光危機管理計画について、定期的に周知し危機への対策を常日頃から共有し、安心・安全な観光地づくりを推進する。		
	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ~ H31	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。	・施設の実施設設計の策定 ・第二駐車場及び進入道路実施設計の策定	・施設の実施設設計の策定完了 ・第二駐車場及び進入道路実施設計の策定完了	供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 施設の年間利用者数:延べ102万人 (整備スケジュール) H30年度:施設の建築工事 第一、二駐車場工事 H31年度:建築及び外構工事 H32年度:供用開始	6月変更(事業追加) 1月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)	
	あしびなー施設整備事業	H29 ~ H31	地域の伝統芸能を後世に継承するため、地域に子どもや多くの若者が伝統芸能とふれあえる施設を整備する。また芸能を通じた観光交流を展開し、地域の文化資源を活用した地域振興を図る。	基本構想の策定	基本構想策定の完了	・事業スケジュール H30年度:建築基本設計・実施設計 H31年度:建築工事 H32年度:供用開始 ・地域伝統芸能の継承及び観光交流活動を開始	6月変更(事業追加)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ H31	恩納通信所跡地において、跡地の活用促進を図るべく、同跡地周辺区域について、跡地利用計画の推進に向けて基盤整備を実施する。	・用地取得及びこれに伴う損失の補償等	・用地取得及びこれに伴う損失の補償等の完了	H30～31年度：工事実施	
3		恩納村国際交流人材育成事業	H29 ～ H33	移住に関する歴史の伝承や村出身子弟(ウナンチュ)との絆を深めるとともに、国際交流の促進、諸外国との懸け橋となる人材を育成するため、研修生の派遣及び受入を実施する。	・派遣人数：2名 ・受入人数：2名 ・研修報告会の開催：各1回	・派遣者へのアンケート 海外移住の歴史や国際交流に関する心境に変化があった：100% ・研修生へのアンケート 沖縄県及び恩納村の歴史や文化、国際交流に対する心境に変化があった：100%	事業実施者が派遣及び受入に対し中心的な役割を担い、交流事業の拡充に寄与する人材となる。 各年度の実施状況を検証し、次年度以降の派遣及び受入人数を検討する。	
4		特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ H33	恩納村立小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒に対し、個に応じた指導・学びの場の設定を行うため、特別支援教育支援員を配置する。	特別教育支援員配置数 ・小学校：8人 ・中学校：4人	・学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「学校は、特別支援が必要な生徒に適切な対応ができていますか」で「評価3以上(4段階評価)」が93%以上を目指す	支援員の継続的な配置により、支援が必要な児童生徒の学習環境の向上を図る	
5		公営墓地整備事業	H28 ～ H31	沖縄独特の墓地散在化の抑制及び既存墓地の集約化により、無縁墓の増加を防止、観光地としての景観的な配慮や地域住民の生活環境の改善を図るため、恩納村墓地公園(公営墓地、納骨堂、駐車場等)を整備する。	・墓地公園造成工事 ・公衆トイレ実施設計 ・納骨堂建設のための土質調査業務の実施	・墓地公園造成工事の完了 ・公衆トイレ実施設計の完了 ・納骨堂建設のための土質調査業務の完了	(今後の展開方針) 平成30年度： 公衆トイレ工事、納骨堂設計 平成31年度： 納骨堂建設工事 墓地散在化の抑制及び既存墓地の集約化を図り、生活環境の改善を図る。	9月変更(事業追加)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光振興プロジェクト事業	H24 ～ H33					
1			阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ H33	阪神春季キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源を開拓するため、キャンプの受入態勢を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> 阪神春季キャンプの受入体制の構築 野球場仮設ブルベン、防球ネット、エアアーチ、パワーテント等設置 野球場、総合グラウンド黒土搬入 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神春季キャンプの受入体制を構築することによるキャンプ誘客の増加(71,000人) 野球場仮設ブルベン、防球ネット、エアアーチ、パワーテント等設置完了 野球場、総合グラウンド黒土搬入完了 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体(観光協会、商工会)との連携をして集客と滞在時間の延長を図る。 集客目標 H30:72,000人 H33:75,000人 	
1			宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ H33	宜野座村文化センターがらまんホールを中心にグローバルな教育・観光振興、人材育成、宜野座村の魅力をアピールし村全体の活性化を図る事業として「文化イベント事業」、「お出かけアウトリーチ事業」、「国際交流事業」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化・伝統芸能公演の開催数(31) お出かけ公演実施数(6) 子ども育成事業数(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,500名) お出かけ公演実施対象者数(600名) 子ども育成事業人数(20名) 	<ul style="list-style-type: none"> (今後の展開方針) H28～H33 芸術文化・伝統芸能公演の開催 30公演/年 お出かけ公演実施:6公演/年 子ども育成事業実施:1事業/年 	
1			宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ H33	宜野座村の着地型観光を推進するため、本村の地域資源を活用した地域発信の観光事業を展開し、着地型観光商品の事業化に向けた取り組みを実施するとともに、地域企業等との連携を密にし、着地型観光受入の地域コーディネーターの強化、PR活動の必要な情報媒体の整備、イベント事業展開等の支援を行う。 ICTを活用して、観光客や住民の誘導を図り、消費拡大など生産者の支援を行うと共に、観光資源活用の活性化を総合的に推進する外部専門家(アドバイザー)を招請する。	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘客プロモーション活動の実施 年間を通じたイベントの開催(3回) 先進地視察研修の実施 外部専門家(アドバイザー)招請によるWeb(HP、生産者動画など)整備の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 宜野座村の観光入客数(21万人) イベント集客数(7万人) 本村の観光PRが発信できる視察地との連携(2カ所) Web(HP、生産者動画など)整備完了 	<ul style="list-style-type: none"> (今後の展開方針) 地域ガイドの育成や先進地の取組みを吸収し、誘客プロモーションやイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。 宜野座村観光入客目標 ・H30:22万人 ・H33:25万人 	9月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1			宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ H33	秋の行楽シーズン、宜野座村や近隣市町村を訪れている観光客に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心に、花火大会やステージイベントを開催し観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 花火の打上:1,000発 PRチラシの作成:35,000枚 警備員の配置:13名 	美ら島花火大会集客数(10,000人/2日間)	来場者数が多く、大盛況だったため、開催の時期、内容等を検討しながらH33年度まで支援を継続する。	
1			リバーパーク整備事業(観光拠点施設整備)	H24 ～ H33	観光振興を図るため、観光拠点施設の整備を行う。	観光拠点施設の整備	観光拠点施設の整備完了	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始後1年目(H30年度予定)の目標を以下のとおりとする。 年間利用客数 18.1万人 	12月変更(計画変更に伴う事業内容、活動目標、今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	2	学力向上及び教育支援等事業	H24 ～ H33					
	2	小学校学力向上対策事業	H24 ～ H33	児童一人一人が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、学校行事等、日常生活にもかかわることで児童の個々を見極め、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	支援員配置数:8人 支援児童数:481人	沖縄県学力到達度調査平均正答率が県平均以上 小学校3年・4年・5年・6年(算数) 参考 平成28年度 3年(-3.3%) 4年(-6.1%) 5年(-2.2%) 6年(-2.3%)	(今後の展開方針) 沖縄県学力到達度調査(算数)において、沖縄県の平均正答率を上回る。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
	2	中学校学力向上対策事業	H24 ～ H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るため、学校行事等、日常生活にもかかわることで生徒の個々を見極め、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員(習熟度別対応支援員)を配置する。	支援員配置数:5人 (英語・国語・数学・理科・社会) 支援生徒数:229人	沖縄県学力到達度調査平均正答率が県平均以上 中学校2年(国語、数学、英語、理科、社会) 参考 平成28年度 国語(-1.7%) 数学(-2.9%) 英語(1.0%) 理科(-4.6%) 社会(-6.8%)	(今後の展開方針) 沖縄県学力到達度調査(国語、数学、英語、理科、社会)において、沖縄県の平均正答率を上回る。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
	2	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ H33	親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実するため、幼稚園において預かり保育を実施する。	預かり保育員配置数:4人	預かり保育希望園児の受入率:100%	H24～H33 預かり保育受け入れ園児率 申し込み園児の100%	
	2	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ H33	夏休みを利用し、引率者1人、村内の中・高校生6人を英語圏へ短期派遣し、語学研修を実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	海外語学研修への派遣: 中・高校生6人	派遣後のフォローアップ ・帰国報告書の作成 ・各小中学校等での帰国報告会開催(4回)	・海外語学研修派遣者数(累計) H33年度 36人 ・現地プログラムの充実	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			農林水産活性化プロジェクト事業	H24 ～ H33					
3			有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ H33	有機農業を目指し、推進協議会、部会を開催する。専門技術員による栽培指導を実施し、安定した農産物の生産拡大を図り、エコ農産物の有利販売拡大を行う。	エコファーマーの認定に向けた栽培指導及び生産拡大	・エコファーマーの認定数2名 ・エコ農産物販売目標130t(前年度比率108%)	エコファーマーの認定数 平成28年度、延べ31名 平成24年度～平成33年度までの 目標認定者数延べ33名) エコ農産物販売目標:230t(平成33 年度)	
3			農業用観光施設モデル整備事業	H28 ～ H31	施設整備によりイチゴ栽培の振興を図り、イチゴ狩り観光型農業等による観光の創出、イチゴ栽培の産地化を目指し、本村PRを図る。	・ハウス整備 2,400㎡ ・作業棟整備 50㎡	H29/30年イチゴ狩り来客者 3,000人 (参考 H27/28年イチゴ狩り来客者2,500人) イチゴ収穫時期が毎年12月中旬～5月上旬のため、H27/28年実績を参考としている。	H31/32年イチゴ狩り来客者 9,000人 (参考 H26年度 2,300人) H31/32年イチゴ出荷量 7,500kg (参考 H27/28年2,744kg)	
3			さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ H32	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業の指導・担い手を確保し、さとうきび生産の活性化を図る。	・適期管理作業の指導 ・新規栽培農家への直接指導	生産量5%以上増加	栽培農家戸数を増やし 栽培面積拡大に繋げる。 (平成28年度:193戸・133ha見込み)	
4			環境問題対策事業	H27 ～ H31					
4			観光景観向上対策事業	H27 ～ H33	村指定の観光地である松田鍾乳洞に繋がる洞窟等に不法投棄が多く、景観が損なわれているため、監視カメラを設置及び観光地ルートに専属の監視員を配置し、洞窟に放置された不法投棄物の撤去を効率的に実施することで観光地の景観の向上を図る。	・不法投棄監視カメラ及び観光箇所を中心にパトロールの強化。 ・ユニック付き2t車での不法投棄回収 ・フォーク付きコンボの粗大ゴミの解体作業	・観光地における不法投棄の減少:年間10件以内	不法投棄を減少させ、景観を向上させることで、観光振興につなげていく。	
4			危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ H33	外来種のタイワンハブやタイワンスジオ等の捕獲箱による村内への侵入防止、ハブ、ハチ等が村内で頻りに発見されていることから、観光客や修学旅行生の咬傷事故が予想されるため、積極的に捕獲・駆除を行うことで、観光地としての安心・安全を図る。	・観光各所のパトロール:12回/月 ・本村では発見されていない外来ハブの進入防御、ハブ捕獲器設置箇所:村内150箇所	・観光地におけるハブへの苦情件数:0回	・観光客が安心して観光できるよう安全を確保し、入客数が増加するよう努める。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		宜野座村企業立地促進事業	H27 ～ H31					
5		宜野座村人材育成・企業誘致等推進事業	H28 ～ H33	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業の求める人材の育成、就労支援、広報普及活動、企業誘致活動等を行う。	・人材育成・IT体験イベントの実施 ・企業誘致ブース出展・招聘ツアーの実施	・人材育成・IT体験イベントの参加者数1,000名 ・企業誘致ブース来場者500名 ・招聘ツアー参加企業数20人/10社	・人材育成・IT体験イベントの実施 ・企業誘致ブース・招聘ツアーの実施	
6		国際交流推進事業	H29 ～ H33					
6		世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29～ H33	宜野座村出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、村民並びに県民との交流を通して、村民の国際交流思想の高揚並びに子弟研修生の属する国と本村との友好親善に寄与することを目的とする。	海外移住者子弟研修生受入の実施	・村出身海外移住者子弟研修生受入4人 ・村民・県民との交流および研修を通じた、次世代ネットワークの強化 ・研修報告書の作成	(今後の取組み) ・子弟研修生受入4人 / 各年度 (事業実施後の取組み) ・子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光振興基盤整備	H28 ～ H33					
1		パークゴルフ場整備事業	H28 ～ H30	金武町にパークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	実施設計の実施 造成等工事の実施	実施設計の完了 造成等工事の完了	供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・観光客の年間利用者数 15,046人 ・町民の年間利用者数 8,102人 (今後のスケジュール) 平成29年度 実施設計、工事 平成30年度 工事 平成31年度 供用開始	1月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
1		プロスポーツ受入事業	H28 ～ H33	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。	プロスポーツキャンプ受入体制構築 競技環境の整備 プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備 スポーツ教室の開催	H29年度プロチーム4チームの受入 アマチュアチーム合宿の受入 大会受入 3大会	受入れたプロチームの継続受入を図り、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	
1		金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	H29 ～ H30	金武町ベースボールスタジアムに併設されている投球練習場を人工芝生化することで、利便性向上を図り、プロ野球キャンプの継続受入を図る。また、本球場ベンチ前の人工芝部分を拡張することで土の流出を防ぎ、施設機能高度化を図る。	投球練習場人工芝敷設実施設計の実施 本球場人工芝敷設実施設計の実施	投球練習場人工芝敷設実施設計の完了 本球場人工芝敷設実施設計の完了	受入れたプロチームの継続受入を図り、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				1				

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		金武町ノベルティーグッズ作成事業	H29	金武町の特産品等をデザインしたノベルティーグッズを作成し、観光客等に配布することにより、町の情報発信を図る。	ノベルティーグッズの作成の実施	ノベルティーグッズの作成の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 ノベルティーグッズの配布 10,000個 (今後のスケジュール) 平成29年度 ノベルティーグッズの作成 平成30年度 ノベルティーグッズの配布 (今後の展開方針) プロスポーツキャンプやイベント時に設置する情報発信ブース(パンフレット配布やアンケート等を行う)での、観光客への配布や、ネイチャーみらい館が受入を行っている民泊等に訪れた修学旅行生への配布、各自治会が行っている県外との交流活動での県外参加者等に配布を行う。	12月変更(事業追加)
2		金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27～H31	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入支援	優良繁殖雌牛導入頭数:12頭	H27～H31年度にかけて60頭の優良繁殖雌牛を導入予定 (今後期待される効果) 導入した優良牛から生まれた優良子牛を保留することにより、肉用牛飼養頭数の増頭及び優良遺伝子牛の生産拡大が図られる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				3				
3		金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ H31	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。	職業相談 各種講座の開催：4講座 企業セミナー：6回 キャリア教育：4校	就業者目標数：10名	金武町就活支援補助事業 職業相談 各種講座の開催：6講座 企業セミナー：6回 キャリア教育：4校	
3		金武町雇用対策事業	H25 ～ H29	ギンバル訓練場跡地利用の進出企業への雇用を促進するため、進出企業が町民を雇用した場合の研修費用等を支援する。	進出企業等が採用した研修者に対する研修費等の支援 研修者数：3人	平成29年度研修者定着率：100% (研修後の継続雇用)	金武町雇用対策事業 平成25～29年度：22人雇用	
4		教育の振興に資する事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	小中学校学習等支援事業	H24 ~ H33	英語教育について、外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。	日本人英語指導員 小学校:2人 外国人英語指導助手 小学校:2人 中学校:2人 英語コーディネーター 教育委員会:1人	小学校 児童英検において、平均正答率が全国平均との差-5%以内。(グレード:ブロンズ) 中学校 英語検定3級において、校内受験者数に対し合格率-27%以上。	国際化に適応できるよう英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、日本人英語指導員等による英語教育の充実を図る。 小学校 平成33年度までに、児童英検において、校内受験者の平均正答率を全国平均に達することを目標とする。 中学校 平成33年度までに、校内受験者数の合格率25%を目標とする。		
4	幼稚園預かり保育事業	H24 ~ H33	子育て環境を改善するために、嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	預かり保育実施幼稚園:3園 預かり保育嘱託職員配置数:6人	預かり保育内容に係る幼児教育の成果について保護者へのアンケートを実施 目標:「子育て環境における満足度90%以上	事業の継続実施により、保護者の就労促進に繋がり、子育て環境の改善を図る。		
4	特別支援教育支援事業	H24 ~ H33	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。	特別支援教育支援員配置数 幼稚園:5人 小学校:14人 中学校:6人	学校評価における、特別支援教育に関する項目について 目標:「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)	特別支援教育支援員を配置することで、支援を必要とする児童生徒の学習や学校生活面においてのサポート体制を強化し、安心して学習する学習環境の構築を図る。	9月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			国際交流事業	H24 ～ H33					
5			金武町海外移住者子弟等受入事業	H29 ～ H33	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	受入人数：6人 研修期間(4ヶ月間) 研修報告(閉講式)1回	研修報告会の実施 1回 研修生に対しアンケートを実施(研修後) ・日本語や伝統芸能・文化教養について興味を持った：75% ・自分のアイデンティティやルーツを知ることができた：70% ・当該事業を今後も継続してほしい：70% ・帰国後は町人会等で研修について報告する：70%	事業を継続し、伝統芸能や文化教養の継承および、人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材の育成を図る。	
5			金武町移民の日記念事業	H29 ～ H33	「金武町移民の日」記念事業を通して、移民の歴史や移住国に関する事業を実施し、希薄になっている移住者子弟との交流の継続を図る。	移民関連の学習会・公演等の実施	参加者に対してアンケートを実施 ・移民の歴史について知ることができた：75% ・移住国に住むシマヌチュと交流したい：80% ・移民の日記念事業を継続したい：50% ・移住国について興味を持った：75%	事業を継続し、金武町を移民発祥の地として位置づけ、移民関連事業を実施し、金武町移民の日が沖縄と移住国、または世界各国を結び付ける記念の日として定着させていく。	9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
6			ギンバル海浜公園整備事業	H27 ～ H32	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウェルネスの里をテーマに跡地利用のための整備を進めている。そのギンバル訓練場跡地において、地域住民及び観光客等が安全で快適に利用できる海浜公園を整備し誘客を図る事で、跡地利用を促進し、観光リゾートの実現を目指す。	管理施設等の実施設計の実施	管理施設等の実施設計の実施	H30～H32年度において工事を実施。 ・造成工事 ・建築工事	
7			「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ～ H31	フィリピン移民の父と呼ばれた「大城孝蔵氏」の生涯を絵本化することで、金武町の歴史や文化、精神を学ぶことができる。作製する絵本の内容においては、金武の方言を用い、「島くとうば」への継承を図る。	・町内各幼稚園、小学校、中学校へ61部配布 ・各地区公民館へ5部配布 ・県内公共図書館等へ20部配布 ・海外町人会へ14部配布	・配布した各施設にて絵本の供用を行う	・読み聞かせボランティアによる学校での読み聞かせ ・読書フェスティバルでの読み聞かせ ・海外町人会の日本語学習及び沖縄の歴史文化の教材	6月変更 (事業追加)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		認定こども園等業務効率化推進事業	H29	認定こども園等に、保育・教育の質の向上を図るための業務の効率化を図るシステムと、事故の発生防止のためのビデオカメラの導入を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・公立こども園等3施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入 ・私立こども園等7施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立こども園等3施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入完了 ・私立こども園等7施設への業務効率化システム及びビデオカメラの導入支援の完了 	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 ・認定こども園等での午睡時間 1歳児 2時間30分 2歳児 2時間 3歳児 1時間30分 4歳児 1時間 ・事故発生件数 0件 (今後のスケジュール) ・平成29年度 業務効率化システム、ビデオカメラの導入 ・平成30年度 業務効率化システム、ビデオカメラの使用開始	12月変更(事業追加)
9		安全・安心に暮らせる地域づくり事業	H29	公園及び隣接住宅地域の防犯対策のため、公園内の防犯灯の機能強化を行う。	金武町立公園内防犯灯機能強化工事の実施	金武町立公園内防犯灯機能強化工事の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 金武町内での犯罪件数28件 (今後の展開方針) 公園内の照明灯機能強化し、隣接住宅を含めた地域社会を明るくすることで、町内の犯罪件数0件とすることを旨とする。	1月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		伊江村ハブ対策事業	H27～H32	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿の清掃を行いハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃を行う。 ・捕獲器を設置する。	被害件数0件	危険生物であるハブを駆除する事により、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を行う。	
2		明るい村づくり事業	H27～H29	集落内の防犯灯をCO2排出の少ないLED照明灯に取替え、更に新規設置し夜間における、安心・安全な地域の環境整備を推進することにより、村民及び観光客等の防犯効果として更には地球温暖化対策にも寄与する。	既存街灯のLED街灯への転換を150基実施する。	3lx以上の照度確保	LED照明灯に転換・新規設置し既存街灯より照度を高めることにより、村民や観光客等の防犯対策と交通安全地球温暖化対策等の一助として村民や観光客への安心・安全、明るい村づくりの整備を推進する。	
3		墓地整備基本計画策定事業	H29	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、現状の調査、許可区域の選定、運営方針等の基本計画を策定する。	墓地整備基本計画の策定	墓地整備基本計画の策定完了	墓地整備基本計画を基に、散在している墓地の集約化、墓地許可区域及び運営方針等の規制を定め快適な住環境の保全と適切な墓地管理を促進する。	
4		伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26～H33	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減の助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	車両航送に対する補助台数 年間1.8万台	(今後の展開方針)車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進を図る。 (年間車両航送利用者数の維持)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		伊江村アジア野菜生産販売事業	H27 ~ H29	<p>村内で生産されたアジア野菜の今後の生産及び販売の計画を策定するとともに、受発注業務体制確立の構築準備を行うため、平成28年度までの調査による栽培マニュアルの検証を引き続き行い、強化型パイプハウスで栽培した選定品目の試験出荷を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による生産販売調査業務 ・選定品目の栽培マニュアルに関する肥培管理法の検証及び農家への普及 ・販売先ごとの青果生産計画と試験出荷 ・調理レシピ、加工商品の企画整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥培管理を体系化した品目の生産計画を策定し、外食産業や市場向けの生産、販売計画の確立 ・冷凍惣菜や菓子類の試作品開発 ・新規事業実施会社の設立に向け、村内の事業所に業務移行を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・選定品目の他に、新規の栽培品目を選定し、試験栽培を行い、栽培指針を確立する。 ・農家への普及により、栽培農家を着実に増やす。 	
6		花卉振興対策事業	H29	<p>冷蔵輸送車及び自動結束機付き重量選別機を整備することにより、安定的な花卉輸送体系等を確保し、本村の花卉振興を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵輸送車2台導入 ・自動結束機付き重量選別機(包装機付)2台導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵輸送車:2台導入の完了 ・自動結束機付き重量選別機(包装機付)2台導入の完了 	<p>整備後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 大菊・小菊・スプレー菊の合計生産量の増加率:対前年度比5%以上</p>	<p>3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)</p>
7		優良繁殖雌牛導入事業	H26 ~ H30	<p>これまで優良繁殖素牛(雌牛)を購入した伊江村和牛改良組合員に対して、補助金を交付し、経営の安定化及び優良遺伝繁殖雌牛の増頭対策を図ってきた。しかしながら、依然として繁殖素牛価格の高騰や、高齢母牛の更新及び、農家の廃業・離農(規模縮小含む)により繁殖雌牛の総頭数は減少傾向にあることから、引きつづき優良繁殖素牛(雌牛)の購入に対する補助を実施する。</p>	<p>優良繁殖雌牛の計画導入:100頭</p>	<p>活動目標指数(年間:100頭導入)の達成 (優良繁殖雌牛を100頭導入し、繁殖雌牛飼養頭数拡大及び優良遺伝素牛の増加が期待され、高市場価値の維持または更なる促進を図る。)</p>	<p>H26~H30年度にかけて500頭(100頭×5年)の優良繁殖素牛(雌)を導入予定 (期待される事業効果) 今後の家畜市場開設時の子牛上場頭数の増加に向け、優良血統の選定、村内和牛ブランドの確立を目指して平成30年度まで支援を継続する。</p>	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		鮮魚輸送強化事業	H29	本村で水揚げされる鮮魚類を県内外へ輸送・出荷する為、空輸用のコンテナや、海上輸送用のコンテナ、輸送用活魚タンクコンテナを整備し、漁業振興を図る。	・空輸用コンテナ、海上輸送用コンテナ、輸送用活魚タンクコンテナの購入	・空輸用コンテナ、海上輸送用コンテナ、輸送用活魚タンクコンテナの購入完了	輸送手段の確立により県内外の流通・販路拡大を図る	
		水産物荷捌き施設強化事業	H29	現在利用している荷捌き施設において、近年多く水揚げされるソデイカの水揚げ作業を効率的に行うための機械の導入を行い漁業振興を図る。	・水揚げ用ベルトコンベア 一式の購入	・水揚げ用ベルトコンベア 一式の購入完了	荷捌き施設の円滑な運用	
9		村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ H32	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	テッポウユリ球根 50,000球 世界のゆり球根 20,000球	第22回伊江島ゆり祭り来場者数 31,000人 (H28 30,000人)	品質の良い球根確保とイベント企画による来場者の増 (H32目標 33,000人)	
		観光地クリーン事業	H27 ～ H32	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	観光地環境美化保全作業員16名	伊江村美ら島アンケートを実施 H28美ら島満足度(70%) H29美ら島満足度目標(80%)	観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげ観光振興に寄与する。 H29 140,000人	
		観光客誘客環境整備事業	H26 ～ H32	伊江村にある観光施設、リリーフィールド公園、ミースィ公園、乗馬体験交流施設の機能拡充を図る為の整備や伊江港周辺施設の景観向上を図る為のプランターを購入し観光客の誘客を図る。	・リリーフィールド公園整備事業(実施設計) ・ミースィ公園整備(工事) ・乗馬体験交流施設整備(工事) ・伊江港周辺施設プランター整備(備品購入)	・リリーフィールド公園整備実施設計完了 ・ミースィ公園整備工事完了 ・乗馬体験交流施設整備工事完了 ・伊江港周辺施設プランター整備備品購入完了	観光地の整備をすることにより、受け入れ態勢を整え、観光客数の維持、増加に努め、観光振興の向上を図る。 H30 141,000人	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			伊江村平和学習ビデオ作成事業	H29	伊江村には毎年多くの県内外から修学旅行生が訪れる為、伊江村独自の平和学習ビデオ(伊江島戦記)を作成し、より伊江村を理解してもらい伊江村修学旅行の差別化を図り、伊江村観光振興の向上を図る。	伊江村平和学習ビデオ作成	・伊江村平和学習ビデオ完成 ・修学旅行受入団体及び修学旅行生へのアンケートによる調査 H29伊江村平和学習満足度(70%)	伊江村平和学習ビデオを作成することにより他市町村との修学旅行メニューの差別化を図ることができ、修学旅行生の受入体制を整え、伊江村の観光振興を図る。	
			伊江村観光振興基本計画策定事業	H29	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくために基本計画を策定する。 また、伊江村観光振興推進協議会において、村観光の現状と課題の分析、民泊事業、観光資源と特産物や農産物を含めた地域資源の掘り起し、スポーツコンベンションやインバウンド対応など、地域の魅力を最大限に活かした観光戦略を多角的に構築する。	・観光振興計画の策定(課題の整理、基本方針・基本施策の決定など)	・本村の現状、課題の把握 ・今後5年間の観光振興に向けた基本施策の決定	・策定された観光振興計画に沿って各施策を実施し、本村のさらなる観光振興を目指す。 ・入域観光客数 目標 H33年度 150,000人/年 参考 H27年度 136,000人/年	
			アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ~ H31	東アジアと沖縄の青年が自然豊かな沖縄で地域資源にふれ、学び合い、人的ネットワークを形成して世界で活躍する人材の育成とグローバルな観光ユーザーの醸成を図る。また、地元の中学生のグローバル人材育成を目的に参加者との地域交流を開催する。	研修プログラムの実施(約3週間)	国際感覚豊かな人材の育成:50名 ・県内参加者12名(うち伊江村4名) ・県外参加者12名 ・アジアからの参加者26名	・3年間の継続事業とし、アジア圏域だけでなく南米など地球規模の若者が集う研修体験プログラムに発展させ、ワールドワイドな人材育成及びネットワークの形成を目指す。	
10			確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ~ H33	小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」と「生きる力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいのある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。	・小学校(2校) 8名(各校4名) ・中学校(1校) 4名(各校4名)	・小学校で県学力到達度調査の各教科における正答率30%未満の児童の割合を10%以下 ・中学校で県学力到達度調査の各教科における正答率30%未満の生徒の割合を30%以下	平成33年度まで事業を継続し、県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校で各教科30%以下に減らし、村全体の学力向上を図る。	
			各種大会派遣費助成事業	H25 ~ H33	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	各種大会派遣費の助成	各種大会派遣費の助成率:100% (交付申請に対して、100%助成する)	(今後の展開) 派遣人数(累計) H33年度:10,000人	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				11				
12		世界のイーゾマンチュ交流派遣事業	H27 ~ H29	<p>沖縄県は日本有数の移民県であり、戦前戦後を通じて多くの県民が海外へ雄飛し活躍している。本事業において、国際交流の促進を図るとともに世界のイーゾマンチュとの絆を強固にし、海外に居住するイーゾマンチュとのネットワークの構築や諸外国との架け橋となる人材の育成を目的とし、交流派遣事業を実施する。</p>	<p>移民先である北米や南米等の諸外国への交流派遣を実施</p>	<p>・世界のイーゾマンチュとの交流会を行うことで絆を深めるとともに、諸外国に居住するイーゾマンチュとのネットワークを構築 ・国際交流を通して、現地にて学んだことを地域での集会や他の生徒へ報告会等を実施</p>	<p>海外子弟の受入で移民国から来られたイーゾマンチュの方を、三線や民謡、その他本村の文化・交流体験等に関わる。また、県内にて実施される国際交流に関する行事に積極的に参加をするなど、相互交流を図るとともに、本事業で学んだものを活かす。</p>	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24～H33	スポーツキャンプを中心に、各種スポーツ大会・試合・キャンプ・合宿・スポーツイベント等の更なる誘致促進、受入体制の強化を目的とする。また、それに伴い、本村でのスポーツキャンプが定着化している地域で、観光誘客イベントを行うことで、ファン層などの観光客を村内へ誘客する。	・各種スポーツキャンプ・大会 誘致活動（4回） ・観光誘客イベントの開催(3回) ・キャンプ期間中の集客イベントの開催(2日)	・スポーツコンベンション誘致（20団体 延6000人以上） ・観光誘客イベント来場者数(60,000人以上) ・キャンプ期間中の来場者数(4,000人以上)	スポーツキャンプ誘致における本村の認知度向上と、キャンプチーム数の増加、キャンプ継続実施とともに開催時期における村内誘客を図る。	
1		危険生物駆除事業	H25～H33	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・村内に捕獲器を400器設置 ・定期巡回・管理の実施 ・設置看板100枚の管理	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数 0件	(今後の展開方針) H33年度まで、設置・巡回・捕獲など事業を継続する。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25～H33	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。 レンタカー利用者に配布されるドライブMAPに番組の情報を掲載し、聴取機会の向上を図る。	・コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供 ・レンタカードライブMAPへの記事掲載	・聴取者からのメール受信件数 1,520件/年 平成27年度受信件数×伸び率1.06	H33年度までFM放送番組の制作・放送を継続する。	
1		(仮称)読谷村パークゴルフ場整備事業	H28～H30	駐留軍用地の跡地利用を推進するため、平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画にて示された(仮称)読谷村パークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	(仮称)読谷村パークゴルフ場の土木工事の実施	(仮称)読谷村パークゴルフ場整備工事の平成29年度分に係る工事の完了	供用開始後1年目(平成31年度予定)の目標を以下のとおりとする。 ・観光客の年間利用者数 7,340人 ・村民の年間利用者数 7,060人 (今後のスケジュール) 平成29年度 土木工事完了 平成30年度 建築工事完了 平成31年度 供用開始	12月変更(計画変更に伴う事業内容変更)
1		読谷村地域振興センター機能強化事業	H28～H29	読谷村の観光振興を担う施設である、読谷村地域振興センターの機能を強化し、更なる観光振興を図る。	・チャレンジブース廊下空調設置	・チャレンジブース廊下空調設置完了	読谷村地域振興センターを機能強化し、顧客満足度を向上し、更なる地域振興・観光振興に繋げ、年間利用者数168,000人を目指す。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷にーびち観光客誘致プロジェクト事業	H29～H33	リゾートウェディングを目的とした観光客に対して、国内外でのプロモーション、村内での受入体制強化をはかりさらなる観光客の増加を促進する。	・国内・国外でのプロモーション活動(2回) ・日本語・多言語パンフレットの作成(10万部)	・リゾートウェディング数(2,460組) (参考 H27年度実績:2,433組) ・日本語・多言語パンフレット配布(10万部)	本村におけるリゾートウェディングのブランド化と、観光客のリピーター化に繋がることが見込まれる。	
1		公衆無線LAN設置事業	H28～H30	村内観光地周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、観光客が情報を受信および発信しやすい環境を整える。	無線LANアクセスポイントの設置の実施(3箇所)	無線LANアクセスポイントの設置完了(3箇所)	H30年度は2箇所計6基の設置を予定。村内観光地への無線LANアクセスポイント設置箇所を増やし、村内どの観光地を訪れても情報の発信や受信ができるよう整備する。	9月変更(事業追加)
2		小中学校情報教育支援員配置事業	H24～H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内の小中学校に情報教育支援員を配置する。 平成25年度及び28年度で導入した電子黒板等ICT機器を活用しての授業を展開するために、教員・生徒への支援を行う。	情報教育支援員配置 小学校(5校):2名 中学校(2校):1名	・情報機器を活用する教員のサポート体制の強化・構築の完了	・情報教育支援員を配置することにより、ICT機器を活用した「分かりやすい授業」「参加する授業」を目指す。	
2		日本語教育支援員配置事業	H24～H33	二重国籍や帰国児童等、日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児童との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。 また、児童の保護者に対しても学校との連絡調整の場(家庭訪問・三者面談・各通知の英訳)で支援を行う。	日本語教育支援員配置 小学校(5校):3名	・要支援児童へ柔軟な支援体制の構築	・学校生活に順応できる日本語習得の向上を図る。	
2		小中学校学習支援員配置事業	H26～H33	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員配置 小学校(5校):5名 中学校(2校):2名	・沖縄県学力到達度調査において、小学校3年生算数及び中学校1年生数学の正答率、誤答率、無回答率の項目を県平均を上回る。	・算数、数学の学力を全国平均に近づける。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	幼稚園・小中学校に在籍し、心身に障害を持つ幼児児童生徒に対し個々に応じた適切な支援、並びに発達障害(ADHD・LD・高機能自閉症・アスペルガー症候群等)のため、個別支援の必要な幼児児童生徒の実情にあった、具体的かつ適切な支援を行うため、各校に特別支援教育支援員を配置し支援体制の拡充と質の向上を図る。	・特別支援教育支援員 幼稚園(5園): 5名 小学校(5校): 10名 中学校(2校): 4名 ・特別支援教育専門指導員: 2名	・要支援幼児・児童生徒への支援体制の構築による適切な体制での支援実施	・困り感のある児童に対し、きめ細かい支援を行うことで自立と社会適応能力を高める。	
3		米軍施設返還に伴う雨水排水増加の既設水路現況調査及び排水計画策定事業	H28 ～ H29	読谷村では、返還後の跡地利用計画を策定し土地利用を進めているところであるが、その結果、既設水路の能力を超える排水が流れ込み下流側において、道路冠水や家屋への床上浸水・床下浸水が発生している。これらの既設水路の能力を評価するとともに必要な排水計画を策定することで、返還軍用地の本格的な跡地利用を円滑に実施するための基礎資料とし、生活環境の改善を図る。	読谷村雨水排水計画の作成	読谷村雨水排水計画の策定	平成30年度以降の目標を以下のとおりとする。 雨水排水計画を基に、既設水路の断面改修、新規水路の検討、調整池の検討、既設水路を活かした水路バイパスの検討等を行い、大雨時等に浸水が発生する地域の浸水をなくすことを目標としたハード対策に繋げる。 (今後のスケジュール) 平成29年度 読谷村雨水排水計画の策定 平成30年度以降 雨水排水計画に基づく事業の実施	
3		トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」区画整理事業調査事業	H28 ～ H29	トリイ通信施設跡地の跡地利用を図るため、トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の区画整理事業に向けた施行地区の設定、区画整理設計、事業計画の作成、実施計画の作成を行う。	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の区画整理事業調査を実施	・区画整理事業調査の完了	調査に基づき跡地利用に向けた整備を行う。	
4		ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24 ～ H30	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再生する。	自然・歴史・文化資源等の調査: 2地区 文化財ガイドマップ板設置: 2地区 文化財ガイドマップ701版作成: 2地区 地域散策マップシステムの製作。	自然・歴史・文化資源等の調査完了(2地区) 文化財ガイドマップ板設置完了(2地区) 文化財ガイドマップ701版配付完了(2地区) 地域散策マップシステムの製作完了	各字文化財ガイドマップ設置数 H24:3箇所、H25:3箇所、H26:3箇所、H27:4箇所、H28:4箇所、H29:2箇所、H30:6箇所(合計:25箇所)。 地域散策マップシステムの供用	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24 ～ H29	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理する。	・平成28年度調査報告書作成 ・小冊子の原稿執筆 ・翻訳、印刷製本、発刊	・平成28年度調査報告書の完成 ・多言語小冊子の発刊(1,000部) ・小冊子のHP公開	小冊子の活用及びHPによる情報発信	
4		沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25～ H29	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきた沖縄語の保存継承に寄与するため、生まれ育った地域の沖縄語で伝承されてきた民話や琉歌を調査・整理し、沖縄語に親しめる媒体(絵本やDVD等)を製作し、沖縄語になじみの薄い幼児や児童生徒らに沖縄語の教材を提供する。	・民話調査・整理 ・民話絵本「読谷山物語(5話)」の発刊 ・民話紙芝居DVD「読谷山物語(5話)」の発刊 ・民話CD(5話)の発刊	・製作した民話紙芝居DVDの放映会の開催による沖縄語に親しむ機会の創出 ・放映会の延べ鑑賞者数 5,000名	平成29年度まで毎年民話絵本、民話紙芝居DVDの製作。	
4		ユンタンザミュージアム建設事業	H26～ H29	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館(仮称ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産座喜味城跡や村内歴史文化資源のガイダンス機能を拡充し観光振興を図る。	・工事(建築・電気・機械)の実施 ・展示施設製作・音声ガイダンス制作の実施 ・アプローチ広場整備(外構)工事の実施 ・供用開始に向けた備品購入の実施	・工事(建築・電気・機械)の完了 ・展示及び音声ガイダンス制作の完了 ・アプローチ広場整備(外構)工事の完了 ・供用開始に向けた備品購入の完了	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 観光客の年間入場者数 34,125人 (今後のスケジュール) 平成29年度 建設工事・展示施設製作・ガイダンス製作・アプローチ広場整備工事 平成30年度 供用開始	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
5		中学生海外ホームステイ派遣事業	H25～ H33	村内の中学生12人を夏休みの1ヶ月間を利用し、英語圏に短期間派遣し、ホームステイを実施することにより、国際的な視野を持つ人材の育成を目指す。	短期留学費の支援 11人	保護者へのアンケートで、帰国後、国際的な視野が広まったと回答した割合 80%以上	(今後の展開方針) 国際性豊かな人材育成を図るとともに、ホームステイ成果を他の生徒と共有する。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25 ～ H29	年間を通じた多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通じた地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を支援する。	栽培施設設置支援	・栽培施設の設置:面積1,487㎡ ・導入農家:3農家	葉茎菜類等の増産を目指していく。	
6		優良母牛導入事業	H27 ～ H29	経営安定化・質の高い肉用牛の改良を進めるため、県内外のセリ市場から黒毛和種優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛生産農家へ優良種を普及させ、優良子牛の生産を図る。	優良母牛の導入支援	・今年度導入率33%(全導入目標頭数99頭)	・平成27年度～平成29年度にかけて各年度目標導入頭数33頭、合計99頭の優良母牛を導入予定	
6		読谷村農業関係施設機能強化促進事業	H28 ～ H30	村内の農業関係施設(読谷村農村女性の家)の機能強化を図ることで地域内農林水産物の利用促進と新たな雇用の創設を図るために、読谷村農業関係施設機能強化促進実施設計を行う。	・読谷村農業関係施設機能強化促進実施設計の実施	・読谷村農業関係施設機能強化促進実施設計の完了	・以下今後検討する H30年度 工事・備品整備 H31年度 利用開始予定	
7		読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ H33	読谷村では、1978年に策定した「ヤチムンの邑」基本構想により、村づくりの中でヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成する。また、併せて村内工芸品である花織・琉球ガラスの販路拡大を図る。	・テストマーケティングの実施 ・物産展への出展(周知を目的とした)展示会の出店支援 ・認知度アップ、周知用媒体ツールの整備	・次年度以降のプロモーション戦略等効果検証 ・販路把握、顧客の獲得 ・ブース来場者(2,000人)	村内工芸品の販路拡大、人材育成を目指し、展示会への出展支援を継続する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	うたの日コンサート事業	H25 ～ H29	多くの観光客が訪れる機会をつくり、特産品等本町の魅力ある観光資源のPRを目的として、沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を支援し、同コンサートを誘致する。	うたの日実行委員会への補助	平成28年度(基準値) 平成29年度 (来場者数:6,000人) 6,000人 (町特産品のPR:5品) 5作品以上	うたの日コンサートで町特産品等をPRできるようブースを確保する。また、来場者へ本町ガイドマップを配布する。 大型ビジョンを設置する場合は、本町の観光PR動画の放送を要請する。		
	水釜護岸景観整備事業	H27 ～ H31	水釜護岸は町内外から多数の観光客や町民の方々が訪れる観光スポットとなっている。新しい観光地として独自性を生かした新しい観光地の創出を目的とする。	基本設計の実施	基本設計の完了	基本設計作成後、実施設計へと業務を進捗させる。		
	比謝川緑地広場整備事業	H24 ～ H31	本事業では、体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在、エコツアーを開催している比謝川において観光客や町民利用者の利便性を高めるため、受入基盤の整備を行う。	実施設計の実施	実施設計の完了	実施設計作成後、整備工事へと業務を進捗させる。		
	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ H31	観光客利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)を行う。	実施設計の策定 ・駐車場整備工事	実施設計の完了 駐車場整備の完了	供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・施設の利用者数 63万人 (機能拡充事業スケジュール) 平成31年度:整備工事 平成32年度:供用開始	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更) 3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			嘉手納町観光客受入体制整備事業	H26 ～ H29	嘉手納町観光振興基本計画に基づき、観光振興の基盤となる人材の確保・育成を目的として観光ガイド養成講座を開催している。継続的に人材を育成するため、今年度も観光養成ガイド講座を行い、観光振興の取組を強化していく。また多様なニーズに対応するため、新たなガイドメニュー等を構築し、受入体制の整備を図る。	・研修講座、実施研修の実施(17回) ・先行事例視察(2回) ・観光メニュー(1コース)の構築	・観光ガイドの育成人数10名	安定的に観光客を受入れいる体制を構築する。	
			かでな文化センター機能向上事業	H24 ～ H29	観光振興促進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る。	・映像設備の設置工事の施工	・映像設備をかでな文化センター内に設置完了	(今後の展開方針) 利用者数基準値(過去5年平均値): 44,000人 平成29年度:供用開始予定 利用者数目標値(平成30年度): 46,000人	
			嘉手納町観光振興推進事業	H29	本町の観光の現状等を踏まえた観光振興の課題を明らかにし、今後の観光振興の方向性を示すため、嘉手納町観光振興基本計画の策定を行う。	・観光振興計画の策定 (現状把握・課題の再整理)	・観光振興基本計画の策定完了	策定された観光振興計画に沿って各施策を実施することによって、より具体的な観光客の誘客への取組みが実施されることにより、本町のさらなる観光振興を目指す。 ・入域観光客数 目標 H33年度 1,000,000人/年	
2			学習支援員配置事業	H24 ～ H33	算数、数学の基礎学力定着のため、教師と連携を図りながらチームティーチング、習熟度別授業を行うとともに、長期休業中に個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:4人、中学校:1人	県到達度調査正答率において、 (小学校5年生)県平均以上に 平成27年度 国語 県平均57.7% 嘉手納町 56.1%、算数 県平均37.0% 嘉手納町32.5% (中学校2年生)国語県平均以上 数学-3%以内 平成27年度 国語 県平均44.5% 嘉手納町 35.5%、数学 県平均52.1% 嘉手納町47.7%	県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			英語力強化事業	H24 ～ H33	教育課程特例校としての特典を生かし、小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、ネイティブスピーカーの講師を配置する。同時に、中学校は個別の学習支援、英会話の実践化のための英語指導員を配置する。	英会話指導員配置数 小学校:3人、中学校:2人 英語指導員配置数 中学校:1人	(小学校) アンケートで「英会話が楽しい」と答えた児童の割合80% (中学校) 新たに合格した3級以上の合格者が50名以上	(小学校) 英会話を実用的で学年に合ったものに見直す。 (中学校) 英検受験への挑戦を促し、英検対策指導を実施する。	
			ICT活用事業	H24 ～ H33	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、パソコン、フラッシュ教材、電子黒板を活用した授業支援を行うパソコン指導員を配置する。	パソコン指導員配置数 小学校:2人、中学校:1人	(小学校) パソコンで文字入力ができる児童(小学4年生以上)60% (中学校) パソコンで情報を検索し、必要な情報を加工して編集する事ができる生徒60%以上	(小学校) 学習の成果物として、作文、プレゼン等を作成する。 (中学校) パソコンで情報検索、プレゼン等を作成する。	
			不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ H33	不登校の生徒に対し、登校支援を継続的に行うため、中学校へ生徒指導支援員を配置する。	生徒指導支援員配置数 中学校:2人	不登校生徒の出現率3.2%以下 (平成27年度:出現率3.6%)	担任と連携を取り、不登校の生徒に対し、個に応じた登校支援や学習支援を行う。	
			スクールカウンセラー活用事業	H25 ～ H33	学校生活や学級集団への不適応や対人関係での問題が生じている児童生徒に対して、教育相談支援を行うため、青少年センターへスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置する。	スクールカウンセラー配置数:1人	児童生徒の総欠席日数の減 平成26年度 平成29年度 屋良小学校1,998日 1,800日 嘉手納小学校3,514日 3,400日 嘉手納中学校3,691日 3,500日	サポートを必要とする児童生徒が1日でも多く登校できるよう、相談体制を充実させる。	
			秋田交流学習体験事業	H26 ～ H30	児童生徒が教育先進地である秋田県大館市の学習規律を学び、教師は指導法や授業作りについて学ぶため、交流学習体験を行う。また、秋田県の授業の実践や授業改善等の研修を行うため、大館市の教師を招聘する。	秋田県への派遣 ・児童生徒 20名 ・教師 9名 秋田県からの招聘 ・教師 3名	・授業改善・指導法の工夫を図っている教師の割合60%以上(交流後の報告会、公開授業後に意識調査を実施) ・思考・判断・表現を育む言語活動の充実に努めている教師の割合90%以上(教職員へのアンケートを実施)	・授業規律の徹底、分かる授業・参加する授業を構築する。1時間完結型の授業を推進し、児童生徒の学力の向上に資する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	成長の発達が気になる子などの特別な支援を要する児童生徒に対し、身辺自立の介助や対人関係の手助け等の個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置する。	特別支援教育支援員配置数 小学校:20人、中学校:8人	「支援を要する児童生徒への支援の充足率50%」	対象となる児童生徒の学校生活における困り感を軽減できるよう支援体制を充実させ、質を向上させる。	
3		雇用促進事業	H25 ～ H29	雇用情勢の改善に向け、就職相談窓口を開設し、求人・求職者を結ぶ就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。	相談窓口開設(毎週火・金曜日) 95回 セミナーの開催(毎週金曜日) 45回	全体のうち嘉手納町の 就職人数 : 10人 相談人数 : 220人 相談人数...窓口相談人数及びセミナー受講者数	就職相談窓口の相談件数及び就職人数において、年度毎の数値の増を図る。	
4		廃棄物リサイクル事業	H25 ～ H33	本町が策定する一般廃棄物処理基本計画の推進を図り、リサイクルを促進しながら町全体の美化を図るため、本町で排出されている草木を回収、チップ化し再資源化する。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	・平成28年度 草木の再資源化(チップ化)量 約600t	草木のチップの堆肥化による農業の振興が可能か検討していく。	
5		嘉手納町防犯灯・街路灯LED化事業	H26 ～ H29	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した町づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業を実施する。	・価格調査業務 ・既設デザイン街路灯58基のLED化	平成26年度比で町内の防犯灯・街路灯消費電力・CO2排出量について下記のH29年度CO2排出量削減を目指す。 ・デザイン防犯灯40VA:64%減/基 H29年度CO2排出量:約136t/年(概算値)36W/基 (参考:H26年度CO2排出量:約375t/年(概算値)100W/基) ・デザイン街路灯60VA:64%減/基 H29年度CO2排出量:約155t/年(概算値)72W/基 (参考:H26年度CO2排出量:約751t/年(概算値)200W/基)	平成29年度にて防犯灯、街路灯の全部取替え完了	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		食育まんが啓発推進事業	H26 ～ H31	健康的な食生活への意識づけとなる食育まんがを制作し、食育の周知・実践に活用する。配布対象者は保育所(保護者)から中学生とし、身近な問題と捉えてもらえるよう、地域の高齢者や食育関係者に取材を行いまんがに反映させる。また、意識の定着を図るためこれまで制作したまんがを携帯電話端末等から手軽に読めるようウェブブック化する。	・2作品制作 ・対象者(保育所・幼稚園保護者、小中学生)への配布率(100%) ・ウェブブック化 7本	・保育所・幼稚園の保護者の「食育」認知度の向上 59.0%(H27実績) 65.0%(H29目標) ・保育所保護者の食育関心度の向上 (H29.2月、H30.2月実施予定) ・小学生の食育 関心度の向上 (H29.6月、H30.3月実施予定)	・平成31年まで継続し、食育に関心を持っている者の割合を増やす。 ・作成したまんがを媒体に町内での食育講座や調理実習を実施し食育の推進を図る。	
7		避難施設防災機能強化整備事業	H25 ～ H31	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、避難所において、防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の確保を図り、避難所の防災機能を強化する。	町内の避難所へ備蓄品等の配置及び保管用備蓄倉庫の設置(3ヶ所)	町内の避難所へ備蓄品等の配置完了 (H29 町内80% 完了)	今後、避難所への備蓄倉庫の設置をしていく。	
		嘉手納町防災情報発信強化事業	H29 ～ H31	本庁舎と町内沿岸地域、集落地域とを無線で結び屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムをデジタル化に構築する。	防災情報システム整備事業基本計画策定	防災情報システム整備事業基本計画の策定完了	デジタル化防災情報システムを構築し通信手段の強化を図る。	
		嘉手納町地域防災計画整備事業	H29	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、町民をはじめとする来町者に対する災害時の速やかな避難行動・避難誘導、避難所設置運営を図り、本町の安全・安心の確保と人になやみやすく、災害に強いまちづくりを実施するため地域防災計画の整備を行う。	地域防災計画の見直し及び避難勧告・伝達マニュアルの策定	地域防災計画の見直し及び避難勧告・伝達マニュアルの策定完了	今後、国・県の大幅な見直しや嘉手納町の実情に合わせて地域防災計画を見直していく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ~ H33	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県内外、海外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。	(1)国内プロモーション 3箇所実施 観光啓発配布 3000個 (2)海外プロモーション 2箇所実施 観光啓発配布 2000個 (3)県内プロモーション 2箇所実施 観光啓発配布 5000個 (4)各種媒体、メディア露出 (5)イメージキャラクター制作	(1)北谷町のプロモーション ピーアール露出の増加 国内3拠点、海外2拠点、県内2拠点 (2)北谷町への訪問人口の増加 観光情報センター年間利用者数41,000名 (H26実績:24,667名、H27実績:37,843名) 観光情報センター年間外国人利用者数26,000名 (H26実績:13,790名、H27実績:24,283名)	沖縄観光の入客数及び経済的効果の底上げを図るべく、継続的に本町の魅力の発信を展開していく。 情報発信の効果検証を行い、効果的なプロモーションを策定する。	
1			海業振興事業	H25 ~ H30	観光客誘客を図るため、海業振興センターのイベントを行うことにより、利用者の増加を図る。	フィッシャリーナ地区内海業振興センターPRイベント委託	地区内観光客数(目標値) 24万人(現状:約23万人)	(今後の展開方針) 北谷の魅力を最大限に引き出せるように公園及び遊歩道等の一体的な観光インフラ整備を引き続き推進するとともに、高い競争力をもつリゾートホテル等の観光施設を誘致・集積させるなどして、魅力と強さを備えた「都市型オーシャンフロント・リゾート地の形成」を目指す。	
1			コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ~ H30	町内の観光スポットをコミュニティバスの運行で結ぶことにより、観光客の移動の利便性・回遊性向上、公共交通空白地域の改善・解消を図り、町全体の活性化につなげるため、平成28年度に引き続きコミュニティバスの実証運行を行う。	コミュニティバスの実証運行を行う。	年間利用者数:約86,000人/年	広報、周知活動、利用促進活動及び利用サービス向上活動を行い、乗車率等の向上に努める。 また、利用状況調査を実施し、その効果検証を行うことにより、運行の改善に生かす。	
1			サンセットビーチ改良事業	H29 ~ H32	サンセットビーチにおいては、これまで部分的な改良をしてきた経緯があるが、その都度新たな課題が出るなどを繰り返しており、ビーチ全体にわたって抜本的な改良が必要となっている。 本事業では、海水・海底の汚濁防止策、養浜砂の侵食対策、流水対策に併せて、ビーチ沖側の自然豊かな磯部等の恵まれた自然を活かし、心安らくレクリエーション交流拠点を目指すための実施設計を策定する。	サンセットビーチ改良事業に伴う実施設計を実施。	サンセットビーチ改良事業実施設計の完了。	(今後の展開方針) サンセットビーチ改良事業 H29年度:実施設計 H30~H32年度:改良工事	6月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		北谷公園野球場ブルベン整備事業	H29	本町のスポーツコンベンション誘致と次世代を担う若者の人材育成への寄与を目的に、野球場ブルベン(投球練習場)の新設を行い、運動施設の機能及びスポーツコンベンション施設のポテンシャルの向上を図る。	野球場ブルベン新設工事の実施	野球場ブルベン新設工事の完了	各種スポーツ団体の大会や合宿・キャンプ地としての活用	6月変更(事業追加)
2		英語指導助手派遣事業	H24 ～ H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小中学校に1人の英語指導助手(AET)を派遣する(小学校配置のAETは隣接する幼稚園を兼務。週1～2時間)。	・小学校4名(各校1名、幼稚園兼務) ・中学校2名(各校1名)	小学校:日本英語検定協会主催英検Jr.シルバー級(12月実施)の正答率が前年度と比較し1%向上(H27年度の正答率81.8%)。 中学校:沖縄県学力到達度調査(英語、2月実施)の正答率が県平均に達する(H27年度県平均53.9%、町平均50.6%)。	(今後の展開方針) H33年度 小学校:日本英語検定協会主催英検Jr.シルバー級の正答率が教育課程特別区の平均に達する。 中学校:沖縄県学力到達度調査(英語)の正答率が県平均を上回る。	
2		学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ H33	学習に遅れをとっている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実・強化を図る。	・小学校4名(各校1名) ・中学校2名(各校1名)	沖縄県学力到達度調査における算数・数学の平均正答率 北谷町と沖縄県との差 ・小学校:算数 3ポイント(0.5ポイント改善) H27年度の差 3.50ポイント (北谷町56.7%、沖縄県60.2%) ・中学校:数学 0.75ポイント(0.75ポイント改善) H27年度の差 0ポイント (北谷町43.6%、沖縄県43.6%)	(今後の展開方針) H33年度 ・沖縄県学力到達度調査の県平均を上回ること、無答率を半減する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ~ H33	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境の問題(家庭、友人環境等)に働きかけ、問題を抱える児童に対して問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努める。	スクールソーシャルワーカー配置: 2人	町内小中学校の不登校児童生徒数の減少(本町の平成28年度と比較して1割減) ・小学校の不登校児童数8名(参考H27年度9名) ・中学校の不登校生徒数31名(参考H27年度34名)	(今後の展開方針) ・各中学校区に1人づつと、青少年センターに1人を配置を目指す。 (計3人配置)	
2			北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ~ H29	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの町人会との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナンチュとの親睦を図り、世界的な視野を持った人材を育てる。 また、ハワイの文化・歴史関連施設等を視察学習することにより、異文化の国際理解や郷土文化の良さを再認識して相互理解を図る。	・中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人 ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成	派遣後の英検受験率目標値40%及び合格率目標値30%以上	(今後の展開方針) ハワイ短期派遣生徒数 H29年度:15人	
3			跡地利用推進事業	H24 ~ H33	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等の実施。	・キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)における基本構想、実現化方策の検討 ・地権者説明会の実施:1回 ・地権者勉強会の実施:3回 ・キャンプ瑞慶覧(インダストリアル・コリドー等)における権利調査	・跡地利用計画(案)の検討及び策定に向けた詳細な分析データの収集 ・跡地利用に対する地権者の理解促進及び意向把握 ・対象区域及び地権者の把握	・跡地利用に対する地権者等の意向醸成促進及び意見聴取 ・地権者の合意を前提とした跡地利用計画の策定	
4			北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ~ H33	返還が予定されているキャンプ桑江(南側地区)の駐留軍用地は、約9割が民有地で公有地が極端に少なく、公共施設用地の確保の遅れが跡地開発事業の遅延につながることから、円滑な跡地利用を推進するため、公有地を確保する。	・公共用地18,000㎡の取得	公共用地取得率:約77%(H29年度末時点) 総取得予定面積:70,000㎡(うち学校用地:45,000㎡、緑地・公園:25,000㎡) H29取得計画面積:18,000㎡(学校:9,000㎡、緑地9,000㎡)	(今後のスケジュール) 平成30年度 8,401㎡ 平成31年度 4,000㎡ 平成32年度 3,448㎡ (今後の展開方針) ・地権者からの買取申出に弾力的に対応するため、基金を最大限に活用し今後も安定的かつ確実な土地の取得を行う。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		ツーリズム「北中城」促進事業	H24 ～ H33					
		あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ H33	長期滞在型のある宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用した、野外活動や沖縄の自然や伝統文化の学習等を実施し施設をアピールすることで、地域振興及び観光振興に繋げる。	・体験交流事業：21事業	・体験交流事業：21事業実施 ・体験交流参加人数：620人（H27年度実績495人）	（今後の展開方針） 平成30年度以降も魅力のある事業を企画し来場者及び交流体験参加者の確保に努める。	
		北中城まつり活性化事業	H24 ～ H33	村内団体などで構成される北中城村まつり活性化委員会へ補助金を交付し、夏場の「青年エイサー」、秋場の「北中城しおさいまつり」、冬場の「ひまわりまつりin北中城」開催の支援を行う。	北中城村三大まつりの開催支援を行う	・エイサーまつり、しおさいまつり開催に係る芸能団体等育成：20団体 ・ひまわりまつりでのひまわり植え付け面積：13,000㎡ ・まつり開催に係るチラシ等配布：19,500部 ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等での掲載：1回	（今後の展開方針） 今後も内容改善を行いながらH33年度まで継続して事業を展開し、まつりを通しての観光誘客および地域活性化を図っていく。	
		観光誘客プロモーション事業	H26 ～ H33	北中城村の観光誘客プロモーションを推進することで観光客のおもてなしを充実させ村内飲食店や観光施設等へ誘客し村観光事業の活性化を担う。	・観光案内業務の実施(多言語観光案内所) ・観光多言語ポータルサイトの運用・機能追加 ・観光多言語案内冊子等製作配布(60,000部) ・観光イベントでのプロモーション(国内2イベント、海外2イベント)	・観光案内所利用者数：24,000人(昨年目標値比20%増) ・観光ポータルサイト利用者数：120,000pv ・観光案内冊子配布数：60,000部 ・発地での観光イベントによる直接PR数：6,000人(1イベントあたり平均1,500人) ・北中城村への来村者数：把握できる環境を整える	積極的に県内外イベントへ参加し、北中城村をPRしていくと共に、観光協会と連携した認知度向上や観光客誘客を図っていく。事業内容を適時改善しながらH33年度まで事業を継続する。	
		アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ～ H29	アワセゴルフ場跡地は整備が進められており、隣接するライカム・ロウワー地区も返還が予定され、この周辺一帯は新しい市街地を形成することになる。しかし、この両跡地に近い土地(プラザハウス周辺)は米軍基地に接していたため整備ができず老朽化した住宅が細街路で接続された状況となっていることから、本地区の再開発を目的に、一体性を連ねる観光交流拠点として活用するための調査・検討を行う。	・アワセゴルフ場周辺まちづくり勉強会の実施(2回) ・駐車場最適地について検討	・駐車場最適地について絞り込み、整備手法について作成する。	（今後の展開方針） H30 整備に導入に向けて実施段階へ移行する。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		公営墓地整備事業	H24 ～ H32	公営墓地を整備することで、墓地の散在化を防止 景観の保全を図る。	・用地取得	・用地取得の完了	公営墓地の供用開始後1年目(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 ・公営墓地利用世帯:35世帯 (整備スケジュール) 平成29年度:公営墓地用地取得 平成30年度:進入路整備工事 平成31年度:公営墓地整備工事 平成32年度:納骨堂建築工事	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、今後の展開方針等変更)
		リュウキュウマツ保全事業	H28 ～ H29	魅力的な観光資源の一つである本村の自然を保全し景観・美観の創出、継承のため沖縄県木であるリュウキュウマツの保全のための計画的な葉液樹幹注入及び松くい虫被害木の伐倒焼却処分をする。	・薬剤樹幹注入の実施 ・伐倒処理の実施	・薬剤樹幹注入の完了:1000本 ・伐倒処理の完了:3本	H30年度以降 リュウキュウマツの保全及び被害拡大防止に努める	
		観光資源創出事業	H28 ～ H32	多様化する観光客の観光ニーズに対応するため、新たな観光資源の創出や既存観光資源の事業を継続・発展を可能とするため、観光資源について商品企画を意識し、関係者の意向などその熟度等を踏まえた上で、観光資源の活用推進を実施する。	・活用促進が可能な観光資源の整理 ・資源活用推進に向けた方策検討 ・商品化に向けた検討 ・モニター実証の実施 ・資源の活用促進に向けた勉強会の開催	・観光資源の整理及び活用に向けた方策検討 ・観光ツアーのブラッシュアップ及び商品化	H30～32:観光資源創出事業の実施	
		荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ～ H30	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群が、多くの歴史文化遺産周辺に点在するという環境を活かしながら、新たな観光資源としての活用を図るため、湧水群周辺の整備を実施する。	・雨水浸透施設モデル住宅モニタリングの実施 ・観光・健康散策路整備基本計画の検討 ・大城イリスカー改修工事の実施	・観光・健康散策路整備基本設計の策定 ・大城イリスカー改修工事の完了	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群を新たな観光資源として活用を図る。 H30:観光・健康散策路整備実施設計の策定 H31以降:散策路の整備	9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
		ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28 ～ H30	米軍により返還されたアワセゴルフ場跡地の開発により、国内外から多くの観光客が北中城村を訪れるようになったことから、観光客と村民との交流・憩いの場を創出し更なる誘客を図るため、当該地区の玄関口となるライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	・実施設計の検討	・実施設計の策定	・ライカム交差点残地の整備	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			観光地アクセス道路美化事業	H29 ～ H33	観光地沖縄としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地へのアクセス道路の美化作業を行う。	美化作業の実施 寄植剪定 1,100㎡ × 2回 機械除草 6,970㎡ × 2回 抜根除草 1,100㎡ × 2回	年2回の除草作業を行い沖縄らしい景観を年間を通して保つことで観光客を迎え入れる体制を整える。	継続して道路の安全安心で、観光地としてイメージアップを図るべく、除草作業を年2回実施する。	
			地域発信型映画制作事業	H29 ～ H30	北中城村の文化や伝統、後世に伝えなければならぬ歴史など、「映画」という映像手法で国内外の方々に鑑賞する機会を創出し、北中城村に住む人や風土の魅力を全国にPRすることを目的に地域発信型映画を制作する。	・ロケ地として村内スポットを20箇所使用する ・文化・伝統芸能団体を10団体起用する	・映画の制作1本	(今後の展開方針) H30年度制作した映画を活用し、宣伝PRを行う	
			観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ H33	村観光基盤の強化に向け、村内主要観光スポットや飲食店等を訪れるインバウンドを含めた観光客の情報収集の利便性向上に向け、公衆無線LANサービスを提供する。また、サービス活用データを収集・分析する事により、村内の観光動向指数を調査・分析できる基盤を整える。	・ビッグデータ分析(村内分析・比較)の実施 ・WifiAP設置による実証実験(35AP)の実施 ・インフラ整備推進委員会運営	・ビッグデータ分析実施の完了 ・WifiAP設置による実証実験実施の完了 ・インフラ整備推進委員会開催(5回)	(今後の展開方針) H30～H33 ・計画に基づくインフラ整備推進	4月変更(事業追加)
			観光危機管理計画策定事業	H29 ～ H33	本村の観光産業の持続的発展を図るため、災害や事件等の発生による観光客等や観光産業への被害をできるだけ少なくするよう、観光関連団体・事業者等による組織的かつ計画的な観光危機管理対策を着実に成果に結びつけることを目的に策定する。	・観光危機管理計画策定の検討 ・庁内委員会の開催 ・観光危機管理対応に関する勉強会の開催 ・観光危機管理計画対応訓練の実施	・観光危機管理計画の策定	様々な災害を想定した図上訓練を実施する。	6月変更(事業追加)
			歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24 ～ H29	世界遺産「中城城跡」を核とし、村の魅力の発信と村内にある歴史文化遺産を活用した誘客を図るため、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備を喜舎場・仲順地区において実施する。	・散策路整備 1路線(幅1.5m、延長148m 220㎡) ・多言語散策路マップの作成及び配布(4ヶ国語×1,000部)	・散策路148mの整備完了	整備した散策路と地域に点在する歴史文化遺産が連携することで、観光資源としての活用を図る。	9月変更(事業追加)
2			駐留軍用地等利活用活用事業	H24 ～ H30					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ H30	アワセゴルフ場地区は、戦後、強制的に土地が収用され米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成22年7月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像記録、編集を実施する。	・住宅地造成やインフラ整備等のまちづくりの変化を記録映像として残す。 記録映像の撮影時間：3時間	・全体の記録映像の作成進捗率 86%	(今後の展開方針) H28年度～H30年度 引き続き、記録映像の作成・保存(3時間×5年)を行いH30年度に取りまとめを行う。	
			喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ H29	駐留軍用地キャンプ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用を推進するため、現在、那覇向け入口しかない喜舎場スマートICをフルインター化にするため、インターチェンジのレイアウト案を絞り込む。	・喜舎場SICレイアウト(案)の詳細検討 ・喜舎場SIC作業部会の開催 ・喜舎場ハウジング地区跡地利用(案)の策定完了の検討	・喜舎場SICレイアウト(案)概略図面の完成 ・喜舎場SIC作業部会の開催(2回) ・喜舎場ハウジング地区跡地利用(案)の策定完了	(今後の展開方針) ・早期返還に向けた取組みの実施 ・返還が示された場合の申請準備	
			キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ H29	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・ロウワープラザ地区(2,679㎡)の買取実施	・用地取得率：100%(2,679㎡)	H29年度 公有地取得拡大に向け検討	
3			雇用対策事業	H24 ～ H33					
			雇用サポートセンター事業	H24 ～ H33	高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職期を迎えた団塊世代の就職への対応等に努める。また、昨年度から実施している村立中学校を卒業する進路未決定者に対し、北中城村グジョブ地域連携協議会と協調し、就業等の支援に引き続き取り組み、履歴書の書き方支援、面接対策等、きめ細かな対応を実施することで求人者と求職者とのマッチングを図る。	・登録企業の開拓(70件) ・事業活動の周知拡大(4媒体) ・北中城中学校進路未決定者への支援(実施) ・求職者個別支援(25件)	・失業者のマッチング：20人(H27:11人) ・新規求人数：400件(H27:444件)	新規求人数を増やし、村内求職者と求人者のマッチングを行いながら、失業率改善を図る。なお今年度より、村グジョブ連携推進協議会と連携し、北中城中学校の進路未決定者(主に就職希望者)への支援を実施する。	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
		グジョブ連携推進事業	H27 ～ H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施し、村立中学校の進路未決定者について進学及び就労支援を行う。また、村内の県立高等学校をグジョブ地域連携協議会への参画を促し、小学校から高等学校までの成長段階に応じたキャリア教育の実施に努める。	・北中城村グジョブ地域連携協議会の運営(3回) ・ジョブシャドウイング(企業開拓数100社以上) ・職場体験(中学校1校:実施)(企業開拓数100社以上) ・きたなかキッズJOBクラブ(実施)(入会者数:15名以上) ・校内ハローワーク(2回)・高校生版テクニカルビジット(1回) ・出前フォーラム(高等学校:1校)	・就業に対するイメージの変容(アンケート調査) 【良いイメージ】と回答した者の比率 ジョブシャドウイング:80%以上 職場体験:80%以上 校内ハローワーク:80%以上 出前フォーラム:80%以上 ・今後の進路決定への影響(アンケート調査) 【役に立った】と回答した者の比率 高校生版テクニカルビジット:80%以上	ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育の実施を継続するとともに、村雇用サポートセンターと連携した北中城中学校の進路未決定者(主に就職希望者)への支援を実施する。		
4		農水産アクティビティ事業	H24 ～ H33						
		営農支援強化事業	H24 ～ H33	営農指導員による技術指導を行うことで、農家の出荷額の増加を図る。	指導員の配置:2名	・指導した農家の年間出荷額:3,169千円以上	(今後の展開方針) 新規就農者に対する生産・販売体制の支援、既存農家の営農のレベルアップによる農業経営の安定化を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)	
		地域ブランド構築事業	H24 ～ H33	村の特産品であるアーサ(ヒトエグサ)とは別の新たな食材を活用した商品開発やテストマーケティングを行なうとともに、既存商品のブラッシュアップを行なう。	・開発した特産品取扱店の維持・開拓 ・新たな食材を活用した新商品の開発 ・新商品及び既存商品のテストマーケティング	・当事業における開発商品類取扱店舗数 6店舗 ・新たな食材を活用した新商品の開発 1商品 ・首都圏におけるテストマーケティング 2商品 (新商品1、既存商品1)	既存商品のフォローアップを引き続き行なうと共に、新商品の販路拡大、販路開拓等を行なう		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		農を活かした北中城活性化事業	H28～H33	耕作放棄地の解消や農業従事者不足の解消を図り、持続性のある農業を確立するため、水耕栽培の実証実験を実施するとともに、バイオガス発電設備が機能を発揮しうるか検証するための調査を行う。また、健康長寿等の活動支援施設及び農業を活用した周辺環境整備に関する村づくりの基本構想・基本計画の策定を行う。	・水耕栽培実証実験の実施 ・生ごみの構成成分等に係る詳細調査の実施 ・農を活かした健康福祉活動の展開に資する基本構想・基本計画の検討	・水耕栽培実証実験の完了 ・詳細調査の完了 ・農を活かした健康福祉活動の展開に資する基本構想・基本計画の策定	平成32年度の目標を以下のとおりとする。 ・水耕栽培農業者の増:0 6人 平成35年度の目標を以下のとおりとする。 ・民間によるバイオガス発電設備設置数:0 2件 ・新たな林間散策、体験農園などのグリーンツーリズムや健康ツーリズムによる来客数の創出:1,750人/年	1月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
5		災害対策強化事業	H24～H30					
		災害時要援護者避難支援事業	H24～H30	観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び自主防災組織等への災害時の要援護者支援に活用する防災資機材を整備し、支援体制の整備・強化を行う。	・要援護者個別支援計画の策定(20件) ・自主防災組織設立(2団体) ・防災資機材整備(2団体)	・要援護者が参加した地区避難訓練・防災訓練の実施(4回) ・地区の避難訓練・防災訓練に参加した要援護者数(延べ20名)	(今後の展開方針) H28年度までに立ち上げた自主防災組織の活動支援と、新規の自主防災組織の立上支援、引き続き個別支援計画の策定及び見直しを継続していく。また、防災資機材の整備を拡大していく。	
6		エコアクション推進事業	H24～H33					
		公共施設等エコアクション推進事業	H24～H33	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションを推進する取り組みとして、公共施設におけるクリーンエネルギー(太陽光設備)の導入と村道や自治会管理の既存照明機器等のLED化を実施する。	・太陽光発電システム設置に向けた検討 ・既設街灯電球をLEDへ切替え ・既存街灯をLED街灯に切替えるための設計の検討	・太陽光発電システムの設置 1箇所 ・既設街灯電球のLED交換 20基 ・既設街灯のLED化検討設計の完了	(今後の展開) 太陽光設備の設置やLED街灯切替えに取組むことで、住民に対し省エネや温室効果ガス削減に向けた啓発を図る。 ・太陽光:自治会等との検討を踏まえ、順次導入を図る。 ・LED:(H30)1地区 (H31)1地区	9月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
7		国際化・ICT人材教育推進事業	H24～H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたのもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		総合英会話指導支援事業	H24 ～ H33	英語を母国語とする外国人や英会話能力の優れた講師による英会話指導を実施し、生きた英語に触れることで、児童生徒の英語への興味・関心を高める。	英会話指導員配置数 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人	・英語検定(英検)「含む」の受検者数:435人 ・児童生徒への英会話指導員の配置によって英語に対する興味・関心が向上したかについてのアンケート:興味・関心が高まった割合80%以上	(今後の展開方針) H33まで事業を継続することで、国際性豊かな人材の育成とスキルアップを目指す。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
		アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ H33	WEBシステムによるライブ授業を開設し、小学生の高学年から中学生を中心に米国のワシントン州立大学教員による集中講座を行い、英会話力・英作文力・英文読解力を習得させ、国際化社会に対応できるよう人材を育成する。	・中学生クラス:64回(前期32回・後期32回) ・小学生クラス:64回(前期32回・後期32回) ・受講生人数(H26:24人、H26:24人)	・受講生人数(前期24人、後期24人)	(今後の展開方針) H33年度まで 受講生人数(累計):316人 人材育成のためH33以降事業継続予定	
		海外子弟青年交流事業	H24 ～ H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多く経済発展を遂げている南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)及び交流可能な海外村人会に研修生を派遣する。また、世代交代が進行する海外子弟の青年に、沖縄の文化・伝統芸能の習得によるウチナーンチュとしてのルーツを再確認してもらい、本村及び派遣生OBを交えて海外と本村を結び懸け橋となる人材育成を図る。	・北中城村青年派遣生人数:2人 ・海外移住者子弟受入生人数:3人 ・研修報告会の開催(各研修1回)	・研修報告会を開催し国際相互理解に対する意識向上を図るため本事業に賛同する住民を集結した組織(結の会)の会員数:60名 ・帰国後に各村人会が開催する行事等にて三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。	(今後の展開方針) H30～H33年度 受入人数:12人 派遣人数:8人 派遣・受け入れを継続し、研修生を中心に各町村人会との活動を活性化させ、絆の形成を図る。	
8		歴史文化継承基盤整備事業	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			琉球歴史風致資産調査事業	H24 ~ H33	過年度調査分の歴史風致資産について、より詳細な情報を収集・記述するため、文献資料による補足調査を行うとともに、村内で行われている伝統的な民俗祭祀行事について、専門的見地から内容を記録・解説するため、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・内容分析を実施する。	・過年度分補足調査 200箇所 ・民俗祭祀行事調査 2件 ・調査記録(動画)の公開に向けた編集(15件)	・歴史風致資産の情報発信及び歴史まちづくり計画策定作業への活用に向けた詳細資料の完成(200箇所分) ・民俗祭祀行事の現地調査の完了(調査所見レポート2件) ・民俗祭祀行事の調査記録動画の公開用資料化(15件)	(今後の展開方針) 現地調査で記録した動画を公開用に編集する作業に重点を置いて取り組む。あわせて、過年度調査分の補足作業等を着実に進め、動画とあわせてポータルサイト(仮)におけるコンテンツの蓄積を図る。これらの調査成果は、将来的にはポータルサイト(仮)での公開や、歴史的風致を踏まえたまちづくり計画を策定に活用する。	
			中城間切ノ口関係資料集作成事業	H25 ~ H29	平成28年度に発刊した本巻や、これまでに収集した資料及び調査成果をもとに、平易な表現や写真・図版主体に再構成し、『中城間切ノ口関係資料集(仮)普及版(ビジュアル版)』として発刊する。	・普及版(ビジュアル版)原稿執筆及び編集完了 ・専門部会の開催(2回) ・監修を経た原稿の校正・編集 全200ページ(想定されるページ数)	・「中城間切ノ口資料集(仮)普及版(ビジュアル版)」の発刊。	(今後の展開方針) H29年度:「中城間切ノ口関係資料集(仮)普及版(ビジュアル版)」の発刊。 ・当該資料集の発刊により、本村独自の歴史を広く発信することができる。	
9			教育環境充実サポート事業	H25 ~ H33	/	/	/	/	/
			特別教育支援員配置事業	H25 ~ H33	村立幼稚園、小学校、中学校に在籍し、障害を持った子や発達が気になる子に対し、身辺自立の介助や対人関係の手助け、学習補助などの支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員配置数 小学校:16人 中学校:7人 幼稚園:7人	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:80%以上	(今後の展開方針) 早期から一貫した支援体制の整備を行うことで、支援を必要とする幼児児童生徒へのきめ細かなサポートを図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
			学習支援員配置事業	H27 ~ H33	学習の遅れがちな児童生徒に対し、基礎的・基本的知識や技能の習得に向けた支援を実践することで、幅広く活躍できる人材育成の土台作りを図る。	学習支援員配置数 小学校:2人 中学校:1人	・沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少(H28実績以下) H28正答率30%未満の割合 小学5年生 算数(3.7%以下) 中学2年生 数学(24.8%以下) H28無答率 小学5年生 算数(4.1%以下) 中学2年生 数学(9.7%以下)	(今後の展開方針) 継続した学習支援員の配置による基礎的知識の習得を図る。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ H33	運動競技及び文化活動を奨励することにより、児童生徒の健全育成及び将来の沖縄振興に資する人材育成のため、児童生徒の県外大会等派遣費用について、支援を行う。	児童生徒の県外大会派遣支援	・大会等派遣児童生徒数(累計)100人	継続的に支援し、児童生徒の健全育成に努める。	
		小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、村・県を代表する児童・生徒や少年チーム等のスポーツ・文化活動に対して支援を行う。	小中学生の県外大会派遣支援	大会等派遣小中学生数(累計):26人	継続的に支援し、小中学生の健全育成に努める。	
10		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ H30					
10		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ H30	本村は平成26年3月、村民一人ひとりの健康づくりを通して「村民の楽しみ・生きがい増」「村民の所得増」「産業振興・観光振興」等、様々な良い効果が出ることを目標とした「北中城村 健康長寿のまちづくり計画」を策定した。平成26年度に策定した健康長寿のまちづくりアクションプランに基づき、「女性長寿日本一のPR事業」や「健康づくり村民会議」を実施するとともに、27年度実施した健康調査を基に、浮き彫りとなった本村の健康課題にアプローチする定例健康イベント(朝ヨガ・太極拳等)を引き続き実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げ、健康長寿のまちづくりを展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・村民会議等(3回/年)開催 ・定例健康イベント(10回/年) ・親子で参加できる健康イベントの開催(1回/年) ・北中城村長杯スポーツ大会の実施(1回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・村内各種団体と連携した健康づくりイベント:3イベント以上 ・定例健康イベントへの参加者数:1,000人以上 	健康長寿村北中城村のヘルスツーリズムを展開し、自主化に繋げる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	防災行政無線機能強化事業	H27 ~ H29	災害時において村民及び観光客等の安全の確保を図るため、現在15局あるアナログ子局について、デジタル化及び相互通報システムを整備し、情報伝達手段の機能強化を図る。	・有線子局のデジタル子局化工事の実施:15箇所	・有線子局のデジタル子局化工事の完了:15箇所	整備完了後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 防災無線をデジタル化したことにより可能となった双方向通信等を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)	
1	防災体制整備事業	H26 ~ H30	災害に強く、安心して暮らせる村づくりを推進するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に、物資の搬送が開始されるまでの非常食や生活物資等の備蓄整備を行う。	・非常食 1,750食 ・災害対策本部備品の拡充(電気機器等) テレビなど	・非常食 整備率84.6% (H29年度末整備率 7,616食 / 全体計画 9,000食)	(今後の展開方針) ・非常食:H29~H30で毎年1,750食ずつ整備し、目標値の9,000食の確保 ・生活物資:災害対策本部備品の整備拡充を図る。		
1	防災拠点及び地域交流施設整備事業	H28 ~ H30	災害時等における迅速な対応を行えるよう、防災訓練を行うとともに、地域交流を促進しながら地域一体となった防災への意識を高めるため、防災拠点施設整備を行う。	防災拠点施設の実施設計の実施	防災拠点施設の実施設計の完了	(今後の展開方針) 自主防災組織の設立 H30:建設工事		
2	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H28 ~ H33	健康づくりや文化振興に資するため、吉の浦公園施設の整備を実施する。また、芝生の適正管理等を行い、プロサッカーチームのキャンプ誘致を図る。	・吉の浦公園機能強化整備基本計画の策定 ・芝生の適切な管理 ・管理作業車両の配備 ・吉の浦会館機能強化整備(音響設備機能強化整備、備品整備)の実施	吉の浦公園内各施設機能強化に向けた整備計画の策定 吉の浦会館の機能強化整備(音響設備機能強化整備、備品整備)の完了 プロサッカーチームのキャンプ受入 2チーム	整備完了後(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 ・年間利用者数 機能強化整備前より1割増 整備完了後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・会館年間利用者数:41,000人 (今後のスケジュール) 平成29年度 整備計画策定 平成30年度以降 設計及び整備工事	9月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 12月変更 (計画変更に伴う各目標、今後の展開方針等変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			観光誘客促進事業	H25 ~ H33	世界遺産「中城城跡」の認知度向上や伝統芸能の発展に寄与させるため、世界遺産を活かした各種観光イベントを実施し、中城村の観光誘客を促進させることで、地域活性化及び商工・観光振興を図る。	観光振興イベントの開催	・プロジェクションマッピングイベント来場者 10,000人(2日間)(H27年度実績:11,604人)	(今後の展開方針) イベント内容の強化を図る。 (参考目標) 城跡入場者数 H28年度:15万人	
2			プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ~ H33	スポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光地の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行うとともに、受入キャンプの支援を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプの支援事業実施	・プロサッカーチームの誘致活動の実施:2チーム ・キャンプ見学者数:8,000人	(今後の展開方針) プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致を図る。	
2			観光地周辺環境美化事業	H29 ~ H33	観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃を行い、観光客の満足度向上を図る。	・環境美化作業員の配置 6名	観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	(今後の展開方針) ・継続して美化清掃を実施し観光客の満足度向上を図る。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
2			護佐丸観光資源制作事業	H27 ~ H29	世界遺産「中城城跡」の観光振興を促進するため、中城城跡と城主「護佐丸」の生涯や中城城跡の歴史について情報発信を行う。	・護佐丸観光資源TV放映 ・護佐丸観光資源のHPアーカイブ化	・護佐丸観光資源のTV放映:20回 ・ホームページアクセス数:5,000人/年	・ホームページ閲覧者数の増加	6月変更 (事業追加)
2			中城村観光振興計画策定事業	H29	観光誘客を図るため、中城村の観光の現状や課題等の整理及び中城村における観光振興の方針を検討し、観光振興計画の策定を行う。	・観光振興計画(案)の作成	・観光振興計画の策定	策定後(平成30年度以降)の目標を以下のとおりとする。 策定した観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	6月変更 (事業追加) 3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		中城村観光PR事業	H29	中城村の観光PRを行うことや地域との交流を促すことで、中城村内において実施されるプロサッカーキャンプ時の観光客の増加や交流等を強化し、スポーツを通じた観光環境の整備促進を図るために、キャンプ実施チームのホームスタジアムにおいて観光誘客活動を実施する。	・中城村観光交流PRイベント(中城デー)の実施	・中城デー来場者数:24,000人	・サッカーキャンプに訪れた観光客を中城城跡に誘導し、村内観光産業の活性化を図る。	6月変更(事業追加)
2		中城村振興対策推進事業	H29	吉の浦会館を文化振興に資する場として引き続き活用するため、敷地を購入する。	吉の浦会館の用地購入3筆	吉の浦会館の用地購入完了 3筆	用地購入後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・会館年間利用者数:41,000人 (今後の展開方針) 引き続き文化振興に資する場として吉の浦会館の活用を図る。	12月変更(事業追加)
2		中城城跡受入基盤機能強化整備事業	H29 ~ H30	悪天候による足元のぬかるみにより転倒の危険性がある中城城跡馬場広場において、来場者の安全確保のため、排水性を高めるための工事を行う。	・排水性を高めるための工事に向けた測量及び設計の実施	・排水性を高めるための工事に向けた測量及び設計の完了	整備後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 前日の悪天候による広場の状態悪化により、来場者の安全を考慮してイベントを中止した回数:0回 (今後のスケジュール) H29年度 測量・設計 H30年度 整備工事	12月変更(事業追加)
3		海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ~ H33	海外に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、沖縄の歴史や文化に触れ、村民との交流を通じ、ナカグスクンチュアイデンティティの確立を目指す。社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に資することを目的として実施する。	海外移住者子弟研修生の受入実施	受入研修生数:3名 異文化交流会の開催	各国村人会と連携し、研修内容の変更を検討する ・受入研修生数(H33累計):26名	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24～H33	「郷土の歴史・文化についての学習」の充実を図るため、小学校において中城ごさまる科のカリキュラムの見直しを行う。また、よりよい授業の在り方等について小中学校において教材研究会を実施する。	・小学校「中城ごさまる科」カリキュラムの検討 ・小中学校で教材研究会を実施する。(小学校3回、中学校2回)	・小学校「中城ごさまる科」指導書の出版。 ・児童アンケートにおいて、中城ごさまる科への興味関心度70%以上	(今後の展開方針) ・H30年度:デジタル副読本の改訂、教材研究会の実施		
4	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H33	児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報教育補助員を配置し、授業支援や環境整備を行う。	・情報教育補助員 1人配置 ・年200時間の授業支援	・児童・生徒アンケートにおいてICT機器への興味関心が高まった児童・生徒70%	(今後の展開方針) 学校において情報機器を整備し、情報機器ネットワークに慣れ親しみ、ITスキルの向上を図る。		
4	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H33	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	特別支援員配置 24人 小学校 14人 中学校 4人 幼稚園 6人 相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	特別支援員 ・保護者アンケート(満足度70%) 教育相談員・心理相談員 ・来室相談 約300件 ・電話相談 約110件	(今後の展開方針) 特別支援員の資質向上のため研修会等を行うとともに、日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。		
4	国際理解人材育成事業	H24～H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	・英語指導員配置 中学校 1人 ・授業支援 中学校 490時間	生徒アンケートにおいて英語への興味関心が高まった生徒70%	(今後の展開方針) ・国際社会に対応する能力を身に付ける人材育成を推進する。		
4	ごさまる学力パワーアップ事業	H25～H28	生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるため、学習定着のための機会提供の場として、放課後学習教室「ごさまる教室」を設置し、補習を中心に学習支援を行う。	・平日講座の実施(月20日) ・長期休業中補習講座(10日)	・受講人数 平日講座:1日平均30人 長期休業中補習講座:60人	(今後の展開方針) 講座を生徒の実態に合った内容に改善し、より充実した学習の場を提供することにより、学習意欲を引き出し、学力の向上につなげる。		
4	学力向上のための学習支援事業	H29～H33	村内中学校に学習支援員を配置し、数学を中心とした学習支援を実施することで、学力の向上を図る。	・学習支援員配置 中学校3人	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県と本村との平均正答率の差 - 4.5ポイント以上	(今後の展開方針) 生徒一人一人に合った学習支援を行い、学力の向上につなげる。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			子育て保育支援事業	H29 ～ H33	特別な支援を要する子を抱える保育園に対し、支援体制強化に係る支援を行う。 また、心理士による保育園への巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士への支援を行う。	・巡回指導対象保育施設件数 公立:1ヶ所 法人:8ヶ所 認可外:8ヶ所	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、加配配置保育士の対応への満足度 80%以上 ・対象となる幼児の保護者・保育士へのアンケートで、心理士への相談により負担感・不安感が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 引き続き特別な支援を要する子を抱える保育園や保護者に対する支援を行う。	3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)
4			地域子育て環境整備事業	H29 ～ H30	子供たちの運動機能の向上や心身の健全化を図るとともに、世代間の交流を促進させることで子育て環境を充実させるため、村内の公園において、児童や幼児を対象とした遊具を設置する。	・遊具整備工事の実施	・村内公園における遊具整備の完了:4か所	子どもたちが安全に遊べるように村内公園整備を行い、整備した公園の管理を行っていく。	9月変更 (事業追加)
5			文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ～ H33	村内における文化財等の把握及び沖縄戦の記録保存を行い、企画展等を通して周知することで、歴史の継承を図る。	【文化財悉皆調査】 ・各集落での聞き取り調査の実施 ・調査概報(各字パンフレット)の作成:3字 【沖縄戦調査】 ・沖縄戦調査員による聞き取り調査	【文化財悉皆調査事業】 ・悉皆調査率 72% (H29年度調査済 13字/全体計画 18字) 【沖縄戦調査】 ・沖縄戦の調査における記録 75件	策定後(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 調査した内容を活用した企画展示会の来場者数:1,000人 (事業スケジュール) H30年度:調査、調査概報の作成 H31年度:企画展示会等の開催	3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)
5			村内文化財整備事業	H28 ～ H29	中城村に存在する沖縄戦に関する遺跡「161.8高地陣地」の環境整備を行い、人々への周知を図り見学してもらうことで、沖縄戦の悲惨さを再認識するとともに平和への思いを深めてもらう。	環境整備工事の実施	環境整備工事の完了	整備後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 161.8高地陣地を活用したイベント来場者数:150人以上	
5			文化財等展示機能強化事業	H29	沖縄の歴史を次世代へ継承していくため、企画展等に活用する展示物や展示用備品等の整備を行う。	・石積み立体パズル4種類の作製 ・可動式展示ケース4台の作製	・石積み立体パズル4種類の作製完了 ・可動式展示ケース4台の作製完了	整備後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・整備した展示物を活用した企画展示会の来場者数:500人以上 ・整備した可動式展示ケースを活用した地域の小中学校への出張講座等に参加した児童生徒数:100人以上	3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		中城文化まつり事業	H26 ～ H33	自然と風土、歴史と伝統によって培われてきた香り高い豊かな郷土の文化を広く村内外に公開し、意欲的な舞台や展示等の発表をとおして村民を始めとした県民への文化の継承と創造発展に寄与することを目的に、3年毎に中城文化まつりを開催する。	中城文化協会や伝統芸能保存会などの各種団体の舞台出演、作品出展	来場者1,500名	(今後の展開方針) H29年度:第10回中城文化まつりの実施 H32年度:第11回中城文化まつりの実施	
5		中城村地域多世代交流活性化事業	H29 ～ H33	組踊等の文化活動・継承等の場として活用されている施設の環境改善を図るため、空調整備を行う。	補助による地域施設への空調整備	補助による地域施設への空調整備完了	補助完了後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 文化活動・継承の場としての環境改善が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 (今後のスケジュール) H29年度:南上原地域の地域活性化活動への支援(地域施設への空調整備) H30年度以降:村内各地域の地域活性化活動への支援	12月変更(事業追加)
6		島ニンジン栽培研究事業	H27 ～ H31	中城村の農業の発展に向け、特産品である島ニンジンの品質向上及び栽培方法の統一化を図り、伝統野菜である島ニンジンの品質及び生産量の向上を図る。	・島ニンジンの根長35cm以上、黄色個体比率90%以上の改良集団の作成 ・島ニンジンの栽培における栽植密度の確立 ・収穫後の外的環境による島にんじんの根色の変化に関する調査	・研究成果報告書の作成	(今後の展開方針) ・本研究により確立した栽培方法の普及	9月変更(事業追加)
6		護佐丸島むん農業活性化事業	H29	中城村の特産品島ニンジンの生産振興に向け、JAが整備する島ニンジン洗果機の整備費を支援し、農家の労働力の負担軽減を図り島ニンジンの生産向上を図る。	・洗果機整備費の支援6台	・洗果機6台の導入	(今後の展開方針) 農業用機械を導入することにより、農作業の機械化を推進し生産量の向上を目指す。	9月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		西原町観光客受入基盤強化事業	H24 ～ H33					
1		観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ H33	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、観光客及び町民の誘客を図る。	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎市緑地	【施設利用者数】 西原運動公園・東崎公園・東崎市緑地公園 225,000人	沖縄らしい景観・美観を保持し、観光客及び町民の受け入れ体制を整え安全で安心できる快適な環境の整備を図る。	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
1		文化財環境整備活用事業	H25 ～ H33	観光振興及び文化財保護のため、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境美化・整備を実施する。また、今後これら文化財の活用を図るため、文化財ガイドの育成を図る。	・文化財及び文化財周辺域の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回)、文化財巡り等イベント開催:2回	・イベント 「歴史の道を歩く」:参加者数計40名目標 「地域散策町内邑廻り」:参加者数計30名目標	文化財の基礎的環境整備、ガイド団体等の人材育成を継続しつつ、文化財の案内ルートボタンを増やし、活用及び周知を行う。	
1		文化財保存活用事業	H26 ～ H33	文化財は各地域において長い歴史を経て育まれてきたものである。沖縄県においては町固有の文化財を継承していくためには、その価値を把握し、指定等により保護していくことが必要とされている。文化財の記録保存と保存活用のための方針として、基本構想や保存管理計画書を策定し、整備を図る。	・主要文化財3カ所の現状記録 ・棚原区周辺地域保存活用計画策定(保存活用に向けた基本方針) ・幸地グスク周辺地域サイン整備計画策定(サイン整備に向けた基本方針) ・棚原比嘉家の土帝君の保存活用に向けた取り組みを行う	・主要文化財(3/10カ所)測量記録による保存活用資料の作成 ・棚原区周辺地域保存活用計画策定 ・幸地グスク周辺地域サイン整備計画策定 ・棚原比嘉家の土帝君を町文化財に指定	・歴史文化基本構想で特徴的な関連文化財(遺産)群や保存活用区域の保存活用計画や整備計画等を策定。 ・主要文化財3/10カ所の記録保存を行う(H29年度)。その後も優先される文化財の記録保存を実施。 ・記録保存された主要文化財の保存活用のための整備を行う(H29～H33年度)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	農水産物流通・加工・観光拠点整備事業	H25～H31	農水産物直売所施設及び地域食材提供施設等を併せ持つ拠点施設を整備し、地産地消、地元食材の消費拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことで、生産者の所得向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 各委託業務及び建設用地造成設計の実施 用地取得の実施(面積:463.68㎡) 	<ul style="list-style-type: none"> 各委託業務及び建設用地造成設計の完了 用地取得の完了 	供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・直売施設年間総売上225百万円 (今後のスケジュール) H29年度 用地取得、造成設計等 H30年度 造成工事・建築工事 H31年度 外構工事 H32年度 供用開始	12月変更(計画変更に伴う各目標、今後の展開方針等変更)	
1	西原町尚円王即位550年記念事業	H29～H31	平成32年度に尚円王の即位から550年を迎えるにあたり、西原町民及びひいては沖縄県民にその歴史文化に対する愛着心、誇りを育成し、また、町内外に内間御殿を含めた地域資源を周知するため、記念事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 復元対象の歴史背景や現状、類似資料、復元事例などの情報収集、分析 設計書(寸法図、意匠図)を作成 製作体制、費用、工程の検討 監修者会議及び製作確認作業の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 復元対象に係る情報収集、分析の完了 設計書の作成完了 製作体制、費用、工程の検討の完了 監修者会議及び製作確認作業の運営完了 報告書の作成 	復元模造品の平成31年度完成に向け作業を進める。また、平成32年度に向け、記念講演やシンポジウム、企画展を行う。平成32年度末には、組踊「内間御鎖金丸」の上演を行う。		
1	西原町観光基本計画策定事業	H29～H30	本町の観光振興を戦略的に行う必要があるため、西原町の歴史文化・産業など観光振興に資する素材を見直し、戦略的に観光客を誘致するための観光計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 西原町の観光振興の計画の策定に向けた基礎調査 	観光計画の策定に向けての基礎調査報告完了	西原町観光計画を策定し、観光客増加を図るための体制づくり、観光協会の設立などを観光行政を戦略的に進めていく。		
2	次代を担う人材育成事業	H24～H33						
2	小学校英語活動指導員派遣事業	H24～H33	児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置	<ul style="list-style-type: none"> 町内小学校英語派遣指導員派遣率 100% 英語の授業が「好き」と答えた児童が85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 英語が好き、と答えた児童の増加 今後、小学校で英語教科が必修化となることに向けて事業の充実を図っていく 		
2	中学校英語活動指導員派遣事業	H26～H33	生徒の英語発音やコミュニケーション能力並びに国際理解教育の向上を目的に、英語活動支援員を配置し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置 資質向上のために、町内研修を実施(2回)	県到達度調査 県平均正答率以上	町内中学校における沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
 H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H29事業内容					
2			教育相談員配置事業	H24 ～ H33	学校教育に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対する相談窓口として、また、学校及び教育委員会等のパイプ役として、町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置する。	・教育相談員配置数：4人 ・教育相談員の定期的な学校訪問。 ・教育委員会との会議（児童の情報共有及び情報交換他）の実施（5回以上）	・相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 10%以上	(今後の展開方針) ・教育相談員が関わったことで、個々の課題について改善された児童生徒の増加		
2			学習支援員配置事業	H25 ～ H33	児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校：12人 中学校：6人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +1.8以上 算数 +2.8以上 ・中学校 国語 -0.2以内 数学 +1.0以上	(今後の展開方針) 学力状況調査等で、学力向上に努める。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	
2			特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校：10人 状況に合わせて各学校へ配置 ・支援員の資質向上のために、町内研修 を実施(4回)	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) ・個に応じた支援を行い、支援体制の拡充と質の向上を図る。	3月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
2			幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、園生活や保育上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施 ・支援員の資質向上のために、研修を実施(1園につき年4回)	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 特別な支援を必要とする幼児は年々増加傾向にあるが、幼児が充実した園生活を送れるように一人一人の幼児に応じたきめ細やかな支援を行い、支援員の資質向上を図りながら教育体制の充実を図る。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	
2			児童生徒県外派遣支援事業	H26 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、沖縄県を代表して派遣される児童生徒の運動競技や文化活動の大会等に対し、県外大会派遣費用の支援を行う。	県外派遣費用に対する保護者の経済的負担の軽減	大会等派遣児童生徒数：160人	(今後の展開方針) H33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う		
2			西原町中学生海外短期留学派遣事業	H26 ～ H33	西原町の中学生を海外に派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。	・海外短期留学派遣の支援 ・帰国報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合 80%以上	海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度：64名 事業内容と帰国報告会の内容の充実	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H29事業内容					
2			登校支援員配置事業	H27 ~ H33	本町において、不登校児童生徒及び10日から29日の欠席児童生徒の数が多いため、登校支援員を配置し、不登校の児童生徒の学校復帰を支援する。	登校支援員6名配置 小学校(4校)に各1名 中学校(2校)に各1名	小学校不登校率を0.5%以内 中学校不登校率を3.1%以内を目指す。	全国的に増加傾向の不登校児童生徒数を増やさない。		
3			西原町平和推進プロジェクト事業	H25 ~ H33	第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の実情を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭を開催する。	西原町平和音楽祭の開催	西原町平和音楽祭参加者数1,800人	西原町平和音楽祭参加者数: H33年度:1,900人		
4			子育て世代ゆいまーる支援事業	H25 ~ H28						
4			認可外保育施設支援事業	H25 ~ H31	認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員が巡回し、県や町への提出書類等の指導や補助をすることにより保育従事者の事務負担を軽減するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・支援員配置数:1人 ・町内認可外保育施設(10箇所)に対し、支援員の巡回の実施	・認可外保育施設の空き状況、保育料、保育サービス等の情報の更新。(18回) ・実績報告期限内提出(10施設)	(今後の展開方針) ・窓口にての認可外保育施設の情報提供の定期報告		
4			西原町放課後児童クラブ巡回指導事業	H27 ~ H29	放課後児童支援員の事務的・精神的負担を軽減し、適正な事業運営へ導くため、指導員の巡回指導により放課後児童クラブの会計・事務管理の支援を図る。また、各放課後児童クラブの定員空き状況や施設の情報の集約を行い、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・巡回指導員配置数:1人 ・町内放課後児童クラブ(11箇所)に対し、巡回指導員の巡回の実施	・各クラブが月毎に会計の区分や科目に沿った経理書類を適正に作成出来るよう指導・助言 ・各放課後児童クラブの次年度児童募集状況、空き状況の情報管理及びHPでの情報提供 ・書類様式の統一及び書類等管理の指導	・HPで住民へ放課後児童クラブの児童募集や空き情報を提供する。 ・国の指針への理解を深めるため、会計や運営に関する勉強会等を開催する。		
4			親子通園事業	H28 ~ H32	乳幼児健診で発達の凹凸がある児のスクリーニング後、健診事後教室等を経て親子通園事業において丁寧に母子共に学び育ちを支援することは、次なる集団に繋がる為に重要である。その後の療育や保育、幼稚園等に移行支援を行い切れ目無く丁寧に係る事で子育て支援対策に繋げる。	乳幼児の発達相談	・保護者の育児不安の軽減 (アンケート実施 50%以上)	今後、定員の増も考えられるので、場所やグループ数等を検討するが、平成30年度まで緊急アクションプランにより拡大は平成31年度から検討。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			西原町防犯灯・道路灯LED化事業	H29 ～ H31	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	調査設計業務の実施	調査設計業務完了	H30～H31予定の防犯灯・道路灯のLED化工事により、温室効果ガス(CO2)の排出量を抑制し、低炭素島社会の実現を推進する。	
6			農家経営安定支援事業	H26 ～ H31	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置することにより、既存農家の栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに農業後継者の育成を図る。	指導員の配置2名 年5～6回の農業講習会の開催	農家への経営指導及び技術支援の実施(50件)	地域農業者の栽培技術向上。 地域に適した農産物の検討・普及	
7			里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ H33	不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	・確定測量 (里道5筆、水路1筆) ・表示登記申請6筆	確定測量の完了 表示登記申請の完了	供用開始後1年目(平成35年度)の目標を以下のとおりとする。 平成35年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
8			町民交流センター施設活性化事業	H27 ～ H29	町民の文化・芸術活動の創造、発表、鑑賞の場の交流拠点として整備された、西原町町民交流センターにおいて、イベントを計画及び実施し、施設の活性化を図る。	・イベント計画・実施(1回)	・イベント実施による集客数 800人	参加型のイベント開催を沖縄振興特別推進交付金事業活用しながら、並行して町独自の事業で舞台芸術イベントの開催をおこなっていく。	
9			西原町雇用促進プロジェクト事業	H27 ～ H31					
9			西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ H31	求職者ひとりひとりに寄り添う形での就職支援を行うとともに、就職セミナーやスキルアップ講座などを定期的に開催し、ひとりでも多くの町民がなるべく町内で就業できるよう支援していく。 また、町内事業所に呼びかけて「町民雇用サポート隊(仮称)」を結成し、隠れた求人ニーズの掘り起こしを行い、町内企業の活性化を図りながら町民と企業の結びつきを密にするような求職サポートを行っていく。	求職者と企業のマッチング 30件 スキルアップ講座等 16回 町内企業訪問 120社	新規就業者 8人 スキルアップ講座受講者数 40人 求人情報の掘り起こし 10件	求職者、求人企業の両社とも掘り起こし、一人でも多くの町民が就業につながるような雇用サポート業務を行っていく	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				9	地域型就業意識向上支援事業			

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			与那原町観光振興事業	H24 ～ H33					
			与那原町魅力発信事業	H26 ～ H33	与那原町の魅力を県内外に発信し、本町の観光資源を活用した大綱曳まつりや各種イベント等を開催することで、住民及び観光客の誘客を図る。	・与那原大綱曳PR事業実施 3回 ・記念碑の設置(1式)	・与那原町大綱曳来場者数18,800人 ・ゆかた祭り来場者数420人	(今後の展開方針) 与那原町の魅力を県内外に継続して発信することで、本町に訪れる観光客の誘客を図る。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
			商工会青年部南北交流支援事業	H24 ～ H33	若年者交流を通して、沖縄のPRを図るとともに、将来のリピーターを生み出すことで、誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同して行う「南北青少年少女体験交流」へ支援を実施する。	・交流派遣者数24人 ・浜中町交流団25人受入	・交流事業以外で、浜中町からの観光来町者数30人以上 (基準年度：H27 26人)	・平成33年度までに240人派遣 ・平成33年度までに250人受入	
			観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ H33	観光地への散策コースの環境美化(剪定・除草・植栽整備等)を実施し、観光地としてふさわしい景観及び環境を創出する。	・散策コース(10km)環境美化作業員配置 8名 ・町内各所への花木の植樹	・本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	(今後の展開方針) 継続して美化清掃にて回遊箇所の緑化及び植栽工事を実施	3月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
2			次代を担う人材育成事業						
			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、電子黒板等を整備し、情報教育支援員を各小学校へ配置する。	・電子黒板一式(小学校増設クラス) ・タブレット(各学校) ・情報教育支援員 2人配置 ・個に応じた情報教育の充実(長期休業中の情報教育講座の実施 全10講座 受講生80名)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	(今後の展開方針) ・授業においてICT機器を活用し、さらにわかりやすい授業を目指す ・教員のICT機器の習熟度の向上を図る	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ H33	<p>学習の遅れ気味な児童生徒に対し、学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 特別な支援を要する不登校の児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。</p>	<p>特別支援教育コーディネーター1人配置 (対応回数各学校 30回) スクールカウンセラー1人配置 (対応回数175回) ・学習支援員21人配置 (支援日数週5日) ・特別支援教育支援員24人配置 (支援日数週5日) 放課後学習支援員5人配置 (対応児童数1,000名)</p>	<p>・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上を目指す 中学校:県との差5.4ポイント以上を目指す ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80% ・不登校児童生徒復帰率 10%以上</p>	<p>・学習支援員、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー等の人員確保 不登校者数の人数減</p>	<p>12月変更 (計画変更に伴う事業事業内容、各目標変更)</p>
		国際理解人材育成事業	H24 ～ H33	<p>国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導の補助員を配置する。 また、スポーツ等を通して、生きた英会話や国際感覚を身につける為に、スポーツイングリッシュスクールを行う。</p>	<p>・英語指導助手 2人配置 ・スポーツイングリッシュスクールの実施</p>	<p>・英語検定取得(1～5級)165人 (基準年度:H24 116人)</p>	<p>・英検前年度取得者数年間10人増 ・英語指導助手の人員確保</p>	
3		農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ H33	<p>沖縄県では、地理的な要因により台風の襲来、塩害、強い日射等により農作物に大きな被害が出ている。そのため、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。</p>	<p>台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。</p>	<p>被覆資材の導入により台風等の自然災害、病害虫等の被害を軽減し、ゴーヤー、インゲンは平成27年度の実績より4%、マンゴーについては、平成28年度の実績より2% A秀品率向上を図る。</p> <p>秀品率とは、生産販売した作物のうち、一定の品質・形を保った作物の割合であり、それぞれA秀品率及びB秀品率の2種類からなるものである A秀品率:生産販売した作物のうち沖縄協同青果株式会社へ出荷した割合であり、出荷価格が高く、品質・形が優れているもの B秀品率:生産販売した作物のうちJAおきなわ関連(ファーマーズ・Aコープ)へ出荷した割合であり、出荷価格・品質・形がA品に劣るもの</p> <p>(実績) H27 ゴーヤーA秀品率 31% インゲンA秀品率 21% H28 マンゴーA秀品率 6%</p> <p>(目標) H29 マンゴーA秀品率 8% ゴーヤーA秀品率 35% インゲンA秀品率 25%</p>	<p>被覆資材の導入普及により、更なる秀品率の向上を図る。 最終的な秀品率の向上としてゴーヤー、インゲンで平成27年度実績より7%、マンゴーで平成28年度実績より4%の向上を目指す。</p>	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ~ H33	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・海外移住者子弟研修生受入:2人 ・児童生徒・町民との交流会:2回 ・帰国後の研修報告会:1回 ・与那原町における交流会でのアンケート実施 ・帰国後の研修報告会でのアンケート実施	・与那原町での交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合:70% ・帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合:70% ・PR大使としての活動の実施	今後は研修生の派遣を行い、各国町人会及び県人会との連携を強化を図る。過去の研修生においては、その役割を認識させるためフォローアップ研修を定期的実施。派遣、受入研修生は合わせて町及び県移住先国との友好親善に寄与する。	
5		ほっとハート子育て応援事業	H24 ~ H33	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師を配置する認可保育所へ経費の一部を助成する。(0歳児を安全に受け入れるため看護師を雇用する保育所に対し、雇用のための経費を月額50,000円を上限に助成する。)	認可保育園への看護師配置 7施設中4施設(各1名配置) 年度途中1施設(1名配置)	0歳児童待機児童数 H28(10月) 36名 H29(10月) 27名	看護師配置施設を4施設確保し、0歳児の受入増を維持する。	
6		公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業	H27 ~ H33	幼稚園で給食の提供を行い、保護者の負担軽減を図るため、幼稚園給食配膳支援員配置する。サンシェードを設置し、園児が夏場に室外で活動できる環境の確保を図る。	・幼稚園給食配膳支援員配置 3人 ・保育所園庭へのサンシェード設置1か所	・給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。 ・サンシェード整備の完了 1箇所	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・夏季期間(6月~10月)において、日中の園児の室外活動時間90時間 (今後の展開方針) 給食開始に当たっては安全に提供できるよう配膳支援員を継続配置することで、保護者が安心して預けられる環境を整える。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等)
7		地球温暖化を防止するための循環型社会形成事業	H26 ~ H29	異常気象の要因や、生態系への影響が懸念される地球温暖化への対策として策定された「与那原町地球温暖化防止実行計画」を達成する取組の一つとして、町内全域の防犯灯、街路灯をLED化し、温室効果ガスである二酸化炭素の排出を抑制する。	・街路灯LED化 88基	・街路灯のLED化による二酸化炭素排出量抑制 12,867kg	「与那原町地球温暖化防止実行計画」をさらに推進し、目標値である平成19年度の基準値952,424kgの排出値達成を目指す	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	走る・よなばる・PR事業	H29 ～ H31	本町の観光資源・産業を町内外へアピールし認知度の向上とその振興を図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識(オリジナルナンバープレート)を作成し交付する。また、従来標識にはない「発光塗料」も併せて採用することで、交通安全の一助となるよう工夫する。	原動機付自転車オリジナルナンバープレートの制作 1,500枚	H30年4月の交付開始に向けた事業の着実な実施 (デザイン公募、四半期ごとのPR活動等)	平成30年4月1日よりオリジナルナンバープレート交付開始 交付数目標 H30年度 新規登録台数の90%にオリジナルナンバープレートを交付する。		
10	東浜水路散策路照明灯設置事業	H29 ～ H31	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既存市街地との間の東浜水路を新たな観光資源として活用するため、東浜水路沿いの親水性護岸及び遊歩道に景観に配慮した照明灯を設置する。	・東浜水路散策路整備実施設計(与那原地内、距離:1,346m) ・照明灯設置工事(25基)	・東浜水路散策路照明灯整備実施設計完了 ・照明灯の設置工事完了(25基)	(今後の展開方針) H30年度に照明灯15基、H31年度に10基を設置し、夜でも気軽に観光客が東浜水路を散策できるようにする。		
11	与那原町大型ビジョン活用事業	H29 ～ H30	来訪者に本町の魅力を肌で感じていただけるよう、町の観光スポットや特産品を紹介し、何度でも訪れたいような情報を発信する為、マリンタウン地区の中心に大型電光掲示板を設置する。	・実施設計の着手	・実施設計の完了 ・電光掲示板の活用に向けた課題の抽出	年間を通して情報発信が可能となるので、多くの来訪者に対し本町の知名度の向上と観光客の誘客を図る。		
12	災害対策備蓄整備事業	H28 ～ H32	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要することから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	非常用食料 1,680食 粉ミルク 20缶 保存水 1,032本	・H32年度目標量(8,400食)の2/5の達成	平成32年度を達成年度と設定し、平成30年度以降も継続的に非常用食糧等を備蓄していく。		
13	与那原町健康づくり支援環境整備事業	H29 ～ H31	与那古浜公園内のトラックと外周囲路にゴムチップ舗装を施し、幅広く住民の方に利用してもらうとともに、環境の整備を進めることを目的とする。	・基本計画の検討(課題の整理、基本方針・基本施策の決定など)	基本計画の策定 ・現状と課題の把握 ・今後の整備に向けた基本施策の決定	・スポーツイベントの推進 ・公園利用者の拡大		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
14		「御新下り」関連施設復元・周辺整備・歴史資料館(仮称)整備事業	H24 ～ H32	「御新下り」関連の史跡等の復元や周辺環境を整備し、観光資源として活用する。	・歴史の道の駅基本計画策定業務 ・「御殿山」整備実施設計業務の実施	・歴史の道の駅基本計画の策定 ・「御殿山」整備実施設計の完了	<p>供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 ・御殿山を含めた史跡巡りに参加者数1,700人以上。</p> <p>(整備スケジュール) H30年度 「御殿山」整備工事等 H31年度 物件補償・用地買収 H32年度 「親川」広場整備工事等</p>	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
15		東浜水路観光創造水質浄化整備事業	H29 ～ H33	東浜水路の水質を改善や水辺環境の整備を実施することで、東浜水路周辺を観光資源として活用する。	水路浄化のための調査・分析及び調査報告のとりまとめ	東浜水路浄化調査・分析業務の完了	<p>供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・東浜水路イベントに参加した観光客数440人以上。</p> <p>(事業スケジュール) H29年度 東浜水路分析調査業務 H30年度 東浜水路浄化対策検討業務 H31年度 東浜水路浄化対策工事実施 H32年度 対策工事効果検証・対策検討 H33年度 追加浄化対策工事実施</p>	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		青少年国際交流事業	H24 ~ H33	国際化時代に対応しうる青少年の育成を目的に青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察学習、ホームステイ、現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数:12名 ・研修後報告会の開催	・報告会の実施などを通した参加者の意識向上(内容)アンケート実施。外国語や海外文化、移民への興味を持った生徒の割合 70%を目指す。	(今後の展開方針) 本研修および事後研修の充実 OB会による定期的な国際交流事業の啓発活動や、地域でのイベント企画	
1		小学校英語指導助手配置事業	H24 ~ H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	・小学校英語指導助手配置数:4人	英語に興味を持った・好きになった児童の割合80%以上(アンケート)	(今後の展開方針) 今後も引き続き小学校4校に英語指導助手を配置する。進んで英語が話することができるよう、授業内容を改善していく。	
1		学力調査等事業	H24 ~ H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上に向け、個々の児童生徒の学力、課題を把握するため学力調査等を行う。	学力調査等の実施 小学校4校中4校 (国語・算数・5年生理科) 中学校2校中2校 (国語・数学・理科・社会・英語)	・標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校 : 全科目(13科目) 中学校 : 3科目以上 ・中学3年生の高校進学率 98.5%(県目標値)	(今後の展開方針) 引き続き学力調査を実施し、調査結果を基に個々の課題克服のために活用していく。	
1		学習支援員配置事業	H24 ~ H33	通常の授業ではついていけない児童生徒の理解を深め、学力を向上させるために、学習支援員を配置する。	・学習支援員配置数 小学校:9人、中学校:4人	・標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校 : 全科目(13科目) 中学校 : 3科目以上	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	
1		特別支援教育支援員配置事業	H24 ~ H33	多動等により教室内で授業中に全体の指導についていけない子どもに対し特別支援教育支援員を配置し、介助や安全確保をおこなうことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園:10人、小学校:29人 中学校:6人	対象となる児童等の保護者にアンケートを実施し、特別支援員の対応への満足度80%以上で目標達成とする。	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に特別支援教育補助員を配置し、基礎学力向上に努める。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
1		学校ICT推進事業	H24 ~ H33	学校においてICT機器を整備し、わかりやすい授業を行うことで、教育の質の確保を図る。また、ICT機器を活用した授業を支援するため、ICT支援員を配置する。	・PC教室機器整備 2中学校 ・ICT支援員配置 2名	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上	【デジタル教科書】 小中学校の教科書改訂年度に合わせて整備を行う。 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っている。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		教育相談支援事業	H24 ～ H33	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談員などを小中学校に配置する。	・青少年教育相談員1名配置 ・発達支援心理士 1名配置 ・心の教室相談員 4名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置	・不登校の原因を究明分析し、学校・福祉分野・地域との連携した結果を報告する。(連携事業の報告) ・小・中学校の1,000人当たりの不登校児童生徒数を全国平均以下にする。	(今後の展開方針) 今後も生徒校外指導員、自立支援教室指導員と連携を密にし支援体制を強化していく。	
1		中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ H33	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	・外国人英語指導助手の配置 中学校 1名	標準学力調査の平均正答率が50点以上	(今後の展開方針) 今後も引き続き、外国人英語指導助手との連携を密にし、小学校英語から中学校英語へ、抵抗なく移行するようにし、生徒が英会話に対し苦手意識を持たせないようにする。	
1		南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ H33	小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費の支援をする。	児童生徒の大会派遣の支援	補助対象の児童・生徒全員への支援完了	(今後の展開方針) 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。	
1		南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生・高校生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に対して必要な派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	児童・生徒及び青年会等派遣人数(累計):140人	(今後の展開方針) 最終年度(派遣児童・生徒数及び派遣青年会数累計):1,260人	
1		南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ H33	南風原町内の幼稚園児を対象とし、運動能力を向上させるため、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	・逆上がりの習得:90% ・跳び箱3段の習得:90%	(今後の展開方針) ・幼稚園の体育指導を継続的に実施し、町内の子どもたちの健康の保持促進を図る。	
2		南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。観光ルート(町内道路、水路等)の清掃等により、町全体のイメージアップを図る。	・観光ルート延長L=12,600mの町道メンテナンス (草木の伐採等による景観美化の管理)を実施	・観光ルート延長L=12,600mの町道メンテナンス (草木の伐採等による景観美化の管理)を実施	景観美化作業員4人(毎年)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		かすりの道活性化プロジェクト	H24 ～ H33	「かすりの道」を活用した魅力的な観光地づくり、まちづくりを促進し、認知度を高めるため、地域住民参加による緑化活動、道並などの美化を行い、イベントを開催する。	・イベント開催:4回 ・かすりの道緑化活動:10回	・イベント参加者:360人 ・かすりの道散策ツアー参加者360人	(今後の展開方針) 【イベント参加者】H30年:360人 【緑化活動】H30年:10回	
2		デザイン・くくり担い手育成事業	H24 ～ H33	本町の琉球絨は伝統工芸品として有名であり、その生産体制は分業体制で行われている。生産工程の一つである「デザイン・くくり」の技術者が現在少ない状況にあり、このままでは技術が失われる可能性があるため、「デザイン・くくり」の技術者を育成する。	・工房の即戦力となるデザインくくりの技術者を育成する。	・デザインおこし、くくりの知識、技術習得 ・研修生がデザインしたオリジナルの反物を一人3種類製作	(今後の展開方針) 平成29年度～平成31年度 ・デザインくくり技術者 10名育成 ・デザインくくりの技術者を育成して、後継者育成を図り、琉球絨の継承に寄与する。	
2		危険生物駆除事業	H27 ～ H33	観光客等をハブ咬傷から守るため、ハブトラップを設置するとともに、その周辺を重点地域として巡回する危険生物駆除員を配置し、安全な観光地を目指す。	・捕獲器を町内に50器設置 ・巡回を実施	観光地内におけるハブ咬傷件数 0件	(今後の展開方針) ハブ出没地点の捕獲状況を分析してより効率的にハブを駆除できるよう努める。また町民や観光客等に注意喚起を行い、ハブ咬傷被害のない安全な観光地作りを目指す。	
2		民泊啓発推進事業	H25 ～ H33	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築などを行って、観光推進体制を強化していく。	・宿泊体験登録家庭数:29家庭 ・修学旅行誘致営業:1回	・宿泊体験受入数:300名 H27受入人数:200人 ・新規受入学校:3校	(今後の展開方針) 【修学旅行受入】H33年:一家庭2回以上(年間受入目標:400人) 【民泊家庭登録者数】H28年:新規3件	
2		南風原地域発信力強化事業	H24 ～ H33	へちま生産日本一を誇る南風原町。本町では南風原産へちまの愛称を「南風原美瓜(びゅうりー)」と名付け、ブランド化を図っている。そのへちまを観光物産として元気、若いという良いイメージを付けて魅力を町内外に発信するため、ビュウリーズというダンスユニットを結成し、活動する。	・メンバーのダンスレッスンや町に関する知識やマナー研修を行い、イベント、ラジオ出演により町の魅力を発信する。	・町PR活動イベント出演:20回 ・新聞等へ活動掲載:3回 ・ラジオへの出演:2回	(今後の展開方針) ・ダンススクール受講者(累計) H33年度:200名 ・イベント等で、南風原ブースでの販売促進と南風原の観光コンテンツPRを行う。	
2		ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ H33	本町の観光振興、地域活性化のため、全国的ヒーローや、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の観光情報発信を行うためイベントなどを定期的に行い、観光客を本町へ誘導する。	・イベント・フォーラム開催:各1回 ・脚本賞舞台化:1回	・イベント・フォーラム来客者数:1,000人 ・舞台来客数:500人	(今後の展開方針) 継続して脚本賞開催 町民による実写化(舞台や映画)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	シマじまガイド事業	H24 ～ H33	訪問客に地元の魅力をあますところなく伝え、南風原町の魅力を知っていただくため、着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(名所案内巡り)を実施し、町内外からの観光客等を受け入れるシステムを構築し、観光振興を図る。	・ガイド養成新規:2名 ・シマじまガイド開催:12回	・ガイド回数:1回/人 ・シマじまガイド事業 年間利用者数:1,460人	(今後の展開方針) 事業利用者数:H30年:1,550人		
2	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ H33	良好なスポ・ツトレ・ニング環境の提供により観光と結びつけたスポ・ツコンベンションの誘致・開催を図るため、黄金森公園スポ・ツ施設の機能強化と受入体制等の整備を行う。	・芝生作業嘱託員:1名 ・Jリーグキャンプ等支援委託(町イメージ動画作成、町PRパンフレット及びグッズ作成、名古屋グランパス春季キャンプ受入に係る警備・テント設営・観客送迎バス運行等一式) ・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託 ・トレーニング室へのトレーナー配置 ・トレーニング機器保守点検	・陸上、サッカー等合宿利用者数:700人 [H27年度実績:約423人] ・Jリーグキャンプ見学者数:10,000人 [H27年度実績:約8,000人]	(今後の展開方針) ・スポーツコンベンション誘致活動を継続的に行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。 [H32年度合宿等利用者数:750人]		
2	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ H29	南風原町の特産品を通じた地域振興を図るため、町特産の農産品や琉球餅等を活用し、異業種間の連携を促進しつつ、本町特産品の良さを引き出すための調査・研究及び、本町特産品のブランド化を図るための組織づくりを行い、ブランド認証スキームを確立するとともに、南風原ブランドの新商品の開発、販路開拓を行う。	ブランド認証制度の構築・運用 販路開拓セミナーの開催:6回 28年度に認証した商品のPR 販路開拓、拡大、テスト販売:5回	南風原町ブランド認証:2件 セミナーへの町内事業者参画:15社 町広報誌、商工会会報誌、ホームページへのPR記事掲載5回以上 認定商品の周知拡大 販路先開拓数:2件 H27年度までに開発した商品の販売目標 マドレーヌ:450個×10ヶ月(4月～1月)=4,500個 (H27実績:4,500個(店舗販売)) 美瓜カレー:40食×5ヶ月(8月～12月)=200食 (H27実績:148食(店舗販売))	(今後の展開方針) 地域における商品開発・販路開拓は、これまでの活動における課題解消や商品の改良・改善を含めて販路拡大やテスト販売を試みる。また南風原町地域ブランドの定義を確定し、認証スキームを構築することで、地域ブランド推進事業(知的財産保護、活用等)を立上げ、更なる地域振興と地域経済への波及を画策する。		
2	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ H33	本町の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。特産品の販売等を行い、特産品の販路拡大、観光PRを実施する。 さらに、本町の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、イメージキャラクターを本町のPRツールとして活用する。	・イメージキャラクターによる観光PR活動(1年で100回) ・観光サイトの更新、SNSへのはえるん出演情報、観光情報の掲載 ・物産展の開催	・はえるん等利用申請数:70件 ・はえるんファンクラブ加入(延べ人数):1,200人 ・物産展来場者:15,000人 ・南風原町観光案内所の利用者数 7,000人(4月～3月の12ヶ月間)	(今後の展開方針) 物産展の定期的な開催。観光案内所の活用についてはホームページ・各種イベントの周知を行い、観光スポットへの案内や休憩所・物産販売所として運営していく。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		南風原町和牛改良支援事業	H27 ~ H33	農家の経営安定化に向け、仔牛の品質の向上により高値での出荷が行えるよう、系統の良い優良母牛導入経費の一部を支援する。	・優良母牛の導入支援	・今年度導入率:10% (H29年度:4頭導入予定)	(今後の展開方針) H27~H33累計40頭導入	
2		南風原町乳用牛改良支援事業	H28 ~ H32	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛の貸付頭数8頭/年	・今年度導入率:16.7% (H29年度:8頭導入予定)	(今後の展開方針) H28~H32累計48頭導入	
3		はえばるリサイクルループ事業	H24 ~ H33	町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。そこで生産された飼料で養豚を育て、生産したディーゼル燃料を車等に利用することで、食品廃棄物の有効活用を推進した食品廃棄物の循環を構築する。	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別し、飼料や肥料を生産することで、循環構築をはかり、生ごみ(家庭系)の年間資源化の増を目指す。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:45トン	(今後の展開方針) 生ごみ(家庭系)の年間資源化量 H30年度:80トン	
3		環境学習支援事業	H24 ~ H33	ごみ減量やリサイクルの重要性の意識の向上と、時代を担う子どもたちの環境倫理の醸成のため、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	・町内4小学校の4.5年生を対象に環境学習「買い物ゲーム」の実施。 ・実施回数:16回	・環境学習「買い物ゲーム」体験者数:471人 ・環境保全(ごみ減量やリサイクルの重要性等)に対する理解度:アンケートを実施し、学習体験者数の90%以上	(今後の展開方針) 環境学習「買い物ゲーム」体験者数(累計)H30年度:3,177人	
3		草木リサイクル事業	H24 ~ H33	草木廃棄物の循環利用を実施して、「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、活用する。	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増をはかる。	草木のリサイクル量(堆肥化):436トン	(今後の展開方針) 今後も町内から発生する草木をすべて資源化していけるよう効率的に事業をすすめていく	
3		低炭素社会事業(省エネ設備導入事業)	H27 ~ H30	省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の実現を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO ₂)の排出を抑制する。	443灯の防犯灯の設置	平成29年度の削減量:21.18t-CO ₂ /年	既設防犯灯の水銀灯や蛍光灯をLED灯への切り替えを行う。 平成30年度で残りの442灯の工事を行います。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		南風原町景観計画策定事業	H28 ～ H30	魅力ある景観形成を図るため、景観計画を策定する。今年度は、昨年度の基礎調査を踏まえ、ワークショップを開催し住民の意向調査を実施し、景観計画(素案)の検討・作成及び、景観計画の(案)の作成を行う。	・ワークショップの開催で住民意向の把握。 ・景観計画(案)の検討・作成。	景観計画(案)の策定完了	平成31年度の目標を以下の通りとする。 策定した計画について、南風原町景観審議会で大規模開発の適合チェック等(年1回以上)を行うことで、本事業を検証することとする。 (計画策定スケジュール) 平成30年度 景観計画書の策定	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
4		防災体制強化事業	H24 ～ H33	沖縄県は、大災害が発生すると、島しょ県であるため、孤立してしまう。そのため、町独自で食糧等の備蓄を行い、様々な災害に対応できるよう、防災体制を整える必要がある。	・備蓄品の購入 防災ブランケット	・目標備蓄数 650枚	H29年度は、生活必需物資不足分の購入	
4		災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ H33	台風等の自然災害による被害が多発しているため、災害や不発弾処理等非常時の避難施設の整備を行う。	避難所の機能強化工事(施設整備) 支援:1箇所	・避難所(区、自治会)の整備:36.8% (全避難所19ヶ所中7ヶ所整備完了)	(今後の展開方針) H33年度までに全19自治会を整備	
4		北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ～ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。	北丘小学校西側避難通路整備工事の実施	整備工事の完了	平成31年度の目標を以下の通りとする。 整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 (整備スケジュール) 平成30年度 整備工事・完了 供用開始	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
5		放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ H33	本町の補助対象学童クラブのうち、民間の賃貸住宅を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し学童保育料を減免した場合の補助を実施する。本事業により、子育て環境の整備、学童クラブ運営の安定化を図り、保育の質を高め、子ども達の安心・安全な放課後の居場所を作り、充実させることを目的とする。	(1)民間賃貸住宅を使用している学童クラブに対する支援の実施 (2)生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し学童保育料を減免した学童クラブに対する支援の実施	(1)民間賃貸住宅を使用している学童クラブに対する支援の完了(7か所) (2)生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し学童保育料を減免した学童クラブに対する支援の完了(82人)	(今後の展開方針) 今後も引き続き町内の補助対象の学童クラブに対し家賃補助を行い、同時に生活保護世帯及びひとり親家庭等学童クラブ利用支援補助を行い、保育の質を高め、子ども達の安心・安全な放課後の居場所作りを行う。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		幼稚園保育充実事業	H25 ～ H29	保護者の負担軽減を図るため、給食提供に必要な共同調理場及び幼稚園の備品等を整備する。	給食関係消耗品、備品の整備	給食提供に必要な共同調理場及び幼稚園の備品整備完了	平成30年度の成果目標を以下のとおりとする。 給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	1月変更 (事業追加)
6		陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ H33	平和学習の拠点である沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を推進するとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者をガイドが案内し、沖縄戦の追体験をとおりて平和と命の尊さを伝える。	開壕日数:308日	見学者数11,500人 (H28年度見込み 11,500人)	(今後の展開方針) H26年度に再現した戦中における壕内の臭気を用いて、視覚・聴覚・嗅覚を使った追体験で、より具体的に沖縄戦を学ぶ場として活用していく。	
6		子ども平和学習交流事業	H24 ～ H33	子どもたちが仲間づくりに努め、戦争や平和、差別や人権などについて交流や研修を通して平和について広く学習を深めることを目的に、子ども平和学習交流事業を行う。	・子ども平和学習交流事業参加者数(8人) ・事前学習、本研修の後その報告会を開催	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:95% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味をわいた児童:95%	・OB会との連携、事後学習の充実・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催など 平成24年度～平成28年度(各年度12人)、平成29年度～平成33年度(各年度8人) 累計112人(H27は24人)	
6		伝統芸能保存育成事業	H24 ～ H33	町内には数多くの伝統芸能があり、各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に対し支援を行うことで伝統芸能継承を推進する。	伝統芸能保存育成補助件数:3件	補助団体による伝統芸能上演等回数 51回	(今後の展開方針) 伝統芸能を後生に継承するために保存会、自治会と連携し保存、育成継承・記録していく。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ H33	南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化と歴史を学習させる。帰国後は自国の研修生仲間たちと連携し、移民の文化・歴史交流を推進するため南風原町とのパイ役として活動する。	・受け入れ国の数3カ国(南米3カ国ペルー、ブラジル、アルゼンチンのうち2カ国)及び米国ハワイ ・受け入れ研修生の数(4人) ・研修成果の報告会を開催	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:80% ・日本語をさらに習得したい:80% ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80% ・海外の子弟と交流ができてとても良かった:80% ・ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%	・各国の研修生が研修後もネットワークを作り、南風原町の若者たちと交流を深めるため、意見交換の場を設け、具体的取組について検討する。		
6	地域振興資料館整備事業	H27 ～ H29	地域の文化・芸能を展示、活用するための資料館を整備し、文化・歴史・伝統芸能の保全継承並びに文化資源を活用した地域振興を図る。	・津嘉山資料館建築に対する支援	・津嘉山資料館建築完了	(今後の展開方針) 資料館整備後は、郷土文化や歴史学習の場としての活用。また、避難施設としても防災活動と地域のコミュニティの活動を組み合わせ、地域の文化振興と防災力強化を図る。		
7	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ H29	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	・学童期における生活習慣病予防健診の実施(町内の小5、中2)	将来の生活習慣病予防に向けた、食生活や生活習慣を理解できた割合を80%以上とする。	(今後の展開方針) 生活習慣病の発症予防、重症化予防に向けて学童期生活習慣病予防健診の結果を含めた町の健康実態等について関係機関と情報共有し連携していく。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ H33	入域観光客数の増加を図るため、各種PR活動や情報発信及び外国人観光客の受入体制の整備を行う。	渡嘉敷村観光推進プロジェクト委託業務(企画コンペ) ・観光推進体制設立ロードマップ作成 ・観光振興計画策定(5か年) ・外国人受入指差し会話帳作成 ・多言語島内案内板5箇所設置 ・PRツール 渡嘉敷島MAP(日本語) 50,000部 " (多言語) 10,000部 PP袋 20,000部 PRうちわ 20,000部 PR活動への地域事業者派遣 ・マリンドIVINGフェア:2人 「沖縄・離島情報」広告掲載:20万部 「マリンドIVING」付録ポスター:10万部 外国語スタッフ(那覇事務所内):2名	年間入域観光客数:132,000人以上	(今後の展開方針) ・イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・とかしきマラソン参加者の安定確保のため、特色を前面に出したPRを展開する。 ・観光振興実施計画に基づく実績の評価(PDCA)を実施していく。 ・ホスピタリティ向上の為多言語人材の確保及び、観光関係事業者を対象に外国人受入対応セミナー等を実施する。	1月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う今後の展開方針等変更)	
1	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ H33	観光地としてのイメージアップを図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	花木植栽8箇所実施 美化清掃8箇所実施	花木植栽及び美化清掃により観光地として美しい景観を保つ	H33年まで継続実施し、本村のイメージアップに努める。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		渡嘉敷村観光施設整備事業	H26 ~ H33	観光客等利用者の利便性を確保するため、渡嘉志久トイレシャワー施設機能強化の実施設計及び渡嘉敷村青少年旅行村管理棟、多目的広場の機能強化工事を実施する。	渡嘉志久トイレ・シャワー施設機能強化の実施設計	渡嘉志久トイレ・シャワー施設機能強化の実施設計の完了	<p>供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>(整備スケジュール) 平成30年度 青少年旅行村管理棟機能強化工事 多目的広場施設の機能強化工事 渡嘉志久トイレシャワー施設機能強化工事 平成31年度 青少年旅行村施設バーベキュー棟整備及び青少年旅行村施設オートキャンプ場整備 平成32年度 青少年旅行村管理棟周辺整備 平成33年度 観光案内所休憩所整備</p>	1月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
1		渡嘉敷村観光振興事業	H24 ~ H33	修学旅行誘致・受け入れに取り組む村商工会の活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の誘致に係る提案資料(冊子、DVD)の制作 ・修学旅行誘致活動(県外旅行社17社及び高等学校3校訪問)(関東・関西での修学旅行フェア出展) ・県外旅行会社招聘2社 	修学旅行受入対応 13校 旅行社招聘 2社	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関東地区と関西地区の新規開拓に向けた取り組みを強化する。 	
1		観光情報配信事業	H28 ~ H29	観光客等の利便性を確保するため、観光情報等を港待合所等で効果的に発信できるようにデジタルサイネージを導入、また、予約システムと連動したクレジット決済可能な発券・精算システムを構築する。	観光情報発信用デジタルサイネージ導入(4台) 乗船券発券・精算(クレジット決済含む)システムの構築(H28導入の船舶予約システム端末と兼用)	観光情報発信用デジタルサイネージ導入完了 乗船券発券・精算(クレジット決済含む)システムの構築完了	<p>当該事業完了後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。</p> <p>利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。</p>	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		渡嘉敷村景観計画策定事業	H29 ~ H31	本村には豊かな自然や、歴史ある風景等が残されているものの、観光資源としての利活用が不十分であり、景観計画を策定し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	景観計画の策定に向けた基礎調査の実施	景観計画の策定に向けた基礎調査の完了	景観計画に基づく事業の実施後（平成32年度）の観光満足度調査において、村内の自然及び風景に対する評価「満足（景観が保全されている）」と回答した割合（80%以上）を含め、アンケート調査により、景観行政のあり方を検証する。 （計画策定スケジュール） 平成30年度：策定調査の実施 平成31年度：景観計画の策定	3月変更（計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針変更）
2		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から渡嘉敷島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差（沖縄本島を100とした場合の指数）の縮小	村民の島内での購買意欲、購買力向上に繋げる。	
2		自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ~ H33	離島においては、日常生活を営む中で、医療・教育・福祉関係で沖縄本島での車両利用の機会が増えており、離島住民の負担軽減を図るため、渡嘉敷港 那覇泊港間の車両航送利用者に対し、運賃の支援を行う。	自動車航送台数 軽自動車年間 200台 普通乗用車年間 200台	自動車航送運賃の低減による定住環境の改善	離島における生活環境のハンディが解消されることにより、定住促進に繋がる。	
2		渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ~ H33	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。	定期船欠航時のヘリコプターチャーター運賃の支援	チャーターヘリ利用者に対する運賃の負担軽減	・宿泊施設やHP、船舶予約窓口でのPRにより、利用客数の増加を図る。	
3		小学校学習支援員配置事業	H24 ~ H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、村立小学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置校 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との全体の平均正答率の差+8.6ポイント以上	（今後の展開方針） 引き続き、当該事業を実施することで、児童の学力向上を図る。	1月変更（計画変更に伴う事業内容、成果目標変更）
3		児童・生徒派遣支援事業	H25 ~ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会（県大会や全国大会等）に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。	各種スポーツ大会及び文化活動派遣 （小学校2校・中学校1校） 派遣児童・生徒数（累計）：227人	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%	（今後の展開方針） 引き続き事業を継続し、島外の人との競争や交流の機会を増やしていく。	1月変更（計画変更に伴う事業内容、成果目標変更）

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		家庭教育支援事業	H28 ~ H33	学校外において、沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備することで、学力の向上を図るため、Web会議システムを用いたオンライン双方向授業による学習塾を実施する。	小学校5年(国語・算数)80授業 小学校6年(国語・算数)80授業 中学校1年(数学・英語)80授業 中学校2年(数学・英語)80授業 中学校3年(数学・英語・国語)120授業 合計:440授業	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本村との平均点の差-8.4点以内とする。	(今後の展開方針) 引き続き事業を継続し、児童・生徒の学力向上を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
3		学校ICT活用指導支援事業	H28 ~ H29	学校においてICT機器を整備し、分かりやすい授業を行うことで、学校教育の質の確保を図る。	・タブレットパソコン36台整備(阿波連小学校21台、渡嘉敷中学校15台) ・電子黒板及び周辺機器整備3台(渡嘉敷中学校) ・学習支援ソフト整備(阿波連小学校、渡嘉敷中学校各4教科) ・中学校LAN整備 ・教師向け講習会 1回	児童・生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	(今後の展開方針) 整備されたICT機器を活用することで、学校教育の質の確保を図っていく。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
4		歴史文化資産保存活用事業	H29 ~ H31	戦跡等の歴史文化資料等を活用した平和学習等を行うことで、村民が学べる機会を増やすとともに、観光振興にも繋げるため、資料等を作成・保存する。	・歴史文化資産概要把握実地調査50カ所 ・聞き取り調査 50件	・調査票カードの作成(実地調査50ヶ所、聞き取り調査50件) ・村の立体模型の作成	調査終了後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・資料を活用した学習会(平和学習等)への参加人数50人 ・資料を活用し、平和学習等を実施した参加校数 修学旅行学校数3校 (事業スケジュール) H30年度:調査業務(各50件) H31年度:調査業務(各20件) 調査結果の公表	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		渡嘉敷村総合防災体制構築事業	H29 ～ H32	避難所台帳等の防災情報を整理し、ポータルサイト等で確認できるシステムを構築することで、観光客等が災害時に情報を確認し、素早い避難行動を取れるようにすることで、安全性を確保する。	・避難所台帳の作成 ・地区別防災カルテの作成 ・防災情報GISの構築	・避難所台帳の作成完了 ・地区別防災カルテの作成完了 ・防災情報ポータルサイトの構築完了	ポータルサイト構築完了後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 観光客等が参加する避難訓練時において、公開された防災情報を活用することで、安全性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	9月変更(成果目標) 1月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
5		避難道整備事業	H29	津波等の災害発生時に、避難に要する時間の短縮を行うため、避難道等の整備を行う。	波左間避難道路:L=130m整備工事 村道阿波連線東避難道路:L=13m整備工事 クミチジ山避難道路:L=68m整備工事	波左間避難道路の整備工事 阿波連線東避難道路の整備工事 クミチジ山避難道路の整備工事	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 避難訓練時における、避難完了時刻の20%短縮(避難に要する時間の短縮)20分以内 H29年度の訓練実績:24分	1月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
6		アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H31	広域連携(南城市、伊江村、渡嘉敷村)により、東アジア諸国の中・高校生を対象に、県内各地で約3週間の研修や共通体験等を通じ相互理解を深めることで、グローバル化に対応した将来を担う若者の人材育成と人的ネットワークの形成を図る。	研修プログラムの実施(約3週間)	国際感覚豊かな人材の育成(約50人)	実施期間で培った人材及びネットワークが活かされるよう展開していく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		座間味村観光産業活性化事業	H24 ～ H33					
1		座間味村海域安全隊事業	H24 ～ H33	村内指定の3ビーチにおいて、観光シーズン及び修学旅行シーズン中、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るため、ライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー員等の配置(6名) (7月、8月 8名) ・古座間味ビーチ 2名 ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月増員2名)	海水浴客等の海洋事故防止と安全確保	事業を継続し、海難防止と海難事故“ゼロ”を目指す	
1		座間味村ががんばる観光支援事業	H24 ～ H33	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内外周知活動、県外水族館等での誘致活動等を実施する。	各種イベントへの支援 県内外PRイベントの実施	・ヨットレース:参加45艇 500名 ・サバニレース:参加40艇 700名 ・アイラブ座間味参加者 500名 ・座間味島祭り 700名 ・ホエールウォッチングフェスタ 7000名 ・県外水族館等でのPR活動の実施	座間味村観光客入域数の増加に向け内容を改善しながら支援事業を継続する。 H33度目標:11万人 H23～27年:平均 83,059人	
1		座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ H33	外国人を含む観光客の誘客と満足度向上を図るため、村の観光の総合窓口となり様々な事業を実施する観光協会へ支援を行う。	・観光案内所開設365日(台風時等閉鎖) ・イベント等における観光客誘客活動年2回 ・観光事業者向けスキルアップ講座開催8回	・観光案内所利用者数延べ9万人(H27度8万5千人) ・観光従事者向けスキルアップ講座開催8回	座間味村観光客の更なる満足度を向上に向け内容を改善しながら事業支援を継続する。 また、前年度H33度目標11万人を達成したため、今後は受入キャパを議論しながら誘客活動を展開していく。	
1		座間味村景観計画策定事業	H29 ～ H31	座間味村の豊かな自然や歴史等の風景をいかした魅力的な観光地の景観形成に向けた景観計画を策定するため、基礎調査を実施する。	景観計画の基礎調査実施	景観計画基礎調査実施業務の完了	今後の展開方針 H30 景観計画の策定 H31 景観計画の実施調査	6月変更 (事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24～H31	村内に新たな拠点施設を整備することで、観光誘客と地域住民の福祉向上を図る。	外構工事の実施 (敷地造成、東屋の整備、案内看板の設置等)	外構工事の完了 (敷地造成、東屋の整備、案内看板の設置等)	供用開始後(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 観光客施設利用者数:7,500人 村民施設利用者数:2,850人 (今後のスケジュール) 平成29年度 外構工事 平成30年度 本体工事 平成31年度 設備工事	12月変更 (事業追加)	
1	座間味村観光道路美化整備事業	H29	観光客や地域住民が安全に歩行できるように道路環境を整備することで、利便性を確保する。	ハゼノ木の伐採	ハゼノ木の伐採完了	供用開始後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 利便性が確保がされている(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	12月変更 (事業追加)	
1	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29～H33	村内に点在する戦跡や石碑等の環境整備を行い、平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図る。	転落防止柵、進入路、手すり、案内看板設置及び雨天時対策並びに周辺整備を行うための実施設計書の策定	転落防止柵、進入路、手すり、案内看板設置及び雨天時対策並びに周辺整備を行うための実施設計書の策定完了	供用開始後(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 修学旅行学校数 20校 (今後のスケジュール) 平成29年度 座間味島内の実施設計書策定 平成30年度 座間味島(平和の塔)整備 阿嘉・慶留間島内の実施設計書策定 平成31年度 阿嘉島(シジ山、前浜、秘匿壕)整備 平成32年度 慶留間島(小鳩の塔、世界平和記念碑、秘匿壕)整備 平成33年度 座間味島(昭和自衛隊の碑、忠魂碑、躑躅の塔、集団自決の碑)整備	12月変更 (事業追加)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			座間味村農林水産業振興事業	H24 ~ H33					
2			座間味村鮮魚美食事業	H24 ~ H29	村内における漁獲物の付加価値向上と、地産地消の推進、また座間味島・阿嘉島の両鮮魚直売所間の連携強化と商品流通を促進するため漁協の取組を支援する。	地産地消の推進と直売所の強化 賃金2名 備品の購入 ホットロースター 1台 電熱煎餅焼機 1台	鮮魚直売所の売上 9,500,000円 27年度直売所売上 8,403,211円	観光客や住民に地元産の鮮魚や加工品を安定的に提供し、漁業者の経営安定を目指す。	
2			座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24 ~ H33	サンゴ礁海域の回復に向け、サンゴの種苗の生産と育成、海への植付を行う人材の育成及び施設運営の支援を行う。	・技術者育成 1名 ・種苗センター運営 12ヶ月	・種苗生産の拡大(2,500本) ・サンゴが減少している海域への植付(3回)	サンゴが減少している海域に育成した種苗を継続で植付し、種苗販売の体勢が整い植付ダイビングが実施できるまで支援を継続する。	
3			座間味村定住条件整備事業	H24 ~ H33					
3			座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ~ H33	フェリーや高速船の欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性を確保する。	村営船舶航路欠航時等によるヘリコプターチャーター支援の実施	フェリーや高速船の欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保された(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	関係機関との連携により事業の効率化や利用度向上を図る。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
3			座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ~ H33	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島、座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。	自動車航送運賃を低減するための支援の実施	支援台数 490台(H27年度実績395台)	定住促進のために、経済的、精神的負担を軽減し住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。	
3			座間味村離島食品・日用品輸送費等支援事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から座間味村へ輸送される食品や日用品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品・日用品の輸送経費の補助	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小(参考)H27指標:127.7 H28指数:124	対象となる品目の拡充の検討していく	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		座間味村救急対応車両整備事業	H29	救急対応車両を導入することで、地域住民や観光客の安全性の確保を図る。	救急対応車両の導入	救急対応車両の導入完了	供用開始後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。家族や付添人に対して、安全性が確保されていた(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	12月変更(事業追加)
3		IP防災戸別受信機設置事業	H29	防災無線の放送が聞こえない難聴世帯等を対象に、戸別受信機を整備することで、防災体制の向上を図る。	戸別受信機の設置50台	戸別受信機の設置完了	供用開始後(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。防災訓練時に機器を整備した世帯の住民が避難場所へ避難してきた割合 100%	12月変更(事業追加)
4		座間味村外来植物討伐事業	H24 ~ H33	座間味村らしい景観の保全や観光地としての安全性確保のため、村内に自生する外来種(モクマウ・ギンネム等)の抑制を図る。	委託事業の実施(座間味地区、阿嘉・慶留間地区予定) 6月~2月、1月平均18人体制	外来植物の討伐(村内一円) ・それぞれの地区において討伐本数年間500本以上	観光地・道路周辺への対応はだいぶ対応ができていますが今後は山間部に点在する討伐を実施(現地への進入路の確保や、安全性への配慮のための下草刈を実施しながらの作業が必要である。また今後は薬品注入を中心に討伐を展開)。	
5		教育環境充実事業	H28 ~ H33	児童生徒を対象とする家庭学習支援のため、Web会議システムを用いたオンライン双方向事業を行う「村営学習塾」を開設する。	オンライン授業の実施 資金職員 4~6名 講師派遣 2名	学習塾利用児童・生徒数:35名(全児童生徒50名中)	平成33年度まで継続し、レベルの高い高校進学を目指す。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				1	観光受入支援・整備事業			
		環境美化促進事業	H24 ~ H33	観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線 ・備品の購入	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	(今後の展開方針) 引き続き景観形成に係る取り組みを行う。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
		景観計画策定事業	H28 ~ H30	「粟国島」の豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向け、景観計画の策定等に取り組む。	・景観計画(案)の検討 (景観計画区域及び行為の制限等の検討等)	景観計画(案)の策定	(今後の展開方針) H30年度 景観条例の制定 景観ガイドラインの作成 H31～H33年度 景観計画に基づく事業の実施	
		大正池公園機能拡充事業	H27 ~ H29	野鳥観察ができる観光スポットとして機能拡充のため、階段、通路、野鳥観察施設を整備する。	・野鳥観察設備の設置 2箇所 ・木道・浮き桟橋の整備	・野鳥観察設備の設置完了 2箇所 ・木道・浮き桟橋の整備完了	(今後の展開方針) ・H30年度：供用開始	4月変更 (事業追加)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

栗国村		計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
	照喜名原地区整備事業	H27 ～ H30	栗国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウ・グの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	・照喜名原地区の保全・整備実施設計の実施	・照喜名原地区の保全・整備実施設計の完成	(今後の展開方針) ・H27年度:整備基本計画の策定 ・H28年度:整備計画に基づき基本設計 ・H29年度:実施設計 ・H30年度:整備工事 ・H31年度:供用開始 照喜名原地区を訪れる観光入域客数: 約1300人(30年度)観光入域客数 (H26:3965人)の3割	9月変更 (事業追加)
2	教育振興事業	H27 ～ H33					
	国際交流支援事業	H27 ～ H33	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材の育成を図るため、村内の中学生の海外短期留学を実施する。	・海外ホームステイ生徒派遣 5名 ・報告書作成:20部	・ホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業等への取組姿勢などが向上したと答えた割合が80%以上 ・英語検定受検者の増加 平成29年度英検受検を生徒の70%が受検(平成29年1月現在受検者15人 全生徒の53%が受検)	・派遣予定数 H33年度まで各年度5名	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		学力向上支援事業	H27 ~ H33	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	・8月～翌年3月まで、月100コマの村営塾の実施	・島内の生徒の学習環境の充実 ・村営学習塾(中1～中3)受講率 平成29年度50%以上 (平成29年1月現在50%)	(今後の取組) 全国学力調査結果で県平均を上回る状況を継続する。	6月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
		児童・生徒派遣支援事業	H27 ~ H33	離島の児童・生徒の島外の大会、教育活動への参加の機会を確保するため、児童・生徒の島外派遣を支援する。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	・島内の児童生徒の島外での諸教育活動への参加機会の確保:100% (県外諸教育活動への要望全部への支援)	(今後の取組) 児童生徒の派遣を今後も継続し、村外での教育活動を通じ、交流活動を続けていく。児童生徒の生きる力を育む	
3		定住条件整備事業	H27 ~ H33					
		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援実証を実施する。	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:132程度	(今後の取組) H29～H33: 沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
		粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ~ H33	島民及び観光客の交通手段を安定的に確保するため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・航空路線の運航日以外の島民及び観光客のチャーターヘリ利用料金支援	・定期航空路が運行しない日の島民及び観光客の移動手段の確保	(今後の展開方針) 週7日の定期航空路が再開するまで事業を継続する。	
4		環境衛生処理事業	H28 ~ H29	循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。	・生ごみ処理機・粉碎機の設置 1基 ・生ごみ処理機の建屋の整備 150m ²	・生ごみ処理機・粉碎機の設置完了 ・生ごみ処理機の建屋整備完了	(今後の取組) ・生ごみ処理機の設置及び生ごみ処理体制の確立を行い、平成30年4月より稼働する。ごみの削減と堆肥による村内環境美化活動を推進する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ H33	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性を確保する。	観光客及び住民 (フライト実施に係る支援回数40回)	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	(今後の展開方針) 引き続き事業を実施し、利便性の確保を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)	
3	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童生徒に対し、派遣費等の補助を行う。	小中学生の教育諸活動及び交流学習に係る支援の実施 ・スポーツ大会参加 (小学生24名、中学生37名) ・文化発表会等 (小学生17名、中学生10名) ・交流学習 (小学生17名、中学生10名)	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	(今後の展開方針) 引き続き事業を実施することで、人数の多い学校での交流学習や沖縄本島地区での大会へ参加することにより、多くの児童・生徒と交流する機会を増やす。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		南大東村定住促進事業	H24 ~ H33					
		健康診査用機材搬送事業	H24 ~ H33	住民健診が安定的に実施できる環境を整えることにより定住促進を図る為、特定健診等の集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島渡航費を支援する。	1. 集団健診機材の海上輸送運賃の支援 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	集団健診受診者数:360人(集団健診対象者数の41.0%)	(今後の展開方針) ・平成29年度以降受診率を維持する。	
		専門病院受診渡航費助成事業	H25 ~ H33	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の渡航費を支援する。	専門病院受診渡航費助成の実施	渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費支援を要望する人への支援率100%) 支援人数見込200人	(今後の展開方針) 経済的な事情により、受診を遅らせたり、見送ることが無く早期治療により、重篤化防止に繋がりが安心した生活ができる。	
		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小(参考)H23指標:142.5	(今後の展開方針等) H30~H33:沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
		南大東村遺体安置設備整備事業	H29	島内で死亡事案が発生した際に、検視関係者又は遺族が来島するまでの間、遺体安置に係わる業務の作業効率及び適切な保管管理を図り、離島の不利性を解消するため遺体用保冷库及びコンテナの整備を行う。	・遺体保冷库及びコンテナの整備	・遺体保冷库及びコンテナの整備完了	平成30年度の成果目標を以下のとおりとする。 遺体の氷詰めに係る業務の効率化(75h/年 0h/年) (今後の展開方針等) 島内で死亡事案が発生した際に、検視関係者又は遺族が来島するまでの間、遺体安置に係わる業務の作業効率及び適切な保管管理を図り、離島の不利性を解消する。	12月変更(事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	南大東村観光振興事業	H24 ~ H33						
	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ~ H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)	観光客を対象に観光地やアクセス道路について、アンケートによる美化満足度調査(満足度70%以上)	(今後の展開方針) H30年度以降継続的に美化清掃・植栽を行い、観光地としての魅力向上を図る。	9月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	
	大型クルーズ船観光魅力発信支援事業	H28 ~ H29	島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信の為、大型クルーズ船の寄港を誘致する。	・島内観光(船11隻、レンタカー15台)の実施 ・郷土芸能体験(司会1名、芸能4組)の実施	来島者数:350名 (乗客300名、クルー50名)	(今後の展開方針) ・H29年度以降継続的にクルーズ船誘致を行う。		
	星野洞機能強化整備事業	H29	星野洞は、神秘的な空間が広がる島一番の観光施設であるが、洞内の照明施設は、鍾乳石に悪影響を及ぼす照明であることから、全てをLED照明に取替えて学術的にも貴重な鍾乳石の環境保全と観光振興を図る。併せて、入洞扉を強化整備すると共に専門家への鍾乳洞診断を委託する等、洞窟全体の機能強化を図る。	・設計の実施 ・星野洞機能強化工事の実施	・設計の完了 ・星野洞機能強化工事の完了	(今後の展開方針) 島一番の観光施設である星野洞の機能強化を実施することにより、H30年度以降も主要な観光資源として活用し、平成33年度には年間入洞者数2,400人を目指す。	9月変更 (計画変更に伴う事業内容、今後の展開方針等)	
3	南大東村人材育成事業	H25 ~ H33						

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		人材育成派遣事業	H25 ～ H33	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施	派遣費支援実施による離島苦の改善(派遣費支援を要望する人への支援率100%) 支援人数見込119人	(今後の展開方針) 英語分野では、基礎となる単語や発音など、正確何学習し基礎学力にも繋げる。 体育関係では、日頃の基礎練習と大会に向けての体力と精神を養う。	
4		南大東村農林水産業整備事業	H29 ～ H33					
		南大東村テリハボク高度活用プロジェクト事業	H29 ～ H30	南大東島では、テリハボクは古くから防風林・保安林・農地防風林として植栽され台風等の風や塩害から島を守ると共に島の景観にも溶け込んでいる最も重要な樹木である。そのテリハボクが資源(オイルや薬用油)として高度活用できることが言われており島の特産品としての活用方法の調査を実施する。	・テリハボクの地域資源調査の実施	・テリハボクの地域資源調査の完了	(今後の展開方針) ・H31年の事業化に向けて調査する。	
		南大東村移動式大型クレーン車整備事業	H29	南大東村では、船を陸地より吊り上げ下げをして漁に出ているため、急変する海上気象条件に厳しい南大東島の現状に対応できる機動力のある大型クレーン車の導入を行い漁家の発展と今後の水産振興を図る。	・大型クレーン車の導入	・大型クレーン車の導入完了	(今後の展開方針) 大型クレーン導入に伴い稼働率が上がることから漁師の出港も増え、安心、安全な漁を行うことができる。	
5		南大東村防災体制強化事業	H29	本村の地域特性から大規模な自然災害に備え避難者等に対し、防災備蓄品等を供給できるよう整備する。又、海岸沿いの人工プール進入路入り口にゲートを設けて、住民や来島者の安全を確保し防災体制を強化する。	・住民の非常用物資・資機材等の整備 ・海岸進入禁止ゲート設置 ・搜索備品の整備	・非常用物資・資機材・備品等の必要分を100%整備 ・海岸進入禁止ゲート設置完了 ・搜索範囲の増16万㎡	平成30年度の成果目標を以下のとおりとする。 海岸における水難事故件数0件 (今後の展開方針) 平成30年度以降も南大東村地域防災対策を柱に、各種防災対策を講じ村民、来島者等の安全安心等の確保に努める。	12月変更 (事業追加)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		魅力的な観光地づくり促進事業	H24 ～ H33					
1		地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成するとともに、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・大東太鼓担い手育成練習回数(延べ数):9～10日/年 ・演奏備品購入:太鼓(1台) ・文化交流イベントの開催:5回(県外:1回・県内:2回)	・文化資源の担い手育成数:1人 ・文化交流のイベント演奏参加者数:40人(延べ人数)	(今後の展開方針) 文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続	
1		観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:清掃員2名	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m	(今後の展開方針) ・修景及び美化の実施雇用を最終年度まで継続	
2		オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ H33	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消する為、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。	・オンライン双方向授業講師:10人 ・オンライン双方向授業受講生徒:35人	・平成29年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 小学校 県平均以上 ・3年生:国算 ・4年生:国算 ・5年生:国算理 ・6年生:算 中学校 県平均以上 ・1年生:数 ・2年生:国数理社英	(今後の展開方針) 学力向上と教育環境格差の解消を継続	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
3		定住条件特別対策事業	H24 ～ H33					
3		離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ H33	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。また、村営塾を充実させるため、学習支援員を配置する。	・幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:2人 ・学習支援員の配置:1人	・預かり保育を利用する園児数:15人 ・村営塾受講者数:35人	(今後の展開方針) 預かり保育・特別支援・学習支援配置を継続	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			離島の児童の交流促進事業	H24 ～ H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進するため、スポーツや交流学习における渡航費の支援を行う。	・渡航助成の実施	・スポーツや交流学习等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	(今後の展開方針) スポーツや交流学习派遣を継続	
3			離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ H33	離島の不利性を克服し、妊婦・特定重病患者等の健康を守るため、妊婦検診や島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の支援を行う。	・妊婦検診助成の実施 ・特定重病患者の検診助成の実施	・妊婦検診助成回数(延べ数):40回 H28年度:5回/1人 ・特定重病患者(延べ数):45回	(今後の展開方針) 妊婦検診の際の渡航費・滞在費助成を継続	
4			北大東村景観形成事業	H26 ～ H33	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:700m	・村一周海岸道路の植樹環境整備 工事の完了:700m(累計:3,500m(進捗率 38.9%(全長 9,000m)) 雑木伐採等の完了:700m(累計:3,500m(進捗率 38.9%(全長 9,000m))	(今後の展開方針) ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる	
5			北大東村防犯・安全景観整備事業	H27 ～ H28	島を訪れる観光客や車両運転手・歩道歩行者等から街路灯・歩道照明の不足が指摘されており、防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明の設置整備を行う。	・島内主要道路・歩道の街灯照明設置:街路灯:54箇所工事の実施	・島内主要道路の街路灯・歩道照明設置の完了:26,000m	(今後の展開方針) ・主要道路の街路灯・歩道照明を設置し、防災・防犯・安全や景観整備し、車両運転手・歩行者の利用に繋げる	
6			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から北大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:124.1 H28指標:124.0	沖縄本島から北大東島へ輸送される食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
7			北大東村コミュニティ施設周辺整備事業	H27 ～ H30	北大東村内で毎年行われる祭り行事において、県内・県外から、多くの関係者や観光客が訪れている。水産・観光業の発展を図る近隣場所として、歴史継承や文化的景観の保全・活用の為、コミュニティ施設周辺整備を行う。	・大東宮備品格納倉庫(38.88㎡)・櫓の整備 ・大東宮周辺整備工事の実施 ・秋葉宮周辺整備設計の実施	・大東宮備品格納倉庫(38.88㎡)・櫓の整備完了 ・大東宮周辺整備工事の完了 ・秋葉宮周辺整備設計の完了	(今後の展開方針) ・施設周辺の備品格納倉庫・境内園路・観覧席・櫓等を整備し、産業・観光振興への観光誘致に繋げる	9月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		北大東小中学校ランチルーム整備事業	H29	北大東小中学校は児童生徒数約60名の小規模校であり、昭和58年度完全給食開始以来、全校生徒・教職員が調理場併設のランチルームで給食を実施している。地域特有の教育観光構築に向け、児童生徒の豊かな心を育み、教育の資質向上へ繋げる為、運営システムの改善に伴い、改築整備を行う。	・ランチルームの整備:設計の実施 ・ランチルームの整備:監理・工事の実施	・ランチルームの設計完了 ・ランチルーム監理・工事完了	(今後の展開方針) ・ランチルームを整備し、安心安全な給食運営・児童生徒・教職員のコミュニケーション向上と食育向上が図られる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
パ	細				H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H29事業内容					
1			伊平屋島観光商工業活性化事業	H24 ～ H33						
1			商工観光産業支援事業	H24 ～ H33	伊平屋島の安住を支える重要な産業である観光を振興するため、協会への支援を通じ、受入体制の強化、村内への誘致活動、各種イベントの開発能力の向上を図る。それにより、リピーター及び新規顧客の獲得による観光消費額の増大を図る。	・業務研修(旅館業務取得民家42民家) ・人材育成講座開催(10回) ・集客誘致活動(県内40回、県外3回) ・マリン体験プログラムの実施	・業務研修および人材育成講座による観光客受入体制の改善 ・教育旅行誘致 4校 ・マリン体験プログラム実施	・地域資源を活用した商品・サービスの開発と販売 ・各種プログラムの品質管理、安全管理 ・行政への企画提案と情報共有 ・国・県等からの外部資金調達等 ・島外における誘客活動推進		
1			観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	環境美化作業員16名	観光アクセス道路の美化清掃:29.5km 観光関連施設の美化作業 18カ所	(今後の展開方針) H33年度:観光客数3万人		
1			誘客イベント推進事業	H24 ～ H33	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用した、イベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、伊平屋村の認知度を高め、入域観光客数の増加を図る。	・イベント開催委託 9件 ・イベント開催支援 4件 ・観光コーディネーター 1名	「対象イベント等誘客数 8,296名」 (平成27年度8,026名 入域観光客数2,4,5,7,10月入域観光客数より算出) 「キャンプツアーを含む誘客受入体制の構築」	入域観光客数を毎年、前年度比1%増を目標とし、H33年には21,000人をを超えることを目標としている。		
1			海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ～ H29	村のキャンプ場として位置づけられる米崎海浜公園の利便性、快適性の向上や良好な景観形成に向け、公園内の植栽をおこなうと共に島内の緑化推進に向け、中核となる人材の育成を図り、村民参画による島内緑化推進体制の整備を行う。	フクギ等植栽 1,700本程度 視察研修、植栽実施研修の実施	・植栽木の成長により、緑陰機能の回復が図られ、利便性、快適性の向上 ・村民参画による緑化推進体制の整備	(今後の展開方針) 平成28年度:供用開始 H33年度:観光客数3万人		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
					1	公園修景等整備事業			
2	伊平屋島農林水産業振興事業	H24 ～ H30							
2	病害虫防除事業	H24 ～ H30	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収穫量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	防虫剤(フェロモン剤)散布:160ha	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産量の安定化 H23年度 1,758t H30年度 4,900t	(今後の展開方針) さとうきび反収量 目標値(H33年度):4.0t 基準値(H23年度):2.2t			

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ H30	本村の畜産業の振興を図る為、計画的に優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛繁殖農家へ導入費用の一部を助成することで肉用牛の増頭と飼育農家の経営安定化を図る。	優良繁殖雌牛導入頭数 14頭	H29年度導入 14頭 全体計画の80.6%完了	(今後の展開方針) H26年度:15頭 H27年度:15頭 H28年度:14頭 H29年度:14頭 H30年度:14頭 を年次的に導入する。		
2	伊平屋村農業用資材(堆肥)供給施設機能強化事業	H28 ～ H29	農堆肥活用による農作物の生産性の向上と村内環境保全を図るため、村内家庭や飲食店等からの生ゴミ、自然災害等により発生する雑木、雑草等の資源の有効利用を図り、安定した質の良い堆肥の生産を実現する為、既存堆肥センターの施設機能の整備、堆肥製造に必要な不可欠な各種機械等の機能強化を図り、堆肥の安定的な生産と堆肥利用による本村農業の振興発展と村民の生活環境の保全を図る。	堆肥センター機能強化工事実施 堆肥センター施設備品購入実施 堆肥センター機能強化工事監理業務の委託	堆肥センター機能強化工事完了 堆肥センター施設備品購入の完了 堆肥センター機能強化工事管理業務の完了	(今後の展開方針) H30年度:施設機能強化完了に伴い施設の運営に関する条件整備し実施する。		
2	新伊平屋村製糖工場建設工事	H29 ～ H31	伊平屋村の製糖工場は、築52年が経過している為、老朽化が著しく品質低下の恐れがある。平成29年度より沖縄県含みつ糖製糖施設近代化事業で建物・設備等を設計施工を実施し、それに併用して、沖縄県振興特別推進交付金(特別枠)を活用して施設整備を行い工場の機能の向上と伊平屋村さとうきび振興の強化を図る。	調査設計業務の発注 造成工事(一部)の発注 工事施行管理業務の委託 施設用地の購入	調査設計業務の完了 造成工事(一部)の完了 工事施行管理業務委託の完了 施設用地の購入完了	(今後の展開方針) H30年度:施設プラント工事・建築工事実施に伴う外構工事実施 H31年度:施設プラント工事・建築工事実施に伴う外構工事実施		
3	伊平屋島人材育成強化事業	H24 ～ H33						
3	伝統文化継承支援事業	H24 ～ H33	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。	伝統文化教室の開催:18教室/11回 島内芸能保存団体補助:8団体	伝統文化教室の参加者数:100名 伝統芸能保存活動及び後継者育成・地謡(三線)継承者の育成5名 第2回いへや芸能まつりの開催	(今後の展開方針) 伝統芸能保存活動の継続による後継者の確保に向けた活動の継続		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	村立幼稚園での特別支援が必要な園児に対し特別支援員を配置するとともに、中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象に学習支援員を配置し、授業のサポートや課外学習として、中学3年生を対象に村営塾を開講し個々にあったきめ細かい学習支援を実施する。	○幼稚園特別支援員の配置1名 ○小学校特別支援員の配置1名 ○学習支援員の配置3名	○学力テストにおける無回答者の減少 ○幼稚園教育における個々の学習環境の充実	(今後の展開方針) H25年度～H33年度 安定的に中学生への学習支援を実施する。		
3	英語学習支援事業	H25 ～ H33	グローバルな時代に適應できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を推進する。	・海外短期留学(アメリカ) : 3名 ・イングリッシュキャンプ : 20名	○英語検定合格者の増加 ・留学終了後のムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ○島外英語スピーチコンテストへの派遣:3名	(今後の展開方針) H25年度～H33年度 海外短期留学 3名 サマ-キャンプ 20名		
3	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ H33	村外で実施されるスポーツ大会や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域での各種体験をとおし、児童生徒の健全な育成を推進するため、派遣費用を助成する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加 小学校 : 5回 中学校 : 6回 ・対象児童生徒 小学校 : 児童97名 中学校 : 生徒47名	補助の実施による保護者の経済的負担の軽減	(今後の展開方針) 毎年10回程度の派遣助成をする。 また、実績に応じた助成等も行っていく		
3	学校ICT推進事業	H27 ～ H29	小・中学校の教育用パソコン、電子黒板等のICT環境を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに「分かりやすい授業」を実践し「確かな学力」を定着させ、将来を担う人材育成を推進する。	伊平屋小学校電子黒板等の整備 ・電子黒板:8台	○学校ICTの推進による教育環境の充実 ○わかりやすい授業の推進	(今後の展開方針) H27年度～H29年度 ・電子黒板等導入		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ H30	島の活性化に欠かせない人材育成を中学卒業までの間に米やサトウキビ等島内産の特産品を活用した商品開発、沖縄本島での様々な職種に触れる実践及び経験等を交え、島での産業発掘をテーマに起業する力を身につけさせる。	・特産品のモデル設定・商品開発 ・パッケージデザイン決定 ・商品の発表会 ・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座 起業家人材育成中学1年生17名 中学2年生17名 計34名	・プレゼン力の向上 ・パワーポイント活用者中学1,2年生生徒34名 発表会開催(生徒による、パワーポイントを活用した発表)	・島内での起業展開意識の萌芽 ・村内資源の再認識		
4		伊平屋島定住条件整備事業	H24 ～ H33						
4		幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ H33	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	嘱託保育士の配置:1名	預かり保育対象児童数:6名	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4		慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業	H25 ～ H33	島内に無い専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	慢性疾患児童等通院時渡航を支援する。48回	専門医通院治療に係る住民負担の軽減	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4		ウェルネスいへや推進事業	H27 ～ H33	高齢化社会や地理的要因から生ずる医療格差に対応するためには、病気がかからない予防対策が非常に重要である。 そこで、健康づくりは自ら行い、地域で支え合う環境を整備するため、各字公民館にフィットネスプログラム映像機器設置(CG映像を活用した運動メニューの提供)と健康教室を開催する。	・フィットネスプログラム映像機器を5集落に設置 ・フィットネスプログラムを活用した健康教室の開催 年間28回	・住民健診の受診率の向上 H26年度 59.9% H29年度 65.0% ・1人当たりの運動習慣の向上 H26年度 41% H29年度 55%	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	住民健診フォローアップ推進事業	H27 ～ H33	住民健診の結果により、がん検診等において精密検査となった者やメタボリック・シンドローム及びその予備軍を対象とした二次健診の受診に掛かる渡航費を支援する。	住民検診等による精密検査等再検査の渡航費支援 50人	精密等未受診率の減 H27年度 未受診率 51% 平成29年度 30%	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4	地域自立支援推進事業	H24 ～ H29	行政と住民が協働して行う島づくりの体制の構築に向けて、地域が自主的に考え取り組むためのワークショップ開催を支援する。	行動計画の実施及び成果確認 (ワークショップ10回)	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化 作成した行動計画の着実な実施	(今後の展開方針) H28 ワークショップの開催・講演会の実施 H29 ワークショップの開催・講演会の実施 地域住民の参加率 H29 5割		
4	集落環境整備事業	H25 ～ H29	地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを促進するため、住民協働による、清掃活動、拝所の修繕、危険箇所対策等主体的な取り組みについて支援する。	実施計画 1. 地域住民による美化・緑化活動 (集落内公園等や集落道の環境及び美化作業) 2. 地域住民による集落景観の保全、危険箇所の改善(集落内の排水路、不在住宅及び敷地の補修等) 3. 地域文化の保全、社会教育活動の推進(豊年祭、スポーツイベント等) 4. 地域住民による、自助、協助、公助の推進に係る取組(上記1.2.3関連) 5. 地域防災体制の構築に係る取組(地域防災計画に基づく点検作業)	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化 作成した行動計画の着実な実施	(今後の展開方針) 計画に基づき計画的な地域環境等の整備の推進 活動への地域住民の参加率 H29 5割		
4	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を支援し、定住環境の改善を図る。	自動車航送運賃の低減 H29年度:年間5496台(H27年度: 4,570台)	車両航送運賃の補助による定住環境の改善	自動車航送運賃の低減による定住環境の改善 H33年度目標 年間 5,520台		
4	不法投棄未然防止事業	H28 ～ H29	島内に産業廃棄物等の処理施設を保有していない事から不法投棄が多く、島の観光産資源である自然環境維持保全と生活環境の改善を図るため、その回収処理を進め、環境回復と観光産業の振興に資する。	・不法投棄根絶協議会設立 ・法投棄物回収及び処理業務の発注	・不法投棄根絶協議会設立活動開始 ・不法投棄物回収及び処理業務の完了	新たな不法投棄の未然防止及び廃棄物ゴミの減量化を目指す。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			生ゴミ等循環型資源活用事業	H28 ～ H29	本村における生ゴミの処理は、一般可燃物と混合回収または集落前海岸への埋設又は投棄されており、海浜の環境衛生悪化及びゴミ焼却施設のコスト負担増の要因となっているため、環境保全啓蒙活動と処理システムの整備による環境改善を図る。	・生ゴミ等処理に係るワークショップ開催 ・分別・回収のフィールド実証 ・啓蒙活動に係る講演会の開催	・生ゴミ等処理に係るワークショップ開催による村民の意識向上 ・分別・回収のフィールド実証による効果の把握 ・啓蒙活動に係る講演会開催による村民の意識向上	(今後の展開方針) ・H29年度事業(農林水産課管轄)堆肥センター機能強化事業の生ゴミ処理機導入計画とのタイアップをはかり、生ゴミの堆肥有効利用により、循環型資源活用サイクルの定着化	
4			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から伊平屋島、野甫島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 (参考) H27指標:128.9 H28指数:128.9(事業開始後)	・H28～H33 沖縄本島から伊平屋島・野甫島へ輸送される食品や衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る	
4			障がい者自立支援事業	H25 ～ H29	障がい者自立支援施設開設に向け、障がい者支援サービスの検討並びに就労支援に向けた環境づくりを行ないながら、障がい者自立支援施設の整備をおこなう。	・障がい者能力調査及び支援プログラムの策定 管理積者配置1名	・障がい者能力調査及び支援プログラム策定完了 管理責任者 1名	(今後の展開方針) ・障がい者自立支援施設整備 ・就労支援施設開設及び運営活動の開始	
5			伊平屋島「災害に強い村づくり」推進事業	H25 ～ H29					
5			伊平屋島災害時避難施設整備事業	H26 ～ H29	台風などの災害時に住民・観光客等が避難する避難指定場所のライフライン等の機能強化により、避難者が安全に安心して避難できる施設の整備を図る。	村内避難施設の空調設備工事実施(2箇所)	村内各避難施設の空調設備工事完了(2箇所)	供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 村内各避難施設(2箇所)の避難者のうち、温度・湿度が原因での救急搬送者数 0人 (今後のスケジュール) 平成29年度 空調設備工事 平成30年4月 供用開始 (今後の展開方針) 村内避難施設の基盤整備	12月変更(計画変更に伴う事業内容変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊是名村		計画 期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
1	伊是名島観光振興事業	H24 ～ H33					
	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ H33	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈作業や花壇等の環境整備を行い、花木の植栽など美化活動を行う。	観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽、肥培管理の実施 まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワロード(4カ所)、観光施設等(5カ所)	美化緑化により観光客受入態勢の構築 美化緑化整備箇所:16カ所	入域観光客数 平成34年度:43,000人	
	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ H33	本村の魅力を発信し、観光客の誘客を図るため、いげな尚円王まつりにおいて、各字・島外文化交流、マリレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラム等を実施する。	いげな尚円王まつりの開催支援	いげな尚円王まつりの来場者数:2,000人 (参考 H28来場者数:1,040人)	まつり来場者数 平成33年度:2,500人	
	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ H33	魅力ある歴史の島づくりを進め、更なる誘客による観光振興を図るため、PR活動を行う一方、尚円王に関する史跡等の整備・復元を行う。	・みほ所修復工事 ・旧蔵品修復・復元業務 ・玉御殿保存修復整備設計業務	・みほ所修復工事の完了 ・旧蔵品修復・復元の完了 ・玉御殿保存修復整備実施設計完了	入域観光客数 平成34年度:43,000人	
	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ H33	観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。	ドラックレース大会の開催:2回 スーパードリフト大会の開催:2回 ジムカーナ大会の開催:3回	ドラックレース大会来場者数:160人 スーパードリフト大会来場者数:160人 ジムカーナ大会来場者数:240人	規模を徐々に拡大していき、モータースポーツのメッカとしての地位を築くことで観光誘客に繋げていく。	
	いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26 ～ H33	観光誘客を促進するため、伊是名村・伊平屋村・今帰仁村の三村交流連携事業である「いいな運天港いちゃり場まつり」を支援する。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施による三村の交流 来場者数:1,200人	伊平屋村・伊是名村・今帰仁村、三村の広域連携事業として、継続して開催していく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体を支援する。	景観形成への支援 団体支援 5団体	平成30年度景観形成活動支援(5団体)の完了	H30年度目標を以下のとおりとする。 観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。 (今後の展開方針) 本事業を継続し、魅力的な観光地としての景観形成を推進していく。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)
		尚円王マラソン大会支援事業	H28 ～ H33	尚円王マラソン大会の受入体制の強化、イメージアップを図るため、大会運営を支援する。	尚円王マラソン大会の支援	参加者:600人	大会運営に必要な備品等を計画的に調え、安全な大会運営を維持し、参加者の満足度向上を目指していく。	
		美ら島ママチャリ耐久レース支援事業	H29 ～ H33	ママチャリ耐久レースを誘致し、選手をはじめ、そのサポーターや観光客の誘客を促進するため、美ら島ママチャリ耐久レース開催を支援する。	ママチャリ耐久レースの支援:1回	ママチャリ耐久レースの実施:1回	平成33年度には大会参加者及び来場者数を一大会あたり300人規模の大会に展開していく。	
		観光施設整備事業	H29 ～ H30	本村の観光名所である二見ヶ浦海岸一望できる展望台の整備を行う。	展望台整備設計業務の実施	実施設計完了	本村特有の自然を活かした魅力の発信による観光誘客を推進するため、観光客の満足度を高める取り組みを行っていく。	
2		伊是名島定住条件整備事業	H24 ～ H33					
		伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	離島の定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港とを結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。	自動車航送コスト支援の実施	自動車航送コスト負担軽減数:6,000台	自動車航送コスト負担軽減数 平成33年度:6,000台	
		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から本村へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:129.5 H28指数:126.9	実施後の効果を検証し、本島との価格の格差是正を図っていく。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		高齢者福祉施設整備事業	H28 ～ H29	本村で一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加による受入に対応するため、高齢者福祉施設を機能強化する。	高齢者福祉施設強化整備の実施	高齢者福祉施設強化整備の完了	充実した福祉サービスが可能となることから、地域包括ケアシステムが助長され、共に生き・支え合う住みよい村づくりを促進できる。	
3		尚円王の里人材育成事業	H24 ～ H33					
		人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ H33	沖縄と北海道という異なる生活圏で暮らす子ども達が、それぞれの地域を訪れ、その地域の自然や歴史、生活に触れ、体験学習・交流学习を通して友情を育むことで、広い視野と協調の精神を養うため、日高小との交流事業を実施する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 児童:16人 引率者:5人	児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成	23回を経過したことで、これまでの事業内容等を精査した上で、より効果的な事業展開を図る。	
		児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ H33	離島である本村の児童生徒の島外スポーツ活動及び文化活動への積極的な参加を促すために、派遣費を支援する。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:5団体	大会等派遣児童生徒数(累計):300人以上	引き続き大会等に参加できる機会を増やし、意欲や能力の向上を図っていく。	
		幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ H33	保護者が安心して仕事ができる環境を整備するため、幼稚園預かり保育の嘱託保育士を配置し、教育課程に係る教育時間終了後に預かり保育を実施する。	保育士の雇用:2人	預かり保育を利用する幼児数:30人	夫婦共働き世帯が多く、保護者から時間延長の要望があることから引き続き継続していく。	
		グッジョブ連携推進事業	H27 ～ H33	児童生徒に自己理解・自己実現に向けた意欲の向上、また、目的意識の高揚や就業意識の向上を図るため、小学校ではジョブシャドウイング、中学校では職場体験学習等のキャリア教育を実施する。	小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:16人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:10人	児童生徒の目的意識の高揚や就業意識向上についてまとめた報告書の作成	島内外での多種多様な職場体験企業の発掘。事業継続により、学びの興味や関心に対する希薄さの解消及び体験・経験することによる意欲の向上を図る。	
		学習支援事業	H24 ～ H33	学校への学習支援員の配置及び学習塾の開校を行い、学力の向上を図る。また、特別な教育的支援を要する児童等に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	週3日程度学習塾を開講 学習支援員の配置 2人 特別支援教育支援員の配置 3人	平成29年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -6.0ポイント以上 中学校 1.0ポイント以上 対象となる児童等の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上。	(今後の展開方針) 学習塾の開講及び学習支援員の配置をすることで、小中学生の学力向上を図っていく。また、特別支援教育支援員を配置することで、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図っていく。	3月変更 (計画変更に伴う各目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				4	伊是名村農林水産振興事業			
		伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ H33	安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。	堆肥導入数量:2,000t	堆肥の散布を行うことによる地力の向上 (散布目標面積 25ha)	堆肥散布することで地力増強につながることを農家へ周知し、土づくりを促進することによる生産性の向上を図る。	
		伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ H29	本村における畜産の振興を図るため、計画的に優良繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	優良繁殖雌牛導入頭数:12頭	H29年度:12頭(導入率100%)	計画的に繁殖牛を導入することで、村内の飼養頭数が増加し、現在不足している堆肥原料を確保する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			久米島農林水産業活性化推進事業	H24 ～ H33					
			漁港施設機能強化事業	H24 ～ H33	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港に漁船巻上機の設置を行う団体へ支援を行う。	漁船巻上機(3基)の導入	巻上機整備率(全体10基)80%	平成29年度供用開始 荒天時(台風等)に大型漁船を避難できる体制を整備し、漁民の労働負担や経費負担を軽減する。	
			優良雌牛導入事業	H26～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。	優良繁殖雌牛導入(80頭)	・優良雌牛導入率:49.6% (導入頭数(累計):253頭)	今後の展開方針) 導入頭数(累計) H33年度:510頭	
2			久米島特産品開発・販路開拓事業	H24 ～ H33					
			久米島紬販売促進事業	H24 ～ H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者コースに即した販売会や問屋呉服店への販売促進訪問等を行う団体へ支援を行う。	・県内・外での展示会参加数 8回 ・男性用着尺の試作品製作 6反	・反物売上額 7,750万円 (参考H28年度 7,700万円) ・小物売上額 1,650万円 (参考H28年度 1,500万円)	反物売上額 H26(基準年) 7,100万円 H33(最終年) 7,950万円 小物売上額 H26(基準年) 1,000万円 H33(最終年) 2,050万円	
			久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ H33	本町特産品の販路拡大を図るため、コーディネーターを配置する他、県内外で開催される物産展への出展を支援する。また、加工食品製造スキルアップ研修会の開催や統一デザイン装飾品製作等を行う団体へ支援を行う。	・県内・外での物産展開催参加8回 ・講習会の開催9回 (物産展での指導3回含む) ・特産品パンフレット製作 10,000部	・物産展における販売額 3,300万円 ・講習会参加事業所 10社	物産展における販売額 H26(基準年) 2,238万円 H33(最終年) 3,030万円	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
					3	久米島観光誘客促進事業			
		久米島観光誘客支援事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、島の魅力を活かした広報活動や、各種イベントを実施する。	観光案内人2名配置 イベント開催(2件) 広報推進事業 広報活動 5件	入域観光客数 112,000人 イベント参加人数(島外参加者) 609人	(今後の展開方針) 引き続き、各種イベントの開催や広報活動等を実施し、観光誘客を図る	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)	
		久米島観光プロモーション事業	H25 ～ H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	・国内大手の旅行及び宿泊予約サイトとテレビを活用した誘客促進	・メディアミックスプロモーション 2社 (WEB特集記事・テレビ放映)	国内大手のWEB旅行会社にて久米島の旬な観光情報を発信する。併せてマスメディア(テレビ放映)による情報発信を行う。情報の拡散効果を図るためSNSも活用する。		
		体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ H30	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。	・体験プログラム開発、改良件数10件 ・修学旅行の受入 10校	・修学旅行入域者数 H29年度 1,100人 (参考H28年度 1,005人) ・体験プログラム利用者数 H29年度 1,500人 (参考H28年度 1,566人)	・修学旅行 H30年度(最終年)入域目標 1,300人 体験プログラム H30年度(最終年)利用者数 2,000人		
		久米島観光リゾート開発基本計画策定事業	H29	久米島町リゾート開発基本計画に向けての調査事業を行い、他の離島では味わえない長・短期間滞在者のための宿泊施設、観光施設、環境保全を調査し、実現可能な観光開発計画の基盤を策定する。	・リゾート開発計画の策定(現状・課題の整理、基本方針・基本施策の決定など)	・久米島町における観光の現状、課題の把握 ・今後のリゾート開発計画を踏まえた誘致体制の強化	・策定されたリゾート開発計画に沿って各施策を実施し、本市のさらなる観光振興を目指す。 ・入域観光客数 目標 H33年度 150,000人/年 参考 H27年度 103,551人/年		
		スポーツ合宿等誘致事業	H26 ～ H33	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿やスポーツイベントの誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。	野球・陸上合宿誘致 パークゴルフ大会、愛好家誘致	陸上合宿誘致 4件(40名) 大学野球合宿誘致 6件 パークゴルフ大会 2件(島外参加者数160名) パークゴルフ愛好者(観光客)1800名	H33年度(最終年) 陸上合宿 6件 大学野球合宿 6件 パークゴルフ大会 2件 愛好者 2,100名	6月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		航空路線拡充対策事業	H26 ～ H33	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う。 新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う。	チャーター便運航数:60便 要請及び調査活動:4回 新規航空会社誘致体制の確立	H28年度(中間年) チャーター便運航数:60便 要請及び調査活動:6回 H33年度(最終年) チャーター便運航数:60便 新規参入航空会社 1社	
4		「夢つむぐ島」づくり推進事業	H28 ～ H33					
		複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ H30	災害時は、住民及び災害時要援護者等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。	・複合型防災・地域交流拠点施設基本設計	・複合型防災・地域交流拠点施設基本設計の完了	・H30年度 建築工事(外構含む)、工事施工監理 ・H31年度 供用開始予定	
		火葬場・葬祭場施設整備事業	H28 ～ H29	町民の安心安全な生活環境を確保するため、火葬場及び葬祭場を整備する。	・火葬場・葬祭場駐車場、外構工事 ・火葬場・葬祭場備品購入	・駐車場、外構工事の完了 ・備品の購入	・平成30年4月供用開始予定	4月変更(事業追加)
		防災情報収集発信体制整備事業	H29 ～ H32	災害に強い島「安心安全な島」づくりをめざし、今後起こりうる地震や津波などの災害発生時に、迅速かつ的確な対応を図るため、多様な情報収集及び情報発信が可能な体制を構築し、災害対応等の諸活動を円滑に推進するための仕組みを構築する。	・久米島町防災情報収集発信体制基本計画の策定	・久米島町防災情報収集発信体制基本計画の策定	・H30年度 基本設計及び実施設計 ・H31～32年度 防災情報収集発信体制機器整備 ・H31～32年度 防災行政無線デジタル機器整備	6月変更(事業追加)
5		久米島環境保全・美化推進事業	H24 ～ H28					
		球美の島エコアイランド化推進事業	H24 ～ H29	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	約180灯のLED防犯灯を整備・設置	・LED防犯灯整備率:100% (導入予定:1,650灯)	平成29年度で事業完了 今後は適切な維持管理に努める	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			久米島地域資源発掘・活用促進事業	H24 ～ H33					
			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	町内の景観形成を整え、観光地としての魅力向上を図るため、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を支援する。	・景観活動団体支援	・景観形成活動団体支援 3団体	事業終了後1年目(H34年度)の成果目標を以下のとおりとする。 観光地としてふさわしい家屋の外観及び景観であると感じる人の割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標及び今後の展開方針等変更)
			文化遺産保存活用事業	H24 ～ H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復を行う。	・古文書修復 件数:230件 ・翻刻・口語訳 件数:30件	・古文書修復の割合29% (1625件中476件(累計)の修復) ・翻刻・口語訳の割合58.3% (288件(1625件中、重要史料数)中168件(累計)の修復)	修復した割合 H30年度:58% H33年度(最終年):100% 翻刻・口語訳した割合 H30年度:68% H33年度(最終年):100% 修復した古文書の公開活用 H29年展示準備・検討を行う H30年展示公開活用を行う	
			久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ H33	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	・若い世代(中高校生)による創作現代版組踊り公演(出演者数:40名) ・自主開催に向けた指導者の育成(2名)	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく新たな歴史的文化観光資源を創出する。(公演・イベント出演回数:10回)	・久米島でのイベント等での公演や島外での公演を行うことで、久米島の魅力のアピールを行う。また、中高生が文化の担い手として文化歴史を紹介するガイドの育成に繋げる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			久米島教育環境の充実・整備事業	H24 ～ H33					
			英語指導員配置事業	H24 ～ H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3,4年生120時間、5、6年生210時間)で実施する。	英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力の向上。	中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。	
			基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ H33	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。	基礎学力向上学習支援員配置数: 小学校3校に各1名。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 県平均以上	(今後の展開方針) H33年度まで事業を継続し、学力の向上を図る。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
			特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。	特別支援教育支援員配置数:小学校12名、中学校3名。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上とする。	(今後の展開方針) H33年度まで事業を継続し、支援体制の充実を図る。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
			児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ H33	児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。	管内中学校生徒が各種大会等へ参加(派遣)する	生徒派遣 700名	・派遣費にかかる補助割合の検証 ・大会参加者の目標・成果の検証	
			ICTを活用した家庭学習支援事業	H29 ～ H30	学校外において、沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備することで、学力の向上を図るため、ICTを活用した学習塾を2拠点に置きWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。	ICTを活用した町営学習塾の開設	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本町との平均正答率の差を下記の通りとする。 小学校: -35ポイント以内 中学校: -33ポイント以内	(今後の展開方針) 引き続き事業を継続し、学力の向上を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ H33	国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣する。	・海外短期派遣生徒数 12人 ・ホームステイの実施 ・帰国後の研修会及び報告会の実施 ・報告書の作成(70冊)	・短期派遣を実施した結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まった生徒の割合:100% ・短期派遣を実施した結果、視野が広がった生徒の割合:100%	外短期派遣生徒数(累計) H33年度:120人 ・派遣者のみならず、報告会等の実施による波及効果により町内の児童生徒の英語への学習意欲を高める	9月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
1		八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ～ H33	風土・文化の違う他県の子どもたちと交流することにより、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな青少年の健全育成を図る。	(夏期) 児童生徒交流者数 12人 (冬期) 児童生徒派遣者数 42人	・沖縄にはない他県の歴史や文化、風俗、習慣等を学ぶことで、地元への関心を高め視野が広がった生徒の割合:100% ・事後報告会の開催(2回) ・研修報告書の作成(170冊)	H28～H33 延派遣者数 300人	
1		渡嘉敷リーダー研修事業	H26 ～ H33	風土、文化の異なる多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律・協調・友愛・奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな青少年の健全育成を図る。また、子ども会のリーダーとしての役割と必要な知識を学ぶとともに、宿泊研修会を通して、友情と仲間の輪を広げる。	渡嘉敷リーダー研修 1回実施	渡嘉敷リーダー研修の実施(参加児童124人)	今後も継続して100名以上の子どもを募り、子ども達の模範になる子を育成していく。	
1		八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ H33	小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養うため、主に小学校高学年において、授業を行いながら幼稚園や低学年には外国語にふれてもらうことでグローバルな人材育成を行う。また夏休を利用した英語教室を開催する。	・外国語指導助手 4園4小(3人は園・小兼務) ・英語指導助手:2人 2中へそれぞれ配置	・配置率100% ・H29年度児童生徒数予想 4園286人・4小学校2,086人・2中学校986人 ・児童生徒の英語学習への興味・関心度65%以上 ・英語検定受験者中7割合格目標	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校5,964人(5・6年対象)、中学校8,589人計17,824人の児童生徒に外国語をふれ合う機会を与える。 ・英語活用・意識アンケート調査の実施	
1		八重瀬町パソコン指導強化事業	H24 ～ H33	学校におけるICT社会へのニーズに伴うべく、情報機器を活用した魅力ある授業づくりを支援し、教育の質の向上を図り、学力向上やより良い人材育成を行うためのパソコン支援員を町内の小中学校に配置する。	パソコン指導員配置数 4小学校に2人配置(2名兼務) 2中学校に2人配置	・配置率100% ・H29年度児童生徒数予想 4小学校2,086人・中学校986人 4小学校希望者、2中学校希望者受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標 ・ICT機器等活用率 60%以上を目指す。	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校17,483人、中学校8,589人計29,343人の児童生徒に情報の基本操作及び情報活用能力を養う。 ICT機器等活用率アンケート調査実施	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
事業番号	バ			細	H29事業内容		H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1		八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:10人 中学校6人	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) -2ポイント以上 中学校(国語・数学) -3ポイント以上	(今後の展開方針) 今後も同様な人数の確保及び増員をさせ、児童生徒への学習支援を行い、平成33年まで事業を維持し、沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の向上を目指す。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)	
1		八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ H33	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。	特別支援員配置数 小学校:14人 中学校6人	・配置率100% (1)子どもの発達に応じた個に応じた支援 (2)安全面への配慮の確立 (3)先生方の指導の効率化(負担軽減) (4)支援児童者数160名	(今後の展開方針) 年度当初と、夏期休業、年度末に研修(講演会等)を行い支援員の質の向上に努める。 ・児童生徒の発達に合った支援員のきめ細かい配置を実施・検証し、無駄のない事業の執行をする。		
1		切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26 ～ H29	町内の中学生の放課後や休日の学習環境を整備することで、学力の向上を図る。	土曜講座 (平成29年6月～平成30年3月) 定期テスト補習講座 長期休業中講座 三年生対象高校入試模試	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における、県と本町との平均正答率の差 -3ポイント以上	(今後の展開方針) 個別指導を中心に自己肯定感を高めながら基礎的・基本的な事項の定着を図る。 本年度は、国語・数学の指導を重点に、基礎学力の向上をさらに強化していく。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)	
1		ICT教育強化事業	H26 ～ H29	学校教育の質の確保を図るため、町内小学校にICT機器を整備する。	電子黒板等(5台) パソコン(5台)	児童にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	(今後の展開方針) ICT活用の拡大を図り、児童生徒の情報活用能力の向上及び分かりやすい授業を継続する。	6月変更 (事業追加) 3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		八重瀬町イベント事業	H24 ～ H33	観光客誘致を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特有のPR等を実施する。	・こいのぼりあしびイベントの開催支援 ・青年エイサー祭りの開催支援 ・やえせ桜まつりイベントの開催支援	・こいのぼりあしび:来場者数 3,500人 ・青年エイサー祭り:来場者数 11,000人 ・やえせ桜まつり:来場者数 5,500人	H29～33年度: こいのぼりあしびイベント開催 H29～33年度: 青年エイサー祭り開催 H29～33年度: やえせ桜まつりイベント開催	
2		八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。	観光施設及びアクセス道路の美化作業の実施	観光施設及びアクセス道路の美化作業の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。 (今後の展開方針) 継続的な美化作業を行いながら、観光施設等への緑化作業を行う。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
2		港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ H30	町内から出土した「港川人」を含む更新世化石人骨は東アジアでも発見されているが、保存がよく全体の形態がわかるのは港川人だけであり、貴重な資料として位置づけられている。町では出土地の「港川フィッシャー遺跡」を整備し、公開することで、教育や観光資源としての活用を図る。	・基本設計の作成	基本設計の作成完了	・策定された計画に沿って公園整備を実施し、町のさらなる観光振興を目指す。	
2		スポーツ観光活性化推進調査委託事業	H29	観光とスポーツの融合によるスポーツツーリズムの実現に向け、具志頭運動公園の再整備に向けた基本計画を作成する。	具志頭運動公園再整備基本計画の作成	具志頭運動公園再整備基本計画の作成完了	計画を活用して、有効的な施設整備を行う。	
2		八重瀬町戦跡整備事業	H25 ～ H29	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内の戦争遺跡を整備し、歴史・平和学習の支援を図る。	戦跡公園(遊歩道、芝生広場等)整備の実施	戦跡公園(遊歩道、芝生広場等)整備の完了	戦跡公園(遊歩道、芝生広場等、休憩所等)を整備し、利便性を向上させることにより、年間利用者数の増加を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		運動公園施設等整備事業	H24 ～ H33	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・サブグラウンド等の施設を整備し、ハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。	・サッカー場の芝生(プロ仕様)整備 ・芝刈機、球場用雨除けシートの導入	県外からのスポーツキャンプ受入 野球チーム(2チーム) サッカーチーム(3チーム)	H28年度～33年度 スポーツキャンプ受入	
2		八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ H33	Jリーグ加盟等のサッカーチームキャンプを誘致し、観光誘客とキャンプ来場者の町内周遊を促す。	・Jリーグチームのキャンプ誘致	・キャンプ期間中來客数 10,000人 ・Jリーグチーム2チーム・海外プロサッカーチーム1チームの計3チームのキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額250万円以上	(今後の展開方針) H29～33: J1加盟チーム等のキャンプの誘致と定着化を図る。	9月変更 (計画変更に伴う成果目標変更) 12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
3		八重瀬町観光ブランド魅力創出事業	H24 ～ H33	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・掘り起こし、そして魅力を伝えるための観光資源プロモーションの実施、地域と協働により受け入れ体制の仕組みづくりを行います。それらを八重瀬観光ブランドとして情報発信し、県内外からの誘客を図る。さらに八重瀬観光ブランドの戦略構想を計画しその集大成として観光イベントを実施する。	県外観光プロモーションの実施 2回 誘客のための観光企画プログラムの作成 3個 体験観光の実証イベント 1回	誘客のための観光企画プログラムの実施 3回 体験観光の実証イベント 來客数 500人	八重瀬町の魅力ある観光ブランドを創出し誘客を行っていくために、地域との合意形成を図りながら受け入れ体制の構築とプロモーションを同時に図り、体験滞在型の観光振興を実施していく。	
3		八重瀬ブランド販路構築支援事業	H24 ～ H33	町内事業者が有する農産物、水産物、畜産物、飲食、工芸などの地域資源を発掘・拡張し、まちの新たな特産品「八重瀬ブランド」としてブランディングを行う。また「八重瀬ブランド」のプロモーションを通じて販路構築の支援を行うことにより、生産者の所得向上及び「八重瀬町観光拠点施設」と連携した地域活性化を図ることを目的とする。	新商品開発事業者の集中支援 2社 販路構築に関する一連のワークショップの開催 3回 ニーズ調査・PRを目的とした販路構築支援企画の実施 3回	新商品の完成 2品 販路構築に関する一連のワークショップ参加事業者 7社 販路構築支援企画における認知度向上 100人	小規模事業を八重瀬ブランドとして確立させるために必要な支援を行い、参画事業者の所得向上につながるように販路拡大支援企画を継続的に実施していく。 新規に開発した商品の目標売上額(平成32年度) 1,170千円	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ H33	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの企画運営管理、県内外への認知度向上のために情報発信や発地への観光プロモーション等を行う。	観光及び多言語観光パンフレット制作 20,000部 観光プロモーションの実施 3回	観光パンフレットの設置 県内30か所	八重瀬町の認知度向上を図るために県内外に観光プロモーションを実施し、観光パンフレット等必要な施策を効果的に構築させることにより魅力ある八重瀬町を観光プロモーションしていく。	
3		YAESE結フェスタ事業	H29	八重瀬町の観光地認知度向上を図るため町特有の地域資源を活用したイベントを行う。	実行委員会への補助金交付	YAESE結フェスタ来場者数 H29年 32,000人 (参考 H25年やえせまつり 30,000人)	来場者の増加に向け、イベントの開催時期、内容を改善しながら継続する。	6月変更 (事業追加)
4		八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ H30	本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	・地産地消まつり開催支援(2カ所)	・地産地消まつり来場者数:2,500～3,000人 ・出店事業者10店	・八重瀬町の認知度向上、農作物のPR効果を測定し、今後の事業展開を適切に見直ししていく。	
4		八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業	H26 ～ H29	就農促進を図るため、八重瀬町種苗センターを整備する。	建築工事・造成工事の実施	建築工事・造成工事の完了	供用開始1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 新規就農者数 25名以上 (今後の展開方針) 農業・農村がはぐくむ自然環境・田園環境を目的とし四季の草花や花木類が咲き誇る景観づくりを実施する。緑化の重要性の理解を促し農業体験・学習の場を設け推進していく。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び今後の展開方針等変更)
4		八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ H30	・農家の経営の安定化・質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:30頭(導入率80%)	H26～H30 優良母牛150頭導入(累計)	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		乳用牛改良支援事業	H29 ～ H33	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛導入の支援	乳用牛貸付頭数：30頭/年	H30年度目標： ・生産乳量の増加 ・乳質の向上	
5		避難誘導案内標識設置事業	H28 ～ H29	住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全を確保するため、八重瀬町に適した避難誘導案内標識や避難所等を示す標識の設置を行う。	・避難誘導標識の設置 ・避難場所標識の設置	・避難誘導標識設置完了：76箇所 ・避難場所標識設置完了：22箇所	住民や初めて訪れる観光客等を含め、災害時に対応できる安心・安全な町としての避難誘導体制を確立する。	
6		子育て世代ゆいまーる支援事業	H28 ～ H32	各クラブの会計・事務支援・助言を行い、指導員が保育業務の向上を図る環境を整える。各学童の施設情報、空き状況の情報管理及び窓口での情報提供体制を整える。	各児童クラブの会計、事務管理の支援及び施設情報、空き状況の情報管理支援員の配置 1人	・児童クラブの会計・事務管理の支援 100件 ・各学童クラブの施設情報・空き状況の情報及び窓口での情報提供 200件	指導員が保育業務向上を図れる環境整備。 現状把握し、課題の改善に取り組みながら、H34年まで支援を続ける。	
7		「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ H29	本町の児童生徒へトップアスリートによるクリニックの開催、指導者への研修会・講習会を開催する。また児童生徒がスポーツ活動において県代表として、九州大会や全国大会へ派遣される際の、旅費の支援を行う。	ベースボールクリニックの開催 児童生徒の県外派遣の支援	ベースボールクリニック：終了後アンケートにおいて、事業目的の理解度60% 児童生徒の派遣の支援件数50件	離島であるハンディを多少なりとも支援し、県外で活躍できる選手の育成を図る。	
8		運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ H33	環境保全のため、運動施設に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	LED照明の設置 (具志頭社会体育館)	具志頭社会体育館の二酸化炭素排出削減量 2.6t	(今後の展開方針) 環境にやさしい運動公園の施設整備として、LED照明を積極的に導入し、二酸化炭素排出量の削減を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
9		八重瀬町特別支援員配置事業(幼稚園)	H29 ～ H33	幼稚園において障がいや見守りが必要な幼児の自立に向けた支援体制を図るため、各幼稚園に特別支援員を必要な園へ配置し、支援体制の充実を図る。	特別支援員配置数 各幼稚園6人	目標：学校評価において、特別支援教育に関する項目について、「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」60%以上	(今後の展開方針) 年度当初と、夏期休業、年度末に研修(講演会等)を行い支援員の質の向上に努める。・児童生徒の発達に合った支援員のかめ細かい配置を実施・検証し、無駄のない事業の執行をする。	6月変更 (事業追加)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			美化緑化推進事業	H25 ～ H33	快適な観光地を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミッジ公園等9カ所	年間をとおして美化・緑化の行き届いた施設を利用して観光客誘致を進める。	
1			観光関連施設整備事業(食事・土産品施設)	H27 ～ H30	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光客への食事・土産品の提供の場を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	建築工事・監理業務の実施	施設整備工事(建築)工事の完了	実績を基に施設整備を行う。 施設完成後の利用者数見込は、1日あたり70人(村内20人、観光客20人、観光客以外30人)。	6月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
2			イネヨトウかく乱防除事業(フェロモンチュウブ)	H25 ～ H29	さとうきび生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度の低下を図る。	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチュウブ設置による防除を行う。 フェロモンチュウブ設置対象面積416ha	さとうきびの安定生産と品質向上が可能な環境の確保	(今後の展開方針) イネヨトウの繁殖、被害状況等を調査しながら今後も実施していく。	
2			多良間新製糖工場整備事業	H27 ～ H29	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	含みつ糖製糖施設外構工事の実施	含みつ糖製糖施設外構工事の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 製糖期間におけるさとうきびの受入可能割合100% (受入可能割合=農家によるさとうきび生産量のうち、製糖工場が受入できた割合) (今後の展開方針) ・平成29年度末供用開始予定	12月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
2			優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ H31	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:15頭	H29年度においての、優良繁殖雌牛導入進捗率(対計画頭数):22% (参考) H27～H28の2年間で30頭 H29～H31の3年間で60頭の合計90頭	H27～H31の5年間で90頭(15頭×2年+20頭×3年)の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。	6月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
3			児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ H33	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子ども達の能力向上を図るため、島外で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。	各種大会への児童生徒派遣	島外の児童生徒との交流推進 交流を行うことによる児童生徒の意識高揚	(今後の展開方針) 引き続き各種大会へ派遣し、児童生徒の意識高揚、能力向上を図る。	
3			学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ H33	国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。	ALT招聘:年間20回	ALTを招聘し児童生徒の英語力向上を図り、国際化社会に対応できる人材育成を図る。	ALTを活用して国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		幼稚園預かり保育事業	H28 ～ H33	幼稚園の教育時間終了後も引き続き園児の健やかな成長を支援するため、保育教諭(保育士)を配置する。	多良間幼稚園預かり保育教諭(保育士)の配置	預かり保育を希望する園児の100%受け入れ	園児の安全確保、健全育成を図る。	
3		村営学習塾開設事業	H28 ～ H33	学校外の学習環境を整備することで、学力の向上を図るため、村営の学習塾を開講する。	児童生徒の学力向上	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -8ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -13ポイント以上	(今後の展開方針) 児童生徒の学力向上を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容及び成果目標変更)
3		多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ H30	雨天後のグラウンド環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民の体育環境を改善する。	実施設計の作成	実施設計の完了	供用開始後1年目(平成31年度予定)の目標を以下のとおりとする。 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止・日程変更等の回数 0回 (今後のスケジュール) 平成29年度 実施設計 平成30年度 工事 平成31年度 供用開始	12月変更 (事業追加)
3		教育関連施設省エネ推進事業	H29 ～ H30	環境保全のため、教育関連施設に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	実施設計の作成	実施設計の完了	平成31年度の目標を以下のとおりとする。 二酸化炭素排出削減量 78,514 kg (今後のスケジュール) 平成29年度 実施設計 平成30年度 工事 (今後の展開方針) 教育関連施設の照明をLED化し、自然環境の保全と低炭素地域づくりを推進する。	1月変更 (事業追加)
4		多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ H33	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である宮古島 多良間島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。	宮古島 多良間島間の自動車航走コスト負担の軽減	自動車航送コスト負担軽減による、定住環境の改善	自動車航走コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		多良間村食品・日用品輸送費補助減事業	H28 ～ H33	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -5.5ポイント以下	(今後の展開方針) 沖縄本島及び宮古島から多良間島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
5		防風林及びほ場境界止壁設置事業	H28 ～ H30	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。	平成29年度止壁設置工事の実施	平成29年度止壁設置工事の完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 止壁設置箇所における防風林帯への大型機械の進入回数 0回 (今後の展開方針) 止壁設置により、防風林を保護することによりさとうきび等の基幹作物の生産拡大を推進し、農業経営の安定と向上を図り、元気で活力のある農村(村)づくりを行う。	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、活動目標及び今後の展開方針等変更)
6		水納島航路船舶建造事業	H29	水納航路は、建造後25年を経過した不定期航路として水納島 多良間島間を運航。他に交通手段は無く老朽化しており村所有の船舶建造で連絡船の整備を図る。	船舶の建造	船舶の建造完了	船舶建造により住民の安全・安心の確保、産業の振興と観光客の誘客・利便性を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			定住条件整備プラン	H26 ～ H33					
1			妊産婦支援事業	H24 ～ H33	妊婦が安心して出産を迎えられるよう、妊婦健康 検診受診時の船舶及び航空機運賃並びに出産待機 宿泊費について支援し、経済的負担軽減を図る。	・交通費支援55人 ・宿泊費支援20人	・交通費支援55人以上の達成 (基準年度 平成26年度:48人) ・宿泊費支援20人以上の達成 (基準年度 平成26年度:12名)	子育て世代の負担軽減による定住 促進を図る	
1			健康診査用機材搬送事業	H26 ～ H33	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診) 時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行 い、健康診査受診の促進を図る。	検診機材搬送年3回実施 (検診3回×5島6地区=18件)	集団検診受診者数 2,134人	(今後の展開方針) 町民の健康意識の改善及び健康 診査受診率促進を図る	3月変更 (計画変更 に伴う成果 目標変更)
1			竹富町お出かけサポートモ デル事業	H26 ～ H30	高齢者及び障害者等の外出機会増加による、自立 生活助長を図るため、お出かけサポートモデル事業 を西表島西部及び東部地区にて実施する。	・送迎サービス西表島西部地区及び 東部地区 ・アンケート調査実施による利用状況 等の把握	・年間利用者数見込み・延べ人数500人 ・サービス提供エリア拡張 ・本格運行に向けた利用料金及び利用状況の把 握	アンケート及び利用実績等を分析 検討し、30年度以降他地区への展 開	
1			竹富町民等船賃負担軽減事 業	H27 ～ H33	島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすること で、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減す ると共に、生活の利便性を高める。	船賃の一部支援	・対象航路の利用者数の増加 127,680人(基準年度H27) 134,000人(5%増)	・竹富町民等の交通費に要してい た負担を軽減し、利用者の増加と 共に生活の利便性を高め、定住条 件の整備を図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
バ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			干立地区防災機能改善事業	H29 ～ H31	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、地域住民および滞在者の安全性と利便性を確保する。	環境等モニタリング調査業務 工事基本設計業務 測量調査業務	モニタリング調査報告書 作成 工事基本設計書 作成 測量調査報告書 作成	H30 実施設計業務 H31 監理委託業務・施設建設工事	
1			複合型福祉施設整備事業	H27 ～ H33	本町での、質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業と、各地区の高齢者等を対象とした介護予防等の活動拠点となる福祉施設を竹富町各地区へ整備する。	・複合型福祉施設実施設計委託業務(波照間)の実施 ・複合型福祉施設基本設計委託業務(西表上原・西表東部)の実施	・複合型福祉施設実施設計委託業務(波照間)の完了 ・複合型福祉施設基本設計委託業務(西表上原・西表東部)の完了	・策定された基本計画に沿って、各事業を実施し、地域の教育・保育ニーズ及び福祉ニーズに対応した施設整備を目指す。 H30 建設工事(波照間)、実施設計(上原・東部)、基本設計(小浜・西表・西表) H31 建設工事(上原・東部)、実施設計(小浜・西表)、基本設計(竹富・黒島) H32 建設工事(小浜・西表)、実施設計(竹富・黒島) H33 建設工事(竹富・黒島)	6月変更(事業追加) 9月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1			竹富町緊急車両(消防車)導入事業	H28 ～ H29	緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	・緊急車両(消防車)の導入実施	・緊急車両(消防車)の1台導入完了	供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 ・避難訓練の実施 3回(うち観光シーズンの実施 1回) (今後の展開方針) ・地元消防団による災害対応や防災訓練での活用及び児童生徒への防災教育等で活用を図るとともに、今後は運用実績に伴う竹富町内他区での車両の必要性の検討を行う。	3月変更(計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)
2			観光環境整備プラン	H24 ～ H33					

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもので、
H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもので、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		観光誘客・受入対策事業	H26 ～ H29	観光宣伝活動や受入体制の強化・整備を実施し、観光客の誘客を図る。	・誘客宣伝活動 5回 ・宿泊支援システムの整備・充実 ・滞在型観光関連講義の実施 ・観光振興基本計画の策定、基礎調査の実施	・入域観光客数 1,080,347人以上	(今後の展開方針) 平均滞在日数を1.0泊以上に延伸 また、H29年度には新たな観光振興基本計画を策定し、H30～H35の基本方針や目標を定める。それに沿った施策を実施し、観光振興をはかる。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
2		波照間観光関連事業	H27 ～ H30	観光地での駐車場不足の問題を解消するため、駐車場の整備を行い、観光客への利便性を確保する。	進入路整備及び道路美装化 展望広場、ベンチ、 大型バス3台、一般車両10台 駐輪場76台	・利便性が確保されたか(80%)を含め、アンケート調査により、当該駐車場について検証する。	(整備スケジュール) H27年度 実施設計業務 H28年度 星空観測タワー駐車場整備 H29年度 ニシ浜駐車場整備 H30年度 高那崎駐車場整備 (今後の展開方針) 平成30年度 観光入域客37,000人 観光客の利便性満足度80%に向上	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
2		鳩間島野外ステージ周辺環境整備事業	H28 ～ H29	鳩間島に整備されている、鳩間島野外ステージ周辺に、出演者等控室及び公衆トイレを整備し、当該施設の利便性向上及び鳩間島を訪れる観光客や各種イベント使用時の地域住民等の観光満足度等向上を図る。	出演者等控室及び公衆トイレの工事	出演者等控室及び公衆トイレの整備完了	・H29年度 整備工事着工 ・H30年度 供用開始	
2		西表浦内観光施設整備事業	H24 ～ H31	西表島の大自然、沖縄県で最長の浦内川や日本の滝100選に選ばれているマリドゥの滝やカビレの滝などを多くの観光客に見てもらい大自然の素晴らしさを味わってもらい、また来たい、知人等にも紹介したいと思って頂けるよう観光客が安心、安全で快適な観光が出来、これまで以上に誘客を図っていく上にも遊歩道等の整備を行う。	遊歩道、東屋・トイレ整備(1工区)	・H31年5月の供用開始に向けた事業の着実な実施 (遊歩道、東屋・トイレの整備完了)	・事業スケジュール H29年度 工事(1工区) H30年度 工事(2工区) H31年 5月供用開始予定 ・浦内川観光客数 目標 H31年度 60,000人/年 参考 H26年度 40,000人/年	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
バ	細							
2		西表東部公園整備事業	H29 ～ H31	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	公園整備基本設計作成	西表東部公園整備基本設計の完了	<p>供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 施設利用者満足度(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>(整備スケジュール) H29年度 西表東部公園基本設計 H30年度 西表東部公園実施設計 H31年度 西表東部公園整備工事</p> <p>(今後の展開方針) 子供達がのびのびと遊べる安心・安全な公園を整備し、子育て世代が安心して定住できる環境を目指す。</p>	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)
2		加屋真島観光関連事業	H29 ～ H32	ダイビングやキャンプ等のスポットとして活用されている加屋真島に栈橋等の施設整備を実施し、観光客の誘客を図る。	測量及び土質調査、磁気探査、潜水探査の実施	測量及び土質調査、磁気探査・潜水探査の完了	<p>供用開始後1年目(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 ・加屋真島観光入域客数 4,018人以上</p> <p>町が有する海的环境資源の活用が図られるように受入体制の整備をする事で、小規模離島の最適なツーリズムとしての役割が期待される。</p> <p>(整備スケジュール) H29年度:測量及び磁気・潜水探査業務 H30年度:設計業務 H31年度:航路浚渫 H32年度:栈橋工事</p>	3月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		教育環境促進プラン	H24 ～ H33					
3		児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ H33	小・中学校児童生徒のスポーツ等各種大会への派遣費を支援し、負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成により、沖縄本島と離島の格差是正を図る。	児童生徒選手等派遣人数 :596人	1. 本島と離島との格差是正を図り、また、より多くの児童生徒同士の交流が図れるよう参加環境を整える。 2. 本町の児童生徒が全国大会等でも参加できるよう環境を整える。	H29年度～平成33年度までの児童生徒選手等派遣人数(毎年度約600人)	
3		学校ICT支援員派遣事業	H26 ～ H30	ICT機器を使用することによる学校教育の質の確保を図る。また、支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟を図る。	・各学校、月に1回の派遣 ・ICT支援員による教職員向け研修 小中学校13校×2回	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	(今後の展開方針) ・H26年度～H30年度 各年度1名支援員派遣 ・教職員のICT機器使用率100%	3月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
3		外国語指導助手派遣事業	H27 ～ H33	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。	・外国語指導助手の派遣 小学校11校 幼稚園3園	幼稚園：初歩的な外国語を聞き、まねることができる。 小/低学年：初歩的な外国語を聞き理解することができる。 小/中学年：初歩的な外国語を聞き理解し・答えることができる。 小/高学年：初歩的な外国語の運用(質問したり、答えたり)ができる。 担当教諭によるアンケート調査によって、児童のコミュニケーション能力の向上について検証を図る。	・H27年度～H31年度 各年度1人外国語指導助手派遣	
3		芸術文化体験事業	H27 ～ H31	離島・へき地である本町において、普段の生活圏におけるクラシック音楽等の鑑賞機会は極端に少ない。本町各離島においてクラシックコンサートを開催し、地域の子どもからお年寄りまでがその文化体験をすることにより、生涯教育の推進と町民生活の質の向上を図る。	黒島でのクラシックコンサートの開催	・黒島クラシックコンサート開催での参加者200名	・竹富島、波照間島等竹富町の各島々でのクラシックコンサートの開催	12月変更 (計画変更に伴う各目標、今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		家庭学習支援モデル事業	H29 ～ H33	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、学校8拠点においてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。現役東大生を講師とし、質の高い学習方法を子供たちへ提供することで、へき地の大きな課題である教育環境格差を解消し、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整備する。	町営学習塾の実施	・学習塾受講率(中学生) H29年度 60% ・学習塾受講率(小学生) H29年度 60%	学習塾受講率 H30年度以降:80%以上	
3		学校ICT環境整備事業	H25 ～ H29	わかりやすく深まる授業を実現するとともに、教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、教育の質を向上させる。また児童生徒が互いに教え合うなどの学習意欲の向上を図るためにICT機器(電子黒板)を整備する。	電子黒板の整備	デジタル教材の活用できる授業での活用率60%	・へき地校ゆえに複数教科を請け負う教員等への教材研究などの負担が軽減されるとともに、教育の質の向上による児童生徒の更なる学習意欲及び学力の向上が期待される。 H30年度 供用開始	9月変更 (事業追加)
4		環境保全と産業振興プラン	H24 ～ H33					
4		竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ H33	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以内上限60万円)及び口蹄疫の進入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。	・離島港湾靴底消毒用マット設置6カ所(竹富・小浜・黒島・波照間・西表東部・西表西部) ・優良母牛導入支援	・離島港湾靴底消毒用マット6箇所設置の完了 ・優良遺伝繁殖雌牛導入支援71頭	・H33年度: 子牛平均価格380,000円 基準年度 (H23年度:327,000円) ・H24～H33年度目標導入数 750頭	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ H33	本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録の重要なキーポイントとなるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命を実施し、世界自然遺産登録候補地であり国立公園でもある西表島の生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。	逸出ペットの保護収容 収容個体の各種ウイルス検査等 適正飼養普及啓発講演会等の開催 ペット適正飼養推進会議の開催	逸出ペット保護収容数を10頭以内に(発生抑制) 適正飼養普及啓発講演会等を4回開催する。 ペット適正飼養推進会議を1回開催する。	国の特別天然記念物であるイリオモテヤマネコの絶滅保護活動の促進及び生息する町内地域住民の町民生活環境の保全推進を図る	
4		文化財保全事業	H24 ～ H33	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として活用し地域振興を図る。	指定文化財13箇所の美化清掃の実施	指定文化財14箇所の美化清掃完了 ・国指定文化財：5箇所 ・県指定文化財：1箇所 ・町指定文化財：8箇所	文化財巡視や観光コース化等、文化財の活用を図る。	
4		ピサダ道保存整備事業	H26 ～ H29	西表島祖納集落西側に隣接する「ピサダ道」は、現在も当時の石段がその姿を残す町指定史跡である。太平洋戦争時に大きく損傷した箇所についての復元整備要望が地域住民より上がっており、史跡復元の整備工事を実施する。	石段遺構復元工事の実施	石段遺構の復元完成	往時(戦前)の姿に復元された遺構を、歴史の道として郷土学習や観光資源として活用を図る。	4月変更(事業追加)

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業概要			H29事業内容	H29活動目標(指標)		H29成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1		観光客等誘致促進・受入体制強化事業	H24～H33						
1		地域振興対策事業	H24～H33	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」に、これまでの入賞者やゲスト等を招くことにより既存の観光イベントへの参加促進を図る。また、夜間のイベントとして、島内では滅多に行われない花火の打ち上げ、他の体験型観光メニューへの参加者の招待などの企画もを行い、既に定着しているイベントとの連携を図る。このような複合かつ多様な「イベント」の連携を図り、かつ、内容の「情報発信」を行うことで、観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進し、地域振興に結び付けるための支援を行う。	カジキ釣り大会の補助(7月) 一周マラソン大会の補助(11月)	イベント開催月入域観光客数 H29年度 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,500人(11月) 合計:6,500人	(今後の展開方針) イベント開催月入域観光客数 [H33年度:7,000人] H24実績:5,100人 H25実績:5,200人 H26実績:5,300人 H27実績:6,400人 H28実績:6,500人 H29目標:6,500人		
1		与那国島特産品アピール力強化事業	H25～H29	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行って県内及び県外への販路開拓を図る。また、前年度に引き続き参加事業所には更なるレベルアップした店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を行い、より魅力を伝える事の出来る特産品のアピールを目指す。	講習会の開催、特産品の県内及び県外の物産展への出展 講習会4回 県内出展1回、県外出展1回	販売促進及びPRの向上、物産展出展による特産品販路拡大 物産展出店数:13事業者	(今後の展開方針) H29年度:物産展出店数:13事業者 H25実績:8事業者 H26実績:10事業者 H27実績:11事業者 H28実績:12事業者		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		与那国町観光地整備事業	H29 ～ H30	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「サンニヌ台」(景勝地)の充実を図り整備実施する。	測量設計の実施	測量設計の完了	(今後の展開方針) H30年度は作成した、設計書により整備事業を実施する。 当該事業により「サンニヌ台」を整備することにより、利便性、安全性が維持され誘客促進に繋がり観光振興と活性化を促進させる。	
1		与那国町多言語観光案内サイン整備事業	H29 ～ H30	既存の観光案内版は、老朽化が激しく観光客や来島者の利用に支障をきたしている現状にあることから、景観に配慮した観光案内版への更新を実施すると共に、インバウンドへの対応として多言語での整備を実施する。	既存観光案内版32基の内、16基を多言語案内による観光案内版として整備する。	多言語案内による観光案内版の整備 16基	(今後の展開方針) H30年度:16基の整備	
1		海底景観資源調査事業	H29 ～ H31	与那国を象徴する海底地形に対して、最先端のマルチビーム測深調査を実施し、観光資源として適切な活用及び保全、学術研究の基礎となる海底精密地形図を作成する。	マルチビーム測深調査(3平方km×6箇所)	海底精密地形図の基になるデータの取得	・H30年度 マルチビーム測深データのノイズ処理～可視化(18平方km) ・H31年度 海底精密地形図の作成・学術成果のとりまとめ(学術論文および報告書作成)	
1		海水浴場公衆トイレ整備事業	H29	島内にある海水浴場に、観光地として相応しい景観に配慮した公衆トイレ及び水場等の施設を整備することにより、観光客及び住民の利便性の向上及び観光地としての安全、衛生、景観の向上を図る。	測量設計の実施 工事の実施	観光地における公衆トイレの設置(1カ所) 測量設計の完了 工事の完了	平成30年度5月の供用開始を目指して整備に取り組む。施設の整備により旅行者の利便性が良くなることで、与那国島の印象が向上し今後の観光振興に繋がる。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		農水産業活性化事業	H24 ～ H33					
2		優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ H33	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良牛繁殖雌牛導入の実施30頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 109%以上	(今後の展開方針) 引き続き優良母牛導入への支援を行い、子牛のブランド化の推進を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標、今後の展開方針等変更)
2		農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ～ H33	離島である本町では、消費地である都市部への輸送コストが陸路でつながる地域より高いため、空路輸送を陸路輸送並みの運賃で行えるよう補助を実施し、島外への出荷量の増加を図る。	生鮮水産物の空路輸送費支援の実施 農産物の空路輸送費支援の実施	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:32.0% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:65.0%	(今後の展開方針) 引き続き空路輸送費への補助を実施し、島外への出荷量増加を図る。	1月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
2		与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ H33	小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つである。しかし、近年漁業従事者の高齢化が進むとともに、過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要である。そのために、与那国町の漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る。	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入に対し支援の実施	漁業経営の安定確保 既存漁業従事者数の維持確保:32人	(今後の展開方針) 基準年(H25)漁業従事者:32人 H33年度漁業従事者数:40人	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		与那国町農業振興対策実証栽培支援事業	H29 ~ H30	本町の自然環境に適した新たな農作物として、長命草やクシティ(コリアンダー)等の栽培が進んで来ているが、営農基盤の整備が遅れている状況である。そのため、町内の農業従事者団体へ支援を行い、実証栽培用ビニールハウスを整備し農業経営の安定化を支援する。	時季栽培の検証 風及び気温調整の検証	島内外への野菜供給の確立に向けた体制整備の完了	(今後の展開方針) 今後は、養液栽培システムの導入も計画しており、それに向けた生産体制の構築 H30年度:養液栽培ハウス設置予定	
3		与那国町工芸館施設整備事業	H29 ~ H30	約500年の歴史がある「花織り」は本町を代表する伝統工芸品の一つであるが、その知名度は県内はもとより、県外でも低いのが現状である。そのため、伝統織物協同組合を中心として、後継者育成やPR事業、情報発信及び織物体験など様々な取組みを展開しているが、その取組みの拠点となっている「伝統工芸館」が築後35年を経過し、その対応に苦慮している状況である。商工業等活性化のため基盤強化を図ることが重要であることから、施設の更新を図り関係者の取組みを支援する。	基本計画策定	基本計画策定完了	基盤整備を実施することにより、様々な取組みの展開が促進され、商工業振興全体としての活性化が図られる。	
4		教育環境充実事業	H24 ~ H33					
4		家庭学習支援モデル事業	H24 ~ H33	本事業では、小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。 授業は現役東大生を講師とし、日本最高峰の学びを与那国の子供たちへ提供することにより、単に知識のみでなく、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につける場を提供し、教育環境格差の大きい離島の地において、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整備する。これにより、U・I・ターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図る。	・学習塾受講率(中学生) H29年度 60% (基準年(H23):40%) ・学習塾受講率(小学生) H29年度 60% 基準年(H25):44%	月例学力検査(年4回実施)にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合 小学校:33.3%以上 中学校:19.0%以上	(今後の展開方針) 超高速ブロードバンド環境整備が実現したことから、事業環境の改善及び新たな授業の形を検討する。	3月変更 (計画変更に伴う成果目標及び今後の展開方針等変更)

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		教育諸活動助成事業	H24～H33	本事業は、町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を支援することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣の実施	各種大会派遣人数：H29年度 450人	各種大会派遣予定人数 H30年度：450人 H31年度：450人 H32年度：450人 H33年度：450人	
4		地域国際交流事業	H24～H33	本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	台湾「花蓮市」へホームステイの実施・学力向上推進実践報告会(ホームステイ報告) ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成(関連活動の実施)	台湾「花蓮市」へホームステイの実施(16人)	(今後の展開方針) ホームステイ派遣生徒数(各年) H29～H33年度：16人/年	
4		与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24～H33	本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。	・派遣後、アンケートによる意識調査。(中学生4名派遣) ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成(関連活動の実施)	海外語学研修派遣事業の実施(アメリカ：4人)	(今後の展開方針) 帰国後の体験発表会を通して英語学習の意欲向上、異文化への関心等について町内中学生への波及を図る。	
5		与那国方言保存継承支援事業	H24～H29	本事業は、2009年UNESCOに消滅危機言語として登録された与那国語の記録保存と伝承、再活性化を目的とし、主として辞書作成を行う。並行して、保存継承のための企画を展開して衰退しつつある言語の使用を推奨する。	収集した語彙に実践的な用例を付与し、辞書項目を充実させる	辞典原稿素案の完成	平成30年度に与那国語辞典を発刊する。	
6		安心・安全のまちづくり支援事業	H25～H33	就学前児童及び生徒を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援をする。	子育て支援指導員の雇用 指導員雇用：3人	・預かり人数 35名以上 (平成27年度 30名)	(今後の展開方針) 保護者の子育て支援し定住促進を図る。	
7		少子高齢化対策事業	H24～H33	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産または専門医療を受けるためには、海で離れた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。	妊産婦定期健診の実施 妊産婦一人当たり受診回数：12回/人	・支援人数 20名 (平成27年度 19名)	(今後の展開方針) 一人でも多い子供を産み育てる環境を整える。 平成33年25名程度	

H29活動目標(指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		離島定住条件基盤整備事業	H24 ~ H33					
8		公共交通路線支援事業	H24 ~ H33	本事業は、地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行費用への支援	公共交通路線バス運行便数:2,555便/8,111人	(今後の展開方針) 安定的な運営を維持し、住民並びに来島者(観光客等)への利便性向上を図る。また、民間業者等での運営並びに路線の確保など調査及び検証し安定的な運営に努める。	
8		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び石垣島から与那国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:134.3 H28指数:126.1	(今後の展開方針) H29~H33 沖縄本島及び石垣島から与那国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
8		与那国町古民家活用型定住促進事業	H26 ~ H30	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、古民家解体並びに解体古材資源活用マニュアルの作成を実施し、町内建設事業者の関与を促進すべく、技能研修機会を事業に盛り込む。古材を重視した耐震補強、部材修理等を含め、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた設計監理業務、定住促進住宅整備工事を実施する。	家族向け定住用住宅1戸の設計・工事の実施	家族向け定住用住宅1戸の設計・工事の完了	(今後の展開方針) 実施計画にのっとり、家族向け定住用住宅1棟の整備を実施し、ターン者の受け皿及び安定した雇用の確保に取組み、定住促進に繋げる。	
9		防災安全基盤強化事業	H29 ~ H32	現在運用中の防災行政無線・消防救急無線のデジタルシステムを構築することにより、デジタルならではの機能拡張により在住者・来島者への広報の充実化及び災害時の不安解消を図る。	与那国町無線通信システムのデジタル化実施計画策定	与那国町無線通信システムのデジタル化実施計画策定完了	H30年度 基地局デジタル化 H31年度 中継局・子局 更新及びデジタル化 H32年度 戸別受信機 デジタル化更新	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。